

2021年 四季折々 【20】

■ 四季折々 Mutsu Monthly 神戸便り 2021

■ 神戸で 思いつくまま From Kobe 2021

2022. 2. 1.

2021 Mutsu

2021年 四季折々 mutsu2021.pdf

Home page 更新時の top page Monthly page を集めて収録しています 神戸便り 【20】

By Mutsu Nakanishi

From Kobe 2021

2021年 四季折々【20】 kobe2021.pdf

■ 神戸で 思いつくまま From Kobe 2020

【神戸で 思いつくまま From Kobe 2021】

社会・暮らしの大変革 ポストコロナの新時代の入口に
令和の産業革命といわれる過酷な大変革の始まり 暮らしはどうなるのか
コロナ禍の中での厳しい時代 スラム組んでこの危機をのりこえよう!!
また、神戸艦りの中 四季折々 周りの景色の変化が心を癒してくれました

◆ コロナ禍で寸断された日常生活・雇用 経済の停滞 みんながみんな 命の危機に直面したコロナ禍
◆ 巨大自然災害・地球温暖化の防止め 世界がこぞって動きを始めるカーボン ニューナリ50 実現は切望心強い

『持続可能な開発目標 (SDGs - 「カーボン インプット」)の達成が今世界の最大課題
気候変動による自然災害に防止めをかけて 持続可能な生産社会の実現へ
最近では業界の命懸けを懸けて、業界全体の数値目標達成状況が注目されている

By Mutsu Nakanishi

by Mutsu Nakanishi

和鉄の道・Iron Road 「四季折々・From Kobe・思いつくまま」

home page 更新時に四季折々の花・風景 そして 好奇心一杯でトライしたことや
その時折々 頭にあることを綴ったメモなどを集めました

和鉄の道・Iron Road

鉄の「まばゆい輝き・閃光」と「黒光り・肌光」

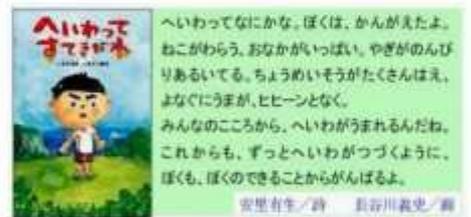
日本には「たたら製鉄」という鉄鉱石や砂鉄の塊から、
「硬くてねばい鋼」を直接作り出す日本古来の製鉄法がある。
ヒットイトが人工鉄を発明した当初の姿を現代まで残し、
現在の製鉄法にも負けない高品質の鋼を作り出す技術に高め、
維持している日本独自の製鉄法である。



日本に「鉄」が伝来して、この「たたら製鉄」が行われるまで、
約 800 年の長きにわたってたたら製鉄法の摸索が続き、その技術を
さらに磨き高めながら 1500 年続いてきた日本独自の製鉄技術。
「鉄は国家なり」「鉄は産業の米」と「鉄」の力が強調されるが、
一方で文化を育み、そこに住む人たちの生活を豊かにし、
現在に至る日本を作ってきた。
今、急速な社会変革の中で この製鉄にともなう数々のドラマが忘
れ去られ、日本各地の「たたら製鉄」遺跡もろとも消え去ろうとし
ている。和鉄の道での数多くの人たち・賑わい そして数々のドラ
マが、周りの美しい景色とともにうもれて残っています。
そんな日本で繰り広げられたドラマ そして その痕跡の風景を少し
でも残しておきたいと home page に掲載してきました。



ほぼ毎月更新してきた Home page のトップには
その四季折々 私の好きな花・好奇心いっぱいでのり組んだこと・
Country walk の風景などを紹介するとともに その折々 頭にあ
った時代の流れ・技術・社会などへの自分の思いを From Kobe とし
て書き綴って掲載してきました。
home page のトップページは更新ごとに消えてしまうので、
その時々を忘れぬよう残しておきたいと「四季折々・From Kobe」と
して ファイルし、それを毎年一冊の小冊子にまとめています。



神共に居まして
得られるものを 変える「勇氣」
変えられないものを受け容れる「心の静けさ」
両者を見分ける「斷智」を
ニーパーの折り よ

「まあええか 元気だして行こうと
心は行ったけれど」ですが
好奇心さえあれば…と前向いて
お互い笑顔で 前向き思考 元気で乗り切って行きましょ

その年四季折々自分勝手なわがままな 1 年間のメモ記録です
が、記憶を思い起こしたり、我が身を振り返えたり。
自分の生きる指針でもあり、また 1 冊積み重ねました。
また、どこかで、皆さまのお役に立て

災害や病気など数々の困難の中におられる方にエールを !!
いつも 思いをはせています。♪
「忘れまい 忘れないうで 仲間がいる
暖かい希望の輪が繋がっていることを」 ♪

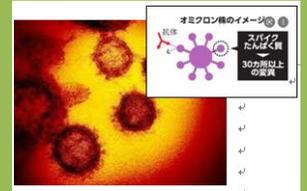


世界に類のない一万年も平和で豊かな生活が続いた日本の「縄文」
そのエンジンは「他人を思いやる心」
北東北・北海道の縄文遺跡を ユネスコ世界遺産に



2021 年和鉄の道・Iron Road を振り返って

和鉄の道・Iron Road	脱炭素カーボンニュートラル関係資料収集	10 件
風来坊・Country Walk	コロナ禍の中 神戸・西播磨 四季折々の景色	16
四季折々・From Kobe	コロナ禍 神戸籠もりの中で 疲弊する暮らしに想いを寄せつつ	9 件



今日は目まぐるしく変わる天候とともに 西風我吹き荒れ 師走らしい厳しい寒さの神戸です。

神戸では例年 12 付きの風物詩、光のルミナリエが今年も中止され、寂しい限りですが、やっと新型コロナも収束の落ち着いた動き。コロナ変異株「オミクロン」の流行の兆しはアルもののホット一息。街もやっと明るさが戻りつつあります。油断大敵 マスクと行動の自己規制はかかせませんが・・・

本年も勝手な風来坊「和鉄の道・Iron Road」にお付き合いいただきありがとうございました。

また 一年 相変わらずですが、コロナ禍の中 “God be with You!!” の言葉とともにあっという間に 1 年が過ぎてゆく。つくづく日が経つのが早く感じる歳になったと。

新型コロナ収束に向かいホッとしましたが、新たな変異株（オミクロン株）流行の兆し。

まだまだ 気を緩めることなく頑張らねばと。 本当に我が身命の危険を身近に感じた一年でした。

早く穏やかな暮らしを取り戻せるようにと願っています。

振り返ってみれば 本当に色々あった一年、

home Page の中味も神戸籠もりの中で、厳しいコロナ禍の中で なんとか明るく前向いてと。

世は情報があふれるデジタル時代 電話も Photo・メール・資料・情報そして会合・会議等々なんでもネットで見られる情報社会。でも はっと気がついてみれば、みんな仮想現実・非日常。

みんな今までと変わらぬというのですが、自分ひとりが取り残されているとの不安感。

今ほど 顔を突き合わせ、お互いの生話が出来るありがたさを感じたことはなし。仲間に出会いたいなあと。

そんな中、温暖化による地球環境の激変化が切実・身近に 我が身に降りかかるようになって、待ったなし。

避けることの出来ない脱炭素社会構築へ全世界が舵を切る。ポストコロナと脱炭素の時代 激変する時代に不安一杯。

みんながみんな穏やかな暮らしを取り戻せるのか・・・自分はどうなるのか・・・

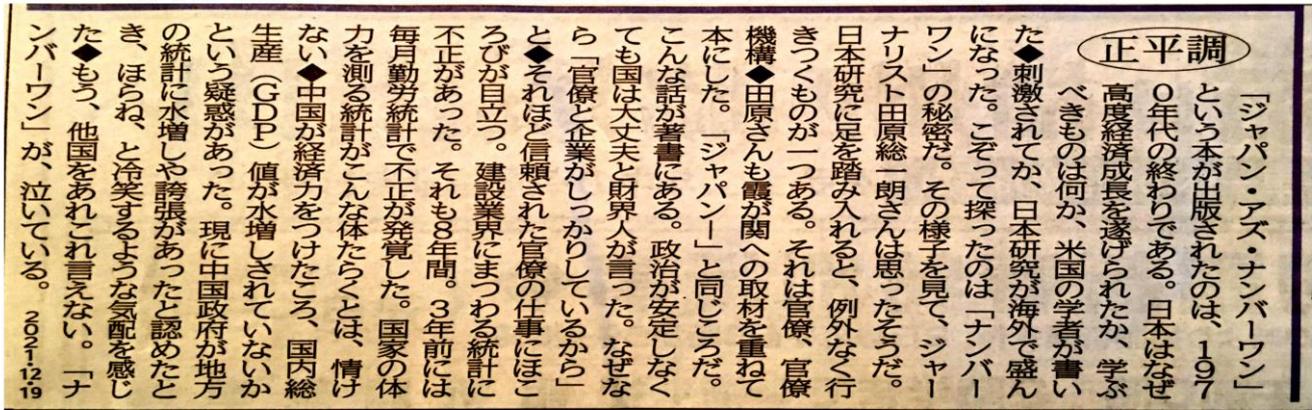
今一番 日本が取組遅れの厳しい現実と直面してる。

姿を見せぬ本当の現実がコロナ禍の中で 垣間見え隠れしはじめ、思いもかけず、我が身に降りかかる。

突破口を見いだせぬ日本に苛立ちを感じる様子がホームページ掲載の文面の随所にもありありと。

自分では何も出来ないと感じながら、後ろから今を考える年代になったとつくづく感じてきた一年でもありました。

神戸新聞 2021年12月19日朝刊 コラム「正平調」より「ナンバーワン」が泣いている



毎朝見ている神戸新聞のトップ紙面コラム「正平調」にも上記一年の締めくくりとして、日本の状況について手厳しい言葉が綴られていました。 まもなく 1.17 の記念日がやってくる。 そしてあのルミナリエの灯がついた時を忘れない。

否応なしにさらされる激変の時代の幕開けに、思いも新た。希望と期待をもって 頑張らねば・・・

鉄鋼もがんばれ!! がんばろう!! 自分の時代でないとの思いはありますが、しっかりとこの時代を前向いて・・・

◎「鉄の惑星 地球」 人類の歴史の中で 難局に出会うたびに新たなイノベーションを巻き起こし、新しい展開を切り開いてきた鉄。
長く取り組んできた「鉄の起源・歴史」を 本年春 まとめることが出来た「たたら源流 鉄の起源 & ユーラシア大陸東遷の道」(愛媛大東アジア古代鉄文化センター国際シンポ 聴講記録集成聴講記録)にもそんな事象がいくつも記されている。
HP 開設以来 20 年を経過した年末には「私の和鉄の道・Iron Road」を整理して 眺め直す事もできました。これからどんな姿になって、鉄がこの難局を切り開いてくれるのか それも楽しみな和鉄の道です。
ポストコロナ 脱炭素社会がどんな姿で登場するのか 明日の時代の平和で穏やかな暮らしに期待して。本当にエポックメイキングな一年 和鉄の道・Iron Road 2021 でした。

- ◎ 鉄とともに鉄のない縄文の世界にも惹かれ、ずっとHP への掲載取組をしてきた「日本の縄文」。心優しき縄文人たちが約 1 万年の長きにわたる持続社会をつくってきた日本の縄文
コロナ禍の中で、長年の夢がかなって、ユネスコ世界文化遺産に登録されたのも嬉しいニュースでした。
- ◎ CO₂ 排出ストップの厳しい操業携帯移行を迫られる鉄鋼 過酷化する地球環境に歯止めをかけるには待たなし。CO₂ 排出量の多い大型高炉操業への依存度の高い日本の鉄鋼業は脱炭素社会構築の中で今一番厳しい立場に置かれている。退場を願うと言う人達も数多く、長く鉄鋼の中で育ててもらった私にとっても、一番気になっている。今数々の新しい高炉操業変革に取り組んでいる。それがこれから目に見えてくる。必ずや日本の鉄鋼の歴史が新しい道を切り開いてくれると期待一杯。鉄鋼ガンバ!!と。
- ◎ 私ごとですか、本年6月末 足踵骨折で約 20 年ぶりに入院生活。足を地面につけられぬ厳しい正つの苦しさや入院高齢者が多いリハビリ病院の現実も知り、元気で健康であるあがたさもつくづく。
入院・神戸籠りの中で、アルバム整理を兼ねた断舍離。今までの道を振り返る良い機会。忘れかけていた数々の人たちや事柄との交流がありありと。長くかかった整理ですが、自分の生き方を振り返りいい整理ができました。
- ◎ 多くの知人や仲間にも助けてもらいながらも、孫たちも元気に成長。みんなに感謝です。
本当に早く出あいたいなあとの思いも強いです。
気がかりは 今年も多くの仲間・先輩・知人の訃報に接し、秋送りをしました。
もうそんな歳になつたんやと今の健康に感謝しつつ、から元気の毎日。
毎日 前向いて元気にと

本当に一年ありがとうございました。引き続きよろしくおねがいします。
まだまだ 好奇心もある。お互い 気力をふりしぼって、この厳しいポストコロナの時代を前向いて。
引き続きよろしくおねがいします。
いつも勝手な神戸からの便り お許ください。

みなさまにとっても
来る年が穏やかで 平和な年でありますよう
God be with You!!
また 元気に出会える日を楽しみにしています。
2021.12.17.夕
From Kobe Mutsu Nakanishi



四季折々・ From Kobe 2021 年を振り返って

社会・暮らしの大変革 ポストコロナの新時代 令和の産業革命といわれる過酷な大変革の始まり 暮らしはどうなるのか

ポストコロナの時代 脱炭素社会についての新聞やインターネット記事も
 争いも多く掲載されるようになり、鉄鋼の 製鉄プロセスも大きく転換することを求められ
 機軸が動いています。

一方 長年培ってきた鉄鋼の技術がたの脱炭素社会形成に貢献しようとしているのも事実
 なにが脱炭素社会形成に日本の鉄鋼が果たす役割についてもフォローしてきたい。

このような技術サイドから眺めると 欧州・アメリカ・日本での意識の温度差も見えてくる。
 そこにも目を向けて、ポストコロナ・脱炭素社会への向かう新時代
 日本の鉄鋼 がんばれとエールを送る

2021.11.20 From Kobe Mutsu Nakarishi



脱炭素社会へ向け、企業が一斉に水素燃料・脱CO2排出に舵を切る
 その危機感が垣間見える ポストコロナへ 襁褓を取り戻せ日本

具体的分野取組のロードマップ・イノベーション技術取組が明確でない打ち上げ花火か？
 数値マイルストーンによるチェックの枠組みお題目・ねばならぬ論ではどうにもならず、
 いやというほどコロナ禍で露呈してはいないか……

日本人の賃金は韓国よりも低いという偽らざる現実
 この10年全く平均賃金が上がっていないのは日本のみ
 数字で知ってびっくり。 めるま湯日本のつけ？



- ◆ コロナ禍で寸断された日常生活・雇用 経済の再建 みんながみんな 命の危機に直面したコロナ禍
- ◆ 巨大自然災害・地球暴走の歯止め 世界がこぞって舵を切る カーボン ニュートラル50 実現は切実な願い



大阪府 大阪府
 オミクロン株 実効再生産数 デルタ株の約4倍
 オミクロン株 91の国と地域で確認
 神戸新聞 大阪の3
 世界で感染拡大
 検査で検出された時間、問われる第6波
 オミクロン株市中感染
 22日、新型コロナウイルスの新興株「オミクロン株」の市中感染が国内で初めて確認された。従来のデルタ株と比べて、感染力が強いとみられるオミクロン株。今後、欧米のように拡大し、感染「第6波」の到来も懸念される。その日に懸念、保健用や病院は状況を見守っている。 ©在宅医療強化の必

「持続可能な開発目標 (SDGs・「カーボン イープン50」) の達成が今世界の最大課題
 気候変動による激甚災害に歯止めをかけて 持続可能な低炭素社会の実現へ
 最近では産業界の命運を駆けて、業界具体的な取組展開現況発表が相次いでいる



◎ 日本の鉄鋼業は 世界が突き進む脱炭素社会に生き残れるのか
 日本の鉄鋼生態系をかけた脱炭素カーボンニュートラル取組現況
 2021年 11月・12月 インターネット閲覧で気になった資料・ニュース 採録
 by Mutsu Nakarishi



NIPPON STEEL zero carbon initiative

新型コロナ蔓延 新型コロナ・オプシロン株の大流行へ

みんながみんなわが身の危険を身近に感じ、かつ行動自己節制・ワクチン接種も進んだが、いまだに収束が見えず。
 感染者・医療従事者のみならず、日々の暮らし・経済・雇用・人と人とのつながり・格差の増大等々社会はずたずた。
 日本が疲弊しきった状態に。

でも 外から見ると日本は「心地よいぬるま湯のヒキガエル」。みんな置かれている状況に全く気が付いていないという。
 情報過多とも言える掛け声とは裏腹 日本だけが世界から取り残されている状況がここかしこに垣間見える。

ワクチンの接種に危機的状況からの希望が見始めた状況ですが、語られ始めたポストコロナの時代の中身を考えると、
 本当に厳しい状況。垣間見えるのは令和の大産業革命の入口。不安いっぱい時代へ
 断片的な刹那の情報しか入らぬ日本 コロナ禍の先行き不安の厳しい状況が次々とわが身に。

出口が見通せぬそんなコロナの状況を記す四季折々・ From Kobe 掲載記事の数々。
 高齢で迎える我々の行く先は……。 新しい状況に立ち向かわねばと右往左往の姿がありあり。
 さあ 日本はどこへ向かうのでしょうか…。

ポストコロナで迎える新時代 激変過酷な厳しい時代だと皆が言う。

「コロナ対策と経済・雇用の回復への暮らし・雇用・経済の復興」に並行して
 もう待たなし「人類の危機地球温暖化の歯止め止め 低炭素社会への大転換」

「令和の産業大革命 社会・経済の激烈な再編」誰もが避けられぬ経験したことのない時代へのターニングポイント
 評論ばかりしていても仕方なし。しっかり立ち位置を見出し、前向いて 頑張らねば……と。

四季折々・ From Kobe の記事を見直しながら、「びつびつ」戸惑いの中にいるわが身が見える。

「感染は軽いから、自分で守れ」と感染者は自宅待機という。

コロナ医療から切り捨てられた人の多さ 明日は我が身か……

そして、もう労働人口の30%近い多数の非正規労働やシングル家族・フリーランス・そしてアルバイトの学生たち等々
 数多くの国の平均所得が大きく伸びるこの10年、日本のみが所得が伸びず、韓国・盗難アジアにも抜かれるありさま。
 大阪難波の外国日本訪問者のすごい人の群れに うすうす感じていたことの現実 ショックでした。
 現実にはあまりにも厳しすぎる あまりスポットが当たらぬ人たちの現実にも目を向けよう

勝手な愚痴かもしれませんが、政治・
 掲載を引っ張る老獪リーダーたちの
 だらしなさ。
 コロナ禍がもたらした個々の対応の
 厳しさ。人任せにはできぬ現実には
 っと気が付き、いい勉強になり、身
 の引き締まる思いです。

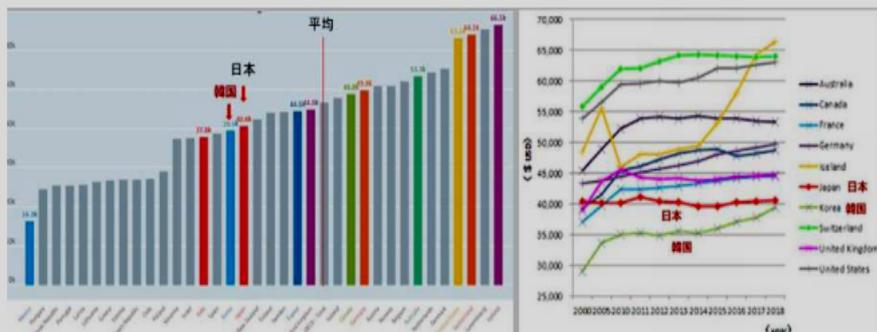
情報過多の中で 何一つ現実直視を
 せぬ年寄りリーダーたち 相互寄り
 かかり志向ではどうにもならぬ。
 もう「干上がってしまう」 そんな
 日が迫っていると。
 でも 幾多の困難を乗り越えてきた
 日本の底力 これからの新時代をリ
 ードする若い力に期待一杯です。

厳しい時代を生き抜くすべを みんなで出し合って。
 おりしもそんな力で乗り切ってきた2つの大地震 1.17. 3.11.の記念日が迫っている
 もう後ろから寿命を考える年になっていますが、がんばらねばと、
 神戸の片隅から.....

ぬるま湯日本のつけ? すでに日本は富んだ国ではない 日本人の賃金は韓国よりも低い

日本の現状は極めて厳しく、この課題取組によるイノベーションがなければ、
 先進国から最貧国に落ちぶれる危機に瀕しているのが今の日本の国情。
 それを示すデータがある。

2018年 世界各国年収比較図(左)と各国のここ10年平均賃金推移比較(右)



主要先進国の中で、この10年全く平均賃金が上がっていないのは日本のみ。
 韓国にも平均賃金で追い抜かれているとの事実がある。
 好景気 好景気と言われながら、全く実感はなく、なにか国際競争力維持のためと思い込まされてきたらしいがある。

まだまだ 好奇心もある。
 お互い 気力をふりしぼって、
 この厳しいポストコロナの時代を前向いて。
 よろしくおねがいします。
 いつも勝手な神戸からの便り お許ください。
 God be with You!!
 元気に出会える日を楽しみにしています。
 From Kobe Mutsu Nakanishi



仲間の元気は みんなの応援歌!! 頑張りすぎず、時には声をあげて!!
 お互いスクラム組んで 助け合ってこの難局を乗り越えましょう
 ワクチン接種も済ませましたが、まだまだ収束は道半ば
 まだまだ厳しい自己節制の日々が続きますが、どうか 無理せず、
 元気に前向いてお過ごしください
 また連絡ください God Be With You!!

2021年の From Kobe を読み返しつつ。
 From Kobe Mutsu Nakanishi

コロナ禍の中での厳しい時代 スクラム組んでこの危機をのりこえよう!!
 また、神戸籠りの中 四季折々 周りの景色の変化が心を慰めてくれました

オミクロン株のイメージ
抗体
スパイクたんぱく質
30カ所以上の変異

世界の二酸化炭素(CO2)排出量の約7%を占めています

水素による還元とCO2の分離・回収によって、CO2の30%削減を目指すプロジェクトの試験高炉

日本の高炉水素吹き込み操業 COURSE50

「持続可能な開発目標 (SDGs・「カーボン イープン50」) の達成が今世界の最大課題
気候変動による激甚災害に歯止めをかけて 持続可能な低炭素社会の実現へ
最近では産業界の命運を駆けて、業界具体的な取組展開現況発表が相次いでいる



「2050年カーボンニュートラル 政府脱炭素社会を目指す 14 重点項目策定」

日本の鉄鋼 低炭素カーボンイープン50の時代を生き抜く道 鉄の新時代
日本の鉄鋼業は世界が突き進む低炭素社会の時代に生き残れるのか・・・

NIPPON STEEL zero carbon initiative

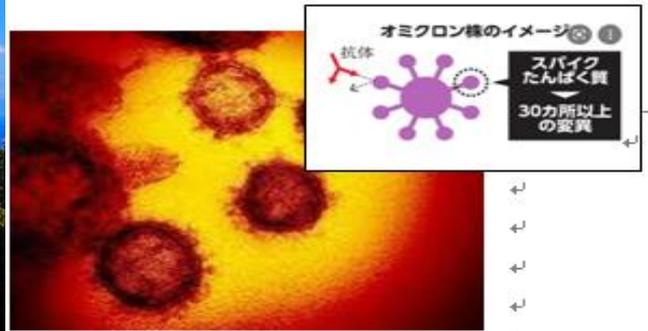
石炭火力の発電量 過去最高の見通し「憂慮すべき兆候」 IEA

ハイブリッド貯蔵タンク(高圧+MH)

GE日立がカナダで受注、「小型原子炉」が世界から注目を集めるワケ

水行末 雲来末 嵐来末

コロナ蔓延 いまだ収束せず 神戸籠りの自己行動節制の中で



本年もコロナ禍の中 神戸籠り 行動自己規制の毎日 西神戸近郊の散歩道を歩くのが日課に。

四季折々の景色が年々随分変わってきたことにはっと気が付くことがある。本年も相変わらずデジカメで撮った Photo でこの神戸近郊の里景色を記録してきました。地球温暖化が顕著になり、四季折々 眺める景色の季節感が随分薄れてきましたが、その変化が一様でない面白さ。自分なりに地球温暖化に結び付けて、あれやこれや考えるのも楽しみに。デジカメ下げての毎日 walk で撮った Photo をBGM 付きのスライド動画にして楽しんでいます。もう後戻りはできない。低炭素社会への大変革の時代を前向いて過ごさねば……

毎年四季折々 西播磨佐用の里に咲く草花を訪ねてきましたが、作用の里で春の訪れを告げるカタクリや菜の花や各地の一本桜を訪ねる walk 夏の京朝顔展・ハオバブの白い花 実りの秋:景色もままならず、神戸籠りの中で、四季折々の花や里景色をデジカメに収めて楽しみました。来年は是非とも遠くへも足を延ばしたい。

■ トピックス【1】 本年の風来坊 四季折々の西神戸・東播磨の里景色

A. きらきら光る須磨の海 & 須磨離宮・網敷天満宮の梅と菜の花



B 里山は芽吹き ピンクの三つ葉ツツジ満開の桜近郊の里は桜満開の春爛漫



C 新緑 5月の風と氷ノ山麓ドライブと春の掉尾を飾るバラ展



D 梅雨から夏へ 足骨折で夏を入院で 毎日届く朝顔便り



E 実りの秋を迎えた里の秋と秋の里を飾る草花と秋送り



F 紅葉の秋 初めて須磨の紅葉をしっかりと



2021 四季折々 Monthly 目次 mutsu2021.pdf

Home page 更新時の top page Monthly page を集めて収録しています 神戸便り [20]

■ 四季折々 Monthly page 2021

年賀	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

1月 年賀 2021年 迎春 年の初めに 2020年を振り返りつつ 新しい年に思いをはせて



2021 2月 春迎え 春の足音



1. 春の足音 2月 春迎え 春はもうすぐそこに
2. 節分の鬼に思いを馳せて 災い嫌い 「福は内 鬼も内」
3. 春 鬼の話題 お酒「鬼殺し」 そのいわれは...
4. 脱炭素社会のキーワード CO2 を出さぬエネルギー水素 掛け声ばかりで具体策を紐解かぬ日本 またぞろ 外国頼み? (fkober/RO302.pdf)



誕生 3月 春の訪れ 元気出してゆこう



1. 西神戸に春を呼び込む いかなご新子漁 3月6日解禁 釘煮・新子の釜揚げでうれし一杯 昨年ほどではないが不漁 どうなりますやら
 2. 須磨の春 きらきら輝く海 梅や菜の花の香りに 胸一杯の空気を吸い込んで
 3. ラグビーシーズン開幕 声は出せぬが、こぶしをかいっぱい握りしめ...
 4. ポストコロナへ輝きを取り戻せ日本! その危機感が何回見える 脱炭素社会へ向けて、企業が一斉に水素燃料・脱CO2排出に舵を切る 日本人の賞金は韓国よりも高いという偽らざる現実
- ◎ トピックス



2021 誕生3月 春の訪れ
きらきら光る須磨の海
心配されたいかなご新子漁も始まった
梅の花・菜の花そしてサクラソウ
野鳥たちも訪れ、華やく春に
マスクをはずして戸外へとびだしたへい



4月 春爛漫 神戸の春 桜便り



1. 2021 4月 春爛漫 神戸の春 桜便り
■ 4月4日 イースター
■ 春 4月春爛漫 周りの山は芽吹 里では桜満開 新生の恵吹
ポストコロナの新時代へ 気分も新た 元気出していきましょう
 2. 春爛漫 神戸の桜便り
■ 桜のトンネル 板宿 妙法寺川の散歩道 2021.3.27.
■ 桜並木 楠谷 宇治川の堤 2021.3.27.
 3. 神戸の一本桜 奥平野の「舞桜」今 こんな姿に
 4. タイツルノウ(鯛釣草) コマクサ(駒草)のそくさん
かつての枝を精一杯広げて舞う立ち姿の復活を期待
また、この空々とした立ち姿もしい 頑張れよと声かけました
 5. ポストコロナの新時代 ポストコロナの社会構築理解のために [2]
脱炭素・水素社会構築 & 新産業創生のための脈動!
- ◎ 今月の掲載記事 トピックス Photo 技奏



新緑 5月の風 うまい空気を胸いっぱい 厳しい春を前向いて



1. 2021 5月 新緑の便り 5月の風 元気出してゆこう
 2. 神戸便りの春 風来坊の Photo Album 心やすめになれば
ピンクの野原 レンゲ畑 但馬 竹田城下の田圃で 今年も蓬草畑に出会えて幸せ
 3. 神戸便り 毎日 walk の中で ミソバツツジ咲く近隣の西六甲 山スタンプ採取に参く
 4. ポストコロナの社会構築理解のために [3]
胸に響く「カラフルなドーナツ型バッジ」の正体 こんな取組が引き金に よく知りませんでした
- ◎ 今月のトピックス 掲載した和歌の道・Iron Road より

6月 梅雨の始まり 厳しい新型コロナ蔓延 わが身大事で 梅雨を乗り越えましょう



- 2021 6月 コロナ禍の中で迎えた神戸の梅雨 近況限り 風来坊のPhoto Album
梅雨の晴れ間の方々へ、久しぶり原チャリ走らせ、梅雨時神戸の田園風景地帯へ
- 祝 北海道・北東北の縄文遺跡群がユネスコ世界文化遺産へ 誇り感動が登壇報告
- 水の入った田の素晴らしい梅雨時の絶景巡り 2021.6.2
原チャリ走らせ、北神戸の田園地帯を駆けて
- 最近の気になった新聞記事より
大坂なおみさんの会見記者と縄文の世界遺産登録
- 西神戸の田園伊川谷 伊川の土手の竹やぶで ハチク破竹採取
◎ 今月掲載 トピックス Photo 抜粋 今月掲載した和鉄の道・Iron Road より



7・8・9月 極暑・コロナ禍の厳しい中を 踵骨折 入院・リハビリ生活

和鉄の道・Iron Road Monthly 7月の便り by Mutsu Nakanishi 2021.7.18.

6月下旬足の踵骨折でこの夏を入院の羽目に

助すかしののですが、6月21日 踏み台外して、左足踵骨折で緊急入院の際の毎日、
やっと一ヶ月が過ぎ、踵・足首固定していた包帯も外せ、リハビリに専心しています



和鉄の道・Iron Road 8月 Monthly Page 8月 酷暑の夏 神戸便り



10月 真っ青な空 秋の草花が里を彩る里の秋



- 10月 コロナ禍の中で迎えた秋 近況限り
2ヶ月入院から解放 昔はもう秋に コロナも収束の兆し、まだ油断なく
3ヶ月ぶりの更新 特に目新しい記事ありませんが、元気です
- 追悼悼 経済評論家 内橋克人さんご逝去
行き過ぎた市場経済主義に警鐘 ぶれることなく人重視を貫く
■ (2021年10月 From Kobe) 内橋克人さん逝去に想いをのせて
<https://www.infokkna.com/ironroad/2021/10/2021mutsu/fkobeR0310UchihashiLedf>
- コロナ禍の中でうれいニュース
祝 北海道・北東北の縄文遺跡群がユネスコ世界文化遺産登録決定
- 西神戸の田園を彩る秋の風物詩 青い空に秋の草花が里を彩る里の秋
1 須磨 樹蔭の秋の七草絵巻 2 西神戸の伊川の畑畔花
3 加古川沿岸 来住野・野原の里のそと畑
- 気まぐれ秋の空 竜巻の雲が見えたのかも 2021.9.18.
台風一過 突然 播磨灘に現れた空の雨雲から海へ敵本線の緑、柱状の雲



11月 & 12月の始まり 深まる秋から冬へ 秋祭り 師走の足音も



- 11月から12月へ 深まりゆく秋 コロナ禍の中 遅れに遅れた神戸の秋祭りです
緊急事態宣言解除と共に With コロナ・ポストコロナの時代への動きも加味し
国家の未来を憂う方々の思いと今の政治 小林善光先生の演説(2019年3月18日)をしり度かみしめよう
日本は秋の地よ! ゆでカエル秋祭 カエルもいっせいで上る
- 毎年おこなわれる東播磨の秋の風物詩 満開のコスモス 2021.10.18.
加古川沿岸 志かの郷 コスモス畑を心も地も秋の風が舞う
- 楽しみに見ていたNHK 毎朝の連続ドラマ「おかえりモネ」が10月末に完結
神戸新聞のコラム「正平襲」にも取り上げられました 11月の毎朝が寂しくなるなあ・・・
- オリックスワローズ バリーグ 優勝 おめでとー!!
25年ぶりの日本シリーズ優勝は是非神戸で
- 神戸新聞 桂文珍の読書的見聞録 コロナ禍の中で ほっと一息
- ポストコロナの時代の機軸がまわっています 我々一人一人は 今何をすべきなのでしょう?
気になった11月の新聞・インターネット記事より
- 樹蔭山 山麓を真っ白にして頂く雪景 2021 私のお祭り 2021.11.11.
今年はコロナ禍の中 友を想い浮かべて 想いはひとしお
11月の半は樹蔭山山麓にノキの花が咲きだすと丘に登り、
逝ってしまった仲間 先達を想い浮かべて、友を懐いていつときを過ぎてす



2021年総括 コロナ禍の中で home page 和鉄の道・Iron Road を振り返って



困難の中に居られる方々にエール!!
日々新た 今できることを 精一杯 無理せずゆつくりと
いつも 思いをさせています。
「忘れまい 忘れないで 仲間がいる
暖かい希望の輪が繋がっていることを」

神共に居まして
変えられるものを 変える「勇気」
変えられないものを
受け容れる「心の静けさ」
両者を見分ける「叡智」を
ニパーの祈り より .



Merry Christmas!! 2021
2 みんなでスクラム組んで コロナ収束まで もうひとふんばり
みんなの 笑顔が取り戻せるよう 明日への思いを託して
和鉄の道 HP お付き合いありがとうございます。来年もよろしく
God be with You!! も口癖に ポストコロナ 激動の変革の時代へ
来年が平和で穏やかな年でありますよう 祈っています

God be With you !!
from Kobe Mutsu Nakanishi

コロナ禍 神戸籠もりの中で 疲弊する暮らしに想いをよせつつ 8件

1. 【From Kobe 1月 年賀】 2021年 迎春 年の初め 2021.1.1.
まだ見通せぬコロナ禍の中で 新しい年に思いをはせて 笑顔を取り戻せるよう
明日への思いを託して みんなでスクラム組んでがんばろう!
◎和鉄の故郷 Iron Road 鉄の惑星地球 2020年を振り返りつつ 新しい年に思いをはせて
2. 【From Kobe 2月 春の足音】 春の足音春迎え 春はもうすぐそこに 2021.2.5.
収録 2050年カーボンニュートラル またそろ外国頼みの周回遅れをたどるのか…
3. 【From Kobe 弥生3月】 須磨の春 春の訪れ うまい空気を胸一杯
収録 ■ポストコロナへ 輝きを取り戻せ日本 ぬるま湯日本のつげ?
■最近の新聞記事より これでもいいのか?日本
4. 【From Kobe 4月春爛漫】 神戸の春 桜便り
収録 コロナ禍の中で 久し振りに野球とバスケの話題
神戸新聞正平調に田辺聖子さんのトラキチファンの話が取り上げられ、懐かしく
5. 【From Kobe 新緑の5月】 新緑の神戸の春便り 新型コロナ蔓延 神戸籠りの中で とにかく元気です
収録 コロナ禍の中で どうなる日本
1. 大音響約800mの五輪PR隊 聖火ランナーは脇役か?
2. ポストコロナの日本 元京大総長 山際寿一氏のオピニオン
3. 胸に輝く“カラフルなドーナツ型バッジ”の正体
6. 【From Kobe 6月梅雨】 6月梅雨時の神戸便り コロナ禍の中で迎えた梅雨の絶景 2021.6.5.
神戸籠りの中 風来坊 勝手な梅雨時のPhoto 記録ですが 心やすめになれば
収録 大坂なおみさんの会見拒否に縄文の世界遺産登録を重ねて 最近の気になった新聞記事より
今人が人として一番大事なことを思い起させてくれた コロナ禍の中で
参考 1. 【2014.6月From Kobe】「利他的精神」について 朝日新聞天声人語より
競争社会から成熟社会へ 日本に必要なのは「心の優しさ」では
参考 2. <NHK取材班「Human」視聴・購読メモ> 「なぜヒトは人間になれたのか」
1. 視聴・購読メモ 「ヒューマン なぜヒトは人間になれたのか」
2. 補足メモ 人間を人間たらしめているもの「分かち合う心・通わせる心
7. 【From Kobe 深まりゆく秋】 10月 新型コロナも収束の兆し
HP3ヶ月ぶりの更新 神戸の秋便り 2021 秋迎え 稔りの里を飾る秋の草花 2021.10.5.
収録 コロナ禍の中で 追悼経済評論家 内橋克人さんご逝去
行き過ぎた市場経済主義に警鐘 ブレることなく人重視を貫く
参考 ■【2021年10月 From Kobe】
内橋克人さん逝去に想いをつのらせて 想いだすままに by Mutsu Nakanishi
添付「和鉄の道-from Kobe」に掲載紹介してきた 内橋克人氏の記事リスト
8. 【From Kobe 11月 & 師走へ】 深まり行く秋から冬へ神戸の便り 2021.11.1.-11.20.
ま真っ赤に色づいた街 コロナ禍の中 やっと収束の兆し ポストコロナの新時代
ポストコロナを見据えて いろんな事がありました
「何も変わらぬこの閉塞感と不安感。心地よい、ゆでガエル状態」
今一度2019年3月に掲載した小林喜光氏の指摘に耳を傾けよう
収録 ポストコロナの時代の模索が始まっています
我々一人一人 今何をすべきなのか……
9. 【From Kobe 師走 2021年本年の締め】 Merry Christmas!! 一年ありがとうございました
ポストコロナ 低炭素社会構築へ 大変革とコロナからの復興へ 激変の時代を前向いて

四季折々・ From Kobe 2021 年を振り返って

社会・暮らしの大変革 ポストコロナの新時代 令和の産業革命といわれる過酷な大変革の始まり 暮らしはどうなるのか

ポストコロナの時代 脱炭素社会についての新聞やインターネット記事も
 争いも多く掲載されるようになり、鉄鋼の 製鉄プロセスも大きく転換することを求められ、
 脱炭素が叫ばれています。

一方 長年培ってきた鉄鋼の技術がたの脱炭素社会形成に貢献しようとしているのも事実。
 なにが脱炭素社会形成に日本の鉄鋼が果たす役割についてもフォローしてきたい。

このような技術サイドから眺めると 欧州・アメリカ・日本での意識の温度差も見えてくる。
 そこにも目を向けたら、ポストコロナ・脱炭素社会への向かう新時代
 日本の鉄鋼 がんばれとエールを送る

2021.11.20 From Kobe Mutsu Nakarishi



脱炭素社会へ向けて、企業が一斉に水素燃料・脱CO2排出に舵を切る
 その危機感が垣間見える ポストコロナへ 襁褓を取り戻せ日本

具体的分野取組のロードマップ・イノベーション技術取組が明確でない打ち上げ花火か？
 数値マイルストーンによるチェックの枠組みお題目・ねばならぬ論ではどうにもならず、
 いやというほどコロナ禍で露呈したではないか……

日本人の賃金は韓国よりも低いという偽らざる現実
 この10年全く平均賃金が上がっていないのは日本のみ
 数字で知ってびっくり。 めるま湯日本のつけ？

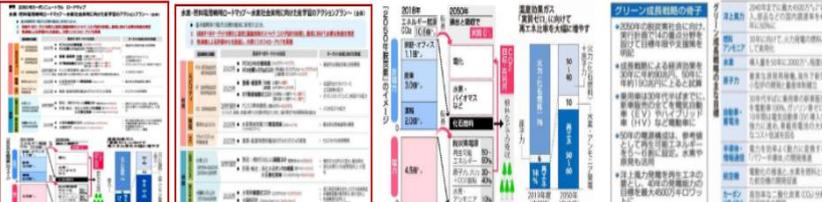


- ◆ コロナ禍で寸断された日常生活・雇用 経済の再建 みんながみんな 命の危機に直面したコロナ禍
- ◆ 巨大自然災害・地球暴走の歯止め 世界がこぞって舵を切る カーボン ニュートラル50 実現は切実な願い

「持続可能な開発目標 (SDGs・「カーボン イープン50」) の達成が今世界の最大課題
 気候変動による激甚災害に歯止めをかけて 持続可能な低炭素社会の実現へ
 最近では産業界の命運を駆けて、業界具体的な取組展開現況発表が相次いでいる



◎ 日本の鉄鋼業は 世界が突き進む脱炭素社会に生き残れるのか
 日本の鉄鋼生態系をかけた脱炭素カーボンニュートラル取組現況
 2021年 11月・12月 インターネット閲覧で気になった資料・ニュース 採録
 by Mutsu Nakarishi

新型コロナ蔓延 新型コロナ・オプシロン株の大流行へ

みんながみんなわが身の危険を身近に感じ、かつ行動自己節制・ワクチン接種も進んだが、いまだに収束が見えず。
 感染者・医療従事者のみならず、日々の暮らし・経済・雇用・人と人とのつながり・格差の増大等々社会はずたずた。
 日本が疲弊しきった状態に。

でも 外から見ると日本は「心地よいぬるま湯のヒキガエル」。みんな置かれている状況に全く気が付いていないという。
 情報過多とも言える掛け声とは裏腹 日本だけが世界から取り残されている状況がここかしこに垣間見える。

ワクチンの接種に危機的状況からの希望が見始めた状況ですが、語られ始めたポストコロナの時代の中身を考えると、
 本当に厳しい状況。垣間見えるのは令和の大産業革命の入口。不安いっぱい時代へ
 断片的な刹那の情報しか入らぬ日本 コロナ禍の先行き不安の厳しい状況が次々とわが身に。

出口が見通せぬそんなコロナの状況を記す四季折々・ From Kobe 掲載記事の数々。
 高齢で迎える我々の行く先は……。 新しい状況に立ち向かわねばと右往左往の姿がありあり。
 さあ 日本はどこへ向かうのでしょうか…。

ポストコロナで迎える新時代 激変過酷な厳しい時代だと皆が言う。

「コロナ対策と経済・雇用の回復への暮らし・雇用・経済の復興」に並行して
 もう待たなし「人類の危機地球温暖化の歯止め止め 低炭素社会への大転換」
 「令和の産業大革命 社会・経済の激烈な再編」誰もが避けられぬ経験したことのない時代へのターニングポイント
 評論ばかりしていても仕方なし。しっかり立ち位置を見出し、前向いて 頑張らねば……。と。
 四季折々・ From Kobe の記事を見直しながら、「びつびつ」戸惑いの中にいるわが身が見える。

「感染は軽いから、自分で守れ」と感染者は自宅待機という。
 コロナ医療から切り捨てられた人の多さ 明日は我が身か……

そして、もう労働人口の30%近い多数の非正規労働やシングル家族・フリーランス・そしてアルバイトの学生たち等々多数多くの国の平均所得が大きく伸びるこの10年、日本のみが所得が伸びず、韓国・盗難アジアにも抜かれるありさま。大阪難波の外国日本訪問者のすごい人の群れに うすうす感じていたことの現実 ショックでした。

現実にはあまりにも厳しすぎる あまりスポットが当たらぬ人たちの現実にも目を向けよう

勝手な愚痴かもしれませんが、政治・掲載を引っ張る老獪リーダーたちのだらしなさ。

コロナ禍がもたらした個々の対応の厳しさ。人任せにはできぬ現実にはと気が付き、いい勉強になり、身の引き締まる思いです。

情報過多の中で 何一つ現実直視をせぬ年寄りリーダーたち 相互寄りかかり志向ではどうにもならぬ。

もう「干上がってしまう」 そんな日が迫っていると。

でも 幾多の困難を乗り越えてきた日本の底力 これからの新時代をリードする若い力に期待一杯です。

厳しい時代を生き抜くすべを みんなで出し合って。

おりしもそんな力で乗り切ってきた2つの大地震 1.17. 3.11.の記念日が迫っている

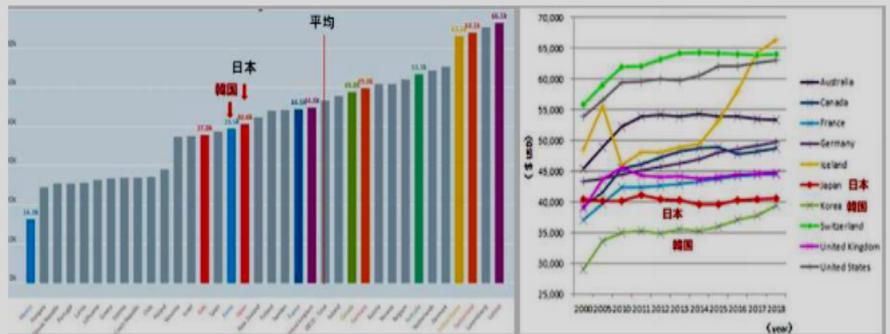
もう後ろから寿命を考える年になっていますが、がんばらねばと、

神戸の片隅から.....

ぬるま湯日本のつけ? すでに日本は富んだ国ではない 日本人の賃金は韓国よりも低い

日本の現状は極めて厳しく、この課題取組によるイノベーションがなければ、先進国から最貧国に落ちぶれる危機に瀕しているのが今の日本の国情。それを示すデータがある。

2018年 世界各国年収比較図(左)と各国のここ10年平均賃金推移比較(右)



主要先進国の中で、この10年全く平均賃金が上がっていないのは日本のみ。

韓国にも平均賃金で追い抜かれているとの事実がある。

好景気 好景気と言われながら、全く実感はなく、なにか国際競争力維持のためと思い込まされていきらぬがある。

まだまだ 好奇心もある。
 お互い 気力をふりしぼって、
 この厳しいポストコロナの時代を前向いて。
 よろしくおねがいます。
 いつも勝手な神戸からの便り お許ください。
 God be with You!!
 元気に出会える日を楽しみにしています。
 From Kobe Mutsu Nakanishi



仲間の元気は みんなの応援歌!! 頑張りすぎず、時には声をあげて!!

お互いスクラム組んで 助け合ってこの難局を乗り越えましょう

ワクチン接種も済ませましたが、まだまだ収束は道半ば

まだまだ厳しい自己節制の日々が続きますが、どうか 無理せず、

元気に前向いてお過ごしください

また連絡ください God Be With You!!

2021年の From Kobe を読み返しつつ。

From Kobe Mutsu Nakanishi

コロナ禍の中での厳しい時代 スクラム組んでこの危機をのりこえよう!!
 また、神戸籠りの中 四季折々 周りの景色の変化が心を慰めてくれました

2021 四季折々 Monthly 目次 mutsu2021.pdf

Home page 更新時の top page Monthly page を集めて収録しています 神戸便り [20]

四季折々 Monthly page 2021

年賀	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

1月 年賀 2021年 迎春 年の初めに 2020年を振り返りつつ 新しい年に思いをはせて



2021 2月 春迎え 春の足音

1. 春の足音 2月 春迎え 春はもうすぐそこに
2. 節分の鬼に思いを馳せて 災い嫌い 「福は内 鬼も内」
3. 春 鬼の話題 お酒「鬼殺し」 そのいわれは...
4. 脱炭素社会のキーワード CO2 を出さぬエネルギー=水素
掛付けばかりで具体策を細解りぬ日本 またぞろ 外国頼み?
(fkoberFO302.pdf)



2021 3月 春の訪れ 元気出してゆこう



2021 2021 2021 3月 春の訪れ
きらきら光る須磨の海
心配されたいかなご新子漁も始まった
梅の花・菜の花そして サクラソウ
野鳥たちも訪れ、華やく春に
マスクをはずして戸外へとびだした〜い

1. 西神戸に春を呼び込む いかなご新子漁 3月6日解禁
釘煮・新子の釜揚げでうれし一杯 昨年ほどではないが不漁 どうなりますやら
2. 須磨の春 きらきら輝く海 梅や菜の花の香りに 胸一杯春の空気を吸い込んで
3. ラグビーシーズン開幕 声は出せぬが、こぶしをかいっぱい握りしめ...
4. ポストコロナへ輝きを取り戻せ日本! その危機感が耳に届く
脱炭素社会へ向けて、企業が一斉に水素燃料・脱CO2排出に舵を切る
日本人の賞金は韓国よりも低いという偽らざる現実
◎ トピックス



4月 春爛漫 神戸の春 桜便り

1. 2021 4月 春爛漫 神戸の春 桜便り
■ 4月4日 イースター
■ 春 4月春爛漫 岡の山は芽吹 里では桜満開 新生の恵吹
ポストコロナの新時代へ 気分も新た 元気出していきましょう
2. 春爛漫 神戸の桜便り
■ 桜のトンネル 板宿 妙法寺川の散歩道 2021.3.27.
■ 桜並木 楠谷 宇治川の堤 2021.3.27.
3. 神戸の一本桜 奥平野の「舞桜」今 こんな姿に
4. タイツルノウ(銅釣草) コマクサ(鴨草)のそくさん
かつての枝を精一杯広げて舞う立ち姿の復活を期待
また、この堂々とした立ち姿もしい 頑張れよと声かけました
5. ポストコロナの新時代 ポストコロナの社会構築理解のために【2】
脱炭素・水素社会構築 & 新産業創生のための脈動！
◎ 今月の掲載記事 トピックス Photo 技辞



新緑 5月の風 うまい空気を胸いっぱい 厳しい春を前向いて



1. 2021 5月 新緑の便り 5月の風 元気出してゆこう
2. 神戸便りの春 風来坊の Photo Album 心やすめになれば
ピンクの野原 レンゲ畑 但馬 竹田城下の田圃で 今年も蓬草畑に出会って幸せ
3. 神戸便り 毎日 walk の中で ミソバツツジ咲く近隣の西六甲 山スタンプ採取に参く
4. ポストコロナの社会構築理解のために【3】
胸に響く「カラフルなドーナツ型バッジ」の正体 こんな取組が引き金に よく知りませんでした
◎ 今月のトピックス 掲載した和鉄の道・Iron Road より

6月 梅雨の始まり 厳しい新型コロナ蔓延 わが身大事で 梅雨を乗り越えましょう



1. 2021 6月 コロナ禍の中で迎えた神戸の梅雨 近況廻り 風来坊のPhoto Album
梅雨の霏々閑閑のかつら気、久しぶり原チャリ走らせ、梅雨時神戸の田園絶景地帯へ
2. 祝 北海道・北東北の縄文遺跡群がユネスコ世界文化遺産へ 登録機関が登録勧告
3. 水の入った田の素晴らしい梅雨時の絶景廻り 2021.6.2
原チャリ走らせ、北神戸の田園地帯を駆けて
4. 最近の気になった新聞記事より
大坂なおみさんの会見可否と縄文の世界遺産登録
5. 西神戸の田園伊川谷 伊川の土手の竹やぶで ハチク(破竹)採取
- ◎ 今月掲載 トピックス Photo 抜粋 今月掲載した和歌の道・Iron Road より



7・8・9月 極暑・コロナ禍の厳しい中を 踵骨折 入院・リハビリ生活

和鉄の道・Iron Road Monthly 7月の便り by Mutsu Nakanishi 2021.7.18.

6月下旬足の踵骨折でこの夏を入院の羽目に

脚がさかしのですが、6月21日 踏み台外して、左足踵骨折で緊急入院約10日中の毎日、やっと一ヶ月が過ぎ、踵・足首固定していた包帯も外せ、リハビリに専心しています



和鉄の道・Iron Road 8月 Monthly Page 8月 酷暑の夏 神戸便り

酷暑・コロナ禍の中で迎えた2021年盛夏
毎日夏の朝を爽やかにしてくれる朝顔

神戸中西 この厳しい酷暑 コロナ禍も元気で
暑中お見舞い申し上げます

毎日元気にリハビリに励んでいます
朝顔の元気がみなさんの応援歌
God be with You !!
お互い元気に この厳しい夏を乗り切りましょう
2021.8.3. From Kobe Mutsu Nakanishi



10月 真っ青な空 秋の草花が里を彩る里の秋



1. 10月 コロナ禍の中で迎えた秋 近況廻り
2ヶ月入院から解放 替はもう秋に コロナも収束の兆し、まだ油断なく
3ヶ月ぶりの更新 懐に目新しい記事ありませんが、元気です
2. 遠洋仲 経済評論家 内橋克人さんご逝去
行き過ぎた市場経済主義に警鐘 ぶれることなく人重視を貫く
■【2021年10月 From Kobe】内橋克人さん逝去に思いをつづらせて
<https://www.infokkna.com/ironroad/2021/10/2021autumn/kobefor103Uchihashi.pdf>
3. コロナ禍の中でうれしいニュース
祝 北海道・北東北の縄文遺跡群がユネスコ世界文化遺産登録決定
4. 西神戸の田園を彩る秋の風物詩 青い空に秋の草花が里を彩る里の秋
1. 須藤 桐花の秋の七草絵巻 2. 西神戸の伊川谷の彼岸花
3. 加古川邸洋 来住野野原の里のそば畑
5. 気まぐれ秋の空 菫色の雲が見えたのかも 2021.9.18.
台風一過 突然 稲穂畑に現れた空の雨雲から海へ数本の綺麗な柱状の雲
- ◎ 10月更新気揚稿 トピックス



11月 & 12月の始まり 深まる秋から冬へ 秋送り 師走の足音も



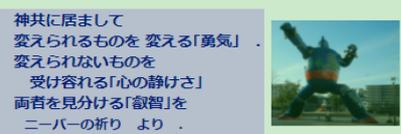
1. 11月から12月へ 深まりゆく秋 コロナ禍の中 遅れに遅れた神戸の秋廻りです
緊急事態宣言解除と共に With コロナ・ポストコロナの新年への動きも急加速
国家の未来が危ぶれない今の政治 小林鷹之氏の提議(2019年3月)を今一度かみしめよう
日本は戦地もいゆでガエルは雄 カエルはいずれ進み上がる
2. 毎年おこなわれる奥高松の風物詩 瀬川のコスモス畑 2021.10.18.
加古川邸洋 赤い花の朝 コスモス畑を中心に、瀬川が流れる里の秋を彩る
3. 楽しみに見ていたNHK 毎朝の連続小説「おたくろも」が10月末で完結
神戸新聞のコラム「正平朝」にも取り上げられました 11月の掲載が寂しくなるなあ・・・
4. オリックスパファローズ パリーグ 優勝 おめでとう!!
25年SPINDELリーグ優勝は神戸神戸で
5. 神戸新聞 柱文珍の雑談的読者投稿 コロナ禍の中で ほっと一息
6. ポストコロナの新年の機軸が決まっています 我々一人一人は 何をすべきなのでしょう?
気になった11月の新聞・インターネット記事より
7. 横濱山 山道を爽やかに歩いて秋の季節感 2021 秋の秋送り 2021.11.11.
今年はコロナ禍の中 友を想い浮かべて 想いはひとしお
11月の半ば横濱山山道にノジキの花が咲きだすと丘に登り、
逝ってしまった料理 先輩諸氏 知人を思い浮かべつつ、友を想んでいっときを過ごす
◎ 12月 深まりゆく秋 掲載トピックス



2021年総括 コロナ禍の中で home page 和鉄の道・Iron Road を振り返って



困難の中に居られる方々にエールを!!
日々新た 今できることを 精一杯 無理せずゆっくと
いつも 思いをさせています。
「忘れまい 忘れないで 仲間がいる
暖かい希望の輪が繋がっていることを」



Merry Christmas!! 2021
2 あんなでスクラム組んで コロナ収束まで もうひとふんばり
みんなの 笑顔が取り戻せるよう 明日への思いを託して
和鉄の道 HP お付き合いありがとうございます。来年もよろしく
God be with You!! も口癖に ポストコロナ 激動の変革の時代へ
来年が平和で穏やかな年でありますよう 祈っています

神共に居まして
変えられるものを 変える「勇気」
変えられないものを
受け容れる「心の静けさ」
両者を見分ける「叡智」を
ニーバーの祈りより .

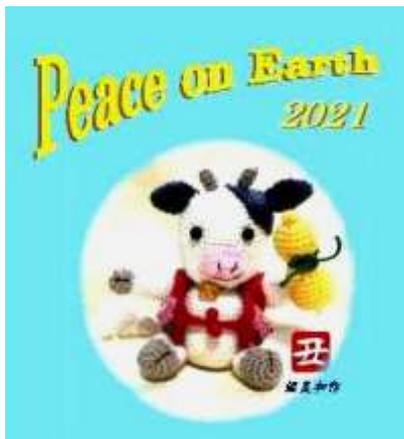
God be With you !!
from Kobe Mutsu Nakanishi

【Monthly Page 1月 年賀 2021年 迎春 年の初めに】

◎和鉄の故郷 鉄の惑星地球 2020年を振り返りつつ 新しい年に思いをはせて



大晦日の早朝 一面銀世界 東の高取山の頂上には 光輝く太陽一日早いのですが、新しい年を迎える贈り物かと



新型コロナが終息し、
明るく穏やかな年となりますよう
God be with You!!

From Kobe Mutsu Makosishi

新しい年を迎え、コロナ終息へ向けて もうひと頑張り
みんながみんな笑顔で暮らせる日が取り戻せますよう願っています。

また一年 よろしくお祈りします

まだ見通せぬコロナ禍の中で 新しい年に思いをはせて
笑顔が取り戻せるよう 明日への思いを託して みんなでスクラム組んでがんばろう!

2021年和鉄の故郷 Iron Road 未だ収束が見通せぬコロナ禍の中で



美しい鉄の花 神代鉄の輝き 現代製鉄 家礼製鋼の輝き 炒鋼法



鉄のまばゆい輝きに輝きを添え
東期高炉で迎える新時代 日々新進
鋼は一つ 平和で穏やかな暮らし

和鉄の故郷 Iron Road
鉄山と製鉄
鳥根 日ノ俣たたら
山口 台漕たたら



地球46億年 「鉄」が幾多の困難を切り開き、今の時代へと続いている。
鉄の惑星地球の上で 幾多の生物とともに生命をつないできた我々
必ずや「鉄」が窮地を乗り越える道を示してくれるだろうと。
「鉄鋼は剛柔にして、時に応じて態を変える。先人の知恵に学べ」「歴史・時代の流れをみよ」と
鉄屋の負け惜しみかもしれませんが、教えられました。。

鉄の黒光りとまばゆい輝き 「鉄の肌光と閃光」
炒鋼の美しい輝きにも魅せられ、俺たちも頑張ろうと

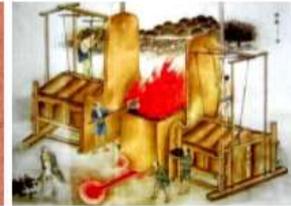
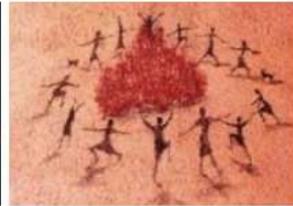
私になにを思ってきたか それがいまの私をつくっている
あなたがなにを考えてきたか それがいまのあなたそのもの
世界はみんなのところで決まる 世界はみんなのところで変わる
谷川俊太郎 「こころの色」より

◎和鉄の故郷 鉄の惑星地球 2020年を振り返りつつ 新しい年に思いをはせて

2020年 home page 和鉄の道・Iron Road を振り返りつつ

コロナ禍の中 新しい年に思いをはせて

- [鉄の花 中国・漢の炒鋼炉復元操業](#) 降り注ぐ火花の中で鑄鉄鉄が強靱な鋼に変化してゆく
- [「他人を思いやる心」そんな視点にも 思いをはせてほしい](#)
「ヒューマン」だけが有する行動機能「本能」と「表情・心」
- [地球誕生から約 46 億年 鉄の歴史と役割にびっくり](#)
- [南極氷の下のタイムカプセル 地球 35 億年前現生物の起源に 原始地球の絶景](#)
- [「鉄が海を豊かにする - 鉄鋼スラグ 海に栄養 コンブ復活 効果てきめん」](#)



「鉄の惑星 地球」& 「ヒューマン」

絶滅を繰り返してきた多くの生物の中で 人類が生き延びてきた唯一の道が

人類だけが持ち合わせた「相手を思う心」

過酷な今の時代に人々が忘れ捨てようとしていることが、唯一人類が生き延びてきた道。

過酷なコロナ禍の中で人類が命をつないできた道と広く伝えたい

コロナ禍で壊れた社会の再建に こんな視点が無視されぬよう声を上げねば……と。

「鉄の惑星地球」

産業の側面ばかりでなく、時代時代の中で人の営みに欠かせなかった「鉄」

地球が「鉄の惑星」と呼ばれ、また、「もし、地球に鉄がなかったなら、現存する生物は何一つ

生き延びてこられなかった」ことなど、忘れられがちなそんな視点で記事を掘り起してみたい。

新しい時代感がみえるかも。

また、重厚長大から情報・通信への時代変化と共に産業・社会を支えた鉄の影が随分薄くなっている。

でも、このポストコロナの新しい時代に必ずや鉄は新しい顔を見せ、新しい産業を生むに違いないと期待している。

そんな鉄の姿も追ってみたい。

home page 「Iron Road・和鉄の道」に終止を打つことも視野に入れながら実現出ませんでした。

色々考えたコロナ禍の中での一年でした。本当に有難うございました。

本年も引き続き、ご指導のほどお願いします。何はともあれ、近々の課題 早く収束の出口を見たい。

ワクチン開発が今一つ希望の出口。これもみんなに行き渡るようにと期待しています。

勝手なことをぶつぶつ 他意なく、好奇心のみ。もともと我慢が苦手。ますますわがままに。

心せねば……と。

「変えよう 変わろう でも変えてはならぬこともしっかりと」

健康でいることに感謝しつつ、知恵と判断力と行動力そして好奇心

この思いを失わぬようと。

とりとめもないことばかりですが、気持ちだけは前向いと。

また、困難の中にある仲間思いを馳せつつ エールを送ります

仲間がいる 仲間の元気はみんなの応援歌

みんなでスクラム組んで 元気に今を

God Be With You!!

2021.1.1. 新しい年に思いをはせて

From Kobe Mutsu Nakanishi



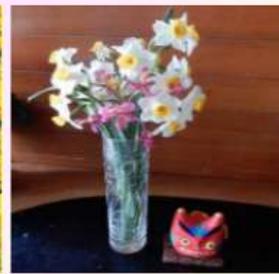
大阪湾岸遠望 神戸の市街地の向こう 南北に長くのびる生駒山を背に 2021.1.6.夕 大阪湾岸に広がる大阪の港・街遠望



1. 春の足音2月 春迎え 春はもうすぐそこに
2. 節分の鬼に思いを馳せて 災い滅い 「福は内 鬼も内」
3. 春 鬼の話題 お酒「鬼殺し」そのいわれは...
4. 脱炭素社会のキーワード CO2を出さぬエネルギー水素
掛け声ばかりで具体策を細解けぬ日本 またそろ 外国頼み?
(fkoberR0302.pdf)



2021 早春2月 春迎え
春の足音 もうすぐ 春ですね
梅の花・菜の花 そして サクラソウ
春の草花が咲き始めました



コロナの禍 終息はまだ道半ば でも 春迎え 春はもうすぐそこに
人類の危機「自分だけは・・・」は通用せぬ「明日は我が身」の厳しい現実
みんなでスクラム組んで がんばろう!
笑顔を取り戻せるよう 明日への思いを託して



仲間がいる 仲間の元気を活力に!!
お互い 無理せず元気に前向いて
今日も一日 Good Day
多くの人にささえられながらも
元気に過ごしています本当に感謝です
まだ好奇心もある 我が身の健康に感謝しつつ、
また一年前向いて
お互いスクラム組んで 老いを笑顔で



1. 春の足音 2月 春迎え 春はもうすぐそこに

澄み渡る須磨の空 神戸の街・大阪湾がくっきりと
庭先には春の草花 そして梅の花も咲きだして、待ち焦がれた春が
もうすぐそこまで。でも街には いまだコロナ禍の猛威が終息せず、
緊急自体宣言発令中。

コロナ終息はみんなの願い

「3密」自己行動規制の神戸籠りが続く。

感染のスピードは収まりつつあるものの予断許さず。

希望の光 ワクチン投与の準備も始まりましたが高齢者感染・医療
崩壊の切迫した状態は継続中。なにはともあれ、頑張りぬいて収束
の出口へ高齢者には厳しい状況ですが 体調変化に留意して、我が
身を守りましょう。また今は我慢せず 声を上げよう!!

ホッと一息したいのですが、もう少し

お互いスクラム組んで前向いて

もうすぐ春 神戸の春の足音を届けます

老化・病気・暮らしなど困難に直面している知人・仲間

そして多くの人たちへ。いつも 思いをはせています。

「忘れまい 忘れないで 仲間がいることを」

仲間がいる 仲間の元気はみんなの応援歌

みんなでスクラム組んで 元気に今を God Be With You!!

2020.2月 from Kobe by Mutsu Nakanishi

■【スライド動画】2021 春の足音

須磨離宮梅林で 春はもうすぐそこに

<https://www.infokkna.com/ironroad/2021htm/walk18/R0302harunoashioto00.htm>



水ぬるむ須磨の海に須磨名産 須磨海苔の茂

まもなく 船が横付けされて 摘み取りが始まる

春を呼ぶイカナゴ 今年も大不漁だというのがどうだろうか

須磨の海もどんどん変化しているようだ

2. 節分の鬼に思いを馳せて 災い祓い「福は内 鬼も内」



節分の鬼に思いを馳せて
福は内 鬼も内

1. 春迎え「福は内 鬼も内」
2. 神戸の鬼・仲間の鬼

みんなが明るく平和に暮らすことができますように、また数多くの災いが早く収束し、災いの中にある人達に、手が差し伸べられますように、



コロナ禍緊急事態宣言 神戸籠りの中、多くの節分行事も中止。頭もやもやパタパタして、節分のレポート作れず。
でもコロナ禍の中での激動の新時代 激甚災害を起こす気候変動・地球温暖化も気になる。

平和な暮らしを願わずにはおられない。

やっぱり2月のページに節分の鬼がないと気になって home page の座りが悪い。

新しいページを付け加えられませんでした。節分の鬼・鬼にされたたら衆たちに思いを馳せてもらいたいと
今年も以前に掲載した「節分の鬼」の記事を転記掲載させていただきました。

2021 四季折々 Monthly 目次 mutsu2021.pdf

Home page 更新時の top page Monthly page を集めて収録しています 神戸便り [20]

■ 四季折々 Monthly page 2021

年賀	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

1月 年賀 2021年 迎春 年の初めに 2020年を振り返りつつ 新しい年に思いをはせて



2021 2月 春迎え 春の足音



1. 春の足音 2月 春迎え 春はもうすぐそこに
2. 節分の鬼に思いを馳せて 災い嫌い 「福は内 鬼も内」
3. 春 鬼の話題 お酒「鬼殺し」そのいわれは…
4. 脱炭素社会のキーワード CO2 を出さぬエネルギー水素 掛け声ばかりで具体策を紐解けぬ日本 またそろ 外国頼み? (fkoberF0302.pdf)



弥生 3月 春の訪れ 元気出してゆこう



2021 弥生3月 春の訪れ
きらきら光る須磨の海
心配されたいかなご新子漁も始まった
梅の花・菜の花 そして サクラソウ
野鳥たちも訪れ、華やく春に
マスクをはずして戶外へとびだした〜い



1. 西神戸に春を呼び込む いかなご新子漁 3月6日解禁! 釘煮・新子の釜揚げでうれしい一杯 昨年ほどではないが不漁 どうなりますやら
 2. 須磨の春 きらきら輝く海 梅や菜の花の香りに 胸一杯春の空気を吸い込んで
 3. ラグビーシーズン開幕 声は出せぬが、こぶしをかいっぱい握りしめ、…
 4. ポストコロナへ輝きを取り戻せ日本! その危機感が国境見える 脱炭素社会へ向けて、企業が一斉に水素燃料・脱CO2 排出に舵を切る 日本人の覚悟は韓国よりも強いという偉らざる現実
- ◎ トピックス



4月 春爛漫 神戸の春 桜便り



1. 2021 4月 春爛漫 神戸の春 桜便り
■4月4日 イースター
■春 4月春爛漫 周りの山は芽吹 里では桜満開 新生の息吹
ポストコロナの新時代へ 気分も新た 元気出していきましょう
 2. 春爛漫 神戸の桜便り
■桜のトンネル 板宿 妙法寺川の散歩道 2021.3.27.
■桜並木 柿谷 宇治川の堤 2021.3.27.
 3. 神戸の一本桜 奥平野の「舞桜」今 こんな姿に
 4. タイソノゾク(綱釣草) コマクサ(駒草)のそっくりさん
かつての枝を精一杯広げて舞う立ち姿の復活を期待
また、この空々とした立ち姿もいよいよ 頑張れよと声かけました
 5. ポストコロナの新時代 ポストコロナの社会構築理解のために【2】
脱炭素・水素社会構築 & 新産業創生のための脈動!
- ◎ 今月の掲載記事 トピックス Photo 抜粋



新緑 5月の風 うまい空気を胸いっぱい 厳しい春を前向いて



1. 2021 5月 新緑の便り 5月の風 元気出してゆこう
 2. 神戸便りの春 風来坊の Photo Album 心やすめになれば
ピンクの野原 レンゲ畑 但馬 竹田城下の田圃で 今年も蓬草畑に出会えて幸せ
 3. 神戸便り 毎日 walk の中で ミツバツツジ咲く近隣の西六甲 山スタンプ採取に歩く
 4. ポストコロナの社会構築理解のために【3】
胸に響く「カラフルなドーナツ型バッジ」の正体 こんな取組が引き金に よく知りませんでした
- ◎ 今月のトピックス 掲載した和鉄の道・Iron Road より

1. 春迎え2019 「福は内 鬼も内」

日本各地に伝承されている鬼 鬼にされた愛すべき仲間の鬼たちに思いを寄せて

この季節になると毎度ながら、「鬼」が気になる。

「鬼」は自分たちとは異なる集団を「鬼」として排除してきた遠い昔の名残り。

そんな中に「鬼」とされた古代の製鉄集団もいたという。

「開拓神」となった鬼 在地の衆に災いをもたらすとして退治された鬼。

「災いをもたらす」として恐れられたが接触が続く中で仲間となった鬼もいる。

「いつも一生懸命働きながら 騙されて退治される」そんな「仲間の鬼」が日本各地で語り継がれてきた。

また、災いをもたらす鬼が退治・改心して、神に従う鬼・神の化身となって災いを追い払う鬼もいる。

「鬼は外 福は内」と言いながらも うちでは鬼に感謝し、憎めない。

「地球上に生きとし生けるもの みな共生する仲間」

そんな愛すべき鬼たちに「縄文の心」「日本人の奥深い心情」を見る

日本人の心の原点「共生」が ここでも培われてきたと。

「鬼にされた愛すべき仲間の鬼たち」の鬼伝承やことわざ

- ◎「仲間としての鬼」-鬼にされた だたら製鉄集団- <https://www.infokkna.com/ironroad/2014htm/iron10/1402oni00htm>
- ◎「日本各地の鬼伝説」和鉄の道・Iron Road 掲載リスト <https://www.infokkna.com/ironroad/2013htm/iron9/13iron01listpdf>
- ◎「日本人の心の故郷「縄文」」 <https://www.infokkna.com/ironroad/2015htm/iron11/jomonslidehtm>

一万年も平和で豊かな生活が続いた時代 世界に類のない日本の「縄文」

そのエンジンは「他人を思いやる心」

日本人の心の故郷「縄文」北東北・北海道の縄文遺跡をユネスコ世界遺産に

東北の「鬼」 鬼にされた阿弭流為・アテルイのこと

「あの高嶺 鬼住む誇り 音の瀬音 久遠の賛歌 この大地 燃え立つ命ここは北上」北上市 市民憲章より

■ <http://www.infokkna.com/ironroad/2008htm/walk5/0802oni00.htm> ■

幾度となく訪れた東北の各地で、「蝦夷」と呼ばれた時代の人たちへの強い愛着と近親感に出会って、強烈な印象と新鮮な驚きを受けました。この時期「鬼」の話になるといつも気になる東北の「鬼」。



2. 神戸の鬼・仲間の鬼 photo 収録

何度か紹介してきた神戸の鬼 今も神社・寺の伝統行事として 集落全体が一体となって受け継ぎ守っている。

都市化が随分進む西神戸ですが、観光とは無縁の集落の素朴な伝統行事として守られていることを知ってもらいたくて、まとめて掲載しています。

また、修験道の開祖役の行者により、改心し従った前鬼・後鬼の生駒山の鬼伝承や私の故郷尼崎の大覚寺で毎年節分に演じられる古い壬生狂言の流れをくむ身振り狂言「節分厄払い」も。また、大江山酒吞童子伝説など鬼にまつわる丹後の和鉄の道も日頃 耳にする鬼のイメージとはずいぶん違う心情が鬼の伝統行事を通じて伝わってきます。

◎ 神戸の鬼 & 生駒山の鬼 神や仏の化身となって厄を払う鬼(追儺式・鬼踊り)



神戸の鬼 長田神社 追儺式



神戸の鬼 稲美野寺高茵寺追儺式



神戸の鬼 押部谷高和 性海寺 鬼踊り



生駒山の鬼 髪切り集落 慈光寺の鬼



神戸の鬼 妙法寺 追儺式

◎ 節分豆撒きで追い払われる鬼 & 退治された鬼の伝承



節分の鬼 故郷尼崎の大覚寺では豆を撒いて
鬼を追い払う身振り狂言「節分厄払い」



退治された鬼 大江山の鬼・酒呑童子
たたら衆との関連した伝承か？

この 神戸の鬼・仲間の鬼収録の Photo Album & スライド動画を和鉄の道・Iron Road に収録しています。

<https://www.infokkna.com/ironroad/2021htm/R0302.htm>

3. 春 鬼の話題 お酒「鬼殺し」そのいわれは…

コロナ禍 家籠りの中で、晩酌する機会が多くなりました。 酒屋の店頭やスーパーなどでよく見かけるお酒「鬼ころし」がふと頭に浮かんで・・・

「鬼ころし」とは?????? どうせ「大江山の酒呑童子」伝承のお酒かなあ・・・

でも酒呑童子伝承を調べた時もお酒「鬼殺し」と結び付つけた記憶もない



大江山酒呑童子やったら名産とか特産とかがついているはずだし、伝承地産だとすると大江山のある京都など伝承の残る地はそれほど多くない。時と場所はいろいろで確かでないが、随分多くの違った「鬼ころし」がある。鬼伝承と違ふとなると酒の業界の統一ブランド? でも それでもなさそうだ。ほんまのところどうなんやろか……。私にとっては まあ そんな程度の知識です。

今は老若男女みんな「鬼滅の刃」のブームと聞く。凄い街おこし効果。その聖地が日本各地に生まれ、たたら跡や鍛冶場 刀の展示博物館等々聖地巡りのブームで訪れる人も多いという。「鬼ころし」はこのブームの外らしい。でも いつまた火が付くかも……

お酒「鬼ころし」にも そんな街おこしブームにのれるかもと ちょつと期待半分 興味半分で調べてみました。日本全国 灘や伏見・新潟の酒どころの酒蔵はじめ、北海道から九州まで多くの酒蔵が「鬼ころし」を出している。そうかといって特に値段の高い特別な酒ではなく、紙パックもよく見かけるごく一般の酒である。

どうも「鬼ころし」の名は商標登録もないようだ。

名前の由来は「鬼のように頑強な男でも酔い潰れてしまうほど純度の高い酒」という意味だという。

強い酒・アルコール度数の高い酒・うまくてついつい度を越してしまう酒

それぞれの酒蔵がそんな冠を付ける酒だという。

耳にする昔からの言い伝えて、とてもおいしいお酒を「鬼が飲んでも酔いつぶれてしまうほどおいしい酒」。

「鬼」の名を冠することで強いインパクトを与えるために各地でこの名が使われてきたようだ。

私は銘柄にこだわる呑み助でもなく、こだわりもないので、よくわかりませんが、

印象的には何か 酒の甘い・辛いやアルコール度等々のこだわりがあるのかもしれない。

また、「鬼ころし」のある地に行けば、地方にうずもれている民間伝承にであえるかも……。

2月 何かと「鬼」が話題になる季節 鬼を肴に飲みすぎないように……

「福は内 鬼も内」 2020.2.1. From Kobe Mutsu Nakanishi

壱岐の「鬼凧」につながった鬼伝承「百合若大臣」の鬼退治以外に九州の鬼伝承について調べた記事ないのに気が付いて、少し調べてみよう。古代 阿蘇と高千穂の「鬼八」伝承や福岡の鬼塚伝承などがあるのを知りました。また 鉄との関係などもゆっくり調べて、別途掲載させていただきます

4. 脱炭素社会のキーワード CO₂を出さぬエネルギー水素

■「2050年カーボンニュートラル 政府脱炭素社会を目指す 14重点項目策定」 掛け声ばかりで 具体策を細解かぬ日本 またぞろ外国頼みか?

2050年カーボン ニュートラル 脱炭素社会を目指す 14重点項目策定の目的 洋上風力・電動車に本腰、政府50年脱炭素社会へ重点14分野。

インターネットから拾った報道記事より取りまとめ

グリーン成長戦略では温暖化への対応を制約やコストではなく、経済成長の機会と捉え、成長が期待される住宅・建築物産業、ライフスタイル関連産業など14の重要分野ごとに課題や行動計画を示した。

国として可能な限り具体的な見通しを示し、高い目標を掲げて、民間企業が挑戦しやすい環境を作ることで大胆な投資を行い、イノベーションを起こすといった民間企業の前向きな挑戦を全力で支援する。

「2050年カーボンニュートラル」への挑戦を、「経済と環境の好循環」につなげることで、2030年で年額90兆円、2050年で年額190兆円程度の経済効果を見込む。

■ 2050年、電力需要の5~6割を再生エネに

グリーン成長戦略では2050年のカーボンニュートラル達成に向け、電力部門の脱炭素化を大前提とした。

この為 再生可能エネルギーを最大限導入する。

システムを整備し、コストを低減しながら、周辺環境との調和を図りつつ、変動する出力を調整するために蓄電池を活用していくことを踏まえて、洋上風力産業と蓄電池産業を成長戦略として育成していく。

2050年の電力需要は、産業・運輸・家庭部門の電化によって、現状の30~50%増加すると見込むが、

すべての需要を再生可能エネルギーで賄うのは困難とし、発電量に占める再生可能エネルギーの割合を50年に50~60%とすることとし、今後の議論を深めていくための参考値として設定した。

化石燃料による火力発電については、脱炭素化を実現するため、発電所からCO₂を大気に放散する前に回収して地中などで貯留するCCUS/カーボンリサイクルなどを活用することで、オフセットにすることが求められる。

ただ、化石燃料+CCUSは、既存の火力発電がそのまま使える一方、適地や用途拡大の課題が存在する。

CCUS/カーボンリサイクル実装に向け、技術や適地の開発、用途拡大、コスト低減などに取り組み、

2050年に確立した脱炭素電源として、安全性を大前提に一定規模の活用を目指す原子力と併せて、

発電電力量の約3~4割を賄う案を提示した。



下記に資料がありますので、そちらでご覧ください

<https://www.infokkna.com/ironroad/2021htm/iron17/R0302carbonneutral.pdf>

あまりにもバラ色の水素・水素とさわぎまわる TV や新聞等の報道に何か通信・IT 業界とおなじく、政府の 企業誘導の匂いを感じました。

またかつて身を置いた鉄鋼業界に思いをはせながら、インターネットの掲載記事を拾って 今自分の感じていることをまとめました。

まだまだ知識不足の点もありますが、コロナ禍の後の大変革 技術イノベーションにつながる道だと取りまとめました。

知識不足 理解不足など論点もおかしいのかもしれませんが許しを

2021.2.1. From Kobe Mutsu Nakanishi

◎ 今月のトピックス

和鉄の道・Iron Road HP の大テーマの一つ 「鉄の起源」& 鉄の日本伝来へつながる「鉄のユーラシア大陸東遷の道」についての記録採録とともに2020版和鉄の道・Iron Road 収録ができました。

<p>和鉄の道・Iron Road 2020(1)</p> <p>bookiron2020(1).pdf</p> <p>[58MB・212P]</p> <p>【2020和鉄の道 掲載概要】</p> <p>日本の源流・たたら遺跡探訪 ◀和鉄の道 2020年掲載リスト▶</p>	<p>和鉄の道・Iron Road 2020(2) 鉄 東遷の道</p> <p>bookEurasiaIRONROAD.pdf</p> <p>[29MB・298P]</p> <p>【2020和鉄の道 掲載概要】</p> <p>鉄の起源・ユーラシア大陸東遷の道</p>	<p>風来坊・Country Walk 2020</p> <p>bookWalk2020.pdf</p> <p>[24MB・121P]</p> <p>【2020風来坊 掲載概要】</p> <p>聖歩き・山歩き・街歩き ◀風来坊 2020年掲載リスト▶</p>	<p>四季折々・from Kobe 2020</p> <p>bookmutsu2020.pdf</p> <p>[12MB・89P]</p> <p>【2020四季折々From Kobe 掲載概要】</p> <p>四季折々・思いつくままFrom Kobe ◀四季折々 2020年掲載リスト▶</p>
<p>和鉄の道 2020 は大容量なので下記の通り2分冊にわけています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■総合版 和鉄の道 2020 鉄のユーラシア大陸東遷の道 [83MB・465P] bookiron2020.pdf ■和鉄の道 2020(1) [58MB・212P] bookiron2020(1).pdf ■和鉄の道 2020(2) 鉄のユーラシア大陸東遷の道 [29MB・298P] bookEurasiaIRONROAD.pdf 			

そして、もう労働人口の30%近い多数の非正規労働やシングル家族・フリーランス・そしてアルバイトの学生たち等々多数多くの国の平均所得が大きく伸びるこの10年、日本のみが所得が伸びず、韓国・盗難アジアにも抜かれるありさま。大阪難波の外国日本訪問者のすごい人の群れに うすうす感じていたことの現実 ショックでした。
現実[はあまりにも厳しすぎる](#) [あまりスポットが当たらぬ人たちの現実にも目を向けよう](#)

勝手な愚痴かもしれませんが、政治・掲載を引っ張る老獪リーダーたちのだらしなさ。
コロナ禍がもたらした個々の対応の厳しさ。人任せにはできぬ現実にはと気が付き、いい勉強になり、身の引き締まる思いです。

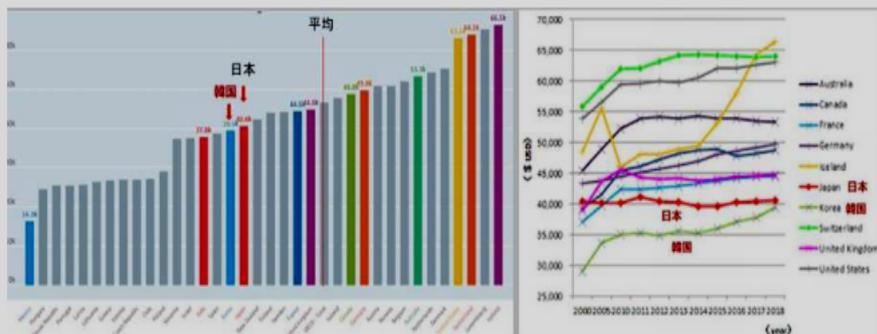
情報過多の中で 何一つ現実直視をせぬ年寄りリーダーたち 相互寄りかかり志向ではどうにもならぬ。
もう「干上がってしまう」 そんな日が迫っていると。
でも 幾多の困難を乗り越えてきた日本の底力 これからの新時代をリードする若い力に期待一杯です。

厳しい時代を生き抜くすべを みんなで出し合って。
おりしもそんな力で乗り切ってきた2つの大地震 1.17. 3.11.の記念日が迫っている
もう後ろから寿命を考える年になっていますが、がんばらねばと、
神戸の片隅から.....

ぬるま湯日本のつけ? すでに日本は富んだ国ではない 日本人の賃金は韓国よりも低い

日本の現状は極めて厳しく、この課題取組によるイノベーションがなければ、先進国から最貧国に落ちぶれる危機に瀕しているのが今の日本の国情。それを示すデータがある。

2018年 世界各国年収比較図(左)と各国のここ10年平均賃金推移比較(右)



主要先進国の中で、この10年全く平均賃金が上がっていないのは日本のみ。
韓国にも平均賃金で追い抜かれているとの事実がある。
好景気 好景気と言われながら、全く実感はなく、なにか国際競争力維持のためと思い込まされてきたらしいがある。

まだまだ 好奇心もある。
お互い 気力をふりしぼって、
この厳しいポストコロナの時代を前向いて。
よろしくおねがいます。
いつも勝手な神戸からの便り お許ください。
God be with You!!
元気に出会える日を楽しみにしています。
From Kobe Mutsu Nakanishi



仲間の元気は みんなの応援歌!! 頑張りすぎず、時には声をあげて!!
お互いスクラム組んで 助け合ってこの難局を乗り越えましょう
ワクチン接種も済ませましたが、まだまだ収束は道半ば
まだまだ厳しい自己節制の日々が続きますが、どうか 無理せず、
元気に前向いてお過ごしください
また連絡ください God Be With You!!

2021年の From Kobe を読み返しつつ。
From Kobe Mutsu Nakanishi

コロナ禍の中での厳しい時代 スクラム組んでこの危機をのりこえよう!!
また、神戸籠りの中 四季折々 周りの景色の変化が心を慰めてくれました

愛媛大学の「鉄の起源・鉄のユーラシア大陸東遷の道探求プロジェクト」成果報告シンポに聴講参加させていただき、その聴講記録を整理収集して、今回 和鉄の道・Iron Road に採録させていただき、うれしい記録ができました。下記に収録リンクリストを掲載しています。

<https://www.infokkna.com/ironroad/2021htm/R0302.htm>

◎ 後記 2020 年和鉄の道をふりかえりつつ

コロナ禍がいまだ終息せず、神戸籠りの中で始まった令和3年のはじまり。

年の初めからはじめた2020年版和鉄の道の合本電子ブック化とインターネットファイルの整理。

1. 近年のwebブラウザの一変化 (internet explorer から Edge ・ google Chrome へ)
2. PC とスマホの両方である程度閲覧できるファイル構成等々

とくに収録ファイルリストについてのチェックとインターネットファイルの修正に時間がかかり、戸惑いながらも一応完了。なんとかスマホでも読める文章スタイルでファイル呼び出しができるように整理できました。

◎ 2020 年版電子ブックの作成

眺めてみるとコロナに振り回された1年 繰り返しの羅列とデジカメ写真アルバムだけのものになってしまいました。私にとっては喜寿になった年& 金婚の記念の年 また孫たちもそれぞれ 新しい出発をした思い出がいっぱい。ほんとうにいろいろあったなあ・・・と感慨深い1年の記録です。来年は喜寿になります。

約20年つづけてきた和鉄の道・風来坊・四季折々 From Kobe.

自己中の記録ですが、多くの人たちや仲間に世話になりながらの約20年間の自分史みたいな財産に。

◎わたしのライフワーク和鉄の道・日本の源流の探求も約10数年にわたり愛媛大村上教授らの研究成果報告シンポに聴講参加させていただき、聴講集成「鉄のユーラシア大陸東遷の道」としてまとめることができ、私にとっても大きな財産になりました。

◎時代感を強く意識することの重要性を学んだ一年

コロナ禍のなかで 日本の社会・経済・政治が 良くも悪くもコロナ終息後 大きく変わると感じた一年。今のままでは日本沈没に。

若い人たちの手で新しい事態が始まり、この令和の新しい時代感が構築されてゆくことの期待を大きく意識した一年。これから 直視していきたいと。

自己中の自己中の水行末、雲来末、風来末評価 お許しください。皆様の何かのお役に立てば。

何はともあれ、コロナ終息が みんな一番の願い

どうか 今までと同様に行動自己節制しつつ、

我が身をお守りください。ありがとう ございます。

コロナ禍の中ですが、孫たちもそれぞれすくすくと成長いつもお世話になりありがとうございます

新しい時代を前向いて 心もあらた
老化そして終活が頭をよぎる歳に
でも 好奇心さえあれば…と 奮い立たせて
毎日 勝手気ままな風来坊です
また、"元気やそ!!"と笑顔を送ってくれた仲間もいる。
厳しい日々と察しつつ、またの再会を。

お互い無理せず元気に!!
忘れない 忘れまい みんな仲間がいる
我が道をしっかりと God be with You!!
home page のBGMに耳を傾けながら
From Kobe Mutsu Nakanishi



老化・病気・介護などの困難とみんながむきあう新時代
いつも困難の中にある仲間にも思いをはせています
仲間の笑顔を活かす!! スクラム組んで 今を元気に!!

2021.2.5. from Kobe Mutsu Nakanishi



2022年 1月24日作成



春の訪れ 陽光にキラキラ光る須磨の海 2021.2.16.



1. 西神戸に春を呼び込む いかなご新子漁 3月6日解禁
釘煮・新子の釜揚げでうれしい一杯 昨年ほどではないが不漁 どうなりますやら
 2. 須磨の春
真っ青な空にきらきら輝く海 梅や菜の花の香りに 胸一杯春の空気を吸い込んで 気分も新た コロナを力いっぱい吹き飛ばせと
 3. 待ちに待ったラグビーシーズン開幕
カとカのみつかり合い、声は出せぬが、こぶしを力いっぱい握りしめ……
 4. ポストコロナへ輝きを取り戻せ日本! その危機感が垣間見える
脱炭素社会へ向けて、企業が一斉に水素燃料・脱CO2 排出に舵を切る
日本人の賞金は韓国よりも低いという侮らざる現実
- ◎ トピックス



コロナ禍が始まって一年余りやっと終息の兆し みんながよく頑張った証 でももう少し がんばらねば……
でも 青い空にキラキラ光る海 山は芽吹いて 梅の香り
丘一面を黄色に染める菜の花の運動公園では開幕を告げるラグビー 子供たちや歓声が風に乗って聞こえてくる
不漁と言われた今年のいかなご新子漁も無事始まって西神戸に春
浮かれてはられないが、西神戸にうれしい春の到来

マスクをはずして おいしい空気を胸一杯 戸外へとびだした〜い でも もう少し
もうお難さん済んで、梅・菜の花からサクラへ 気は焦れども頭回らず 遅れに遅れた春便りです
コロナ終息 新しい時代への希望・期待
みんな笑顔がとりもどせますよう 今一度スクラム組んで

1. 西神戸に春を呼び込む いかなご新子漁 3月6日解禁

釘煮・新子の釜揚げでうれしい一杯できました 昨年ほどではないが不漁 どうなりますやら



私の住む西神戸須磨・垂水・長田界隈では3月になるとみんな いかなごの情報集めにみんなぞわぞわ。昨年はずいぶん口にいらす。今年も不漁という。3月6日解禁というが、今年はどうだろうか……。3月6日いかなご解禁日



「今年も高くて手が出ないと思うけど、様子見に板宿へいってくるわ。どうせ長い行列。今日は買わない」と朝から出かけた家内。2時間もせんうちに眼を輝かせて「ハブニングや」と目を輝かせて家内が返ってきた。

「行列のない店にこんなきれいな新子が並んでいた。播磨灘家島坊勢のいかなごやそうや。待っている孫の顔にえい!! と。ちょっと高いが、孫たちの分だけ買っちゃれ!! 2kg 買って来た」と。「俺の分は???'という「ない」という。「せめて今日は新子窯揚げで一杯・・・」と釜揚げにする分を少し確保。家内は知人といかなご情報のメール・電話を楽しみながら、早速釘煮の準備にかかる。家の中一杯にいかなごの釘煮のにおいが漂い、晴れ晴れ 生き生きとした家内の姿に春到来。「どこでも こんな会話やりながら、いかなごの春到来をたのしんでいるやろなあ」家内と釘煮と新子釜揚げを肴に待ちかねた一杯を楽しみましたかつては知人や仲間たちにもおすそ分け便したのですが、残念ながらお許しを。明日 孫のところへ持って行って、これで今年のいかなごは終了。でも うれしい春の到来です。

2. しあわせ運ぶ須磨の春

コロナ感染もやっと何とか収束の兆し真っ青な空にきらきら輝く海

梅や菜の花の香りに 胸一杯春の空気を吸い込んで気分も新た コロナを力いっぱい吹き飛ばせと。



早春心地よい風に乗って、ほのかに香る梅の花も また須磨の春には欠かせない



丘一面を黄色に染める菜の花は一遍にみんなを明るくする 春の幸せ

丘の向こうではトップリーグラグビーの試合も始まった。菜の花に埋まって写真を撮る家族 高齢のカップルも……
神戸に春到来 ホームページには丘をまっ黄色にする菜の花畑もまた欠かせない。

「はるか遠くを感じる水ぬるむ海 浜にはほのかに梅の香り」そして「黄色い菜の花の丘」
毎年春到来を明るく同じアングルの写真、でも なんとなくほっとして 気持ちを明るくしてくれる
春到来のぬくもりです

3. 待ちに待ったラグビーシーズン開幕

力と力のぶつかり合い。声は出せぬが、こぶしを力いっぱい握りしめ……



力と力がぶつかりあう↓
この姿が見たかった↓
声は出せぬが、↓
こぶしを力いっぱい握りしめ↓
2021.2.28.↓
神戸ユニバー競技場で↓

4. ポストコロナへ輝きを取り戻せ日本! その危機感が垣間見える



2050年脱炭素カーボンニュートラルを宣言した政府 一機に日本も脱炭素社会に向けての動きが活発に

具体的分野取組のロードマップ・イノベーション技術取組が明確でない打ち上げ花火か?
数値マイルストーンによるチェックの伴わぬお題目・ねばならぬ論ではどうにもならず。
いやというほどコロナ禍で露呈したではないか……

日本人の賃金は韓国よりも低いという偽らざる現実
この10年全く平均賃金が上がっていないのは日本のみ
数字で知ってびっくり。ぬるま湯日本のつけ?

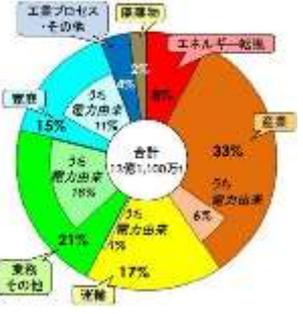
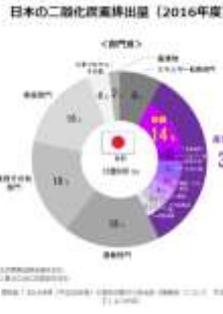
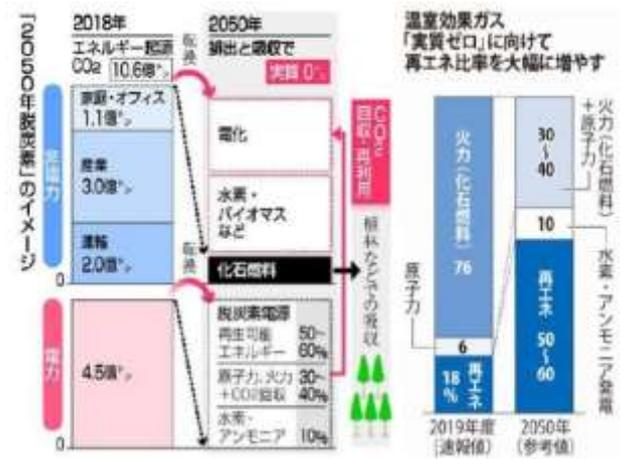
2050年カーボンニュートラル ロードマップ

<https://www.infokkna.com/ironroad/2021htm/iron17/R0302carbonnewtral.pdf>

水素・燃料電池戦略ロードマップ～水素社会実現に向けた産学官のアクションプラン～（全体）

● 基本戦略等も順次目標を達成・実現するため、
 ① 目標年毎のアクションプランを概ね5年ごとの目標（技術的課題）達成に向けて必要な取組を特定
 ② 有識者による評価WGを設け、定期的なフォローアップを実施

技術的課題	目標年毎の主要な取組	主要な産学官の連携取組
水素	2025年 ● FCVとHVの性能差をFCV>HVにする ● FCV主要システムのコストをFCV<HVにする	● 製造的な製造技術の確立
燃料電池	2025年 ● 燃料電池車（FCV）の性能差をFCV>HVにする ● ST積層型燃料電池のコストをFCV<HVにする	● 全国的なFCVネットワーク、土壌改良の拡大 ● カリフォルニア州コンバットプロジェクトの拡大
燃料電池	2025年 ● FCVバス車両の性能差をFCV>HVにする ● FCVバス車両のコストをFCV<HVにする	● FCVバス車両の拡大
燃料電池	2025年 ● 水素燃料電池での発電効率をFCV>HVにする ● FCVバス車両の性能差をFCV>HVにする	● 燃料電池発電機の増設
燃料電池	2025年 ● 家庭・産業用燃料電池のFCVバス車両の増設 ● FCVバス車両の性能差をFCV>HVにする	● FCVバス車両の増設
燃料電池	2025年 ● 家庭・産業用燃料電池のFCVバス車両の増設 ● FCVバス車両の性能差をFCV>HVにする	● FCVバス車両の増設



2050年脱炭素カーボンニュートラルを宣言した政府。一機に日本も脱炭素社会に向けての動きが活発になった。

- ◎水素燃料電池車の販売【自動車】
- ◎海外で褐炭から水素燃料取り出しプロジェクト参加【鉄鋼・ガス・造船・プラント】
- ◎液化水素運搬船進水【NEDO・造船】
- ◎水素燃料によるガスタービンエンジン開発【重工】
- ◎産業界の中でとびぬけて排出量の多い鉄鋼 生き残りをかけた脱炭素取組へ
- ◎水から水素を効率的に製造 反応10倍の触媒開発、京大ほか
- ◎石炭火力への新規投資・建設からの撤退? 等々

コロナ禍の中で、日本の弱体化が嫌というほど見えて、その立て直しには新しい産業の創生が待たなしの事情もある。でも またそろそろ政治家の人気取り丸投げ政策の花火に終わるかもしれぬと。

カーボンニュートラル宣言目標の2050年。

初めて2050年カーボンニュートラルへ向けての数値目標付きロードマップがある取り組みが提示されてはいるが、それを達成する技術イノベーションのロードマップはどのようなのだろうか？ 個々の分野技術イノベーションの積み上げロードマップと全体とが有機的に結びついているのだろうか？ またそろそろ有識者会議だの 検問会会議など一統率力を発揮すべき政府の関与の仕方があいまいに。一番の推進力の頂点があいまいに見える。官僚たちがキャストサポートを確保する知恵なのでしょうか？ それが一番政治をダメにしていると思えるか？

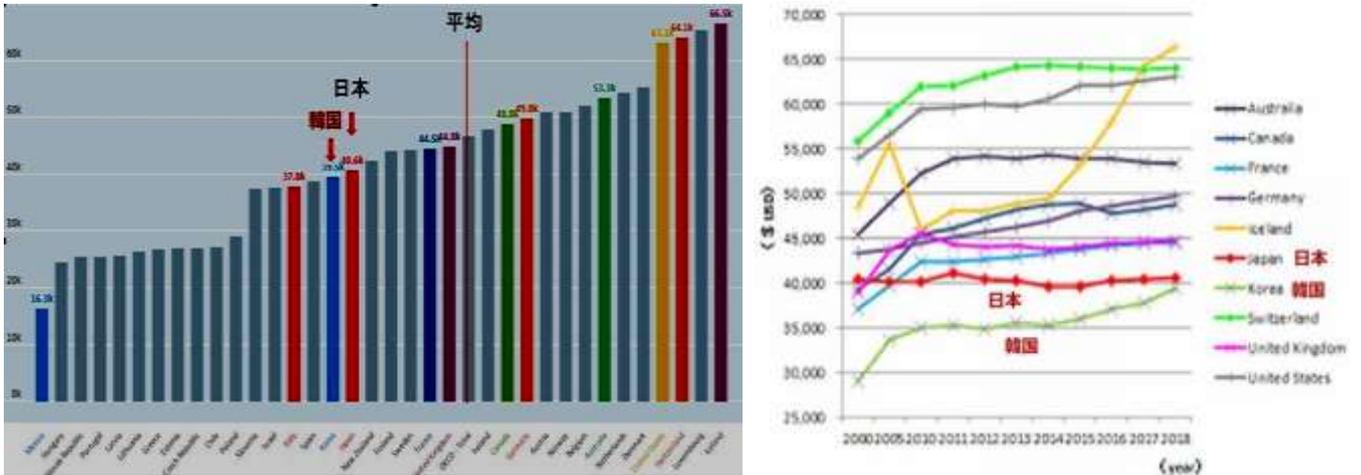
日本の根幹ライフライン 電力エネルギーロードマップにその影を見る

現在の主要エネルギーを供給する原発・石炭火力問題にきっちりとした数値議論をあいまいにしたまま、自然再生エネルギーに転換とされている。高効率の超々臨界圧の石炭ボイラーや原子力を残しつつ、発生炭酸ガス削減は天然ガス混焼やアンモニア・水素燃料等に置き換える一方 残る炭酸ガスは森林他での固定でカバーすると。いかにも総花的で具体的アプローチが提示されていない。ここが崩れば、前の計画が立派でも全体が崩れる。しかもこの分野は日本の地方国土を巻き込む一番むづかしいところ。ボランティアや地方への丸投げでは動かない。事実洋上発電他国内立地では中断しているものが多い。また水素燃料に至っては膨大な必要燃料化するプランすらこれからで、クリアすべき膨大な技術イノベーション・インフラ整備等が山積み。海外立地を含め、過大なリスクを伴う投資も必要となる。それこそ国を挙げての丸投げ、民間主導ではどうにもならず、綱引きやっても進まぬ課題であり、そんな課題がほかにも幾つもある。

とにかく新しい技術イノベーションを明確にし、達大目標達成へ大きな展開過程へ ステップアップした記述がない。
 この主要技術 14 項目各ロードマップの実行指揮官も明確でない。政治家ではどうにもならぬ。
 あの「はやぶさ」プロジェクトに見られた流れに いつ載せられるのだろうか・・・・・・・・・・・・・・・・・・
 でも 楽しみでもあり、開発プロジェクトのだいご味 応援したいと切に思う。

ぬるま湯日本のつけ? すでに日本は富んだ国ではない 日本人の賃金は韓国よりも低い

日本の現状は極めて厳しく、この課題取組によるイノベーションがなければ、先進国から最貧国に落ちぶれる危機に瀕しているのが今の日本の国情。それを示すデータがある。



2018年 世界各国年収比較図(左)と各国のここ10年平均賃金推移比較(右)

主要先進国の中で、この10年全く平均賃金が上がっていないのは日本のみ。韓国にも平均賃金で追い抜かれていくとの事実がある。好景気 好景気と言われながら、全く実感はなく、なにか国際競争力維持のためと思込まされてきたきらいがある。2018年の年収データ図では、日本は発展途上国も含め世界的にみると給料の高い国ですが、先進国の中では給料の少ない国だと言える。

この図ではまだ韓国の平均賃金より日本が少し上回っている図になっていますが、平均賃金ですでに韓国以下。2019年における日本人の平均賃金(年収)は3万8617ドル、米国は6万5836ドル、ドイツは5万3638ドルと大きな差。それだけではない。かつては途上国というイメージが強かった韓国ですら、4万2285ドルとすでに日本を追い抜いている。日本人の賃金は米国の6割程度しかなく、韓国よりも低いというのが偽らざる現実である。大阪の難波周辺を歩くアジアの観光客の群れを見ていて、日本の方が富んでるとはとても思えず、不思議がっていたのですが、これが今の現実。

またこの10年の平均賃金推移をみると先進主要国の中で、唯一日本だけが全く平均賃金が上がっていない。好景気 好景気が持続と言いながらである。これも思い当たる節がある。この10年働き方改革等ともてはやしながら、モノづくり投資をせず、非正規雇用の拡大がこの図の裏にあるとみる。正規労働者の約1/3に迫る勢いで、非正規労働者が増え、このコロナ禍の中で雇い度目の目にあっている。こんな国は日本だけたという現実。日本は裕福な国というのはもうはるか昔の現実なのだ。コロナ禍で垣間見える疑問がこの数字に端的に表れている。もうかつての富んだ国は幻想 韓国にも抜かれている現実。コロナ禍の経済立て直しと掛け声ばかりの日本。現実新しい成長産業を自らの手で編み出さないとますます日本は最貧国に落ちぶれる危機にある。TVやマスコミがあおる裕福な国でない。

国民みんなが考えること行動することを忘れ、頂点同調に追従してきた結果がこれである。「まさにぬるま湯 日本」出ある。若者型の新しいリーダーが必要な理由もここにある。お題目を並べ「ねばならぬ・べきである」論を振りかざしてもどうにもならない。きっちりとした組立てと着実な実践履行を進める指導者が出ない限り、ますます世界と日本の差は広がるだろう。世界はしっかりとした未来のロードマップをえがき、その中に達成チェックの数値目標マイルストーンを置いて、推進を図ってきた。どんぶり勘定 頂点同調の日本が一番苦手なことである。

このコロナ禍の中で、経済がメチャメチャな今こそ、日本再生するチャンス。低炭素社会到達・カーボンニュートラルの達成はそんな日本再生の取組ととらえたい。モノづくり企業やその周辺ではすでに、その存続の危機感とともにそれを感じ動き始めた。

でも 日本を中心たる政治家・政治 それを取り巻く官僚機構にはその覇気が見えない。いくら大きな声で「宣言・べき論」を打っても世界には響かない。きっちりとした立案 そしてロードマップを持って自ら実践成果に裏付けられた推進が図られなければ絵にかいた餅。2050年カーボンニュートラル宣言と政府脱炭素社会を目指す14重点項目策定だけがお題目として民間任せではそれこそ絵に描いた餅。

それには なんととしても若い発想を持ったニューリーダーの指導性が必要ではないだろうか…。

高度成長期 多くのリーダーが「やってみなはれ みたり 聞いたり ためしたり」と若いリーダーを育て、技術イノベーションの連鎖により、モノづくり革命が進行して日本の繁栄がもたらされたように。

いまこそ 頂点同調・ぬるま湯日本からの脱皮が必要か…。 頑張れ日本。

2021.3月 コロナ禍後の経済再生・脱炭素社会の構築に向けて

2021.3.10. Mutsu Nakanishi

◎ 今月のピックアップ

 [スライド動画] [Photo Album] 山 スタンプ 2021 春 京都 大文字山 スタンプラリー-Walk 2021.2.23.
スマートフォン片手に大文字山を歩く京都大文字山スタンプラリーで「山スタ」獲得
楽しい京都低山歩きをスタンプラリーとともにご紹介



南に伸びる東山連峰の山並 手前が山科 向こう側は京都の街 一番先は稲荷山 久し振りの展望



京都一周トレイル東山 大文字山スタンプラリー 2021.2.22

コース	スタンプ数	備考
大文字山コース	29	稲荷山入口横断
大文字山コース	31	稲荷山入口横断 稲荷山頂上
大文字山コース	45	大文字山頂上
大文字山コース	52-1	大文字山頂上 稲荷山頂上

スマートフォン片手に大文字山を歩く京都大文字山スタンプラリーで「山スタ」獲得
楽しい京都低山歩きをスタンプラリーとともにご紹介

<https://www.infokkna.com/ironroad/2021htm/walk18/R0303KyotoStampRally00.htm>

 **幸せを運ぶ須磨の春 2021 弥生3月 春の訪れ**
きらきら光る須磨の海梅の花・菜の花 そして サクラソウ 野鳥たちも訪れ、華やく春に

コロナ禍の神戸籠り 毎日walk 春が訪れた須磨walkの幸せを動画スライドとPhoto Albumに

■ 弥生3月須磨 春の輝き【1】 ■ 弥生3月須磨 春の輝き【2】 ■ **この春の幸せ 菜の花畑 PDF Photo Album**

満開になった須磨離宮の梅 陽光にキラキラ輝く須磨の海 神戸総合運動公園コスモスの丘で



2021春 幸せの黄色ALBUM

◆ Monthly Page 2021 弥生3月 春の訪れ <https://www.infokkna.com/ironroad/2021htm/R0303.htm>
上記 HP に PDF Album & スライド動画のリンクがあります



老齢の身には厳しい激動の時代 お互い笑顔で 日々新た
今できることを精一杯 無理せずゆっくりと
「まあええか 元気だして行こう」と励まして
心は行ったり来たりですが、好奇心さえあれば・・・

◎ HP3月更新後記

お雛祭りの3月はじめにと思ひながら、やっと弥生3月 春の訪れ春便りをお届けします。

コロナの非常事態宣言も部分解除 ようやく終息の兆しが見えて、明るい3月春の訪れに、

みんなの「3密」行動規制や医療関係者ほかの皆様のおかげで何とか、収束の兆し、ワクチン接種も道がついて、今月はもうできるだけ、コロナの話題はちいさくして、明るい春の話題をと。

真っ青な空 きらきら輝く春の海 待ちらは目の香りがほんのり。丘いつ面を真っ黄色にする菜の花畑。

庭には春の草花の花盛り 水仙・サクラソウ・ポケの花・ネモヒラそしてツタンカーメンのマメも久しぶり 春の草花が

春のスポーツシーズンを近くの運動公園では マスクながらも笑顔の人波やジョギングをする人も増えました。

待ちに待ったラグビー 闘志あふれる力と力のぶつかり合い。これが見たかったと。

うれしい須磨の春を遅れながらもお届け。

そして 何とんでも須磨の春の訪れはいかなこの新子漁。今年も不漁ながらも街に出回って、さあ 春だ。元気出してと。

まだ、コロナとの戦いは続くでしょうが、コロナ禍で一機にみえてきた日本の弱点。

ポストコロナの新時代 社会再生の胎動が始まっています。

大変な時代になりそうですが、 そんな明るい春がつたわれれば・・・

高齢者にとってはなんとも厳しい時代ですが、若者たちに夢を託して・・・

前向いて God be with You!! 頑張りましょう。

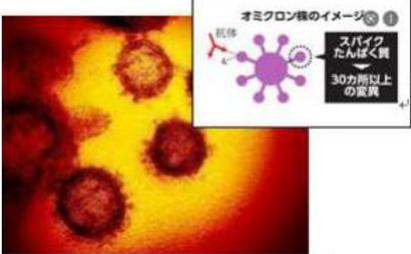
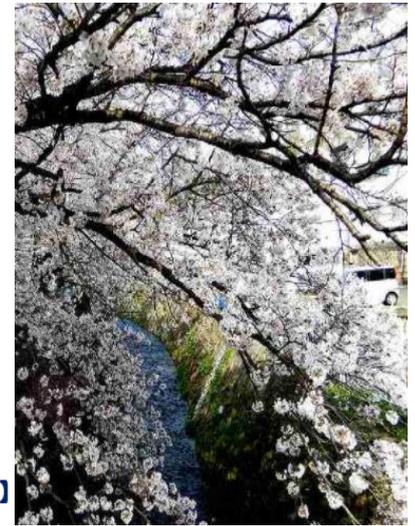
◎自己中の自己中の水行末、雲来末、風来末の風来坊 お許しください。ともあれ、コロナ終息がみんなの一番の願い
どうか 今までと同様に行動自己節制しつつ、我が身をお守りください。 ありがとう ございます。



老化・病気・介護などの困難とみんながむきあう新時代
いつも困難の中にある仲間にも思いをはせています
仲間の笑顔を活かす!! スクラム組んで 今を元気に!!
2021.3.10. from Kobe Mutsu Nakanishi



1. 2021 4月 春爛漫 神戸の春 桜便り
 - 4月4日 イースター
 - 春 4月春爛漫 周りの山は芽吹き 里では桜満開 新生の息吹き 令和3年度の始まり 新しい出会いと出発
 - ポストコロナの新時代へ 気分も新た 元気出していきましょう
 2. 春爛漫 神戸の桜便り
 - 桜のトンネル 板宿 妙法寺川の散歩道 2021.3.27.
 - 桜並木 桶谷 宇治川の堤 2021.3.27.
 3. 神戸の一本桜 奥平野の「舞桜」今 こんな姿にかつての枝を精一杯広げて舞う立ち姿の復活を期待 また、この堂々とした立ち姿もいい 頑張れよと声かけました
 4. タイツノソブ(綱釣草) コマクサ(駒草)のそづりさん うちの庭の片隅に珍しい花を見つけました
 5. ポストコロナの新時代 ポストコロナの社会構築理解のために[2] 脱炭素・水素社会構築 & 新産業創生のための脈動 [2]
- © 今月の掲載記事 トピックス Photo 抜粋



みんなの「3密」行動節制と医療関係者の献身的努力で 収束するかに見えたコロナ禍ですが、一向に収束せぬコロナ 第4波が始まったもう飽き飽きですが、コロナに「かからない・うつさない」マスクと手洗い & 「三密」の行動節制 今少し 頑張りましょう マスクをはずして おいしい空気を胸一杯 戸外へとびだした〜いでも 周りをながめれば 神戸の春がここかしこ コロナ終息 新しい時代への希望・期待に胸膨らませ 気分も新たなみんな笑顔がとりもどせますよう 今一度スクラム組んで God be with You !! 2021.4.7. From Kobe Mutsu Nakanishi

1. 2021 4月 春爛漫 神戸の春 桜便り



■4月4日 イースター ■春4月春爛漫 周りの山は芽吹 里では桜満開 新生の息吹 令和3年度の始まり 新しい出会いと出発 ポストコロナの新時代へ 気分も新た 元気出していきましょう

今年も例年より1週間以上早い桜便り
4月の始まり 入学式にはもうどこも桜は散ってないだろうが、やっぱり桜満開で4月のページを飾りたいと。
3月初め コロナ禍収束にぱっと明るくなった街。待ちゆく人たちがマスク姿ながらなんとなく明るく、待ちゆく学生たちの列にも微笑みが漏れる。
これでコロナ終息かとほっと一息。4月神戸の桜便りで明るく伝えたいと。
野球根ラグビーも町での会食も。仲間と顔を合わして話せるのもうれしいと期待一杯。
でも3月下旬からまた再流行 コロナ第4波が始まり、一機に新しい令和3年度の始まりの期待がしぼんでしまいました。



4月春爛漫 新しい出会いと出発の令和3年新年度の始まり。
でも 明るく元気な桜便りを送って、元気に前向いて頑張りたいと4月4日イースターのカードとともに神戸の桜便りを送ります。本年は3月末に一機に街の桜が咲きだし、散歩道の街角には明るい春の草花 そしてモクレン・こぶしの花の香りがほのかに漂い、ずっと探していた土筆も田圃のあぜで見つけた。
ふと山腹に眼をやるといつの間にモノトーンから変わったのか芽吹いて明るい春色に。そして春爛漫へ。
今年の春はラッキーなことにマスクのおかげが花粉症も軽い。街での会食はまだまならぬが、ワクチン接種もはじまり、ポストコロナ新時代への出発を伝えるニュースも数多く聞かれるようになりました。
高齢者には4月新たな出会いと出発といってももうピンとこない年になりましたが、

元気に前向いて、この春を乗り越えましょう。
みんなお互い連絡取り合って元気に前向いて 笑顔で今を。
また、困難の中にある仲間へ 思いをさせています。
どうか 一人で頑張らず、無理せず 今はみんなに 声あげて!!
仲間がいる。仲間の元気はみんなの応援歌 God be with You!!

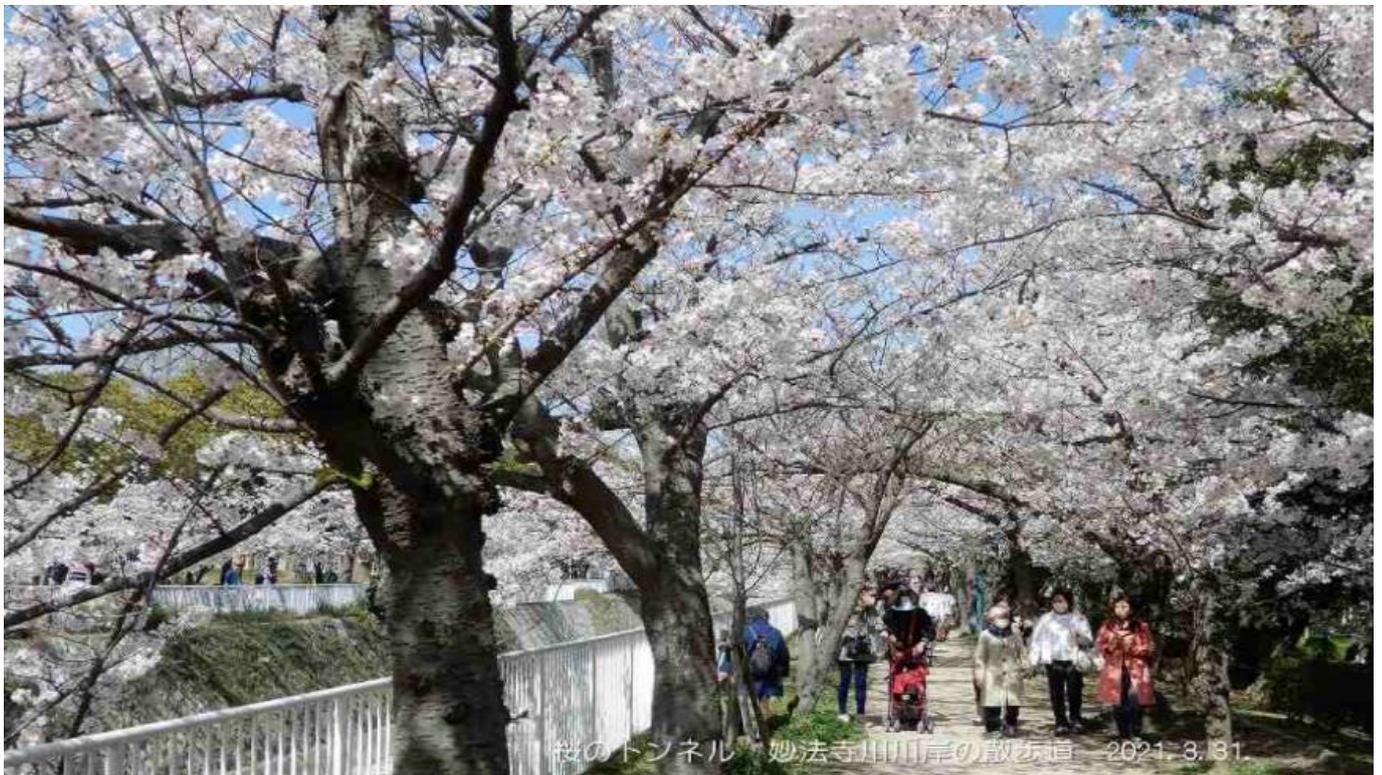
2021.4.1. From Kobe Mutsu Nakanishi



2. 春爛漫 神戸の桜便り 2021.3.27.

桜のトンネル 板宿 妙法寺川の散歩道 & 宇治川 楠谷の堤 桜並木

■桜のトンネル 板宿 妙法寺川の散歩道



■宇治川 楠谷の堤 桜並木 2021.3.27.



3. 神戸の一本桜 奥平野の「舞桜」

水の博物館閉館 これを機会に舞桜も手入れされて今こんな姿に

かつての枝を精一杯広げて舞う立ち姿の復活を期待

また、この堂々とした立ち姿もいい 頑張れよと声かけました



神戸の街の中心部を見下ろす丘の「水の科学館」の南端の崖に立つ一本桜「奥平野の舞桜」

その優美な舞姿を崖の下から見上げるのが好きで毎年必ず会いに行き、仲間にも自慢していた一本桜「奥平野の舞桜」。この丘の東端から南へ 神戸の街中の楠谷を宇治川が流れ出し、その土手にも市民に親しまれる桜並木が続いている。本年水の科学館の老朽化のため本閉館になっているのは知っていたのですが、崖の端に立つ老木で無理がたたって勢いをなくしていたのだろうか？ 崖下まで優美に伸びていた枝も含め、きれいに切りそろえられていて、驚きました。見上げる丘 崖の下まで精一杯枝を伸ばした舞姿が本当に優美で好きだったのですが、今までの舞姿とは雰囲気が違う。空へ枝を歩広げる立ち姿に枝が切りそろえられ、老木の痛々しさは消え、どっしりと立つ姿。これもよし。ポストコロナの新時代の元気な象徴になって、神戸の街を見おろしてほしいなあ。おもわず、がんばれよ！ また来年と。また、今年のイースターカードに「奥平野の舞桜」のかつての舞姿を収めました。



満開の花をつけた枝を精一杯広げ、日本各地で郷を見下ろす一本桜
人それぞれに思い出 桜を眺めるといつも口ずさむ歌がある
◆懐かしい私の応援歌 かつてのTVドラマ主題歌「記念樹」
桜が咲く春毎年同じ動画【郷を見下ろす各地の一本桜】を掲載
この動画とBGMが好きで、私に取ってはこれを見るのも春の息吹 楽しみです
本年はホームページに組み込めませんでした、下記サイトにありますのでどうぞ
元のホームページサイト << かつて訪れたことがある日本各地の一本桜 >>

記念樹 作詞:木下恵司 作曲:木下恵司
桜の苗が 大きく育つ頃
僕らはみんな 大人になるんだ
あいつと こいつ あなだと私
真赤な頬っぺは しているが
白取りのときも 冷たい雪の日も
負けたら駄目だぜ 僕らの夢は
いつでもお前と 仲良しこよし
空までぐんぐん のびてゆく
嬉しきや迎いて 悲しきや笑うんだ
仲間がみんな 見てるじゃないか
それでも泣きや 大きな声で
囁んでみるんだ "母さん" と
冷たい風は 僕らをためすのさ
白い粉雪は 花びらのさ
泣いたら駄目だぜ そまで春が
来てるじゃないか 手をのべて
桜が咲くと いつも懐かしく思い出す歌がある。
馬淵希子さんが主演で、一本桜のある商業学校が舞台のTVドラマ。この懐かしい母親さんと卒業して社会の荒波にもまれる仲間との交流がテーマで、様々な問題を解決した仲間が帰ってきていたと記憶。なぜか、毎年新規にて、涙ぐむことも・・・
歌の名も歌っている人も全く記憶がないのですが、桜の花を見ると、メロディーと歌詞が自然と出てきて、歌えます。なぜか、懐かに懐かしい。


4. タイツリソウ(鯛釣草) コマクサ(駒草)のそっくりさん うちの庭の片隅に珍しい花を見つけました



タイツリ草 花言葉は「従順」
丈夫で育てやすく、ガーデニング初心者でも栽培が簡単だと人気なんだそうだ。。
これ どうみても連なったコマクサ(駒草)???

高山植物の女王「駒草」



タイツリソウ(鯛釣草) 珍しい花が庭でそっと咲いているのを見つけました
ぱっと見た目の印象は高山植物の女王「コマクサ」にそっくり。でもこんなに鈴なりに???.
ハートや釣り竿に鯛が釣れた姿に似ているともいうらしい。
家内が昨年さも立ちにももらったらしい。我が家の庭に初めて登場した春の花。

茎や葉は違うのですが、どうみても高山植物の女王「駒草」駒草の花が行列をなして茎についている。こんな花があるんだと。家内によると「タイツリソウ」というらしい。友人にもらって植えたもので、扱いやすい花。初心者にも人気だという。でも 全く知らず。一説には釣り竿に鯛が幾つもついている姿から名がついたと。またピンクの花がハード型に見える、人気なんだという。でも 私にはどう見てもコマクサ(駒草)。うれしい擬似駒草。我が家の庭で増やそうと。

5. 脱炭素・水素社会構築 & 新産業創生のための脈動【2】

ポストコロナの新時代 ポストコロナの社会構築理解のために【2】



脱炭素社会へ向けて、企業が一斉に水素燃料・脱CO2排出に舵を切る
その危機感が垣間見える ポストコロナへ 輝きを取り戻せ日本

具体的分野取組のロードマップ・イノベーション技術取組が明確でない打ち上げ花火?
数値マイルストーンによるチェックの伴わぬお題目・ねばならぬ論ではどうにもならず。
いやというほどコロナ禍で露呈したではないか……

日本人の賃金は韓国よりも低いという偽らざる現実
この10年全く平均賃金が上がっていないのは日本のみ
数字で知ってびっくり。 めるま湯日本のつけ?

ストコロナ新時代への出発を伝えるニュースがますます数多く聞かれるようになりました。

その中心に脱炭素・水素社会の構築への取組がアナウンスされている。

前月にも取り上げ、ニュースの一旦をご紹介しましたが、騒がれている割には

政治家も産業界も研究機関もなにか乗り遅れまいとの姿が見え見えて、本腰を入れた取り組みとは見えず。

この30年を見据えたポストコロナの屋台骨を支える新しい産業創生の取組に見えず。

私の紹介した資料も何か物足りず上っ面と不安に。もう一度本当にポストコロナの日本の屋台骨になり、新しい日本成長の核としての取組の視点から眺める必要性を感じ、再度 インターネット等からきっちり整理して、全体を眺められる資料採録しました。ちょっと専門的で大部になりましたが、全体像がいつも見られるようにと。自分自身の理解と視点をすっきりしたいのが目的です。皆様にもどこかでお役に立てばと。

[https://www.infokkna.com/ironroad/2021htm/iron17/R0304Carbonnewtral\(2\).pdf](https://www.infokkna.com/ironroad/2021htm/iron17/R0304Carbonnewtral(2).pdf)

参考 ■ポストコロナ 輝きを取り戻せ日本

■ポストコロナ A4版PDF 全257頁 新産業創生 & 脱炭素・水素社会構築の脈動2021【2】

◎ 今月の掲載記事 トピックス

神戸の春 満開の桜と西神戸須磨界隈の春の息吹を Photo Album に



春4月春爛漫 周りの山は芽吹 里では桜満開 新生の息吹き
令和3年度の始まり 新しい出会いと出発
高齢といえども思いは同じ ポストコロナの新時代へ
気分も新た 元気出していきましょう

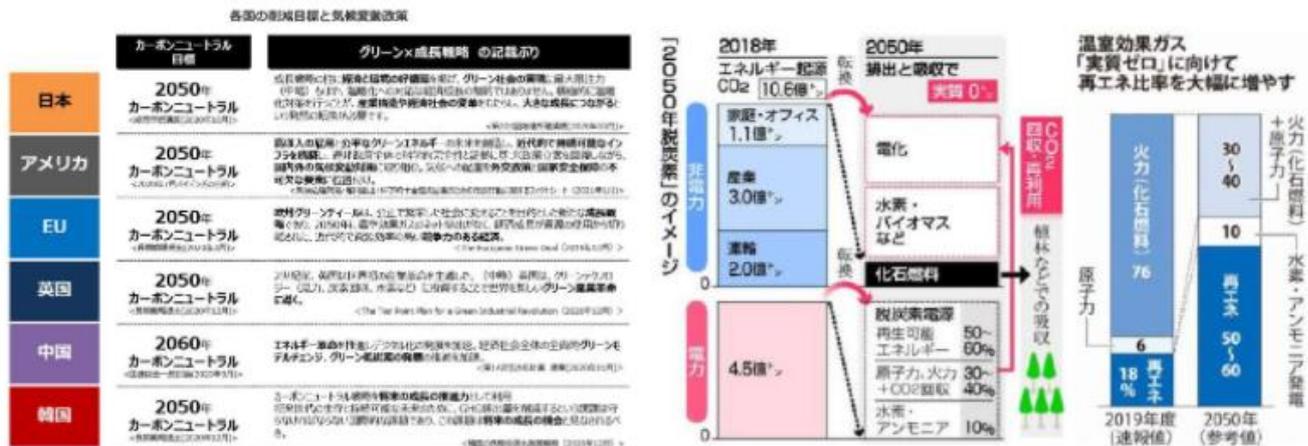


コロナ禍の中で 今何が起きているのか

ポストコロナの新時代 2050年カーボンニュートラル・脱炭素社会構築 理解のために

■ポストコロナ 輝きを取り戻せ日本

■ポストコロナ A4版PDF 全257頁 [新産業創生 & 脱炭素・水素社会構築の脈動2021【2】](#)



- 2050年脱炭素カーボンニュートラル、水素社会構築 理解のために
1. カーボンニュートラルって何ですか？ (動画) ~なぜ日本は実現を目指している？ 2021-03-16
https://www.watshochi.com/about_special/infokkna/carbon_neutral_CO2.html
 - なぜ「カーボンニュートラル」を目指すのか？
 - 「カーボンニュートラル」を実現するとは何か、その意義は？
 - どの程度のCO2を削減するの？
 - どのような技術が開発されているの？
 2. 水素を使った革新的技術で 脱炭素の脱炭素化に挑戦 2018-06-28
https://www.watshochi.com/about_special/infokkna/hydrogen02.html
 - 日本における水素のCO2削減とエネルギー効率
 - 脱炭素化の鍵となるのは、脱炭素に言及される脱炭素化の鍵
 - CO2を削減するために「水素」を利用する
 3. 太陽とCO2で化学反応をつくる「人工光合成」今どこまで進んでいる？ 2021-03-04
https://www.watshochi.com/about_special/infokkna/aihoukou02.html
 - CO2を減らすことで実現する「人工光合成」を解説します
 - 効率80% 7.0%削減、量子効率 100%削減 -世界初のCO2削減装置
 - 実用システムを使った水素製造フィールドテスト
 4. 日本のエネルギー2020 日本のエネルギーを知る 10の疑問
https://www.watshochi.com/about_special/infokkna/energy10.pdf



[https://www.infokkna.com/ironroad/2021htm/iron17/R0304Carbonnewtral\(2\).pdf](https://www.infokkna.com/ironroad/2021htm/iron17/R0304Carbonnewtral(2).pdf)

3月下旬 4月ホームページの準備を始めたのですが、PC・スマホがすべてインターネットに正常に繋がらぬ大トラブル。そしてコロナ禍 第4波の急拡散 4月のホームページ更新をあきらめかけたのですが、こんな時こそこの思いもあって、何とかインターネットへの接続ができるようになったので、遅れましたが4月のホームページ更新できました。久しぶりに歩いた春の馬の背や京都の桜と京都トレイル 狸谷不動さんと瓜生山スタンプ Walk など今でないの思いもあって出かけたのですが、整理できず、次回更新に。またポストコロナの新時代 社会再生の胎動が始まっています。このコロナによる浮き彫りになった日本の厳しい状況。自分なりにいろいろ考えるのですが、From Kobe 4月 今回もきっちりした話まとめられずです。

でも まだまだ元気 好奇心もある
 コロナぶっ飛ばして頑張らねばとの思いも健在。
 周りをなかめれば、神戸の春がここかしこ
 マスクをはずして おいしい空気を胸一杯
 戸外へとびだした〜い

コロナ終息 新しい時代への希望・期待に胸膨らませ
 気分も新た みんな笑顔がとりもどせますよう 今一度スクラム組んで
 大変な時代になりそうですが、 明るい春がたつたれば・・・
 高齢者にとってはなんと厳しい時代ですが、
 前向いて God be with You!! 頑張りましょう。



老化・病気・介護などの困難とみんながむきあう新時代
 いつも困難の中にある仲間にも思いをはせています
 仲間の笑顔を活きに!! スクラム組んで 今を元気に!!
 2021.4.7. from Kobe Mutsu Nakanishi

2021.4.7. From Kobe Mutsu Nakanishi



新緑に包まれて 山は山は芽吹いて 今一番の春景色 吹き来る風も心地よし 2021.4.21. 但馬養父市 氷ノ山麓で

Monthly Page 2021 新緑 5月の風 うまい空気を胸いっぱい 厳しい春を前向いて
神戸籠りの春 風来坊の Photo Album 心やすめになれば



1. 2021 5月 新緑の便り 5月の風 元気出してゆこう
 2. 神戸籠りの春 風来坊の Photo Album 心やすめになれば
ピンクの野原 レンゲ畑 但馬 竹田城下の田圃で 今年も蓬華畑に会えて幸せ
 3. 神戸籠り 毎日 walk の中で ミツバツツジ咲く近隣の西六甲 山スタンプ採取に歩く
 4. ポストコロナの社会構築理解のために【3】
胸に輝く“カラフルなドーナツ型バッジ”の正体 こんな取組が引き金によく知れませんでした。
- 📌 今月のトピックス 掲載した和鉄の道・Iron Road より



菊水山から眺める西六甲縦断の山々から明石海峡・淡路島へ
左から高取山・須磨アルプス・霧峰山・森伏・旗塚山



豊原 新築市竹田城下 田圃山麓の田圃広がるレンゲ畑 2021.4.21



兵庫リレーカーニバル 2021.4.24.&25.
神戸総合運動公園 ユニバー競技場で
コロナ禍の中でどうなるかと懸念しましたが、
毎年春を呼び込むリレーカーニバル
いつもの歓声はないが、新緑に包まれ、
ツツジが美しい気候特等 若者たちが快足、
私はいつもの場外特等席 母校の先輩たちも元気に揃っていました
ワクチン接種のめども立ったし、コロナ収束 みんなの願い、
仲間にかいたいなあと思いは募りますが、まだ自粛がつづく
新緑の神戸遠遊 神戸籠りが続きますが、
相変わらずの風来坊 春のアルバム届けます
どうか まだまだ 高幹の身には厳し夜日々 でも仲間もいる
無理せず体調変化に気を付けて スクラム組んで 前向いて



春の兵庫リレーカーニバル 神戸 ユニバー競技場で いつもの場外特等席で、2021.4.24



例年春の兵庫リレーカーニバル 2021.4.24、神戸総合運動公園 ユニバー 競技場で



マスクをはずして おいしい空気を胸一杯 戸外へとびだした〜い
期待のワクチン接種も見通しが立ち始めた5月
コロナ終息 新しい時代への希望・期待に胸膨らませ 気分も新た
みんな笑顔がとりもどせますよう 今一度スクラム組んで

1. 2021 5月 新緑の便り 5月の風 元気出してゆこう

神戸籠りの春 風来坊の Photo Album 心やすめになれば



満開の桜が散ると野山は芽吹きから新緑へ

山腹の濃淡をだんだん増してゆく。山桜の薄ピンクそして、常緑の杉林がアクセントとなって、一日一日その化粧を変えてゆく。山に入るともう三つ葉ツツジが満開。

また山から眺める景色も風によって千変万化 一つ見ても飽きない。

今年はコロナで 春の妖精カタクリに出会いに行けず、またシャクナゲの花も見に行けなかったのですが、毎日の散歩で楽しむ街歩き・里山歩き。楽しんでいます。孫に教えてもらった山スタンプ歩きもうれしいし目的に。



庭では春の草花 門前では 4月の末から背の高い薄ピンクのアグロステンマの花も咲きだして、うれしい満開。庭も我が家もパッと明るく華やかに。

風来坊とはいえ、一日一日 やることがあって、前向きにとらえられるのがいい。

また、仲間に出えないのはつらいですが、古いアルバム整理や断捨離などしていると忘れぬ掘り出し物や発見も。自分の記憶がおぼろげになってゆく中で、歩いてきた道を見直すいい機会にも。また、先に逝った仲間との忘れぬ再開も。

独りよがりですが、記録しておくことは

自分を正す良い機会に。どうせ 整理しても誰に残さねばならぬわけでもなしですが、多くの出会いなど思い浮かべながらの整理も重要な生活の一部に。コロナのワクチン接種の申し込みもぶつぶつありますが、何とか申し込み完了できてやれやれ。今 また緊急事態宣言で子供たちや学生たちの姿が消え、街はまた火の消えたよう。

でも もう少しとがんばらねば……。そんな 神戸ごもり 今日この頃です。

ブツブツ 5月のホームページの掲載整理やっているとまた時間切れになりそう。

今月は何をとまあれ、4月積み残した京都の桜見物 そして、4・5月の春の明るい息吹が伝えられたらと。
新緑の5月 コロナ禍の中 神戸の籠りの写真アルバムのかたちで、詳細は掲載記事で見ていただくことに。
何はともあれ、コロナに負けぬよう。前向いて 新しい時代へ一歩 踏み出しましょう。
いつもありがとうございます。

元気に前向いて、この春を乗り越えましょう。
みんなお互い連絡取り合って元気に前向いて 笑顔で今を。
また、困難の中にある仲間へ 思いをはせています。
どうか 一人で頑張らず、無理せず 今はみんなに声あげて!!
仲間がいる。仲間の元気はみんなの応援歌



God be with You!!

2021.5.5. From Kobe Mutsu Nakanishi



「蓮華」の花
花言葉は「心がやわらく」

2. 神戸籠りの春 風来坊の Photo Album 心やすめになれば

ピンクの野原 レンゲ畑 但馬 竹田城下の田園で 今年も蓮華畑に出会えて幸せ



ついぞ見かけなくなったレンゲ畑。近くで田を見かけるたびに探すのですが、見つけれず。
でも生野峠を越えて但馬にはいた円山川沿いの竹田城下の田園で見つけました。今年も蓮華畑に出会えて幸せ。
また新聞などによると 春の田に蓮華を漉き込むことが復活しつつあると。
これも低炭素再生持続社会実現への取組の一つか

3. 神戸籠り 毎日 walk の中で ミツバツツジ咲く近隣の西六甲 山スタンプ採取に歩く



神戸の市街地中央湊川の背後にそびえる菊水山 大阪湾全景がみられる360度の大展望
 ゆっくりと芽吹きの中・ミツバツツジを眺めながらのwalk も素晴らしい



白川峠から流れ出る妙法寺川を挟んで左に高取山右に須磨アルプス東山・馬の背・横尾山の連山
 我が家から毎日眺め、また walk のコースに選ぶ須磨海岸の山並 西六甲屈指の展望コース。

バランスの良い三角形の高取山は須磨浦
 を行く船の目。毎日登山の市民の山。
 須磨アルプス 横尾山・馬の背の瘦せ尾
 根は低山ながら日本アルプスを想起する。

高取山の登山道は毎年ミツバツツジが
 美しいが、今年は時期が合わずでした。
 六甲連山が須磨の海へ落ちる西の端
 ならかな縦走路は群生するウバメガシ

の中を抜けてゆく。そして高倉山・鉄塊山・旗振山山頂は360度の大展望
 この縦走路も市民の毎日 walk の山 我が家か横尾道を抜けての私の一番ポピ
 ュラーな散歩道。

正面に大阪湾・明石海峡・播磨灘の海 東に六甲連山・神戸から大阪の街から
 大阪湾を取り囲む和歌山まで大阪湾全体を独り占めそして 西も北もの360
 度の大展望

これら野山は六甲全山縦走路でつながる西端のほんの一部ですが、
 一日一山ゆったりと数時間飛び込める毎日数時間の非日常の楽しみです



素晴らしい大阪湾の展望台



4. ポストコロナの社会構築理解のために【3】

胸に輝く“カラフルなドーナツ型バッジ”の正体 こんな取組が引き金に よく知りませんでした



テレビを見ていて、国会議員や財界の偉い人などが胸につけているカラフルなドーナツ状のバッジに目が留まり、なんだろうと。街でも見かけたことがある。

多分 東京五輪・パラリンピック関係か、ライオンズクラブやロータリークラブみたいな団体のバッジだろうと。

それにしてもカラフルだ。こんなセンスなかなかないと思うのですが、それをつけている人物・・・と。

ところが、Amazon で売っているのをみつけ、また、ほかでも・・・。これはいったいなんなん??。

みんな知ってる「SDGsのバッジ」だそうだ。

また英語か・・・と。でも誰でも知っているという。

2015年9月に国際連合加盟国が採択した「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」を指す「SDGs」のバッジだと知りました。そんなふるくからあるのか?

最近コロナが流行しだし、政府が低酸素社会・持続可能型社会を目指すと言い出してから、急によく見かけるようになった。

小学生の孫たちがやってきて、学校でみんな習っているのだそうだ。「SDGs」のバッジやと目的をまるで呪文のようにすらすら唱える。びっくりしました。私だけがしらなかったのかも知りませんが・・・・・・・・。

でも胸につけているえらい人たちはみんなそんなバッジ 17色の色の意味を理解しているのだろうか・・・・・・・・

「カラフルでええなあ」だけでははいかんのですが・・・・・・・・

これ知らなかった私の負け惜しみです。

コロナ禍の中で、いろいろほころびが見えてきた日本。Post ポストコロナの新時代、

日本の社会や働く現場を活力あるものにするために、誰もが目を向けるべきヒントが持続可能な開発目標 (SDGs) の中に数多く含まれていると。国連広報センターや外務省のホームページには下記概要記述がありました。

ご参考まで

「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」2015年9月に国際連合加盟国が決議採択

■ 持続可能な開発目標 (SDGs) について

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/index.html>

■ 持続可能な開発目標 (SDGs) 達成に 向けて日本が果たす役割

SDGsを通じて、豊かで活力ある未来を創る

https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/sdgs_gaiyou_202103.pdf

インターネットの検索より

◎ **今月のピックアップ** 掲載した和鉄の道・Iron Road より

■【鉄の話題】ポストコロナへ向けて

30億年前の海の中で大量の酸素を発生させ、地球大気の酸素を作ったシアノバクテリア絶滅したと考えられていたが、今も元気に酸素を作り続けている地球の絶景がある
2021.4.28. NHKBSの番組「地球事変 酸素大発生」の映像をみて



【参考】Iron Road の絶景 鉄の感風「地球」35億年前現在の生物起源に遡る
「南極 氷の下のタイムカプセル アンターセー湖」2018.3.25.

(以前紹介した「南極 氷の下のタイムカプセル アンターセー湖」2018.3.25.

<https://www.infokkna.com/ironroad/2018htm/2018iron/18iron02photo.pdf>)

■ **新型コロナ感染蔓延の神戸籠りの合間に この春出かけた近隣のマスク walk**

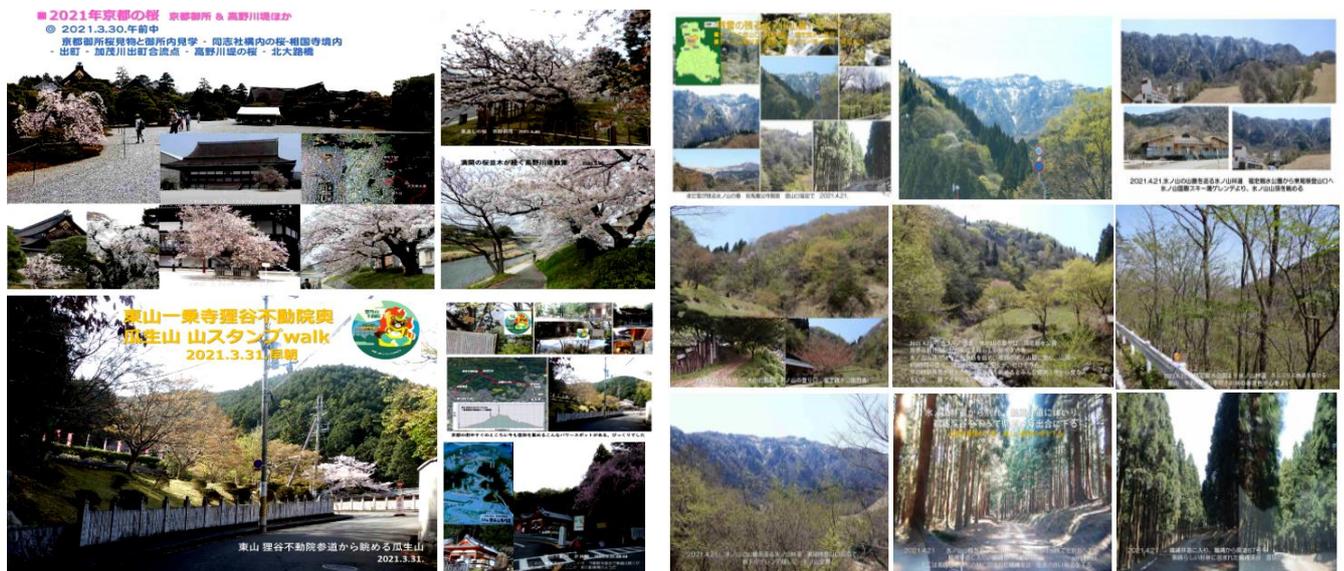
Photo Album とスライド動画にして楽しむ

〈桜満開の京都 と東山不思議の狸谷不動院・瓜生山〉

21.3.30. & 3.31.

〈但馬 新緑の 氷ノ山山麓〉

2021.4.21.



周りの山は芽吹いて 新生の息吹 5月の風
うまい空気を胸いっぱい 気分も新た 元気出していきましょう



神戸妙法寺・須磨の散歩道 近隣の山スタンプを集めました



◎ 5月HP更新後記

神戸籠りの毎日 やつと一息つけるかと思いましたが、またひと頑張り
風来坊とはいえ、一日一日 やることがあって、なんとか暇なし。

勝手になんやかや作ってやっている向きもあるのですが・・・・・・・・

ブツブツ 5月のホームページの掲載整理 また時間切れになりそう。

今月は何をともあれ、4月積み残した京都の桜見物 そして、4・5月の春の明るい息吹が伝えられたらと。

新緑の5月 コロナ禍の中 神戸の籠りの写真アルバムのかたちで、記録さえあれば、詳細はええやると。

自分が楽しんでいる映像とBGMがついています。

コロナの心やすめにでもなればと。

私の頭にある時代感と同じことを言って 実践行動論を展開されている新書版の本を見つけました。

思いはおなじかも。まだ 表紙のカバーと目次ぺらぺらですが、私に近いなあ…と。

新書版 表紙倒れかもしれませんが、具体的なアプローチに 前向きになれたらと。

もやもや頭の整理です。

コロナ終息がみんなの一番の願い。 まずコロナ収束せねば先が見えず、

ホームページもフラストレーション 不安感いっぱい。何とかしてといってもどうにもならず。

高齢には厳しい時代になりそうですが、好奇心さえあれば 何とかなるでしょう。

なんせ 風来坊です。 でも いつも 気持ちは前向いて

マスクをはずして おいしい空気を胸一杯 戸外へとびだした〜い

コロナ終息 新しい時代への希望・期待に胸膨らませ

大変な時代になりそうですが、 明るい春がつつたわれば・・・・・・・・

高齢者にとってはなんとも厳しい時代ですが、

前向いて God be with You!! 頑張りましょう。

老化・病気・介護などの困難とみんながむきあう新時代

いつも困難の中にある仲間にも思いをはせています

仲間の笑顔を活気に!!

新緑 5月の風に 気分も新た

みんな笑顔がとりもどせますよう 今一度スクラム組んで 今を元気に!!

2021.5.5. from Kobe Mutsu Nakanishi



Monthly Page 6月 2021 梅雨の始まり 厳しい新型コロナ蔓延 コロナワクチン接種も始まりました
今少しお互い節制自重して わが身大事で 梅雨を乗り越えましょう



コロナ禍の中で迎えた梅雨の絶景神戸籠りの中 風来坊 勝手なPhoto 記録ですが 心やすめになれば



先が見えぬ厳しいコロナ禍 困難の中にある仲間
思いをはせています。
一人で頑張らず、無理せず 今はみんなに声あげて!!
仲間がいる。仲間の元気はみんなの応援歌
互いに連絡取り合って 元気に前向いて笑顔で今を。
God be with You!!
2021.6.5. From Kobe Mutsu Nakanishi

紫陽花は雨どきに
そっと寄り添って咲く花
花言葉は花の色で変わるといいますが、
雨粒を葉に掛けて
静かで心優しく癒しの花

1. 2021 6月 コロナ禍の中で迎えた神戸の梅雨 近況便り 風来坊のPhoto Album
梅雨の晴れ間のカウ元気、久しぶり原チャリ走らせ、梅雨時神戸の田園絶景地帯へ
 2. 祝 北海道・北東北の縄文遺跡群がユネスコ世界文化遺産へ 諮問機関が登録勧告
 3. 水の入った田の素晴らしい梅雨時の絶景巡り 2021.6.2
原チャリ走らせ、北神戸の田園地帯を駆けて
 4. 最近の気になった新聞記事より
大坂なおみさんの会見拒否と縄文の世界遺産登録
 5. 西神戸の田園伊川谷 伊川の土手の竹やぶで ハチク(破竹)採取
- ◎ 今月掲載 トピックス Photo 抜粋 今月掲載した和鉄の道・Iron Road より



コロナ禍の中 高齢の身には まだまだ厳しい日々 でも仲間もいる 無理せず体調変化に気を付けて
期待のワクチン接種も見通しが立ち始めた今 コロナ終息の新しい時代への希望・期待に胸膨らませ
笑顔がとりもどせますよう 今一度スクラム組んで 前向いて
みんなコロナに負けないで!! God Be With You!!

祝 北海道・北東北の縄文遺跡群がユネスコ世界文化遺産へ

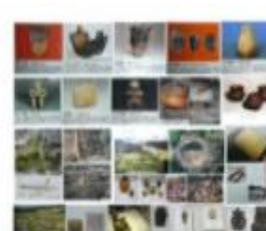
諮問機関が登録勧告



殺伐とした世相の中で 日本人の心のふるさと縄文が世界文化遺産へ
10数年 何度も跳ね返されながらも10数年挫折することなく
多くの市民たちの手でずっと続けられてきた世界遺産登録への道
ユネスコの世界遺産登録諮問機関が日本の縄文を登録勧告。
待ちに待った世界遺産登録へ おめでとう!! From Kobe
世界に類のない1万年もの長きにわたり、
平和で豊かな生活が続いた日本の「縄文」社会
そのエンジンは「他人を思いやる心」。
それは人類が幾多の苦難を克服し現在に続いてきた根幹であり、
日本の縄文文化を象徴する遺物・遺構の数々なども
また世界文明に引けを取らぬ。
今 コロナ禍の苦難の中で、日本が見失いがちな「他人を思いやる心」
殺伐とした世相が続く今 日本人の心の故郷「縄文」を
ぜひ知ってもらいたい。
待ちに待った世界遺産登録 おめでとう!!



もう20年近くになるが、初めて青森の三内丸山遺跡へ行った時のことや
三内丸山遺跡でのお月見 そして霧の中で出会った青森小牧野遺跡の
ストーンサークル等々を思い出しています。
世界遺産になっても、今までと同じく、一般の人たちにも広く開かれた
だれもが語り合える遺跡群であってほしいと願っています。



日本人の心の故郷「縄文」を世界の人たちに知ってもらいたい

参考1. 「三内丸山縄文の会「縄文」4月号 応援メッセージ 2011.3.19. By Mutsu Nakanisahi

<https://www.infokkna.com/ironroad/prezen/201104sekaiisan.pdf>

参考2. 縄文の心を映すストーンサークル 2007.7.6. & 2015.10.10.改訂 By Mutsu Nakanisahi

<https://www.infokkna.com/ironroad/prezen/2008iyomon/iyomonslide.htm>

参考3. 心優しき縄文人 縄文帰りの勧め 2014.5.6. By Mutsu Nakanisahi

<https://www.infokkna.com/ironroad/2015htm/iron11/iyomongaerineew.pdf>

【北東北・北海道の縄文遺跡をユネスコ世界遺産に】

世界に類のない一万年も平和で豊かな生活が続いた時代日本の「縄文」

そのエンジンは「他人を思いやる心」

家族・仲間思いを寄せつつ 平和の願いもまたひとしお

平和で穏やかな暮らしが ひろく行き渡るよう

もうひとつ嬉しいこと コロナにかかって入院していた仲間が元気になって生還したしたこと
電話もメールもできず、毎日気がかりで、コロナを初めて身近に感じました。

「もう二度とこんな目にいたくない リハビリもやってきた つらかた」と電話口の元気な声にほっとする。
どうか みんな無理せず前向いて 仲間の元気は みんなの応援歌
お互いスクラムくんで 頑張りましょう

2021.6.5. From Kobe Mutsu Nakanishi



我が家の庭もすっかり様変わり 夏の朝顔の苗床やアジサイがどんどん先始めました
また 珍しい クレマチスはまだ終わりに 2021.6.2.
夏の朝を爽やかにする京朝顔 そのころにはコロナも収束してほしいなあ



先が見えぬ厳しいコロナ禍 困難の中にある仲間
思いをはせています。
一人で頑張らず、無理せず 今はみんなに声あげて!!
仲間がいる。仲間の元気はみんなの応援歌

互いに連絡取り合っ 元気に前向いて笑顔で今を。

God be with You!!
From Kobe Mutsu Nakanishi

紫陽花は雨どきに
せっと寄り添って咲く花

花言葉は花の色で変わるといすが、
雨粒を葉に乗せて
静かで心優しく癒しの花

2. コロナ禍の中でうれしいニュースが飛び込んできた

祝 北海道・北東北の縄文遺跡群がユネスコ世界文化遺産へ 諮問機関が登録勧告



北東北・北海道の縄文遺跡を ユネスコ世界遺産登録に



殺伐とした世相の中で 日本人の心のふるさと縄文が世界文化遺産へ

10 数年何度も跳ね返されながらも 10 数年挫折することなく多くの市民たちの手で ずっと続けられてきた世界遺産登録への道。ついに ユネスコの世界遺産登録諮問機関が日本の縄文を登録勧告。

待ちに待った世界遺産登録へ おめでとう!! From Kobe

東日本大震災が発生し、日本全体が苦難の中にあつた 1911 年、「日本の心のふるさと縄文 縄文の心が苦難の中にある人たちを勇気づける」との思いから三内丸山縄文の会の「縄文ファイル」4 月号に東日本大震災のお見舞いと日本の縄文を世界遺産にと応援メッセージを送ったことも。

あれから 10 年。今また日本はコロナ禍の苦難の中にいる。

コロナ禍の苦難の中で、心優しき縄文人 日本の心のふるさと縄文

日本が見失いがちな「他人を思いやる心」

殺伐とした世相が続く今 日本人の心の故郷「縄文」をぜひ知ってもらいたい

みんなでスクラム組んで この難局を乗り越えましょう

本当にうれしい北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録決定の報。

世界遺産になっても、今までと同じく、一般の人たちにも広く開かれた

だれもが語り合える遺跡群であってほしいと願っています。

3. 水の入った田の素晴らしい梅雨時の絶景巡り 2021.6.2.

原チャリ走らせ、北神戸の田園地帯を駆けて

白川峠→押部谷木見峠→◎押部谷木津の里→◎丹生山塊南山

裾 箕谷・山田の里→県道 428 号丹生山越→◎丹生山塊

北山裾淡河の里→◎三木市戸田の里→吞吐ダム→衝原湖→

◎箕谷・山田の里→押部谷木見峠→白川

久しぶりに原チャリで神戸の田園地帯をかける。

前日ワクチンも摂取した梅雨の晴れ間 気分的にも晴れ晴れ。

もう数か月走らせていない原チャリ走らせて、毎年見に行く北

神戸の田園 梅雨時水が入った田が作り出す絶景巡り。

高齢者には 原チャリ走らすのはちょっとした頭の体操。緑の中

を走らせ、思い切り空気を吸えるのも楽しい。



コロナも収まりつつあり、田園地帯ツーリングなら大丈夫だろうとマスクをしての原チャリ出かけました。コースは季節折々丹生山の山裾に点在する集落をつないで山里の田園風景を眺めながらぐるりと丹生山を巡る私の好きな散歩道。小さな丘陵地がいくつも連なり、その合間に田園が広がる神戸の田園地帯。田植え時に田に水が入り、傾斜地から眺めると素晴らしい絶景に。。。。。

特に両側を里山に挟まれ、その傾斜地に田園が広がる淡河の里は私の好きな絶景ポイント。

今年も原チャリ走らせ、絶景巡りデジカメの photo スナップの記録。

近場にもこんな素晴らしい絶景があると。。。。。

白川峠から神戸三木線を北へ丹生山の麓山田の里へ。途中神戸西 IC 横木見の十字路で右折れ。

箕谷へ向かう道に入り、工業団地を抜けて山合いにかかるところで、西へ三木に向かう神戸電鉄を越える高架橋から丘陵地に広がる押部谷木野の里の棚田が眺められる。ここも美しい棚田のビューポイント。

さらに山間。緑の中を抜けてゆくと丹生山の南山麓 今回の目的の一つ山田の里に出る。

《鈴蘭台から西へ山間を抜けて押部谷の丘陵地の上を三木に向かう》

神戸電鉄との出会い 押部谷木野の里で 2021.6.2



南北に広がる広大な押部谷の北端で、水の入った棚田の向こうに西神戸・三木志染の街が広がっている。丘陵地の上部の棚田で街は眼下に。もう田植えも終わったのか、都市化した街を従えて鏡のごとく周囲の景色をくっきり映す棚田です。東の鈴蘭台から 藍那の里山の間を抜けて、志染川沿い古代から歴史を刻む古い里を三木市へ向かう神戸電鉄が駆け抜けてゆく。

《丹生山塊南の山裾に沿って東西に長く伸びる 箕谷山田の里》

さらに北へ 里山の中に歩分け入り、丹生山の麓 箕谷 山田の里へ 2021.6.2.



丹生山塊の山々を背にその中央全体に広大な田園が広がる素晴らしい田園風景が飛び込んできた今年も健在田に水が入ると里が活気づく。今年も期待にたがわぬ活動的な姿です

《丹生山塊南の山裾に沿って東西に長く伸びる 箕谷山田の里 2021.6.2》

丹生山塊の山々を背にその中央全体に広大な田園が広がる素晴らしい田園風景 今年も健在
田に水が入ると里が活気づく。今年も期待にたがわぬ活動的な姿



《山田の里から北へ県道 428 号線に入り 緑を濃くしてゆく丹生山塊を北に越えて淡河の里へ》

眼下には深い谷筋全体にどこまでも緑が広がる岩谷橋からの谷景色
本当に久しぶりですが、いつ来てもうれしい景色です



新緑に包まれた谷筋の奥に今かけてきた山田の里・鈴蘭台の街が見える。
ここで谷筋の Photo をとるのは本当に久しぶり。北神戸の田舎への入り口です。
神戸のツーリングの名所としてよく知られたドライブウェイですが、今はそこそこ。でも隣を大型バイクが次々追い抜

いてゆく。新緑に包まれた山中 曲がりくねった登りのドライブウェイを原チャリで駆けて気分は最高
丹生山と稚児墓山との岩谷峠を越えると眼下遠くに淡河の里が遠望。

樹木の間から、里の向こうによく整備された階段状の棚田がみえる。もう言葉はいらぬ。美しい棚田に水が入り、淡河の里がまるで浮島。素晴らしい田園風景が見えてくる。

いったん淡河の街の十字路をぬけてさらに北へ丘陵地を上り、いつもの淡河の街の展望ポイントに原チャリを止めて、水の入った田園集落淡河の里景色を眺める。南の丹生山塊を背にまるで緑の浮島。 田に周辺の景色が映りこんで素晴らしい。



葎き替えられて新しくなったかやぶき家が水に映え、田の中で働く田植え機もいくつか見える。

足元の畔には野草が花を咲かせ、蝶が舞い、鳥の鳴き声もひっきりなしに聞こえてくる。

梅雨の訪れとともに里は 今一番の農繁期 うれしい淡河の田園絶景を眺めることができました。

帰りは淡河の街から西へ丘陵地の間を抜け、丹生山塊の山裾をぐるりと南に回って、神戸の水がめ どんとダム湖を回って山田の里に出て帰ることに。爽快な原チャリツーリングになりました。

《北神戸の丘陵地 里山の上に広がる田園地帯 南の丹生山塊を背に広がる淡河の里 2021.6.2》

丘陵地の上からながめる淡河の里 まるで浮島 ことばはいらない この時期にしか見られぬ田園絶景です





久しぶりの原チャリ運転も特に問題なし 道路認識の頭もしっかり働いている。
この調子ならまだまだ走れることにも安堵。次は西播磨の佐用・千種や但馬にも何の問題もなさそう。
約3時間ほどのご機嫌の原チャリ 北神戸の田園梅雨時の絶景巡り。

帰りはそのまま西へ三木に抜けて、久しぶりに神戸の水がめ呑吐ダム・衝原湖のふちを回って山田の里に出る
 丹生山塊の西半分をぐるりと回って帰ることに。北神戸の田園の梅雨時の絶景に今年も出会えました。来年はまたど
 んな発見があるかなあ・・・・・・・・ 早くコロナ収束を祈りつつ 呑吐ダムへの道进行

《 帰路 県道38号を西へ三木市御坂に抜けて、
 久しぶりに神戸の水がめ呑吐ダム・衝原湖のふちを回って山田の里に出る 》

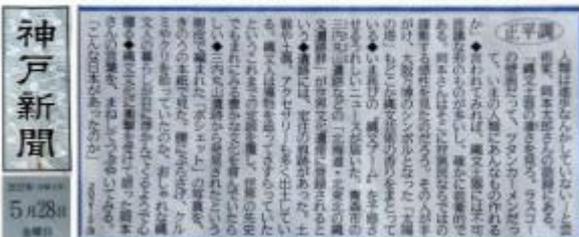


今日の北神戸の里の梅雨時の絶景巡りは丹生山塊の山裾をぐるりと1周 素晴らしい絶景巡りに。
 また、長く乗らなかつた原チャリ まだまだ頭も働くと ちょっぴり不安も解消して さあつぎは・・・・・・・・
 ルンルンの楽しい近郊の里巡りになりました

2021.6.2. Mutsu Nakanishi.

3. 最近の気になった新聞記事より 大坂なおみさんの会見拒否と縄文の世界遺産登録
 全く共通点がないようで、今 人が人として一番大事なことを思い起させてくれる

祝 北海道・北東北の縄文遺跡群がユネスコ世界文化遺産へ 登録機関が登録勧告
 5月25日(金曜日)神戸新聞朝刊「正平調」はこんなコラムで世界遺産決定を祝った



■ 大坂なおみに先頭を走る者たちの孤独を感じて
 God be with You!! 健康を取り戻して またトップを走ってほしいなあ・・・・・・・・



2021年6月20日神戸新聞「正平調」より

大坂なおみさんの語録に「スポーツ選手である前に 一人の人間として大事なことがある」と
日本の縄文「人が人であることの所以を思い起こさせてくれる」
思いは人それぞれ 私も解を持ち合わせてはいません
でも いま日本が一番忘れ去ろうとしていることにゆっくり考えねば・・・と。

◆【From Kobe 6月梅雨】収録 2021.6.5.

大坂なおみさんの会見拒否に縄文の世界遺産登録を重ねて

<https://www.infokkna.com/ironroad/2021htm/2021mutsu/fkobeR0306.pdf>

4. 西神戸の田園伊川谷 伊川の土手の竹やぶで ハチク(破竹)採取

今が旬? 混ぜご飯とお吸い物に 2021.6.3.

伊川谷の丘陵に広がる水の入った田園を眺めながら、伊川の手土手を歩いていると、土手の藪でござごそやっている人がある。手には取った破竹 リックサックにもどっさり。「藪から顔をだしているやつ食べられる?」と聞くと「もう終わりやけど美味しいよ」と。昨日娘から電話があって破竹を話題にしたところでした。

「これ食べれるんや。採って筍好きの孫にもたべさせたら」と破竹採りに加わりました。随分前に一度食べたことがあり、あちこちで顔を出しているのを見ることはあるのですが、「食べられる」との保証付き。家内もよく知っていたようで混ぜご飯と吸い物にして食べました。

これも季節の香り。筍ほど味も香りもありませんが、おいしく食べて孫たちのところ

にも……。今年はおいしい伊川谷森本さんのイチゴがストップで寂しかったのですが、代わって破竹。やっぱり西神戸の田園を歩くと新しい発見あり。いつもの六地藏からの水田風景も梅雨時の絶景です。



伊川谷を流れ下る伊川の土手の竹藪にたくさん破竹があたまをだしていました 2021.6.4. 伊川谷小寺の里で



◎ 今月掲載 トピックス Photo 抜粋 今月掲載した和鉄の道・Iron Road より

■ コロナ禍の中で迎えた梅雨の絶景 心やすめになれば

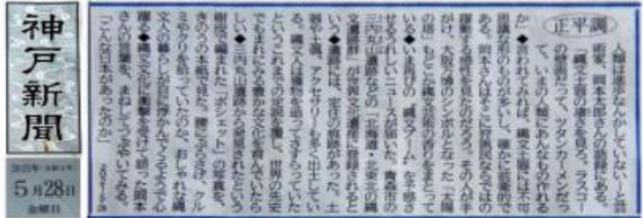


北神戸 丹生山 山田の郷で 2021.6.2



2021.6.1. 高齢者ワクチン接種1回目 神戸で

祝 北海道・北東北の縄文遺跡群がユネスコ世界文化遺産へ 諮問機関が登録勧告
5月28日(金曜日)神戸新聞朝刊「正平調」はこんなコラムで世界遺産決定を祝った



◎日本の心のふるさと縄文 永続のエンジンは「他人を思いやる心」

◎テニス全仏大会会見拒否した大坂ナオミさんの語録より「一人の人間として大事なことがある」



春のバラの挿尾を飾る深紅のバラ
「一ふじがけ 仲間いる」
「まだ 好奇心いっぱい 前向き」と



春の挿尾を飾るバラ & 梅雨到来の花菖蒲

2021.5.22. 2021 春のバラ観賞会



2021.5.22. バラ清園の須磨離宮公園



2021年の中、早くも梅雨入りです。須磨離宮公園のバラ清園は、梅雨入り後も、多くの人が訪れ、楽しんでいただいています。梅雨入り後も、多くの人が訪れ、楽しんでいただいています。梅雨入り後も、多くの人が訪れ、楽しんでいただいています。



梅雨の合間 バラの香りに誘われて 2021.5.29.

◎ 6月 2021 梅雨の始まり 神戸便り更新 後記 コロナに負けないで



新型コロナが猛威を振るう関西 医療機関が崩壊してパンでミックス。本当に心配しましたが、やっと小康状態に。自分の身の安全と共に 家族・仲間のこと他いろいろなこと頭の中を駆け巡る6月の始まりです。おまけに早い梅雨入り。

いろいろなことがもうスピードで駆けてゆく6月の始まりです。皆様のところはいかがでしょうか・・・・・・
新型コロナ蔓延になるだけ早くワクチンをと予約とるのにあれやこれや。

やっと6月1日第一回目のワクチン接種完了。2回目的日も決まってなんとか一安心。ほっとしています。でも 今の日本の状況 コロナ収束 ワクチン接種 経済 そして大問題のオリンピック等々 何一つ筋の通った具体的な行動論と見通し評価の話が聞こえてこない大変な状況。せめて頂点迎合はやめ、もうすこし先を読む力と知恵を磨きたい。

さしずめ、次の選挙には思いのたけを・・・・・・相変わらずTV相手にブツブツ。

「でも しっかりコロナにはまけるな!!」と気力・体力維持に励む思いの今日この頃です。

おりしも気にかかっていた北東北・北海道の縄文遺跡群がユネスコ世界文化遺産登録への報
多くの仲間や市民が挫折することなく運動してきた成果。本当におめでとう。

今一番欠けているものかもしれぬ日本の縄文のすばらしさを知ってほしいと。

一方 早い梅雨入りで、周囲は梅雨明けの絶景の情報。梅雨の晴れ間は夏の日差しが降り注ぐ。
なんとか間に合ってでかけた春のバラ。「元気に頑張れ!!」と今年は真っ赤なバラがやたらに目につく。
また久しぶりに原チャリで駆けて梅雨時の絶景巡り。原チャリ走らすのは格好の頭の体操。気分も爽快。まだまだ大丈夫だと。

今月も特に目新しい記事なしですが、私のコロナ禍 2021 梅雨の photo 記録アルバム。

西神戸の梅雨時の絶景。なにかの手助けになれば。

もうひとつ嬉しいこと コロナにかかって入院していた仲間が元気になって生還したしたこと
電話もメールもできず、毎日気がかりで、コロナを初めて身近に感じました。

「もう二度とこんな目にあいたくない リハビリもやってきた つらかた」と
電話口 仲間の元気な声にほっとする。

老化・病氣・介護老化・病氣・介護など
困難とみんながむきあう新時代
困難の中にある仲間にも思いをはせてい
ます
仲間の笑顔を活かす!!
みんな笑顔がとりもどせますよう
今一度スクラム組んで 今を元気に!!
2021.6.5. from Kobe
Mutsu Nakanishi

仲間の元気は みんなの応援歌 みんな無理せず前向いて
コロナ終息 新しい時代への希望・期待に胸膨らませ
お互いスクラムくんで God be with You!! 頑張りましょう
好奇心さえあれば・・・と 奮い立たせて毎日 勝手気ままな風来坊です
自己中の水行末、雲来末、風来末の風来坊 お許しください。
どうか 今ひとつ 行動自己節制しつつ、我が身をお守りください。
ありがとうございます。

2021.6.5. From Kobe Mutsu Nakanishi



2022. 1.28.作成

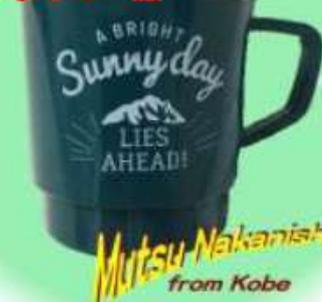
<https://www.asahi-net.or.jp/~zp4m-nkns/monthlyindex.htm>

- ◎ 和鉄の道 Home Page Top 6月更新のままで 現在ストップしています お許してください
恥ずかしいのですが、6月21日 踏み台外して、左足踵骨折で緊急入院加療中の毎日。
やっと一ヶ月が過ぎ、踵・足首固定していた包帯も外せ、リハビリに専心しています



コロナ禍の中

ちよつと一服



やっと梅雨があけ、清々しい朝を迎えています、いかがでしょうか
これから高齢者には厳しい夏を迎えますが、お互いスクラム組んで助け合いながら、
前向いて乗り越えましょう。

神戸中西 私のメールアドレス帳にある皆様に配信している勝手な神戸季節の便りです。
重複していましたらお許してください。

言うのが恥ずかしいのですが、6月21日踏み台外して、左足踵骨折で緊急入院加療中の毎日。
やっと一ヶ月が過ぎ、踵・足首固定していた包帯も外せ、リハビリに専心していますが、地面に踵を付けられず車椅子での生活 まだあと1ヶ月程度かかる見込みと医者やリハビリの理学療法士さんから言われています。
片足が地面につけられぬのが、こんなに不便とは思いません。

またコロナ禍の中なので、病院内面会もシャットアウトで完全な雪隠詰めの生活です。

もっとも加療といっても骨折箇所の自然治癒を待つ「日にち薬」。歩けず動かさない下肢全体の関節・筋力のトレーニングと歩くためのリハビリの毎日で、もっぱら病室・病院内観察の日々。

快適とは言えず、もう飽き飽きですが、いたって元気に過ごしています。

この7月の便りも暇に任せて持ち込んだBook-PCで発信しています。

ワクチン摂取も完了 PCR検査も陰性 血液検査もOK 足首骨折部のレントゲン・超音波・MRC検査での回復具合も順調。しいて言うなら食事 めちゃめっちゃまずい。持ち込み差し入れもシャットアウトです。

まだまだ 色々目を白黒したことがあります、とりあえず、そんな中で元気に加療中です。

時間もたっぷりあり、暇に任せて「和鉄の道・Iron Road」HPを見返しながら手入れをしています。

添付は病院の中で整理した中から 7月の見聞録です

なお、こんな事情で今和鉄の道ホームページの更新ストップしていますが、お許してください。

これからオリンピック騒ぎの中でのコロナ禍 酷暑の夏を迎えますが、

どうか無理せず御身大切にお過ごしください。

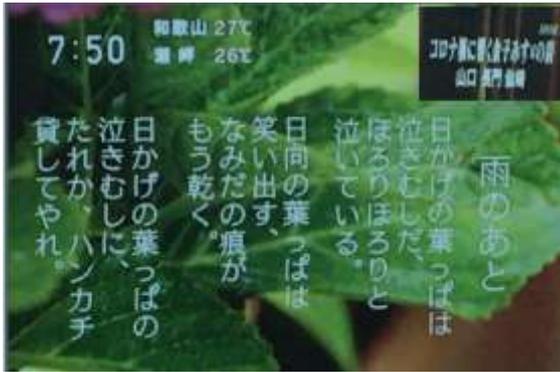
8月末までには退院でき、また 和鉄の道・Iron Road HPの発信できると思いますので

それまでお許してください。

God Be With You!!

2021.7.18. From Kobe Mutsu Nakanishi

リハビリ加療の合間に 病室で暇に任せて整理した6・7月 From Kobe 見聞録の資料
私的なものばかりですが、お暇なときにどうぞ。



和鉄の道・Iron Road 「鉄の惑星 地球」 「鉄をよく知ってもらうために」

鉄はどんな金属・・・ どうして作るの? 2021.7.10.



「地球に鉄がなかったら
現在の地球環境も 人間を含めた生命体も存在しえず 人の歴史も生まれなかった」
「かけがえのない鉄」「鉄は五金の王」
「鉄は産業の米」「鉄が文化を選び 歴史を作った」

1. 和鉄の道・Iron Road 「鉄の惑星地球」 鉄はどんな金属・・・どうして作るの? 2021.7.10

鉄の惑星 地球 誕生からの宇宙の鉄の歴史 概要

抜き書き 東工大名誉教授 永田和宏著 「人はどのように鉄を作ってきたか
4000年の歴史と製鉄の原理」第2章「鉄を作る」より

永田和宏著「人はどのように鉄を作ってきたか 4000年の歴史と製鉄の原理」2章 抜き書き

<https://www.infokkna.com/ironroad/tatara/Tetsu-donnakinzoku.pdf>

鉄について わかりやすい解説をされていた永田和宏先生のBookを見つけ、その中の鉄の歴史の部分を抜き書き掲載させていただきました

2. 新型コロナ蔓延の梅雨時 From Kobe Mutsu Nakanishi 随骨折加療中日記 より
インターネットで見つけた6・7月新聞インターネットの記事より

<https://www.infokkna.com/ironroad/2021htm/2021mutsu/fkobeR0307-Toubyouki.pdf>

2.1. コロナ禍に 心に響く金子みすゞの詩 ひさしぶりの山口県長門仙崎の街と金子みすゞの詩

NHK ウィークエンド関西 2021.6.26.朝放送より

2.2. 夏の京都を襲う「丹波」「山城」「比叡」の3兄弟とは?

2021.7.11. 辻 智也 京都新聞 & まいどなニュース より

2.3. コロナ禍の話題 桂文珍 落語見聞録【1】【2】

神戸新聞 文化面 2021.6.10. & 2021.7.2021.7.14 より

2.4. コロナ禍の中で「阪急と阪神」定期券客の減少率を調べて分かった!

2021.7.4. まいどなにゅース 新田浩之 より

2.5. 【現代ビジネス】日本にはコピペで盗めぬ Only ONE 技術がある

日本の「お家芸 製造業」実はここへきて「圧倒的な世界1位」になっていた

大原博(国際投資アナリスト) 2021.7. 11 インターネット配信

2.6. 崩れだした日本の民主主義統治 選挙が最後の砦!!

田中均 毎日新聞「政治プレミアム」2021.7.14. より

やっと梅雨があけ、清しい朝を迎えています、いかがでしょうか
新型コロナ・酷暑・厳しい日々の生活 高齢者には厳しい夏を迎えます
仲間の元気はみんなの応援歌!! 頑張りすぎず、時には声を上げて!!
お互いスクラム組んで助け合いながら、前向いて乗り越えましょう。
また 笑顔で会えるのを楽しみにしています

God Be With YOU!! 2021. 7. 18. Mutsu Nakanishi

返信・連絡は右記メールアドレスにお願いします zp4m-nkns@asahi-net.or.jp



暑中お見舞い申し上げます 神戸中西 この厳しい酷暑 コロナ禍を元気で

コロナ蔓延に厳しい酷暑が追い打ちをかける今年の夏
いかがでしょうか
高齢者には過酷な先の見えぬ自製の毎日 厳しいですが、
声かけあって この夏を乗り切りましょう

仲間の元気はみんなの応援歌
God be with You!! も口癖に
どうか お互い無理せず、我が身大切に
また お会いするのを楽しみにしています



2021.8.3. From Kobe Mutsu Nakanishi





和鉄の道・Iron Road 9月 Monthly Page 9月夏から初秋へ季節の便り

monthlyindex.htm 2021.9.1. From Kobe by Mutsu Nakanishi

コロナ禍で雪隠詰めの車いす・リハビリ生活で全く身動き取れず、ご心配をかけました。
本年の梅雨時から盛夏をそっくり約2ヶ月の入院生活 8月16日やっと退院することができました。
8月30日の経過検診で「順調な回復状況で全快」と診断され、ほっと一息です。
9月になって 一機に夏から秋へ 青空が戻りましたが、新型コロナ禍の厳しい毎日
いかがでしょうか 厳しい自己節制の日々が続きますが、御身大切にお守りください。

青空が戻りましたが、厳しい暑さと新型コロナ禍の中
夏から秋へ ピンクの朝顔と千日紅の花が 朝の門先を飾っています
高齢者には まだまだ厳しい初秋9月の始まり
いかがでしょうか……

仲間の元気は みんなの応援歌!!
頑張りすぎず、時には声をあげて!!
お互い スクラム組んで 助け合って
乗り越えましょう

また 笑顔で逢えるのを楽しみにしています
God Be With You!! 2021.9.1.
from Kobe Mutsu Nakanishi

千日紅 (センニチコウ)
花言葉は「色あせぬ愛」



百日紅(さるすべり)の花



千日紅の花そして朝顔

約2ヶ月 無事退院できました
ご心配かけ、ありがとうございます

初秋を告げる百日紅(さるすべり)と千日紅
(せんいちこう)そして朝顔

足の踵骨折で約2ヶ月入院、8月16日に退院。
ようやく帰った門先でお帰り!!と
百日紅や千日紅の花そして朝顔が出迎えてくれた。
入院した梅雨時には、どれも咲いていませ
んでしたが 嬉しいお出迎え。もう夏から初
秋へ 長かった。

8月30日退院10日後のレントゲン検診で、オー
ルOK 全快に。
さあ がんばるぞと気分も新た
いろいろ ご心配いただき、ありがとうございます
ました。
まだ 足はぎこちない歩行ですが、
まァ なんとかかなると。
また元気な笑顔の再会も期待。やれやれです。
片足が地に付けられぬことがどんなに大変かと
高齢者になると何が起こるかわかりません。
どうか十分ご注意ください。

2021.9.1. From Kobe Mutsu Nakanishi

私のメールアドレス帳にある皆様にこのメールを配信しています。重複してお送りしていれば、お許しください。高齢者にはまだまだ厳しい初秋9月の始まり夏から秋へ 何かのお役に立てばと。厳しい入院生活で 「地に足を付けぬきびしさが、こんなにたいへんなのか・・・」と身に沁みました。すぐ帰れるとおもっていましたが、思いと身の動きとのギャップ 足の踵は大変だと。また、コロナの検査はおかげさまで陰性での入院でしたが、入院中家族とも顔を見合わせぬしんどさ。何とかスマホ・LINE で外とつながることもできて、仲間のありがたさ身に染みしています。本当に感謝 ありがとうございました。まだまだ歩行もまだギコチナイですが、元気に新しいスタートと。



家に帰ってみれば、感染爆発で、いまだに見通しの立たぬ日々。「自分の身は自分で守る」一番いやな言葉ですが、そんな覚悟もまた必要な時節。自制・節制の徹底も必要かと。頑張らねばと。でも 何とか仲間・世間とつながっていないと・・・特に何もないので、2ヶ月近く、身動きとれぬ状況の入院から解放され、元気に動き始めた報告もかねて、2つの私信資料添付でこの「9月夏から秋への便り」を配信させていただきます。

◎ 夏の朝を爽やかにしてくれた毎朝の朝顔便り 2021 朝顔帳



■ 和鉄の道 今月のHP 掲載記事 リスト 2021.9.1.

1. PDF Photo Album 夏から初秋へ 9月 季節の便り(私信)
「百日紅・千日紅そして朝顔 やっと退院できました」
今真っ盛りの百日紅と千日紅そして夏の朝を爽やかにしてくれた朝顔を Photo Album に
2. 8月神戸新聞に掲載された阪神大空襲・尼崎空襲の特集記事のPDF 切り抜き整理
8月神戸新聞に掲載された阪神大空襲・尼崎空襲の特集記事 幼い頃の断片的な記憶がふつと、記事添付しましたので、ご興味あれば…



3. 絵文字で描いた兵庫県全図 今インターネットで絵文字の場所探しが人気に
一番の人気はお城の絵文字で描かれた尼崎だと…ほかにもいろいろ場所探しにはまっています。
小森文美さんがデザイン「絵文字で描いた兵庫県全図」
<https://maidonanews.jp/article/14428775>
4. PDF File from Kobe 9月 平和ってなんだろう コロナ禍の中で



今 青空を背にピンクの百日紅(さるすべり)と千日紅(せんいちこう)の花が素晴らしい。
夏の朝を爽やかにしてくれた朝顔 毎日の朝顔便りが楽しみに また、夜は真っ暗の中に虫の声
仲間の元気は みんなの応援歌!! 頑張りすぎず、時には声をあげて!!
お互い スクラム組んで 助け合ってこの難局を乗り越えましょう
笑顔で逢えるのを 楽しみにしています
まだまだ厳しい自己規制の日々が続きますが、どうか 無理せず、元気に前向きにお過ごしください
また連絡ください

God Be With You!! 2021.9.1. From Kobe Mutsu Nakanishi

青空が戻りましたが、厳しい暑さと新型コロナ禍の中
夏から秋へ ピンクの朝顔と千日紅の花が 朝の門先を飾っています
高齢者には まだまだ厳しい初秋9月の始まり
いかがでしょうか……

仲間の元気は みんなの応援歌!!
頑張りすぎず、時には声をあげて!!
お互い スクラム組んで 助け合って
乗り越えましょう

また 笑顔で逢えるのを楽しみにしています
God Be With You!! 2021.9.1.
from Kobe Mutsu Nakanishi

千日紅 (センニチコウ)
花言葉は「色あせぬ愛」



左足踵骨折直後 踵骨骨折部
2021.6.20. レントゲン撮影

足の踵骨折で約2ヶ月入院、
8月16日に退院
8月30日退院10日後のレントゲン検診で
オールOK 全快に。
さあ がんばるぞと気分も新た

いろいろ ご心配いただき、感謝です
ありがとうございました。

2021.9.1. Mutsu Nakanishi



百日紅(さるすべり)の花



千日紅の花そして朝顔

約2ヶ月 無事退院できました
ご心配かけ、ありがとうございます

初秋を告げる百日紅(さるすべり)と千日紅
(せんいちこう)そして朝顔

足の踵骨折で約2ヶ月入院、8月16日に退院。
ようやく帰った門先でお帰り!!と
百日紅や千日紅の花そして朝顔が出迎えてくれ
た。入院した梅雨時には、どれも咲いていませ
んでしたが 嬉しいお出迎え。もう夏から初
秋へ 長かった。

8月30日退院10日後のレントゲン検診で、オー
ルOK 全快に。

さあ がんばるぞと気分も新た
いろいろ ご心配いただき、ありがとうございます
ました。

まだ 足はぎこちない歩行ですが、
まあ なんとかなんとかなると。

また元気な笑顔の再会も期待。やれやれです。
片足が地に付けられぬことがどんなに大変かと
高齢者になると何が起こるかわかりません。
どうか十分ご注意ください。

2021.9.1.From Kobe Mutsu Nakanishi



百日紅

「幹がすべすべで人肌のように、だから人の生気を吸いとる」
「滑り」から「運気が落ちる」とか連想されて
縁起が悪く庭木には向かない人も、またその逆に取るひともそれぞれ。
真っ青な初秋の空をバックにピンクの花 やっと帰ってきたとの一瞬
今年は本当に鮮やかでひとしお

千日紅

色あせず長く咲き続ける可愛らしい花で、仏花やドライフラワーに。
どちらも長く咲き続ける心地よい花
合わせて夏の朝を毎日彩ってくれた朝顔も。
我が家の庭先の花たちにも ありがとう



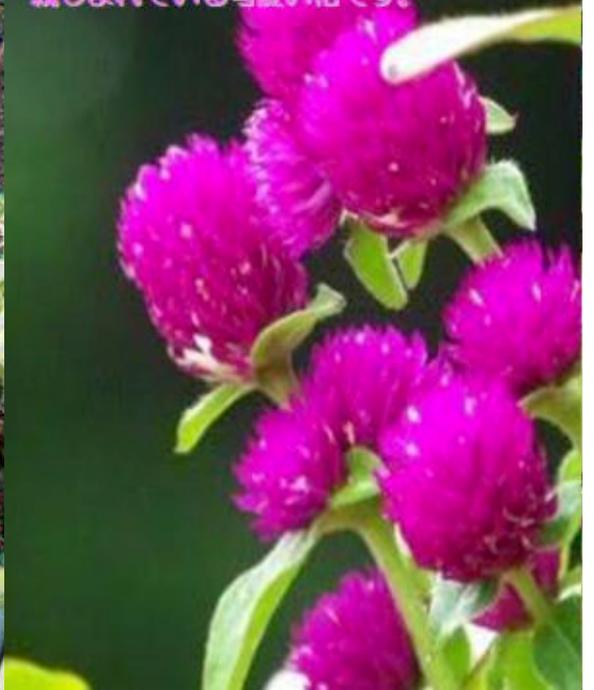
夏から秋へ我が家の門先で 2021.9.1.

(センニチコウ)

千日紅

花言葉は “色あせぬ愛”

花色があせる事なく長く続き続けるので
千日紅の名前が付けられました！
仏花やドライフラワーなど
生活の中に取り入れられ
親しまれている可愛い花です。

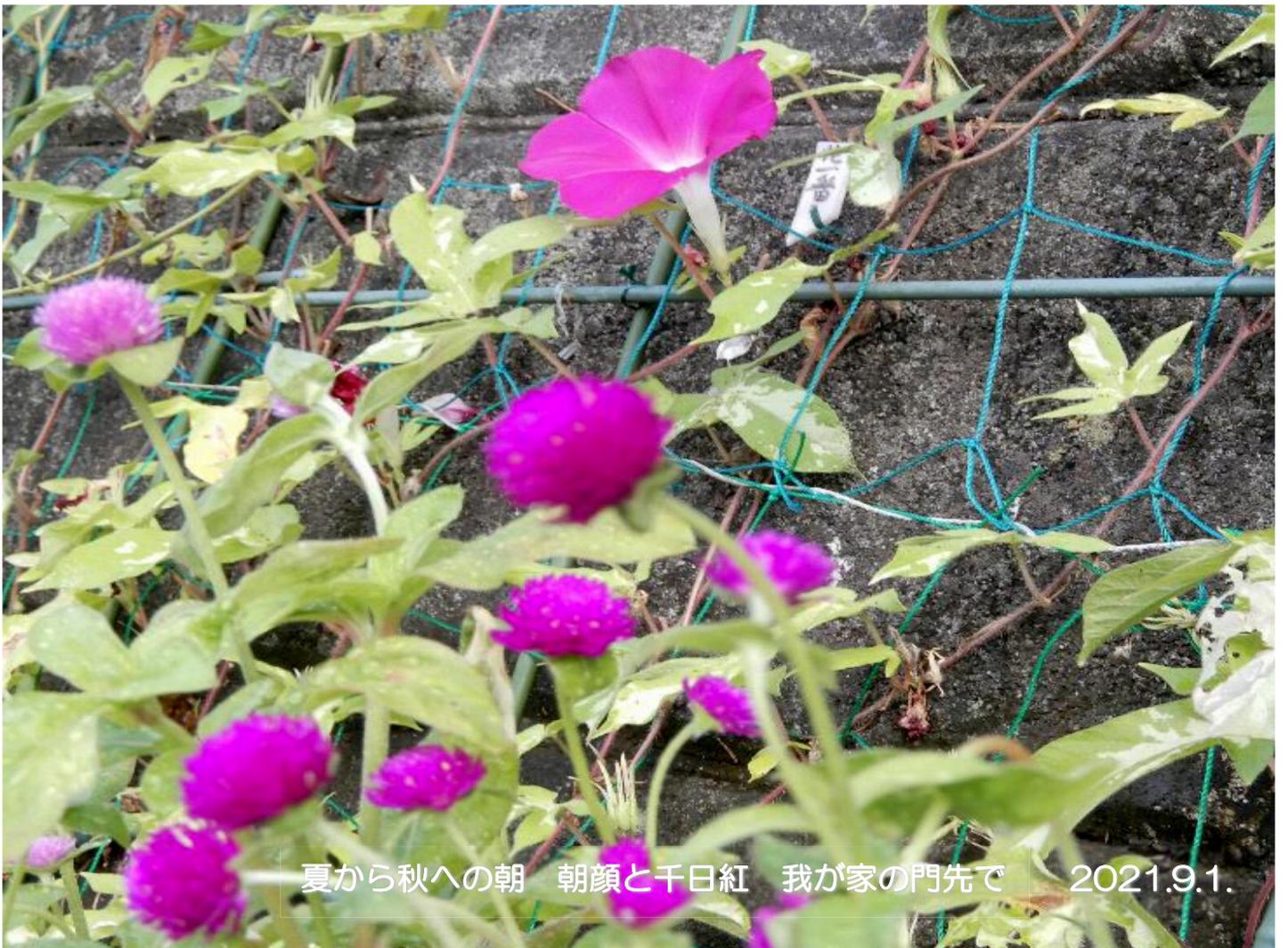


毎朝届く朝顔便り 毎日が楽しみで ありがとう

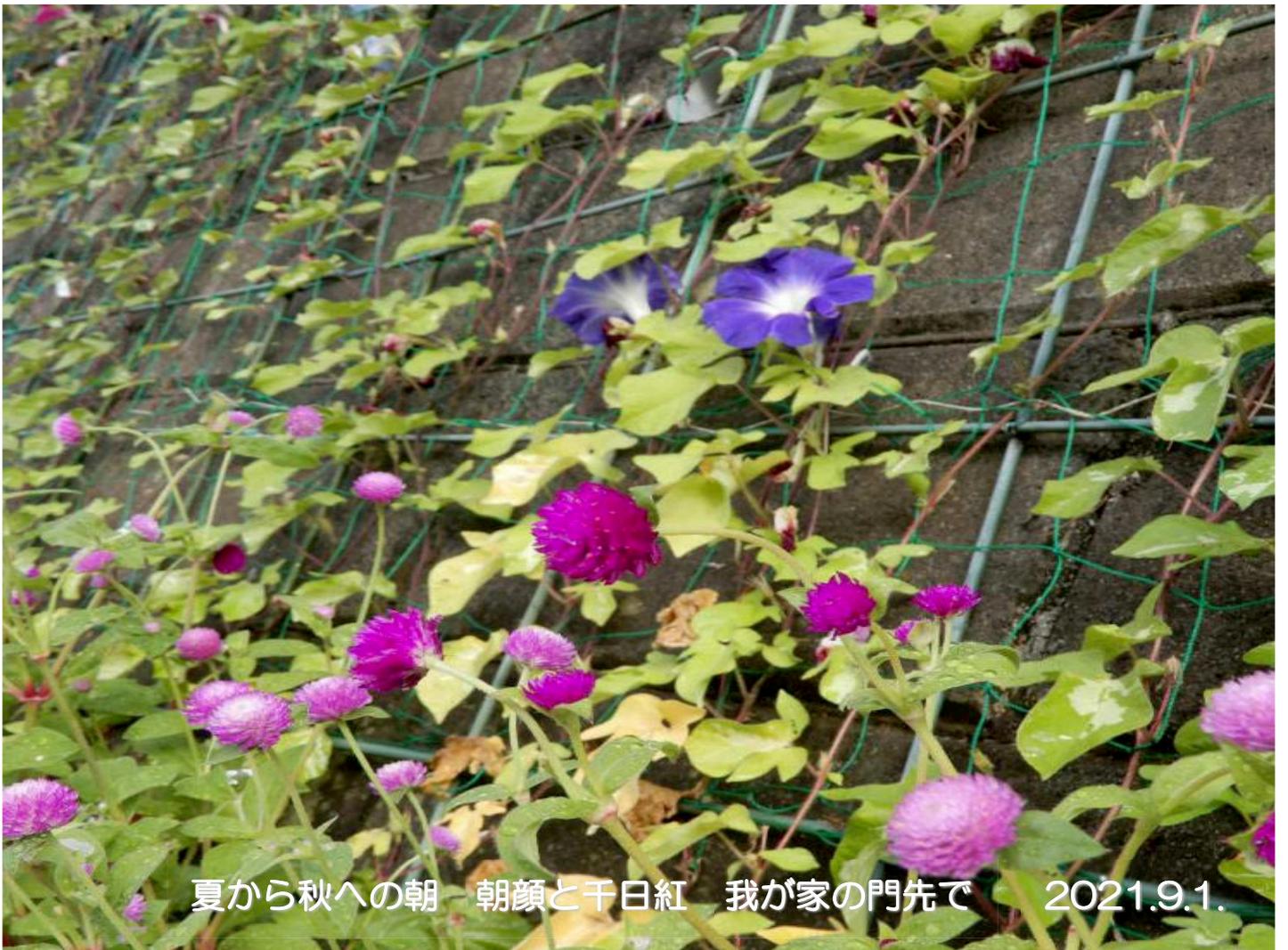
今日も 夏の終わりを飾っています 我が家の門先で 2021.9.1.



夏から秋へ我が家の門先で 2021.9.1.



夏から秋への朝 朝顔と千日紅 我が家の門先で 2021.9.1.



夏から秋への朝 朝顔と千日紅 我が家の門先で 2021.9.1.



夏から秋への朝 朝顔と千日紅 我が家の門先で 2021.9.1.



2021.9.1.

2021朝顔帳 夏の朝を爽やかに

今年も夏の朝を爽やかにしてくれた朝顔の便り・朝顔帳







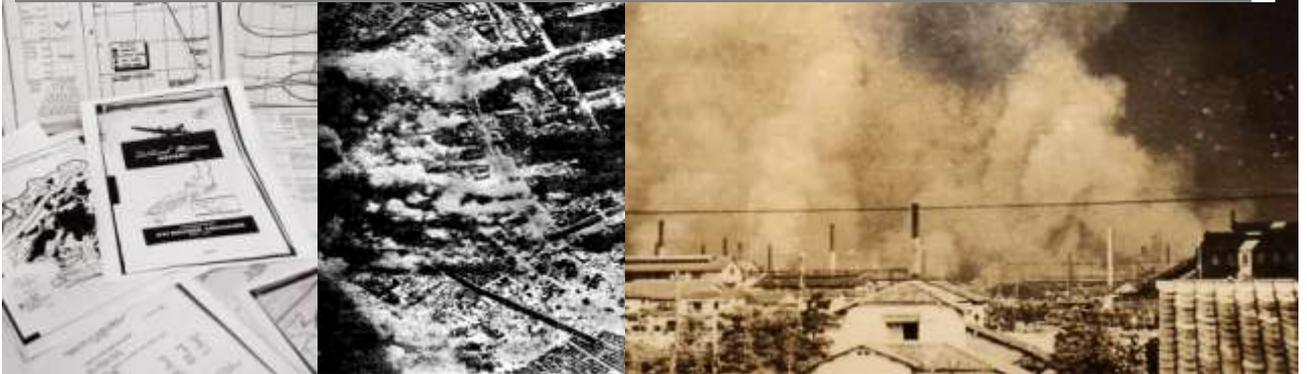
2. 8月神戸新聞に掲載された阪神大空襲・尼崎空襲の特集記事のPDF切り抜き整理

8月神戸新聞に掲載された阪神大空襲・尼崎空襲の特集記事 幼少の断片的な記憶がらつつと。

空襲を受けた傷跡が残る故郷「尼崎 東灘波 梅の里」 幼少の記憶を呼び起こしてくれた

神戸新聞 2021. 8. 17. 阪神空襲と米軍文書 尼崎空襲の記事

2021. 8. 27. 採録 Mutsu Nakanishi



爆撃日	昼夜	作戦	目標	出撃機数	爆弾の投下量(米ト)	機内爆弾	高性能爆弾	その他
3月13~14日	夜	大都市焼夷弾攻撃	大阪市街地	295	1732.6			
3月16~17日	夜	大都市焼夷弾攻撃	神戸市街地	331	2308.7			19.4
6月1日	昼	大都市焼夷弾攻撃	大阪市街地	509	2706.9			81.6
6月5日	昼	大都市焼夷弾攻撃	神戸市街地	523	3006.3			72.8
6月9日	昼	精密爆撃エンパイア計画	川西航空機工場製作所	46			263.5	
6月15日	昼	大都市焼夷弾攻撃	大阪一筋市街地	511	3157.3			
7月19日	夜	精密爆撃石油施設攻撃	日本石油関西製油所など	84			701.8	
7月24日	昼	精密爆撃エンパイア計画	川西航空機工場製作所	348			1154.5	
8月5~6日	夜	中小都市空襲	西宮一御影市街地	261	1922.8		33.5	47.6

上左: 尼崎市域が攻撃対象となった1945年6月15日の空襲に関する米軍の「作戦任務報告」の写し

上中: 1945年6月5日朝、B29爆撃機の攻撃を受けて炎上する神戸の街(米軍撮影) 上右:

上右: 1945年8月6日の空襲で燃える西宮市街(多田克さん提供)

下左: B29爆撃機

下右: B29爆撃機による阪神間の主な空襲

神戸新聞 2021年8月15日 阪神空襲 狙われた理由(1) 阪神空襲と米軍文書 尼崎と西宮で異なる作戦より



左: 1945年6月15日の空襲体験を語る淀川トシ子さん=尼崎市

中上: 尼崎市域への攻撃中心地点を示した米軍文書「作戦任務報告」(国立国会図書館デジタルコレクションより)

中下: 焼け野原となった1946年ごろの尼崎市の杭瀬商店街付近(故・中田寅一氏撮影、尼崎市立歴史博物館提供)

右: 尼崎市域への攻撃中心地点を示した米軍文書「作戦任務報告」尼崎空襲概略図

新聞 2021年8月15日 阪神空襲 狙われた理由(2) 阪神空襲と米軍文書 臨海部避けた焼夷弾「投下のミス」は思い込みより

狙われた理由(2) 阪神空襲と米軍文書 臨海部避けた焼夷弾「投下のミス」は思い込みより

1945年6月午前8時半すぎ、爆撃機「B29」の511機もの編隊が紀淡海峡を抜けて大阪湾に入り、兵庫県尼崎市に迫り来る。

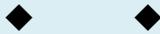
当時19歳の淀川トシ子さん(95)は杭瀬地区で製鋼関連の軍需工場に出勤し、作業を始めたところだった。空襲サイレンを聞き、「またか…」と工場敷地内の防空壕(ごう)に向かいながら、晴れ渡った空をあおいだ。翼長43メートル、全長30メートルの銀色の要塞(ようさい)が、南の空にびっしりと張り付いている。真っすぐこちらに向かってくるのを見て思った。

「この一帯に軍需工場はここしかない。間違いなく、狙ってくる」

8時44分。米軍資料によると、計2846・3トンもの焼夷弾を2時間10分にわたって投下していく。淀川さんは防空壕の隙間から同僚たちと身を寄せて機体を見上げた。真上でまかれた焼夷弾はそれぞれ真っ青な空でバラバラにはじけ、ソフトボール大の黒い塊になって降ってくる。

しかし、それは工場敷地内に落ちず、北側に大きくそれていくように見えた。

「トシちゃんの家の方から火が上がってるよ！」誰かが大声で言った。



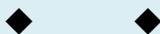
淀川さんは軍需工場が無事だったのにもかかわらず、北約1キロ先にある自宅の一角が焼け野原になったことを長らく「米軍の投下ミス」だと思い込んできた。しかし、作戦は確実に遂行されていた。

米軍は、尼崎を中心に3カ所の攻撃点を設け、その一つが淀川さんの自宅もあった市街地の「直径2・4キロ地帯」だった。狙いは国鉄(現・JR)沿線にある国内随一のプロペラ工場「住友金属プロペラ製造所」だったのだ。

米軍指揮官だったカーティス・ルメイは1月の就任後、火災に弱いという日本建物の弱点に着目して「焼夷弾攻撃」を採用。3月から始めた尼崎空襲は当初、日本軍の対空砲火や空中戦に備えて夜間を狙ったが、日本側の戦闘力が低いと分かると、6月からは午前中に仕掛けるようになった。

この日、4回目となる尼崎空襲は大阪とのセットでなく、尼崎を集中的に狙った最初で最後の攻撃だ。

先頭を飛ばす機体が工場向けの「結束焼夷弾」を落として炎上させ、後続機が延焼力の高い「油脂焼夷弾」を次々に放って大火災を引き起こした。



では、なぜ淀川さんが働いた軍需工場は狙われなかったのか。それどころか、尼崎市内では「日本石油製油所」や「尼崎人造石油工場」「陸軍燃料廠(しょう)」など武庫川河口に広がる臨海工業地帯も無事だった。

その理由を、米軍文書はこう記す。

「区画が水路や空き地で区切られ、大規模な延焼が期待できない」。

つまり、川や海に近いと消火されやすく、作戦効率が悪いと判断された。

「尼崎は大阪の付随とみなされ、結果的に徹底した攻撃を免れた可能性がある」と、

市立歴史博物館職員の上川敦氏は指摘する。

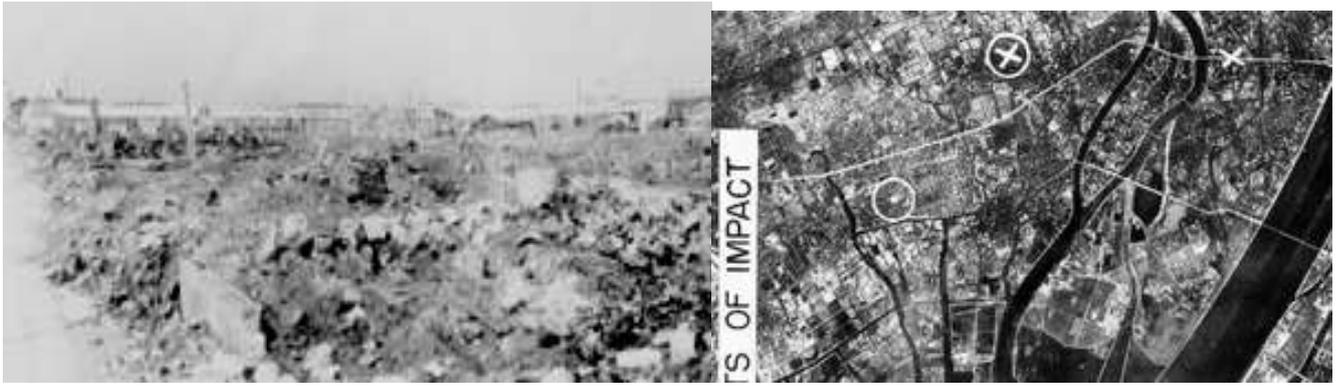
プロペラ工場は66%が壊され、市内の建造物区域の11%が焼き尽くされても、市史などに伝わる尼崎の死者は

479人で、同県西宮市の637人に比べて少ないのは、作戦の違いが影響しているという。

米軍はこの日の尼崎空襲をもって「5大都市空襲を完了」とし、

西宮をはじめとする中小都市への無差別攻撃に戦術を切り替えていく。

(竹本拓也、久保田麻依子)



尼崎空襲を示す概略図には現在の JR 尼崎から南の港・大阪湾沿岸の工場地帯へ真っ直ぐ伸びる尼崎港線が伸びる尼崎市街地が空襲を受けた。

戦争の記憶はないのですが、私の生まれた東難波・梅の里周辺では、阪神尼崎から真っすぐ北に伸びる通称十間道路（五合橋線）が伸び、その両側には、空襲の痕跡を残す未使用地が点々と残る光景が、幼い遠いが一番古いき昔の記憶として頭にある。また、記憶は本当に断片的ですが、この十間道路を通して、米軍に接收された旧住友プロペラ工場への道が整備され、米軍キャンプから甲子園へ軍用専用バス、また 当時十間道路を真っ直ぐ北に走る五合橋線を走る木炭バスにも記憶がある。今の尼崎では想像もつかない姿。もう接收された米軍キャンプを知る人もほとんどいなくなった。

そんな尼崎の下町で育って、大学を卒業して就職したのが米軍に接收された旧プロペラ工場跡に建設された鉄鋼の住友金属中研。

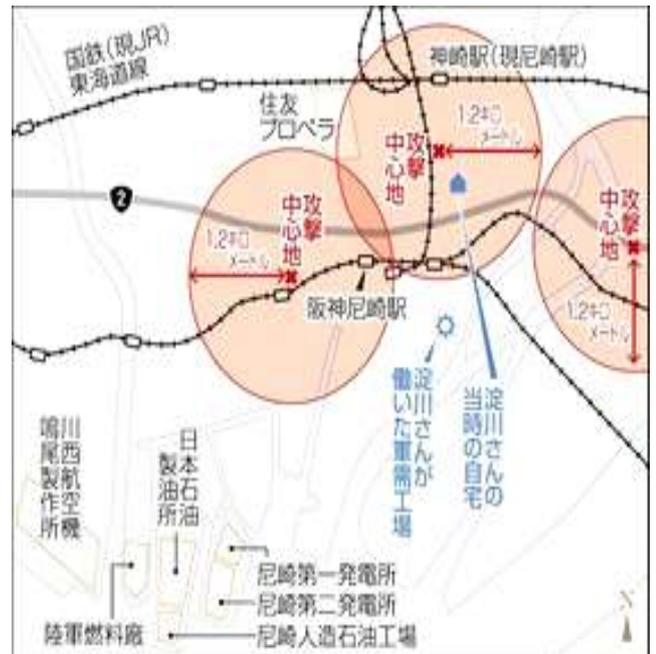
研究所の門をくぐると正面に昔よく遊んだ広場と建物がそっくりそのまま残っていて、びっくり。

また配属された溶接の職場はピンクハウスと呼ばれていたかつてのプロペラ工場の頑丈なコンクリート造りの建物。

今は住金が日本製鐵に合併視され、近代的なモダンな低モノ軍に変わって、すっかり昔のおもかげもなくなってしまいました。が。。。。。

故郷尼崎の空襲時の姿

本当に思い出深い記憶を呼び起こしてくれた神戸新聞の記事。幼い頃の記録や写真がほとんど泣く、しっかり記録にとどめておこうと切り抜き再録しました。



2021. 8. 25.

by Mutsu Nakanishi

神戸新聞 2021年夏の特集記事 阪神空襲

[阪神空襲と米軍文書 - Bing](#)

- 2021年8月15日 狙われた理由(1)阪神空襲と米軍文書 尼崎と西宮で異なる作戦
- 2021年8月17日 狙われた理由(2)阪神空襲と米軍文書 臨海部避けた焼夷弾「投下のミス」は
- 2021年8月19日 狙われた理由(3)阪神空襲と米軍文書 同時攻撃で迎撃を分散
- 2021年8月21日 狙われた理由(4)阪神空襲と米軍文書 西宮-御影業火に包む

神戸新聞 2021年8月15日 阪神空襲

■1. 狙われた理由(1)阪神空襲と米軍文書 尼崎と西宮で異なる作戦



爆撃日	昼夜	作戦	目標	出撃機数	爆弾の投下量(米ト)		
					焼夷弾	高燃焼爆弾	その他
3月13~14日	夜	大都市焼夷弾攻撃	大阪市街地	295	1732.6		
3月16~17日	夜	大都市焼夷弾攻撃	神戸市街地	331	2308.7		19.4
6月1日	昼	大都市焼夷弾攻撃	大阪市街地	509	2706.9		81.6
6月5日	昼	大都市焼夷弾攻撃	神戸市街地	523	3006.3		72.8
6月9日	昼	精密爆撃エンバイヤ計画	川西航空機工場製作所	46		263.5	
6月15日	昼	大都市焼夷弾攻撃	大阪-尼崎市街地	511	3157.3		
7月19日	夜	精密爆撃石油施設爆撃	日本石油関西製油所など	84		701.8	
7月24日	昼	精密爆撃エンバイヤ計画	川西航空機生体製作所	348		1154.5	
8月5~6日	夜	中小都市空襲	西宮-御影市街地	261	1922.8	33.5	47.6

上左: 尼崎市域が攻撃対象となった1945年6月15日の空襲に関する米軍の「作戦任務報告」の写し

上中: 1945年6月5日朝、B29爆撃機の攻撃を受けて炎上する神戸の街 (米軍撮影) 上右:

上右: 1945年8月6日の空襲で燃える西宮市街 (多田克さん提供)

下左: B29爆撃機

下右: B29爆撃機による阪神間の主な空襲

びっしりと英語で書き連ねられた資料の束がある。太平洋戦争で少なくとも1354人が亡くなったとされる阪神間の空襲で、米軍が攻撃目標や航空機の編隊を細かく記した公文書だ。表題は「作戦任務報告」と訳され、兵庫県に関する分だけで2千ページに上る。なぜ、人々は空から狙われたのか。市民の証言と共に、地域ごとに異なる作戦の意図を読み解きたい。(竹本拓也)

尼崎市 479人	西宮市 637人	芦屋市 139人	伊丹市 6人
宝塚市 83人	川西市 少なくとも5人	三田市 5人	

これは市史などにある阪神間の空襲死者数だ。国の調査はなく、戦後76年を経ても被害の全容は分からない。一方で米軍は人を除く破壊については戦略と成果を詳細に記録していた。

1944年8月、サイパン、テニアン、グアムなどマリアナ諸島を攻略した米軍はここを拠点として、ついに日本本土のほぼすべてを爆撃可能圏内に収めた。

45年1月に就任した指揮官は、陸軍少将のカーティス・ルメイ。「皆殺しのルメイ」の通称で日本人に恐れられ、後に起こるキューバ危機（62年）で米空軍参謀総長として旧ソ連への先制核攻撃を大統領に進言し、広島型原爆46万個分の爆弾投下を計画する人物だ。就任2カ月後の3月13日、米軍は尼崎を最初に阪神間の攻撃を始める。人々が見上げた空には、あの大型爆撃機「B29」があった。



「阪神間はあらゆるタイプの攻撃を受けており、いわゆる『空襲の縮図』と言えるまちなんです」

膨大な米軍資料を読み込んだ尼崎市立歴史博物館の職員辻川敦氏はそう話し、ルメイが主に計画した四つの破壊目標を挙げる。一つは、西宮、宝塚市域にあった航空機工場。二つ目は尼崎市の武庫川河口に立ち並ぶ石油工場群だ。そして、都市としての尼崎が三つ目、西宮が四つ目に当たると指摘する。実は隣り合うまちで、作戦の色合いは全く違っていったというのだ。米軍はターゲットにする都市を綿密に決めていた。人口約33万人だった尼崎は「5大都市」の一つ、大阪の付随とみなされた。地続きに阪神工業地帯を形成するとして、米軍は戦略上の重要性をこう記す。

「神戸と大阪に電力を供給する大火力発電所群がある。工業の中心地であり、鉄鋼、電気製品、機械を生産し、南西には巨大な製油所がある」一方で当時人口約13万人の西宮は「中小都市」と位置づけられた。大都市破壊の後、工業地があるかどうかを問わずに全国137都市の市街地と住民を標的としたのだ。作戦はドイツ空軍がスペイン内戦（37年）で掲げた思想になっていた。「一般市民を総力戦を担う敵とみなして攻撃することで継戦意思を奪う」



戦前から尼崎市に暮らす関山光司さん（85）は6月の空襲直後、疎開先から急いで自宅に戻った時の衝撃を今も忘れない。一部の神社や寺の門だけを残し、自宅を含めてすべての建物が焼き尽くされたまちに、丸焦げになった同級生の遺体を見た。「なんでここだったのか…」と思わずにいられなかった。地上にいた市民の目線と共に、空からの攻撃を再現する。

神戸新聞 2021年8月17日 阪神空襲

2. 狙われた理由（2）阪神空襲と米軍文書 臨海部避けた焼夷弾「投下のミス」は思い込み



左：1945年6月15日の空襲体験を語る淀川トシ子さん＝尼崎市

中上：尼崎市域への攻撃中心地点を示した米軍文書「作戦任務報告」（国立国会図書館デジタルコレクションより）

中下：焼け野原となった1946年ごろの尼崎市の杭瀬商店街付近（故・中田寅一氏撮影、尼崎市立歴史博物館提供）

右：尼崎市域への攻撃中心地点を示した米軍文書「作戦任務報告」尼崎空襲概略図

145年6月午前8時半すぎ、爆撃機「B29」の511機もの編隊が紀淡海峡を抜けて大阪湾に入り、兵庫県尼崎市に迫り来る。

当時19歳の淀川トシ子さん（95）は杭瀬地区で製鋼関連の軍需工場に出勤し、作業を始めたところだった。空襲サイレンを聞き、「またか…」と工場敷地内の防空壕（ごう）に向かいながら、晴れ渡った空をあおいだ。翼長43メートル、全長30メートルの銀色の要塞（ようさい）が、南の空にびっしりと張り付いている。真っすぐこちらに向かってくるのを見て思った。

「この一帯に軍需工場はここしかない。間違いなく、狙ってくる」

8時44分。米軍資料によると、計2846・3トンもの焼夷弾を2時間10分にわたって投下していく。

淀川さんは防空壕の隙間から同僚たちと身を寄せて機体を見上げた。

真上でまかれた焼夷弾はそれぞれ真っ青な空でバラバラにはじけ、ソフトボール大の黒い塊になって降ってくる。

しかし、それは工場敷地内に落ちず、北側に大きくそれていくように見えた。

「トシちゃんの家の方から火が上がってるよ！」誰かが大声で言った。



淀川さんは軍需工場が無事だったのにもかかわらず、北約1キロ先にある自宅の一角が焼け野原になったことを長らく「米軍の投下ミス」だと思い込んできた。

しかし、作戦は確実に遂行されていた。

米軍は、尼崎を中心に3カ所の攻撃点を設け、その一つが淀川さんの自宅もあった市街地の「直径2・4キロ地帯」だった。狙いは国鉄（現・JR）沿線にある国内随一のプロペラ工場「住友金属プロペラ製造所」だったのだ。

米軍指揮官だったカーティス・ルメイは1月の就任後、火災に弱いという日本建物の弱点に着目して「焼夷弾攻撃」を採用。3月から始めた尼崎空襲は当初、日本軍の対空砲火や空中戦に備えて夜間を狙ったが、日本側の戦闘力が低いと分かると、6月からは午前中に仕掛けるようになった。

この日、4回目となる尼崎空襲は大阪とのセットでなく、尼崎を集中的に狙った最初で最後の攻撃だ。

先頭を飛ぶ機体が工場向けの「結束焼夷弾」を落として炎上させ、後続機が延焼力の高い「油脂焼夷弾」を次々に放って大火災を引き起こした。



では、なぜ淀川さんが働いた軍需工場は狙われなかったのか。それどころか、尼崎市内では「日本石油製油所」や「尼崎人造石油工場」「陸軍燃料廠（しょう）」など武庫川河口に広がる臨海工業地帯も無事だった。

その理由を、米軍文書はこう記す。

「区画が水路や空き地で区切られ、大規模な延焼が期待できない」。

つまり、川や海に近いと消火されやすく、作戦効率が悪いと判断された。

「尼崎は大阪の付随とみなされ、結果的に徹底した攻撃を免れた可能性がある」と、

市立歴史博物館職員の辻川敦氏は指摘する。

プロペラ工場は66%が壊され、市内の建造物区域の11%が焼き尽くされても、市史などに伝わる尼崎の死者は479人で、同県西宮市の637人に比べて少ないのは、作戦の違いが影響しているという。

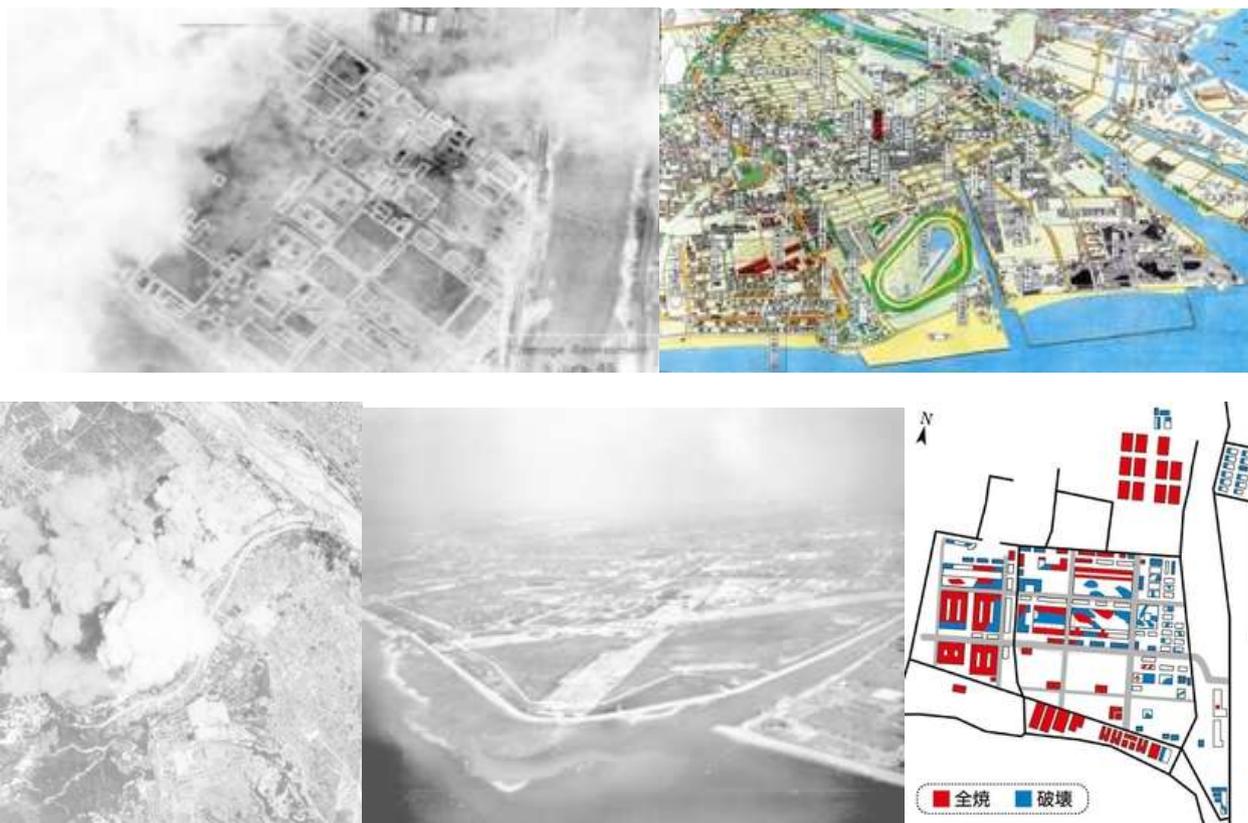
米軍はこの日の尼崎空襲をもって「5大都市空襲を完了」とし、

西宮をはじめとする中小都市への無差別攻撃に戦術を切り替えていく。

（竹本拓也、久保田麻依子）

■3. 2021年8月19日

狙われた理由(3)阪神空襲と米軍文書 同時攻撃で迎撃を分散



上左: 川西航空機鳴尾製作所への爆撃後、米軍が撮影した写真 (米国国立公文書館所蔵)

上右: 1942年の鳴尾村を再現した鳥瞰 (ちょうかん) 図。競馬場の場所が鳴尾飛行場になる (『鳴尾村誌』より)
1942年の鳴尾村を再現した鳥瞰 (ちょうかん) 図。競馬場の場所が鳴尾飛行場になる (『鳴尾村誌』より)

下左: 米軍が撮影した川西航空機宝塚製作所への爆撃。右上は武庫川 (米国国立公文書館所蔵)

下中: 鳴尾飛行場一帯。右は鳴尾川=1959年

下右: 米軍が記録した川西航空機宝塚製作所の損害状況米軍が記録した川西航空機宝塚製作所の損害状況

激しい地響きと共に、少年少女らが暮らす50棟の寮施設が次々と崩れ落ちた。

1945年7月24日午前10時半すぎ、兵庫県宝塚市域にあった航空機生産工場「川西航空機宝塚製作所」に、77機のB29が1千ポンド爆弾901発を集中投下した。

「ストライク」。そんな説明付きの写真を米軍兵が撮った真下で、製作所職員だった当時39歳の男性Sさんは寮内の防空壕 (ごう) にいて、がれきに埋もれた。動員された少年ら200人の世話を寮でしていた。

病気の2人を両脇に抱いて壕からはい出ると、続く爆撃で吹き飛ばされた。その頃、どこからか対空砲火が放たれ、B29の1機が墜落する。しかし、日本軍の戦闘機はほとんど現れず、空からの攻撃はやむことがなかった。

米軍の作戦は通称「エンパイア計画」。宝塚と大阪、名古屋市などの主要な重工業施設6カ所を同時に襲撃する。狙いの一つは、日本側の迎撃態勢を分散させることにあったのだ。倒壊した女子寮でSさんは少女の頭を見たが、木材に挟まれて救えない。その奥で、少女8人が寮母に抱かれるように折り重なって息絶えているのが見えた。

「何故 (なぜ) この様な子供まで犠牲にしなければならなかったのか」。Sさんは戦後、そう問い続け、惨状を手記に残して亡くなった。



3月16~17日 神戸空襲 約280機 6月5日 神戸空襲約150機

6月9日 川西航空機の鳴尾製作所・川崎航空機の明石製作所への爆撃 計約50機

7月24日 川西航空機の宝塚製作所への爆撃 (エンパイア計画) 県外含めて25~30機

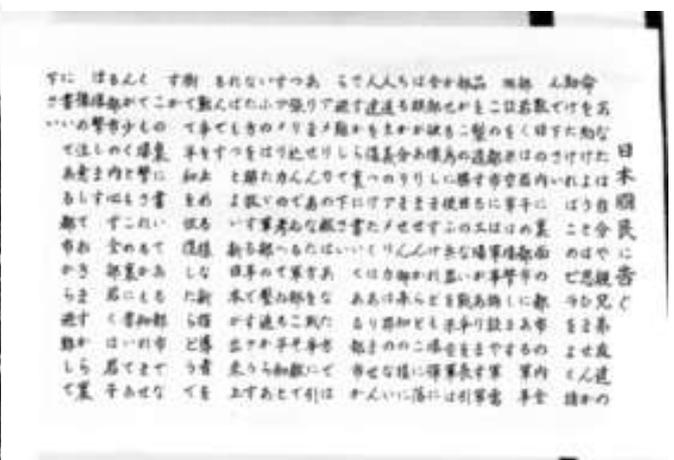
これは米軍文書に残る日本軍戦闘機の迎撃機数だ。6月の神戸空襲を米軍は「大阪一名古屋地域で最も激しい抗戦」と記録。日本軍は戦闘機150機と高射砲で迎え撃ち、B29は474機のうち11機を失い、170機以上が損傷した。しかし、これを機に日本軍の戦闘機出動は激減する。そこで米軍は航空機の生産拠点を徹底的にたたいて戦闘力を弱める戦術を進めた。反撃されやすくとも命中率が高い昼に狙い、同時多発攻撃で迎撃リスクを避けたのがエンパイア計画だった。市史などによると鳴尾製作所では工場の6割以上が破壊・焼失され、付近住民を合わせ48人が死亡。宝塚製作所は8割を焼き壊され、計106人が死亡したとされる。



「日本の本土防衛には、わずかの戦闘機しか残っていないと考えられる」。計画遂行後、米軍文書はそう考察を記す。宝塚では日本の数機が飛来してきても、攻撃さえしてこなかった。旧防衛庁資料によると、京阪神には伊丹、大正飛行場（現・伊丹、八尾空港）という二つの防空拠点がしたが、部隊は43年から外地に駆り出されて全滅を重ね、戦力を消耗していた。それでも、尼崎市立歴史博物館職員の辻川敦氏はこう指摘する。「迎撃自体の効果が期待できず、残った戦闘機はできるだけ温存して避難させていたんです」日本軍は本土決戦に向けて、体当たり攻撃などの奇襲に備えていた。米軍は交戦することなく空からの攻撃で終わらせようとしていた。標的は施設ではなく、人そのものへと移っていく。（竹本拓也）

2021年 8月21日。

■4. 狙われた理由(4) 阪神空襲と米軍文書 西宮一御影業火に包む



左上：阪神大空襲で家屋などが焼き壊された西宮神社付近

右上：1945年7月27、31日に米軍が西宮市上空からまいたビラ。

「爆弾には眼がありませんからどこに落ちるか分かりません」などと記す

左下：「全国主要都市戦災概況図」にある西宮市の被災状況（国立公文書館デジタルアーカイブから）

右下：「空襲にも人の死にも慣れてしまっていたことが恐ろしい」と語る宮内宏さん＝西宮市

真っ暗な空から火の雨が降ろうとしていた。

1945年8月6日午前0時半ごろ、「プーン、プーン」と兵庫県西宮市松下町の住宅街に空襲警報が響きわたる。当時7歳だった宮内宏さん(82)は、夜空一面に小さくきらめく無数の火の玉を見て「きれいな星々だな」と思えた。

家族10人と庭の防空壕(ごう)へと駆け込もうとした瞬間、焼夷(しょうい)弾が家々の壁や屋根に突き刺さり、あちこちで火柱が上がる。メキメキと焼けていく音を壕の中で聞いた。

「近くに軍需工場があるから狙われたんじゃないか、と幼心に思った」

その直後、西宮市域の南東部にあった鳴尾村(当時)でも住宅街に炎が広がる。

村には川西航空機鳴尾飛行場があり、住民たちは「戦闘機を松林に隠したから標的にされたんじゃないか」とうわさした。西宮市―神戸市東灘区を業火に包んだ「阪神大空襲」。

米軍文書によると、255機のB29が西宮市域の南西から飛来し、1時間36分にわたり、北東へと波状的に1922・8トンもの焼夷弾を落とした。当時の西宮市域の約2割が焦土と化し、485人が命を落とした。

鳴尾村でも188人、芦屋市でも89人が犠牲となったとされる。



これまでの連載で、6月の尼崎空襲はプロペラ工場などが狙われ、7月には航空機工場が標的にされたことを書いてきた。ならば、阪神大空襲は何を目標としたのか。

米軍資料を調査する神戸大学地域連携センターの学術研究員佐々木和子氏は「それは単純かつ合理的なもの」としてこう解説する。

「住宅密集地。特定の軍事目標をたたくのではなく、狙ったエリアのすべてを無差別に攻撃する『じゅうたん爆撃(カーペット・ボミング)』です」

6月5日に「神戸」、6月15日に尼崎を含む「大阪」を狙った「5大都市空襲」を完了させた米軍は、それ以外の中小都市を壊滅させる作戦に移る。

米軍資料によると、通常は一つの中小都市に一つの航空連隊140機程度で臨むところ、西宮―御影間を1都市とする「阪神」には倍の2隊を向けていた。神戸、大阪の大都市に挟まれた「産業の後背地」としてとどめを刺したのだ。

実は1週間前、米軍は2度にわたり、西宮の空から大量のビラをまいていた。

「罪のない人達を傷つけたくはありませんですから裏に書いてある都市から避難して下さい」

無差別空襲の予告だった。米軍はこれを「フェアな警告戦法」とし、市民の戦意を喪失させつつ、米軍への信任を深めさせる狙いを込めていた。

しかし、「阪神大空襲は、市民の防火レベルを完全に超えている」と佐々木氏は話してこう指摘した。

「人々は結局、イライラ、じたばたしながら、待つしかなかったんです」

空襲を終えて6時間後、B29は人類初の原子爆弾を広島から投下した。



阪神間へのB29による空襲は尼崎市で8回、西宮市で5回、芦屋市で4回を数えた。7月下旬からは中小都市に当たらないまちにも戦闘機で機銃掃射を加え、川西市で少なくとも5人、三田市でも児童ら5人の命を奪った。

8月15日。戦争は終わった。(竹本拓也、村上貴浩)

3. 絵文字で描いた兵庫県全図 いま インターネットで絵文字の場所探しが人気に
一番の人気はお城の絵文字で描かれた尼崎だと…・ほかにもいろいろ場所探しにはまっています。



こもりあやみ
@ayami_setron

小森文美さんがデザイン「絵文字で描いた兵庫県図」
<https://maidonanews.jp/article/14428775>
今インターネットで 絵文字の場所探して
話題やという
皆さんは幾つご存じでしょうか
正解はみなそれぞれ ワイワイガヤガヤが狙いとも

一番の人気は尼崎城やと。
川西の絵文字の場所は三ツ矢サイダー発祥の地だと初めて知りました。
地図の場所大体そうぞうついたのでありますが・・・7つの「山」の絵図で示された〇〇アルプスと称される山並のようですが、まだよくわからず、解明中。

絵文字で描いた兵庫県図
ご存知と思いますが、
尼崎の話題の意味も込めて、お知らせ。
作者からは絵文字の場所公開されていないので、余計に誰もが思い思いに想像できるので面白い。
下から4段目の左から2つ目「鹿」の絵文字も面白い。いったいどこやろか・・・と。
どうも「鹿ヶ壺」という名所らしい。

元気になったら、一度行ってみようか...と
2021.9.1. from Kobe Mutsu Nakanishi

小森文美さんがデザイン「絵文字で描いた兵庫県図」 <https://maidonanews.jp/article/14428775>

「絵文字で描いた兵庫県図」 場所のシンボル絵文字ヒント抜粋

一番人気だという 私の故郷「尼崎」のシンボル絵文字 探せますか・・・



この絵文字なに？と聞かれそうなものを書いときますね
北から順に

- 生野銀山
- 西はりま天文台
- 三木市・小野市の金物
- 加西市のフラワーセンター
- 播州そろばん
- 川西市の三ツ矢サイダー
- 太子町の斑鳩寺
- 神戸市須磨区のユニバー競技場
- 家島諸島

絵文字57個で表現した「兵庫県」を拡大して見る（こもりあやみさん提供）

4. 平和って なんだろう 8月いつも思い起こす「命は宝」

コロナ禍の中で生活が脅かされる政治主導が全く方向を見失ってしまった日本の社会
神戸新聞に掲載された評論に惹かれました

針路21

平和主義の実践

客員論説委員

直野 章子



へいせいって、なんだろう。しかし、相手は強から
ずが広島県の保育園に通う。6歳までの幼児である。いっ
ていた頃、よく口にしてた。たいさちって「平和」を教
えた。聞かずに「さうだね、ええいのか先生に尋ねてみ
なんだろうね」と心の中で、と、みんなを仲良く暮らし
ふやっていた。
海心地近の園だけあって、とが「平和」なのだ話して
か、折り鶴を折ったり、原爆、いらいりだった。
や戦争の絵本を読み聞かせた。保育園では、「穏やかにや
りする平和宣言が行われて、わがこと戦争がない状態」
だそう。

子どもにどう教えれば

と云う「平和」の
味を共に学んでいるが、どち
らかといふと前編に重きを置
いている。「平和な心」や「平
和を暮らし」であれば、幼く
てもつかむとができるから
だろう。そのうえで、戦争で
命や家族を奪われた子どもの
話をすると、「戦争」や「原
爆」は「平和」を壊すものだ
と、子どもたちにも伝わる。
こうして、それが何である
かは理解できなくても、戦争
や原爆は嫌だという気持ち
が、子どもの心に芽生えるの
だろう。

2面に続く

へいせいって、なんだろう
學が広島県の保育園に通っ
ていた頃、よく口にしてた
歌だ。聞かずに「さうだね
なんだろうね」と心の中
ふやっていた。

1面から続く

戦後日本の平和教育や「戦争体験の継承」では、戦争がいかに悲惨な体験だったかを伝えることで、戦争を否定し、平和を尊ぶ心を育もうとしてきた。しかし、戦争体験を知るとして、平和の大切さが理解できたとしても、それが反戦や非武装といった平和主義の理念につながるとは限らない。

近代日本の戦争が「東洋の平和」を掲げて遂行されたように、「戦争」と「平和」は、必ずしも対立するわけではない。「平和な暮らし」を守るためにこそ、武装する必要があると考えることもできるからだ。実際に、戦後日本の世論は、非武装主義を掲げた憲法を擁護する一方で、「力による平和」を暗に支えてきた。

敗戦から間もない時期、「戦争はもうこりこり」という感情が広く生じていたのは確かだろう。しかし、戦争や再軍備に反対する意

針路21

暮らし脅かす権力にあらがう

鬼が主流であったかという点、それをかきつけたと評価するとはほどではない。1950年代の世論調査を見ると、条件付きで戦争を肯定する人が絶対反対という人より多かったし、54年の自衛隊発足までは、再軍備に賛成する人が反対の人より多かった。また、戦争に絶対反対、再軍備反対の意見が多数派になった60年代になっても、国防のための軍備は必要と

思っていた。白衛隊を肯定する意見も増え多数派になった。敗戦後、侵略戦争と軍国主義は否定されたが、国を守るためには武装して有事に備える必要があると考える国家安全保障論は、自衛隊肯定という形で、世論に支持されてきたといえるのだ。

いう人は、不要という人を世に上回っていったし、白衛隊を肯定する意見も増え多数派になった。敗戦後、侵略戦争と軍国主義は否定されたが、国を守るためには武装して有事に備える必要があると考える国家安全保障論は、自衛隊肯定という形で、世論に支持されてきたといえるのだ。

ら遠く、じっくりと向き合う必然性を感じることはないからだ。若い世代が、我が事として捉えるには、戦争の被害体験だけでなく、被害者や加害被害者が戦後をどう生きたのかを伝えることが重要なのではないだろうか。戦争で傷を負われただけでなく、戦後においても、被害を耐え忍ぶ

◆このシリーズは、随時掲載します。

厳しい新型コロナ蔓延もようやく収束の兆しも見えはじめましたが、油断は禁物
でも 秋の到来にほっと一息 気分も新た 頑張らましよう



足の踵骨折から約3ヶ月 やっと足をかばうことなく歩けるように。
毎日歩く西神戸の里は秋真っ盛り でもまだまだ坂道やロングで歩くと足が痛くなる。
ちょっと山道も歩けたので、少しずつ 伸ばせば山も登れそう。
長期戦でも自信つきました。 街中であれば、もう普通に。
コロナもこのまま収まって、 早く普段の生活取り戻したいですね。
いろいろご心配をおかけしました。

2021.9.18. 久しぶりに秋の横尾道を歩いて Mutsu Nakanishi

Monthly 2021年 10月 October 西神戸・東須磨の田園を彩る秋の風物詩

10月 真っ青な空 秋の草花が里を彩る里の秋



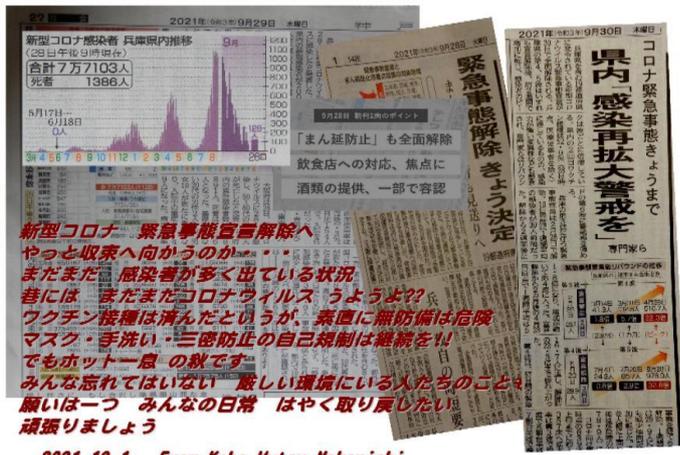
1. 10月 コロナ禍の中で迎えた秋 近況便り
2ヶ月入院から解放 春はもう秋に コロナも収束の兆し まだ油断なく
3ヶ月ぶりの更新 特に目新しい記事ありませんが、元氣です
 2. 追悼悼 経済評論家 内橋克人さんご逝去
行き過ぎた市場経済主義に警鐘 ぶれることなく人重視を貫く
■【2021年10月 From Kobe】内橋克人さん逝去に想いをつのらせて
<https://www.infokkna.com/ironroad/2021htm/2021mutsu/fkober0310Uchihashi.pdf>
 3. コロナ禍の中でうれしいニュース
祝 北海道・北東北の縄文遺跡群がユネスコ世界文化遺産登録決定
 4. 西神戸の田園を彩る秋の風物詩 青い空に秋の草花が里を彩る里の秋
1 須磨 横尾道の秋の七草観察塔 2 西神戸の伊川谷の彼岸花
3 加古川西岸 来住野野原の里のそば畑
 5. 気まぐれ秋の空 竜巻の卵が見えたのかも 2021.9.18.↓
台風一過 突然 播磨灘に現れた空の雨雲から海へ数本の細い柱状の雲↓
- ◎ 10月更新気掲載トピックス



車大歳神社の社殿崩落を守った
車大歳神社の巨樹大楠
鎮守の森の大楠にもありがとう



妙法寺 車の里で 車大歳神社の社殿崩落を守った車大歳神社の巨樹大楠 鎮守の森の大楠にもありがとう



新型コロナウイルス 緊急事態宣言解除へ やっと収束へ向かうのか...
 まだまだ、感染者が多く出ている状況
 昔には、まだまだコロナウィルス うようよ??
 ワクチン接種は済んだというが、素直に無防備は危険
 マスク・手洗い・三密防止の自己規制は継続を!!
 でもホットー息の秋です
 みんな忘れてはいない 厳しい環境にいる人たちのこと
 願いは一つ みんなの日常 はやく取り戻したい
 頑張りましょう

2021.10.1. From Kobe Mutsu Nakanishi

コロナ禍の中で うれしいニュース
 祝 北海道・北東北の縄文遺跡群がユネスコ世界文化遺産登録 正式決定!! 2021.7.2.



殺伐とした世相の中で 日本人の心ふるさと縄文が世界文化遺産へ
 10数年 何度も跳ね返されながらも10数年挫折することなく
 多くの市民たちの手をつつと続けられてきた世界遺産登録への道
 ユネスコの世界遺産登録諮問機関が日本の縄文を登録勧告。
 待ちに待った世界遺産登録へ おめでとう!! From Kobe
 世界に類のない1万年もの長きにわたり、
 平和で豊かな生活が続いた日本の「縄文」社会
 そのエンジンは「他人を思いやる心」。
 それは人類が幾多の苦難を克服し現在に続いてきた根幹であり、
 日本の縄文文化を象徴する遺物・遺構の数々なども
 また世界文明に引けを取らぬ。
 今 コロナ禍の苦難の中で、日本が見失いがちな「他人を思いやる心」
 殺伐とした世相が続く今 日本人の心の故郷「縄文」を
 ぜひ知ってもらいたい。
 待ちに待った世界遺産登録 おめでとう!!



私の秋迎え 深まりゆく郷の秋を彩る野草 花言葉

<フジバカマ>



藤袴の花言葉
 「たのしい」「躊躇」「遅れ」、「あの日を思い出す」
 藤袴の咲き方から、花言葉が生まれたという

<ヒガンバナ>



彼岸花の花言葉「情熱」「独立」
 「想いはあなただけ一人、また会う日を楽しみに」
 「悲しい思い出」「再会」「あきらめ」

<ソバ>



蕎麦の花の花言葉
 「淡かい思い出」



私の秋迎え 今年もスライド動画にもして、秋の夜長を楽しんでいます



毎日の散歩道で 想いは人それぞれ 道端の野草の花にはっと気が付き、過ぎし日を思い出す
 また 一つ 宝物 道端の名も知らぬ花にも思いが募る
 またなんとなく人恋しい秋の夜長 コロナ禍行動節制の中で、はじめた断捨離とアルバム整理 入院の間を含め、
 思いがけずも 我が身を振り返る機会に なにげないPhotoに目が留まる
 もう やきがまわったのか..... でもまだまだ気力も好奇心もある 足も回復 さあ これからやと
 まず一歩 散歩を楽しむ



コロナ収束の兆しに 街もほっと一息

先が見えぬ厳しいコロナ禍
 困難の中にある仲間へ 思いをはせています。
 一人で頑張らず、無理せず 今はみんなに声あげて!!
 仲間がいる。仲間の元気はみんなの応援歌
 互いに連絡取り合って 元気に前向いて笑顔で今を。

God be with You!!
 From Kobe Mutsu Nakanishi

1. 10月 コロナ禍の中で迎えた秋 近況便り



妙法寺 車の里で 車大歳神社の社殿崩落を守った車大歳神社の巨樹大楠 鎮守の森の大楠にもありがとう
2ヶ月の入院から解放 巷はもう秋に ご心配かけました
コロナも収束の兆し まだ 油断なく
3ヶ月ぶりの更新 特に目新しい記事ありませんが、元気にやっています
風来坊のPhoto Album 心やすめになれば

6月末脚の踵骨折治療で入院 折しも新型コロナ蔓延で外部の人との接触アウトの雪隠詰めの足を地につけられぬ車椅子生活。

今年の酷暑の夏を丸々病院で過ごし、退院した時はもう初秋。色々ご心配かけましたが、今は元気に活動をはじめています。ありがとうございました。

空白の3ヶ月この間 ひしひしと時代が変わると感じた日々でした。

また、「足が地につけられないとこんなに大変なんや。

足に地がついていないとはこのことか!!」と身にしみて感じました。

この間、自分のことで精一杯なのに 近況等声かけてくれた多くの仲間たちにも感謝です。

2ヶ月の入院から解放され、家に戻ると巷は酷暑の夏からもう秋に。

見るもの聞くものすべて新鮮 浦島太郎ですが、歩行訓練を兼ねての周辺walkを元気にやっています。

また、おかげさまで家族もみんな元気。

ワクチン接種もみんな完了し、ホッと一息です。

いつも夏から秋は若者たちのスポーツシーズン 毎年せつせと通いましたが、今年は何一つ観戦できずでした。

やっと元気な若者たちも街に戻ってきて、うれしい限り。

また、緊急事態宣言も解除、気がかりだった仲間の店 そして仲間の飲み会連絡取れずにいる仲間たち みんながみんな一日も早く新しい日常を取り戻せるようコロナも収束してほしいと願っています。

でも 油断は禁物 どうか抜かりなく もうひと頑張りしましょう。

また、色々暇に任せて、メールやLINEで病院から発信してきたことなどを含め、10月のホームページ更新として発信させていただきました。

3ヶ月ぶりの更新 特に目新しい記事ありませんが、

退院後、目にした風来坊のPhoto Album

心やすめになればと。

2021.10.5. From Kobe Mutsu Nakanishi

添付写真2枚 1枚は地に足つけられずの踵骨折 自戒のお守りです。

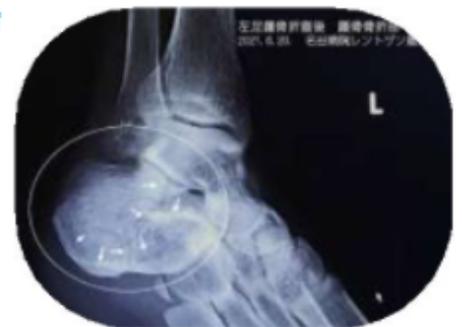
もう一枚は 崖にどっしり根を張り、車大歳神社の社殿崩落を守った車大歳神社の巨樹大楠。

2年前の台風崖崩れの道や社殿の復旧作業がやっと完成。全体がなかなか見渡せなかったのですが、周辺も整備され、下からこの堂々とした巨樹を見渡せるように。

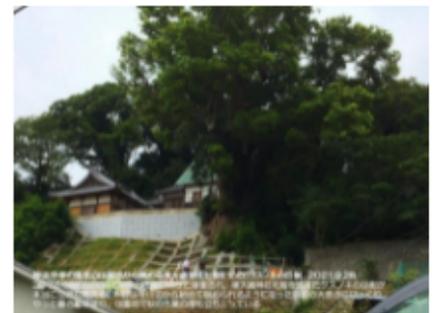
鎮守の森の巨樹 車大歳神社の大クスノキ 堂々と変わらず立つ姿に感動。

もう 自分の時代ではないと感じる昨今ですが、まだまだ好奇心旺盛 気力もあり、足も復活。

とぎれとぎれになりそうですが、ポストコロナの時代へ 元気に前向いと。



左足 踵骨折レントゲンPhoto 2021.6.21.



車大歳神社の社殿崩落を守った
車大歳神社の巨樹大楠
鎮守の森の大楠にもありがとう



神戸の街 総合運動公園界隈等にも 若者たちの明るい顔と歓声が戻ってきました

2. 追悼 経済評論家 内橋克人さんご逝去

行き過ぎた市場経済主義に警鐘 ぶれることなく人重視を貫く



私が社会人の時代 一番惹かれ、影響を受けた一人かもしれません。
NHK朝6時45分 内橋克人さんの声が久しぶりに流れてくるといつもホット一息
今はただただ天国で安らかに憩われますよう God be with You!!
From Kobe Mutsu Nakanishi

■【2021年10月 From Kobe】内橋克人さん逝去に想いをのらせて

<https://www.infokkna.com/ironroad/2021htm/2021mutsu/fkobeR0310Uchihashi.pdf>

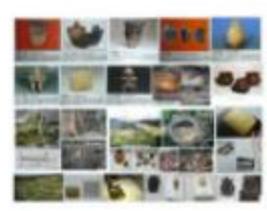
3. コロナ禍の中でうれしいニュース

祝 北海道・北東北の縄文遺跡群がユネスコ世界文化遺産登録決定

待ちに待った世界遺産登録へ おめでとう!! From Kobe



北東北・北海道の縄文遺跡を ユネスコ世界遺産登録に



殺伐とした世相の中で 日本人の心のふるさと縄文が世界文化遺産に正式決定へ

10 数年何度も跳ね返されながらも 10 数年挫折することなく多くの市民たちの手で続けられてきた世界遺産登録への道。ユネスコの世界遺産登録諮問機関が日本の縄文を登録勧告。

東日本大震災が発生し、日本全体が苦難の中にあった 1911 年「日本の心のふるさと縄文 縄文の心が苦難の中にいる人たちを勇

気づける」との思いから三内丸山縄文の会「縄文ファイル」4 月号に東日本大震災のお見舞いと日本の縄文を世界遺産にと応援メッセージを送ったことも。またもう 20 年近くになるが、初めて青森の三内丸山遺跡へ行った時の事や

三内丸山遺跡でのお月見 そして霧の中で出会った青森小牧野遺跡のストーンサークル等々を思い出しています。世界遺産になっても、今までと同じく、一般の人たちにも広く開かれただれもが語り合える遺跡群であってほしいと願

っています。 ◆参考 世界の人に日本の縄文を知ってほしい 心優しき縄文人 縄文帰りの勧め 2014.5.6

【北東北・北海道の縄文遺跡をユネスコ世界遺産に】

世界に類のない一万年も平和で豊かな生活が続いた時代日本の「縄文」

そのエンジンは「他人を思いやる心」

家族・仲間に思いを寄せつつ 平和の願いもまたひとしお

平和で穏やかな暮らしが ひろく行き渡るよう

<https://www.infokkna.com/ironroad/2015htm/iron11/jyomongaerineew.pdf>

4. 西神戸の田園を彩る秋の風物詩 青い空に秋の草花が里を彩る里の秋

1. 須磨 横尾道の秋の七草 藤袴 淡い薄ピンクの小花を沢山つけて、飛来する蝶 アサギマダラを待つ
2. 西神戸の伊川谷の彼岸花 稔りの田の畦を真っ赤に彩る西神戸伊川谷 小寺&上脇の里
3. 加古川西岸 来住野・野尻の里のそば畑 小野アルプスの山裾の田園を真っ白にするそば畑

私の秋迎え 深まりゆく郷の秋を彩る野草の花言葉 西神戸 秋の散歩道で

花言葉それぞれにも 思い入れ一杯 人それぞれ

<フジバカマ>



藤袴の花言葉
「ためらい」「躊躇」「遅れ」、「あの日を思い出す」
藤袴の咲き方から、花言葉が生まれたという

<ヒガンバナ>



彼岸花の花言葉「情熱」「独立」
「想いはあなた一人・また会う日を楽しみに」
「悲しい思い出」「再会」「あきらめ」

<ソバ>



蕎麦の花の花言葉気
「懐かしい思い出」

毎年 この時期 西神戸の里を彩り、夏から秋へ 秋の訪れを告げる秋の草花 日本の田舎の原風景 わたしの毎年の楽しみ秋迎え 今年も素晴らしい秋景色に出会えました。

◎ 淡い薄ピンクの小花を沢山つけて、飛来する蝶 アサギマダラを待つ

須磨アルプスの山裾 横尾道の藤袴の群生地



淡い薄ピンクの小花沢山つけて、飛来する蝶 アサギマダラを待つ 須磨アルプスの山裾 横尾道の藤袴の群生地



絶滅が危惧される秋の七草 山裾のブッシュの中の群生を地元の人達がそつと保護。
今年には飛来するアサギマダラを一匹見つけることができました。

◎ 稔りの田の畦を真っ赤に彩る西神戸 広い田園地帯伊川谷の郷の彼岸花
 自宅から車で10分 普段着の姿の郷の彼岸花 今年は特に美しい。



稔りの田の畦を真っ赤に彩る西神戸 広い田園地帯伊川谷の郷の彼岸花 伊川谷 小寺の里 & 上脇の里 2021.9.19.

◎ 加古川東岸小野アルプスの山裾の田園を真っ白にする小野来住野 & 加古川 志方野尻の里
 また JR 加古川線小野町駅のそばをお腹いっぱい食べて帰るのも楽しみの一つです
 細かい蕎麦の花 そば畑の中に入ってレンズを拡大して眺めるのも一興
 また、この加古川西岸小野アルプスの山裾の田園は10月半ばをすぎると
 黄金色に稔った田園地帯をピンクに染めるコスモス畑が出現する素晴らしい秋景色もまた楽しみ



加古川東岸小野アルプス山裾の田園を真っ白にする小野市来住野 & 加古川市志方野尻の里

西神戸 東播磨加古川西岸の郷の田園風景は素晴らしい日本の里の秋の原風景 今月の更新「風来坊・Country walk」の項に写真アルバム並びにスライド動画として記録掲載しましたので、Walk 詳細はそちらで御覧ください。

HP Monthly Page 2021 10月 コロナ禍蔓延の中で迎えた2021年の秋

<https://www.infokkna.com/ironroad/2021htm/R0310.htm>

5. 気まぐれ秋の空 竜巻の卵が見えたのかも 2021.9.18.

台風一過 突然 播磨灘に現れた空の雨雲から海へ数本の細い柱状の雲



9月18日 横尾道 野路菊の丘から西の播磨灘を眺めていて、竜巻の卵みたいな空と海が連なった渦巻状の細い雲柱を眺めました。

幅の広い雨の領域と晴れている領域の境界を眺めることは時々ありますが、海と空の雲がつながった細い渦巻状の雲柱をはっきり認識したのは初めて。台風14号は18日午後3時 東海沖で 熱帯性低気圧に変わりました。

日本気象協会の発表によればちょうどこの日は台風14号が瀬戸内を横に縦断していった日。

でも勢力弱く神戸では午後には晴れ間が出ていました。

今年の秋も夏同様 異常気象が続くかもしれません。

留意せねば・・・・・・・・と。

でも デジカメに収めることもでき、ラッキーでした。



◎ 10月更新気掲載 トピックス

10月 真っ青な空 秋の草花が里を彩る里の秋 < コロナ禍 この秋の散歩道で スライド動画 >



私の秋迎え 今年もスライド動画にもして、秋の夜長を楽しんでいます





写真アルバム並びにスライド動画として記録掲載しました Walk 詳細は上記リンクから御覧ください。

◎10月更新後記

和鉄の道・Iron Road HP 10月のページになんとか更新できました。

コロナ禍の中で足踵骨折が入院を伴う大変な損傷とは夢にも思わず、しかも病院はコロナ禍外部接触オールアウトの面会謝絶。びっくりもしましたが、自らを振り返るいい機会となりました。

まだまだロング歩行は厳しいのですが、街中では問題なく普通の活動を始めています。色々ご心配いただき感謝です。

6月末足の踵骨折治療で入院 折しも新型コロナ蔓延で外部の人との接触アウトの雪隠詰めの足を地につけられぬ車椅子生活。
今年酷暑の夏を丸々病院で過ごし、退院した時はもう初秋。
色々ご心配かけましたが、今は元気に活動をはじめています。ありがとうございました。
空白の3ヶ月の間 ひしひしと時代が変わると感じた日々。
色々暇に任せて、メールやLINEで病院から発信してきたことなどを含め、
10月のホームページ更新として発信させていただきます。
もう 自分の時代ではないと感じる昨今ですが、まだまだ好奇心旺盛 気力もあり、足も復活。
とぎれとぎれになりそうですが、元気に前向いて発信をと。
後期高齢者だからとは言えなくなった新型コロナへの戦い そしてポストコロナの時代へ
みんなの一番の願いは穏やかな日常の社会生活を取り戻せること。
前向いてがんばりましょう

仲間の元気は みんなの応援歌!! 頑張りすぎず、時には声をあげて!!
お互いスクラム組んで 助け合ってこの難局を乗り越えましょう
笑顔で逢えるのを 楽しみにしています
ワクチン接種も済ませましたが、まだまだ収束は道半ば
まだまだ厳しい自己抑制の日々が続きますが、どうか 無理せず、
元気に前向いてお過ごしください
また連絡ください God Be With You!! 2021.10.5.
From Kobe Mutsu Nakanishi

高齢者にとって病院は気楽では無し。一番ビックリしたこと 2件参考になれば・・・

◎ 病院では後期高齢者は全く相手にされないこと初めて知りました。独立した人格として扱われぬこと。一日のスケジュールすら頭の上を越えてゆく。知らぬ間に車椅子で あっちこっちに動かされ、びっくりでした。75歳を超えると本人は判断能力なしの徹底した扱い。どうもどこでもそのように決まっているらしい。相談はすべて入院のときに指定した保証人相手。

なんでやねん 病院にいる本人をもっと相手にしろ!! と思うのですが、長く病院にいると其の事情もわかってきましたが、大変でした。

◎ 外部連絡は携帯電話・スマホのみ 本人が身の回りに持ち込まないと悲惨 全くの浦島太郎になる。人に動かされるのを好まぬ我が身 大変でした。十分健康にご留意ください。

でも おかげでコロナPCR検査そして成人病検査で引っかかっていた値もすべてクリアできてラッキーでした。

今回のHPの更新も含め、最近神戸を中心とした私のwalkが主。

私にとってはその年ごとの行動記録の財産なのですが、当初意図してきたライフワーク目的と随分変わっていますが、続ける中で価値も生まれるだろうと。勝手な解釈しています。

HP当初の取り組み目標だった製鉄遺跡探訪を中心としたたたら製鉄 和鉄の道 鉄のルーツ探訪。

約10年にわたる愛媛大村上恭通教授らのユーラシア大陸鉄の電波の道探求の研究成果シンポに聴講参加させていただき、教えてもらった人工鉄の起源から日本への伝播の道(Iron Road)を自分なりにまとめをして一段落に。

また、鉄のない時代「日本の縄文」の世界遺産登録が決定され、こちらも一区切り。

私のHPもほぼ幕を閉じてもいいかなあ・・・と漠然と。

- ◎ 和鉄の道・Iron Road 今一番の興味は、このポストコロナの時代 地球温暖化の課題解決が急務になる中で、炭酸ガスを大量に放出する高炉による日本の近代製鉄業が突きつけられた大逆風。
日本の鉄鋼は新しい時代へ道を切り開けるのか・・・
鉄の惑星地球の上で 幾多の苦難を乗り越え人類繁栄の道を切り開くパートナーであった「鉄」
ポストコロナの時代と鉄
自分ではもう何も提供できませんが、鉄の底力を信じて、大きな興味を持ってこのHP 和鉄の道・Iron Road から眺めてゆきたいと。ご了解ください。
- ◎ おりしも季節は夏から秋へ。近くの西神戸や加古川西岸の田園では秋の草花が咲き乱れ、素晴らしい里景色。薄ピンクの淡い小花をいっぱいつけて群生するショウジョウバカマ 実りの里の田の畔を真っ赤に縁取るヒガンバナ そして岡に挟まれた狭い傾斜地前面を真っ白に染めるソバの花
これら 西神戸 秋迎えの花 花言葉をしらべるとみんな「思い出 思い出」につながっている。
ことしはいつになく美しい秋景色
今の行き過ぎた市場中心主義経済に古くから警鐘を鳴らし続け、人重視の経済への転換を主張し続けた経済評論家 内橋勝人さんがこの9月に逝去され、残念でなりません。
思えば内橋克人さんも神戸の人 内橋克人さん手向けの秋景色とも。
また秋迎えごと 花を見ると内橋さんを思い出さそう
God be with You!! ほんとうにありがとう 安らかに 天国で 憩われますよう

また、歳老いて 毎月更新する力なく、不定期随時更新でこのホームページを進めてゆくつもりです。
頭 気力は衰えつつありますが、興味・好奇心はまだまだ旺盛 勝手気ままな風来坊
そんな気分でもうすこし、このHP を進めてゆきたいと考えています。
今後ともよろしく願います。
なんとんでも まずは コロナが収束し、
一日も早く 安定した穏やかな生活 生活基盤が確立できますようお願い申し上げます。

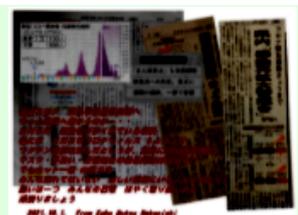


仲間の元気は みんなの応援歌 みんな無理せず前向いて!!
コロナ終息 新しい時代への希望・期待に胸膨らませ、お互いスクラムくんで God be with You!! 頑張りましょう
自己中の水行末、雲来末、風来末の風来坊 お許ください。
今ひとつ 行動自己節制しつつ、我が身をお守りください。 ありがとうございます。

2021.10.5. From Kobe Mutsu Nakanishi



老化・病気・介護などの困難とみんながむきあう新時代
いつも困難の中にある仲間にも思いをはせています
仲間の笑顔を活力に!!
みんな笑顔がとりもどせますよう
今一度スクラム組んで 今を元気に!!
2021.10.5. from Kobe
Mutsu Nakanishi





久しぶりに眺める神戸の街・大阪湾そして須磨の海に気分爽快 西六甲高倉山-旗振山の縦走路 山上の散歩道で 2021.11.13.



2021.11.20. 私の街 須磨妙法寺 若草の丘の紅葉

神戸の街・山も真っ赤に色づき 丘を真っ白にして野路菊の花が咲いて秋送り

油断は禁物と気分も新たに前向いて!! と自らを奮い立たせる

コロナ禍も収束の兆しの中 神戸秋の便りをと思いながら、もう師走の足音がすぐそこに

- 11月から12月へ 深まりゆく秋 コロナ渦の中 遅れに遅れた神戸の秋便りです
緊急事態宣言解除と共に With コロナ・ポストコロナの時代への動きも急加速
国家の未来図が描かれない今の政治 小林喜光氏の指摘(2019年3月15日)をし今一度かみしめよう
日本は心地よいゆでガエル状態 カエルはいずれ煮え上がる
- 毎年訪ねる東播磨秋の風物詩 満開のコスモス畑 2021.10.18.↓
加古川西岸 志方の郷 コスモス畑を心地よい秋風が渡る風の道を訪ねる
- 楽しみに見ていたNHK 毎朝の連続小説「おかえりモネ」が10月末に完結
神戸新聞のコラム「正平調」にも取り上げられました 11月の毎朝が寂しくなるなあ・・・
- オリックスワファローズ パリーグ 優勝 おめでとう!!
25年ぶりの日本リーグ優勝は是非神戸で
- 神戸新聞 桂文珍の落語的見聞録 コロナ禍の中で ほっと一息
- ポストコロナの時代の模索が始まっています 我々一人一人は 今何をすべきなのでしょう?
気になった11月の新聞・インターネット記事より↓
- 横尾山 山腹を真っ白にして咲く野路菊 2021 私の秋送り 2021.11.11.
今年はコロナ禍の中 友を思い浮かべて 想いはひとしお
11月の半ば横尾山山腹にノジギクの花が咲きだすと丘に登り、
逝ってしまった仲間 先輩諸氏 知人を思い浮かべつつ 友を悼んでいっときを過ごす
© 12月 深まりゆく秋 掲載トピックス↓



秋の夕暮れはつるべ落とし 明石海峡の夕暮 やっと山歩きができるようになりました 2021.11.13.



紅葉した神戸わが町須磨 若草の丘・横尾道・名谷・妙法寺周辺で 2021.11.20.

2021 私の秋送り 友を想い浮かべて 2021.11.11.

横尾山 山腹を真っ白にして咲く野路菊

11月の半ば横尾山山腹にノジギクの花が咲きだすと丘に登り、
逝ってしまった仲間 先輩諸氏 知人を思い浮かべつつ、友を悼んでいつときを過ごす
今年にはコロナ禍の中 想いはひとしお



この白い花の中に先に逝った仲間や先輩諸氏の面影を想う 寂しくもあるが、毎年先に逝った仲間からも元気をもらう
この夏断舍離兼ねて 古いアルバムを整理する中で、忘れかけていた仲間との思い出にも再会 想いはひとしお
God be With You!! 口笛吹いて 気をはらし 明日を元気に!
2021.11.11. 野路菊の丘で

コロナ禍の中 ホッと骨休め 街を離れて心地よい秋の風を感じながらの神戸の秋の花巡り

深まりゆく秋の花だより<コスモス・秋のバラ・野路菊> 花言葉

<コスモス>

<ばら>

<野路菊>



ばらの花言葉
「乙女の良心」「調和」「平和」、「謙虚」

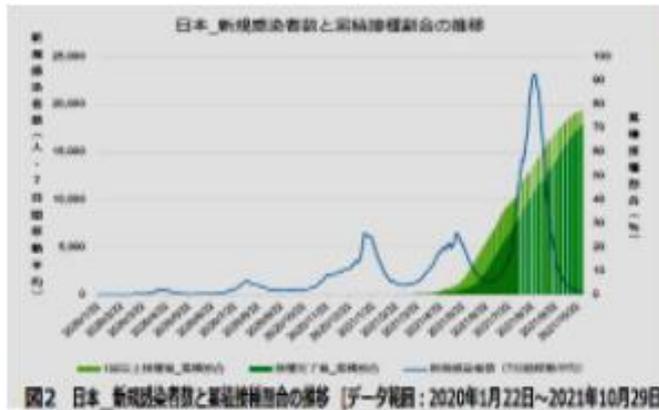


黄色いばらの花言葉
「友情」「平和」



野路菊の花言葉
「真実」「高潔」

1. 11月から12月へ 深まりゆく秋 コロナ渦の中 遅れに遅れた神戸の秋便りです
 緊急事態宣言解除と共にWith コロナ・ポストコロナの時代への動きも急加速
 国家の未来図が描かれない今の政治 小林喜光氏の指摘(2019年3月掲載)をし今一度かみしめよう
 日本は心地よいゆでガエル状態 カエルはいずれ煮え上がる
 コロナ禍も収束の兆しの中 コロナ収束はみんなの願い はやく日常生活を取り戻したいと
 この間 衆議院選挙もあり、菅内閣から岸田内閣へ政権も交代。
 でも なんともいえずこの一票の軽さ。どんどん取り残されていると感じる無力感



緊急事態宣言解除後も状況は大幅に改善 落ち着いた推移に新感染者数 そして重症患者数も激減へ
 医療崩壊が叫ばれた医療現場もほっと一息 でも欧米や韓国では第6波流行の兆しも・・
 落油断大敵 一機に緩めるわけに行かないが、落ち着いている今、やるべきことを具体的に
保健所・医療現場の改善・日常生活・経済の再構築へ

理由は明確ではないが、急激に新規患者数・重症患者数も激減。医療崩壊と言われた病床逼迫の事態も大きく解消され、11月にはいっても全国的に第6波の兆しもなく、穏やかな感染推移が続いている。

この急激なコロナ患者数激減の理由は色々言われるが、明確な理由はわかっていない。

一方 世界を眺めるとヨーロッパ・韓国など第六波が始まっており、日本でも気を許せぬ状況。

厳しい自己行動規制や度重なる緊急事態宣言規制で、ずたずたになった日々の生活・経済・雇用の再建が急務。

with コロナ コロナ対策と経済の再建が声高に叫ばれているが、その実 全く中身が見えない政治。

なんでもかんでも ほうかむりの仲間政治から脱却しないとそれこそ日本は最貧国へ成り下がる。

いまや 日本は韓国だけでなく東南アジアの各国にも負ける所得水準に。

先進国が軒並み所得水準を2.5倍にのばしている中 日本のみが所得水準が伸びていない。

韓国や東南アジア諸国もまた軒並み所得水準をのばしているのに・・・・・

日本人だけが 未だにそれを認識していない。

何も変わらぬこの閉塞感と不安感に

2019年3月に掲載した小林喜光氏の指摘した「心地よい、ゆでガエル状態」の言葉が浮かんでくる

◎ 2019年3月に掲載した小林喜光氏の指摘した状態が今も続いている現状

経済同友会代表幹事 小林喜光氏 <インタビュー>記事 転記ご紹介

「平成の30年間、日本は敗北の時代だった 敗北日本、生き残れるか

<https://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/2019mutsu/fkobe1903kobayashi.pdf>

小林氏はこう指摘する

「心地よい、ゆでガエル状態なんでしょう。

日本全体は挫折状態にあるのに、挫折と感しない。この辺でいいやと思っているうちに

世界は激変して 米中などの後塵を拝しているのに、自覚もできない。

カエルはいずれ煮え上がるでしょう

● 国家の未来図が描かれないままの政治が与野党含めて続いてしまったためです。

今さえよければ、自分さえよければ、という本音の中で、国民も政治家も生きてきた。

周りが敵ばかりのイスラエルや、覇権を維持するためには科学を前に進めなくてはならない米国などと違い、皆で楽しく生きていきましょうという空気が取り巻いて敗北を自覚しない。
運動会で「みんな一緒にテープを切りましょう」と競争自体を忌み嫌った時期もあった国だから無理もない

安倍政権が残した功罪は極めて大きい。

仲間・お友達政権 国際競争・働き方改革と称した大企業偏重の非正規労働の推進が中間層をなくし、格差助長をまねき、今の社会全体をおおう閉塞・不安社会を作り出した。

まさに「心地よいゆでガエル」状況を演出。それが管政権にひきつがれてきた。

新しい岸田内閣も with コロナ コロナ対策と経済の再建が声高に叫ぶが、旧態依然 同じ体質か???

後手 後手のコロナ対策が誰の眼にもミエミエだったのに、それを教訓とした具体的な施策が組み込まれず。

またぞろ バラマキ実効性のない丸投げ対応が続く。 バラマキは即効でなければ・・・・・・・・・・

脱炭素社会・新しい産業創生と地域産業育成と大企業乗っかりの口先だけではどうにもならぬ。

激動の with からポストコロナへ そしてもう抜き差しならぬ脱炭素社会で生き抜かねばならぬ日本

もう老害の政治・経済のリーダーたちや TV ニュースに期待無し。早くリタイア願いたい。

若者たちは心地よいゆでガエル状態から目を覚まし、現状打破へ立ち向かえと・・・・・・・・・・

想いは人それぞれ でも地球時代を生きる激動の今の時代

小林喜光氏の言葉をもう一度噛み締めてみたい

高度成長をもたらした田中列島改造論・池田所得倍増論の時代・安保に立ち向かった学生運動の時代

なにかそんな熱気溢れた時代の空気も懐かしい

足踵骨折退院して約3ヶ月 また、一つ 嬉しい日常を取り戻せました。

本当に随分長かった・・・・・・・・。足骨折で歩けなかった夏 そして思い入れいっぱいのお許しください

深まりゆく秋 10月18日コスモス満開の報に加古川西岸 里山の間に広がる田園地帯へ

久しぶりの原チャリ駆けての加古川市志方のコスモス畑へ

西神戸から東播磨の田園秋の風物詩 心地よい秋風にそよぐコスモスに 今年も出会ってきました

忘れかけていた小林旭の歌が聞きたくなって スライド動画 Album にもして 愉しんでいます。

また、足踵骨折退院して約3ヶ月 近くの横尾道や山麓バイパス沿いの丘の散策路など足慣らしの walk で

やっと坂道も ok。日常生活には困らぬ状況に。

11.13. 真っ青な空キラキラ光る須磨の海 約15000歩ほどの山歩き walk。

須磨 高倉山-鉄吊山-旗振山 山上の散歩道を歩きました。

まだ長く歩くと少しアキレス腱が痛みますが、やっと山歩きができる状況に。

根っからの風来坊 まだまだ足も動くし、好奇心旺盛 仲間にも出会いたい。

また、一つ 嬉しい日常を取り戻せました。本当に随分長かった・・・・・・・・。

もう 自分の時代ではないと感じる昨今ですが、
まだまだ好奇心旺盛 気力もあり、足も復活。
とぎれとぎれになりそうですが、元気に前向きに発信をと。
後期高齢者だからとは言えなくなった新型コロナへの戦い
そしてポストコロナの時代へ
みんなの一番の願いは穏やかな日常の社会生活を取り戻せること。
前向きにがんばりましょう

先が見えぬ厳しいコロナ禍
困難の中にある仲間へ 思いをはせています。
一人で頑張らず、無理せず 今はみんなに声かけて!!
仲間がいる。仲間の元気はみんなの応援歌
互いに連絡取り合って 元気に前向きに笑顔で今を。

仲間の元気は みんなの応援歌 !!
頑張りすぎず、時には声をかけて !!
お互いスクラム組んで 助け合ってこの難局を乗り越えましょう
笑顔で逢えるのを 楽しみにしています
ワクチン接種も済ませましたが、まだまだ収束は道半ば
まだまだ厳しい自己節制の日々が続きますが、どうか 無理せず、
元気に前向きにお過ごしください
また連絡ください God Be With You!! 2021.11.20.
From Kobe Mutsu Nakanishi



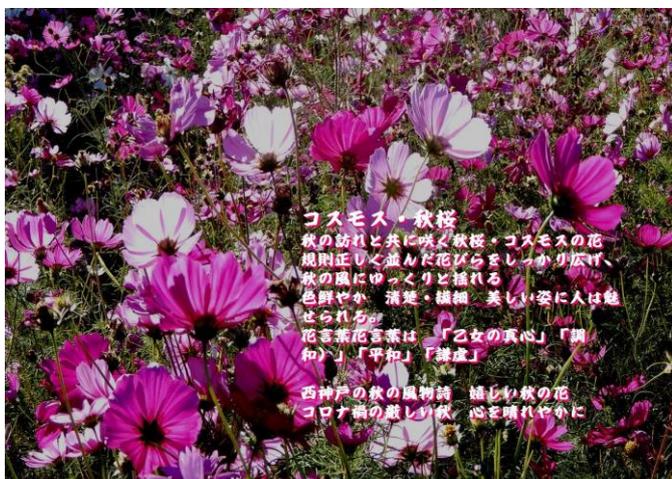
狭い縦走路のドクン中にどっしりと座り
元気をもらおうバメガシノ巨樹



群生するバメガシノの中を歩く
西六甲須磨縦走路で 2021.11.13.

2. 毎年訪ねる東播磨秋の風物詩 満開のコスモス畑 2021.10.18.

加古川西岸 志方の郷 コスモス畑を心地よい秋風が渡る風の道を訪ねる



すっかり秋らしくなりましたが、いかがでしょうか

踵骨折のその後の回復状況も何とか順調。 庭先にコスモスが咲いているのを見かけるようになった 10月下旬 原チャリ乗れるのか??. 運転免許更新 高齢者認知症講習も近い。今年も原チャリで講習受けよう。

原チャリ走らせて 東播磨秋の風物詩 加古川西岸の里山の間に広がる田園地帯志方の里のコスモス畑を見に行きました。送電線が田園の真ん中を渡る志方の里 コスモスの花を揺らして秋の風がゆったりと渡る。

寿命無ではありませんが、送電線が導く水行末・雲行末・風来末 コスモスの畑の花に埋もれてぼんやり周囲を見渡す。毎年のコスモスの絶景。ベストポジションは送電線とコスモス。

心地よい風を感じながらの原チャリツーリングでした。

もうどこでもあるコスモスですが・・・ 送電線にまだ見ぬ秋景色や思いを託す志方のコスモスです。

寒くなってきました。ご留意ください

God Be with You!! 2021.10.21. From Kobe Mutsu Nakanishi

3. 楽しみに見ていたNHK 毎朝の連続小説「おかえりモネ」が10月末に完結

神戸新聞のコラム「正平調」にも取り上げられました 11月の毎朝が寂しくなるなあ・・・

NHKTV 毎朝の連続小説「おかえりモネ」

トレンドドラマは好きではないが、訪れたことのある北上川河口近く

「登米」の町と森と東京の都会を結んで進行する。

NHK朝ドラという ワアワとどんちゃん騒ぎなど

過剰演出の進行だったのに・・・ 大きな様変わり。

バックに流れる静かな音楽とぼそぼそと語られる

フレーズが好きで毎朝 心待ちにして視聴。

ハラハラドキドキ最後まで同じ姿勢 きれいなドラマ

でした。もう一度 登米や三陸にいきたいなあ

いつも頭にある神戸大震災の時 関西にいなかった

私の引け目 ゆったりとしたBGMの中流れるフレーズにいくつも感激。知らぬ間にネットでは若者たちが大騒ぎの

視聴率に。



4. オリックスバファローズ パリーグ 優勝 おめでとう !!

25年ぶりの日本リーグ優勝は是非神戸で



5. 神戸新聞 桂文珍の落語的見聞録 コロナ禍の中で ほっと一息

まず、あのエリ巻きトカ
ゲみたいなシャツ、ワイン
レッドのストリツ、監督と呼
びなでビッグボスと呼
んでほしいとか、優勝は自
指さないとかツッコムと
ころ、満腹、夕しりに笑わ
せてもらった球団もいる
いる考え、支えるスタッフ
がビッグボスを尊敬しない
と任官がないのと思っ
て、

一方、今年の阪神はこの
時期までハラハラさせてく
れた正に感謝感謝。私は
クラマックスシリーズの
第一戦で巨人に負けた日、
阪神電車に乗っていた。甲
子園からタイカースファン
が多く乗ってこられた。そ
の姿を見ただけで、あつ、

「ビッグボス」は面白い
落語「提灯屋。新し
く閉店した提灯屋が、その
祝いに、7日間、提灯に紋
を描き入れるのをタタにす
る、もしも描けない紋があ

「提灯屋。新し
く閉店した提灯屋が、その
祝いに、7日間、提灯に紋
を描き入れるのをタタにす
る、もしも描けない紋があ

新庄ビッグボスの言葉に
は説明や解説、いるやろな
あ。

（から・んちゃん）落
語家。次回12月9日

文化

落語的見聞録

桂文珍

久しぶりに先づロ野球選
手の新庄剛志さん、北海道
日本ハムファイターズ監督
就任記者会見のテレビ中継
で見た。相変わらず面白い。
オーラなのか、華なのか、
理由がわからないところが
何とも面白い。



今日は負けたとわかる
は、望みの機嫌を多々で
進軍すると広告を出した
て来て、タタで持つて帰る。
それを知った提灯屋、提
灯屋を困らせてどうする。
みを「細いさまが大蛇
わしがうめわせをして
ると、腰を上げる。「町内
の若いのが迷惑をかけた。
お呼びにうちの紋を描いて
くれ」「そんな紋です」「丸
に柏の紋。提灯屋。マ
ルにカシワ。わかつた
！」と、スポンと鶴の絵
を描いた。スポンはマル
鶏はカシワというシヤレた
。

神戸新聞 2021. 11. 11. 朝刊より
23 文 化 2021年(令和3年)11月11日 木曜日

6. ポストコロナの時代の模索が始まっています 我々一人一人は 今何をすべきなのでしょう？

気になった11月の新聞・インターネット記事より

「無症状に4人に1人が肺炎に」 和歌山県全感染者の追跡調査でクリアーになった 衝撃の現実 パンデミック舌での自宅待機・ホテル隔離は 切り捨て・置き去り 急務の症状変化の把握ができる体制づくり

【From Kobe 11月】 2021.11.15.
 ポストコロナへ 気になった記事より NHK ニュース
 “無症状の4人に1人が肺炎に” コロナ感染者を追跡調査 和歌山
 2021年10月29日 15時49分
<https://www.3nhk.or.jp/news/html/202111029/k10013326721000.html>

新型コロナウイルスの陽性者をすべて入院させる措置をとっている和歌山県が第5波までの県内の感染者5000人余りを追跡調査した結果、検査の時点で無症状だった人の4人に1人がその後、肺炎になっていたことがわかりました。

県は無症状でも容体の変化に早期に対応できる態勢づくりが必要だとしています。和歌山県は新型コロナウイルスの陽性者に対して全国で唯一全員を入院させる措置を続けていて、第5波までに県内の病院に入院した5169人の追跡調査を行いました。

その結果、検査の時点で無症状だった人は1199人いましたが、このうち4人に1人に当たる331人がその後容体が悪化し、肺炎と診断されていたことがわかりました。

さらに肺炎になった人のうち76人は治療の投与が必要となるなど中等症以上で、20人が死亡したということです。

県は変異ウイルスの影響などもあり当初は無症状でも容体が急速に悪化する危険性が示されたとして、容体の変化を早期に発見し対応できる態勢づくりが必要だとしています。

2021年10月29日 NHK ニュースより

コロナ対策を統括する和歌山県の野尻孝子技監は「これから想定される6波に向けて診断時に無症状だからと油断せず、患者の重症化と感染拡大を防ぐため早い段階から保健所や医療機関が関わっていくことが重要だ」と話しています。

「症状の変化を把握できる態勢づくりなどが必須」
 和歌山県は全国で唯一新型コロナウイルスの陽性者をすべて入院させる措置を続けていて、無症状や軽症者を含めたすべての患者について病状の変化を追跡したデータを感染対策に活用しています。

今回の結果について和歌山県の野尻孝子技監は「最初に無症状でもそのまま経過するわけではなく5日から1週間経過後に急に悪くなる。そういうことがあるので安心はできないということが明確なデータから浮かび上がってきた」と話しています。

そのうえで検査の際に無症状で自宅療養となった場合でも症状が悪化するのを想定し、感染者側からの訴えを待つのではなく保健所側からも積極的に感染者に接触して、症状の変化を把握できる態勢づくりやコロナ病床の拡充を進める必要があると指摘しました。

また第6波に向けた注意点として、野尻技監は「ワクチンを2回接種した人が増えると無症状や軽症の陽性者が増える可能性がある。無症状の人から医療機関や高齢者施設に持ち込まれて集団感染が起きるリスクも見据えて対応していくべきだ」と、注意を呼びかけています

インターネットより採取



極めてしっかりした和歌山県の直接現場の追跡調査の結果である
そして、無症状の患者が自宅待機との名目で、医療関係者の網の目の届かぬ外に置くことによる患者急変・重症化が見事に浮き彫りにされている。

現場に人 それも専門家の育成も含めて 組織が回る運営体制づくりをすすめねば・・・
設備ばかりを言う政治家たち。

この重要さを放置しては 次の対策もないだろう。

「金・人・物」とよく言われるが、私はいつもそれらに「運用・システム」を付け加えてきた。

極めて具体的重要な追跡調査報告であるが、ほとんど取り上げられず無視されている。

また管政権・東京都が採った患者自宅待機の措置についての評価が全く封じられ、

岸田政権・関係閣僚にこの重要ポイントが引き継がれず、

「ポストコロナ ポストコロナの経済立て直し」と「命の大切さ」がまたも なおざりにされている。

コロナ感染者の自宅待機等処置が、医療崩壊の大きな要因の一つではないかとの調査結果を突きつけられてもコメント一つない異常さ。このことがコロナ患者の重症化・死亡者急増に拍車をかけたのではないか・・・この検証を封印しては、次の対策が進まないのではないか・・・

日本の悪癖がここにもある。

「余裕は余裕ならず 無駄は無駄ならず」古くからよく言われてきた格言だ。

日本が突き進んだ効率化の行き過ぎが、コロナ対応のみならず、破綻を招いている。

ポストコロナでの日本社会立て直しの重要視点と思うのですが・・・

2021. 11. 20. Mutsu Nakanishi

所用でタクシーに乗った。運転手さんの声は心なしか弾んでいるようだった。新型コロナウイルスの感染者が激減していることに触れて「これがあと1週間続いたら、もう大丈夫やね」◆ちよつとじんときた。このまま収まるかも…そんな期待のはかなさを運転手さんだつて知らぬわけはない。恐らくは感染者の増一減に目を凝らし、日々を過ごしておられるのだろう。「大丈夫」と祈りながら◆それにしても、なんでこんなに減ったのか。ワクチン接種が進んだから。マスク着用など基本対策のおかげ。ウイルスの感染力が弱まった。謎の周期性。いろいろ理由は語られるが、本当のところは分からない◆「小春日和」。時候の言葉が浮かぶ。気象解説者、倉嶋厚さんの本によれば昔は「冬の愛想」といわれたそう。しばしの春を思わせる今ごろの穏やかな天気は、寒い冬からのささやかな贈り物でもあったらしい◆政府はきのう、「コロナ」第6波」対策をまとめた。3回目のワクチン接種のほか、重症化を抑える飲み薬をできるだけ早く、多く確保し、入院病床も増やすという。現場で働く人たちの手当ても手厚く願いたい◆小春のうちに備えを急ぎ、冬の嵐を抜ければきっと本当の春が見えてくる。

過去の失敗は、繰り返すまい。 2021.11.13

2021. 11. 13. 神戸新聞朝刊コラム「正平調」より

7. 横尾山 山腹を真っ白にして咲く野路菊 2021 私の秋送り 2021.11.11.

今年はコロナ禍の中 友を想い浮かべて 想いはひとしお
11月の半ば横尾山山腹にノジギクの花が咲きだすと丘に登り、
逝ってしまった仲間 先輩諸氏 知人を思い浮かべつつ、友を悼んでいっときを過ごす



2021.11.11. 横尾道 野路菊の丘で

■ 脱炭素社会についての新聞やインターネット記事もずいぶん多く掲載されるようになりました。

今回は整理掲載出来ていませんが、お許しください。

ポスト Corona の時代への始動 もうタイムリミットに来ている脱炭素社会構築の激動の時代
其中で、日本はどうなるのか 掛け声ばかりで、具体的な実践ロードマップやマイルストーンがなくて
取組現況がブラックボックスの計画など幾つぶち上げて意味がない。

「安全・安心・持続可能」と最後につければ、何でもかんでも具体的な説明責任を果たしたと思っている人もいる。
一昔前の「IT・AI」と同じで、あまりにも付け焼刃。胸には「持続可能な開発目標（SDGs）」のバッジが躍っている。

原料から製品そして流通販売までトータルとして一貫通貫の低炭素脱炭素でなければ意味がない。

ごく一部分を取り上げての宣伝 PR に利用し、トータルとした社会構築はあなた任せの記事も多い。

気になるエネルギー源の根幹を担っている石炭火力発電や鉄鋼の高炉生産プロセスにおける脱炭素技術の取組などは、
炭酸ガス放出量が多いだけに、生産規模が大きいゆえに、脱炭素せねばならぬ量が多く、プロセス変更・設備投資等
一期にとは行かず、低炭素社会実験には一番重要な取り組みながら、宣伝臭さが多い報道・政治分野からの発言(減炭
素量・取組評価)では目に触れぬことも多い。

また 炭酸ガスを出さぬ原子力の安全性も本当にどうにもならぬのか・・・。

声は小さいが、冷却材に水などではなく、高温に耐える黒鉛材等を使う小型原子炉の安全性は高く、特にこれら小型原子炉の技術研究では 日本の技術レベルがトップだとも漏れ聞く。

炭酸ガス放出量を大きく軽減する大型火力発電用のボイラー技術(超々臨界圧ボイラー等)でも日本はトップにいると聞く。

これらの分野で今取組んでいる地道な脱炭素・炭素排出低減の技術が成功すれば、軽減できる炭素量が多いだけに現実的なイノベーションによる世界の脱炭素社会構築に大きな役割を演じることができると期待している。

今回も幾つかエネルギー分野や鉄鋼の取組 そして放出炭酸ガスからの材料開発・炭酸ガス封じ込め技術等々眼にしましたが、まとめられませんでした。

また、日本やアジアとヨーロッパ・アメリカの取組に大きな相違 温度差を感じています。

最近 それに着目した記事も出回りだした。

地域に存在する事情を直視しないで、何でもかんでも西欧のまねではうまくゆかぬ現実にも着目せねばと。

そんな鉄鋼・電力・原子力の取り組みにも目を向けて フォローしたいと思っています。

2021.11.20. Mutsu Nakanishi



「持続可能な開発目標

(Sustainable Development Goals)」

2015年9月に国際連合加盟国が決議採択

■ 持続可能な開発目標 (SDGs) について

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/index.html>

■ 持続可能な開発目標 (SDGs) 達成に 向けて

日本が果たす役割

SDGsを通じて、豊かで活力ある未来を創る

https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/sdgs_gaiyou_202103.pdf

◎ 12月 深まりゆく秋 掲載トピックス



久しぶりに眺める神戸の街・大阪湾そして須磨の海に気分爽快 西六甲高倉山-旗振山の縦走路 山上の散歩道で 2021.11.13.

■ 深まりゆく神戸の秋 Photo Album

■ ポストコロナの新時代 「何も変わらぬこの閉塞感と不安感。心地よい、ゆでガエル状態」 二ル状態」

今一度2019年3月に掲載した小林喜光氏の指摘に耳を傾けよう

■ 深まりゆく神戸の秋 Photo Album



2021.11.20. 神戸 私の街の紅葉 須磨妙法寺 若草の丘・名谷ニュータウン

毎年楽しみにしている 西神戸・東播磨 秋の風物詩 2021
 深まりゆく秋の花だより コスモス・秋のバラ・野路菊そしてわが町の紅葉



あまり良い出来ではありませんが、毎年ずっと掲載してきた西神戸・東播磨の秋の風物詩の花だより
 ずっと動けずにいましたので元気に動き出せたことに、思いはひとしお
 コロナ禍の中 ホッと骨休め 街を離れて心地よい秋の風を感じながらの神戸の秋の花巡り



■ ポストコロナの新時代「何も変わらぬこの閉塞感と不安感。心地よい、ゆでガエル状態」
 今一度2019年3月に掲載した小林喜光氏の指摘に耳を傾けよ

いまや 日本は韓国だけでなく東南アジアの各国にもまける所得水準に。
 先進国が軒並み所得水準を 2.5 倍にのばしている中 日本のみが所得水準が伸びていない。
 韓国や東南アジア諸国もまた軒並み所得水準をのばしているのに、日本人だけが、未だにそれを認識していない。
 「何も変わらぬこの閉塞感と不安感。心地よい、ゆでガエル状態」の言葉が浮かんでくる

◎ 経済同友会代表幹事 小林喜光氏 <インタビュー>記事 転記ご紹介 2019年3月に掲載

「平成の30年間、日本は敗北の時代だった 敗北日本、生き残れるか

<https://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/2019mutsu/fkobe1903kobayashi.pdf>

◎ 小林氏はこう指摘する

「心地よい、ゆでガエル状態なんでしょう

日本全体は挫折状態にあるのに、挫折と感しない。この辺でいいやと思っているうちに

世界は激変して 米中などの後塵を拝しているのに、自覚もできない。カエルはいずれ煮え上がるでしょう

● 国家の未来図が描かれぬままの政治が与野党含めて続いてしまったためです。

今さえよければ、自分さえよければ、という本音の中で、国民も政治家も生きてきた。

周りが敵ばかりのイスラエルや、覇権を維持するためには科学を前に進めなくてはならない米国などと違い、
 皆で楽しく生きていきましょうという空気が取り巻いて敗北を自覚しない。

運動会で「みんな一緒にテープを切りましょう」と競争自体を忌み嫌った時期もあった国だから無理もない

◎ 11月更新後記

遅れに遅れた 11月のホームページ更新ですが、コロナ感染数も全国的に激減しはじめ、11月になっても落ち着いた動き。医療崩壊の危機もお幅に改善し、やっとのことで収束の兆し。

ふと周囲を見れば、野山も街も真っ赤になって、秋深し。まだまだ楽観はできませんが、やっと一息。

度重なる自己行動規制や緊急事態宣言で、めちゃめちゃになった日常生活や経済そして雇用。

選挙もあって ポストコロナの新時代と叫ぶ声多数。

でも 掛け声はいいのですが、中身は今までと変わらぬブラックボックス。

何も解らぬ中で、命の危機と直面したコロナ禍の中での昨今 にわかに入任せに出来ぬ新時代

早く日常生活を取り戻したい。とりわけ雇用の確保改善は急務。でも相変わらず、政治は丸投げ自己保身の年寄り政治。新聞やニュースに見る世界の動きの中で日本は やたらにほころびが見えるのみ。

気がつけば先進国は軒並み 2.5 倍の所水準にのばしている中 日本のみが全く伸びておらず、韓国ばかりでなく東南アジア諸国にも追い抜かれる状況。

今まで なにかおかしいなあ・・・と思っていたことが、目に見えてきた現実。

それでいてまだ、大量の国債発行のバラマキ政治。 だれだっておかしいぞと気づき始めた新時代。

日本はどうする・・・どうなるのか・・・

激動のwith コロナ・ポストコロナの生活再建の時代

それに追い打ちをかける「もう待たなしの地球環境激変対応 Stop the CO2」

世界は地球環境激変対応 Stop the CO2 低炭素社会構築へ突き進む。産業・社会の大転換を伴う大変革。水素革命と言われる所以でもある大転換。

世界の若者も世界で声あげ、政府を突き上げ、変革の嵐が巻き起こっている。

もう老獪な政治・経済の指導層では通用しない時代

日本もそんな崖縁。そんな分岐点にある今 日本の世相はどう変わるのか・・・

でも 相変わらずの何も変わらぬ日本の政治状況

もう自分の時代ではないと想うもとも多い昨今

今は何も見えなくても、日本・世界で起きていることを注視・記録しておかねば・・・。

みんなの笑顔溢れる社会になることを期待して。

そんな思いが秋景色と交錯する 11月の神戸秋日よりです。

いつもながら 勝手な言い草お許しを。

仲間の元気は みんなの応援歌 みんな無理せず前向いて

コロナ終息 新しい時代への希望・期待に胸膨らませ お互いスクラムくんで God be with You!!

頑張りましょう。

相変わらずの自己中の水行末、雲来末、風来末の風来坊 お許しください。

遅れに遅れた便りのおわびもこめて ありがとうございます。

また ご連絡ください。

2021.11.20. From Kobe Mutsu Nakanishi



老化・病気・介護などの困難とみんながむきあう新時代
いつも困難の中にある仲間にも思いをさせています
仲間の笑顔を活気に!!

みんな笑顔がとりもどせますよう
今一度スクラム組んで 今を元気に!!.

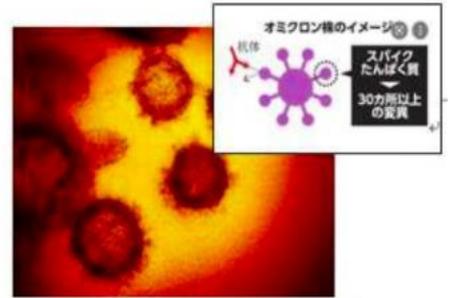
2021.11.20. from Kobe
Mutsu Nakanishi



2021 Mutsu
12月師走



高取山から神戸港・神戸空港越しに眺める大阪湾 大阪湾の沿岸に沿ってぐるりと取り囲む生駒山 奈良烏帽子山・金剛山が眺められる
2021.11.29.



2021 年総括本年を振り返って



Merry Christmas!! 2021

2 みんなでスクラム組んで コロナ収束まで もうひとふんばり
みんなの 笑顔が取り戻せるよう 明日への思いを託して

和鉄の道 HP お付き合いありがとうございます。来年もよろしく
God be with You!! も口癖に ポストコロナ 激動の変革の時代へ
来年が平和で穏やかな年でありますよう 祈っています

By Mutsu Nakanishi From Kobe



新型コロナウイルスの猛威が止まらぬ師走 収束の道はみんなの願い

Merry Christmas!!

コロナ禍で 感じた命の危険 砕かれた希望・夢そして平和な暮らし
みんなでスクラム組んで がんばろう神戸! がんばろう日本!!
Lovely 笑顔を取り戻せるよう 明日への思いを託して

Merry Christmas !! God be with You!! 2021クリスマスに
2021.12. 25. Mutsu Nakanishi From Kobe

高齢化が進む中で迎える「ポストコロナ・低炭素社会構築」
大変革の新時代 幕開け

みんながみんな穏やかな暮らしが実現できるよう
みんなでスクラム組んで 新しい時代へ 第一歩 前向いて

政治家・マスコミの掛け声は心地よいが、
我が身に降りかかる過酷な産業・経済・社会の大変革時代の幕開け
令和の産業革命の新時代
どうすればよいのか 人任せではどうにもならぬ厳しい新時代 立ち位置をしっかりと

◎ 世界がこぞって舵を切る カーボン ニュートラル50 実現は切実な願い
地球暴走の歯止め CO2増加をみんなの力で止めよう

掛け声は心地よいが、我が身に降りかかる産業・経済・社会の大変革
今CO2 増加を食い止めねば地球は暴走 人類破滅の危機 生きとし生けるものみんなに
もう後戻りできぬターニング ポイントに直面している今
「持続可能な開発目標 (SDGs・「カーボン イーブン50」)の達成が今世界の最大課題
気候変動による激甚災害に 歯止めをかけて 持続可能な低炭素社会の実現へ
また CO2排出量の多い大型高炉操業を続けてきた日本の鉄鋼業は生き残れるだろうか・・・

◎ コロナ禍で寸断された日常生活・雇用 経済の再建
みんながみんな 命の危機に直面したコロナ禍

やっとみんなの自己行動節制・ワクチン接種等々でコロナ収束へ
ほっとしたのもつかの間 世界はイプシロン変異株が猛威を振るう第6波が大流行
検疫強化で遅延されてきた日本も ついに今 市中感染が見つかり、流行化の危機
までのコロナより、感染力は数倍の感染力のイプシロン変異株
高齢者には厳しい。

でも コロナ禍2年を乗り越えた経験・医療従事者の懸命なネットワーク
そしてワクチン投与もある

みんなの力で第6波を食い止め、取り戻そう 穏やかな日常を

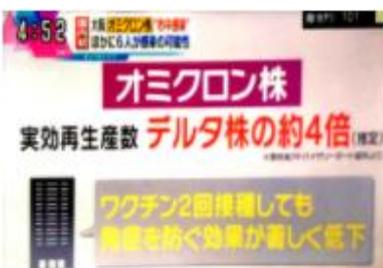
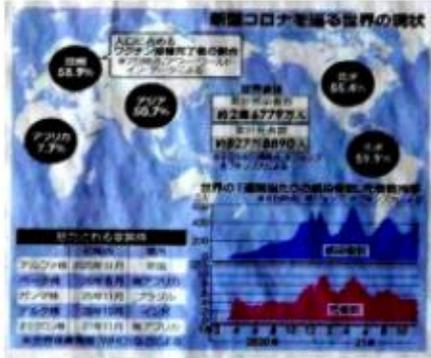
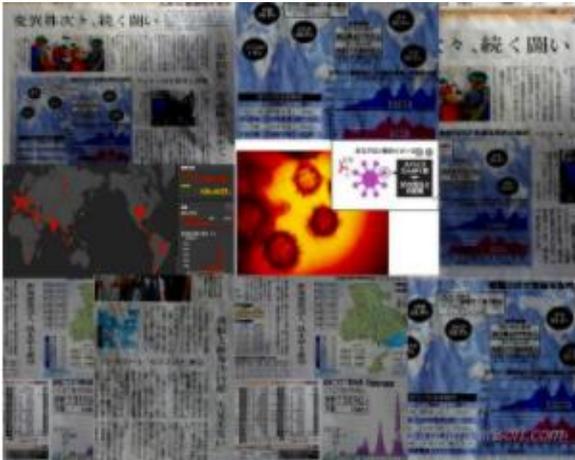
今年一年 いろんな思いが駆け巡る師走です

1. 今 みんながみんな 取り組まねばならぬ課題 2021年総括本年を振り返って

みんなの力で第6波を食い止め、取り戻そう 穏やかな日常を

やっとみんなの自己行動節制・ワクチン接種等々でコロナ収束へ ほっとしたのも つかの間

世界で猛威を振るうイプシロン変異株 ついに今日本でも市中感染が見つかり、流行化の危機



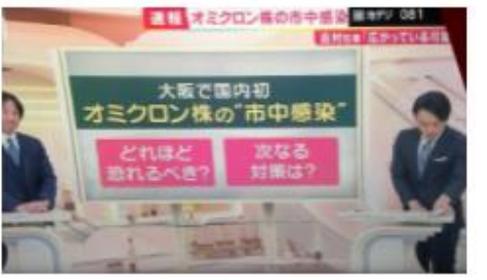
検疫で稼いだ時間、問われる第6波 オミクロン株市中感染

22日、新型コロナウイルスの変異株「オミクロン株」の市中感染が国内で初めて確認された。従来のデルタ株などと比べ、感染力が強いとみられるオミクロン株。今後、欧米のように拡大し、感染「第6波」の到来も懸念される。その日に備え、保健所や病院は状況を注視している。◇在宅医療強化の必要性指摘

神戸新聞 12月23日 本曜日

オミクロン株初の市中感染 大阪の3人、渡航歴なし

兵庫県、会食人数制限せず 大阪府、卓4人以内を延長



「持続可能な開発目標(SDGs)・「カーボン イーブン 50」の達成が今世界の最大課題

気候変動による激甚災害に歯止めをかけて 持続可能な低炭素社会の実現へ
最近では産業界の命運を駆けて、業界具体的な取組展開現況発表化が相次いでいる

参考 1 和鉄の道 2月 政府が策定した「2050年カーボンニュートラル政府脱炭素社会を目指 14 重点項目」



参考 2 【動画】先行する欧州の化石燃料を使わぬ鉄鋼生産 インターネット Bloomberg home page より

SSAB スウェーデンスチール(株)ほか鉄鋼三社の共同プロジェクト

<https://www.bloomberg.co.jp/news/videos/2021-11-24/R32DADTOG1KW01>

This block is a collage of information regarding green steel production:

- Nippon Steel Zero Carbon Initiative:** A central logo and diagram showing the goal of zero carbon emissions in steel production.
- Coal Power:** A video thumbnail titled '石炭火力発電 過去最高の見通し “最速すべき売値” IEA' (Coal power generation: highest forecast ever, "fastest selling price" IEA).
- Hydrogen-based Steelmaking:** A diagram showing the process of using hydrogen instead of coke in blast furnaces to produce green steel.
- News Snippets:** Various text boxes and images, including one about GE日立's investment in a hydrogen-based steel plant in Canada, and another about the 'Hybrid High-Pressure (MH) Tank'.
- Decarbonization Progress:** A section titled '鉄鋼業の脱炭素化：2050年脱炭素化に向け、さらに加速を' (Decarbonization of the steel industry: accelerating towards 2050 carbon neutrality), featuring charts and text about industry goals and challenges.

2. 2021年総括 コロナ禍の中で home page 和鉄の道・Iron Road を振り返って

今日は目まぐるしく変わる天候とともに 西風我吹き荒れ 師走らしい厳しい寒さの神戸です。
神戸では例年12付きの風物詩、光のルミナリエが今年も中止され、寂しい限りですが、
やっと新型コロナも収束の落ち着いた動き。コロナ変異株「オミクロン」の流行の兆しはアルもののホット一息。
街もやっと明るさが戻りつつあります。油断大敵 マスクと行動の自己規制はかかせませんが・・・
本年も勝手な風来坊「和鉄の道・Iron Road」にお付き合いいただきありがとうございました。
また 一年 相変わらずですが、コロナ禍の中 “God be with You!!” の言葉とともに
あっという間に1年が過ぎてゆく。つくづく日が経つのが早く感じる歳になったと。

新型コロナ収束に向かいホッとしていましたが、新たな変異株（オミクロン株）流行の兆し。
まだまだ 気を緩めることなく頑張らねばと。 本当に我が身命の危険を身近に感じた一年でした。
早く穏やかな暮らしを取り戻せるようにと願っています。

振り返ってみれば 本当に色々あった一年、
home Page の中味も神戸籠もりの中で、厳しいコロナ禍の中で なんとか明るく前向いて。
世は情報があふれるデジタル時代 電話も会合もネットでしかも見られる情報社会。
でも はっと気がついてみれば、みんな仮想現実・非日常。 みんな今までと変わらぬというのですが、
自分ひとりが取り残されているとの不安感。

今ほど顔を突き合わせ、お互い生の会話のできるありがたさを感じたことはなし。 仲間に出会いたいなあと。
そんな中、温暖化による地球環境の激変化が切実・身近に 我が身に降りかかるようになって、待たなし。
避けることの出来ない脱炭素社会構築へ全世界が舵を切る。

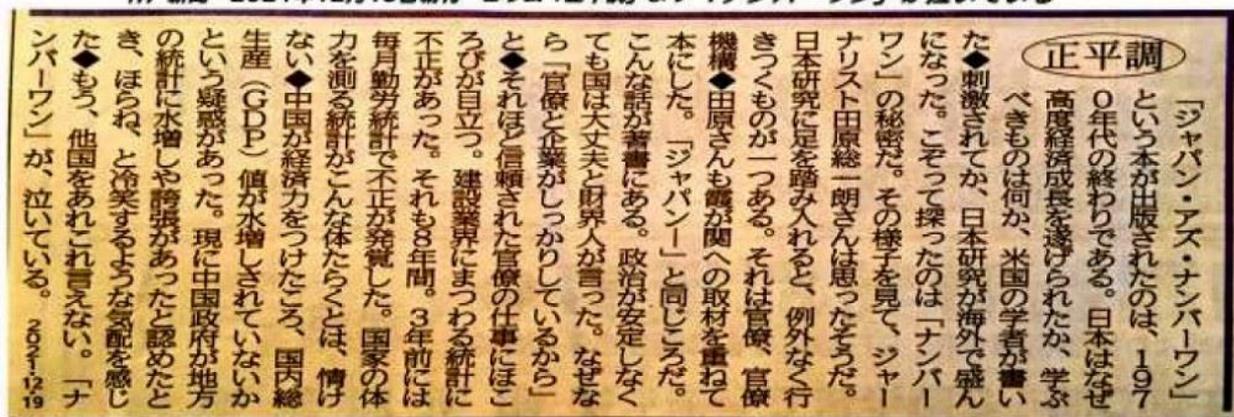
ポストコロナと脱炭素の時代 激変する時代に不安一杯。
みんながみんな穏やかな暮らしを取り戻せるのか・・・自分はどうなるのか・・・

今一番 日本が取組遅れの厳しい現実に直面してる。

姿を見せぬ本当の現実がコロナ禍の中で 垣間見え隠れしはじめ、思いもかけず、我が身に降りかかる。
突破口を見いだせぬ日本に苛立ちを感じる様子がホームページ掲載の文面の随所にもありありと。

自分では何も出来ないと感じながら、後ろから今を考える年代になったとつくづく感じてきた一年でもありました。
毎朝見ている神戸新聞のトップ紙面コラム「正平調」にも上記一年の締めくくりとして、日本の状況について手厳しい
言葉が綴られていました。

神戸新聞 2021年12月19日朝刊 コラム「正平調」より「ナンバーワン」が泣いている



まもなくこう 1.17.阪神・淡路大震災記念日がやってくる。 そしてあのルミナリエの灯がついた時を忘れない。
否応なしにさらされる激変の時代の幕開けに、思いも新た。希望と期待をもって 頑張らねば・・・。

鉄鋼もがんばれ!! がんばろう!!

自分の時代でないとの思いはありますが、しっかりとこの時代を前向いて・・・

◎「鉄の惑星 地球」 人類の歴史の中で 難局に出会うたびに新たなイノベーションを巻き起こし、新しい展開を切り開いてきた鉄。

長く取り組んできた「鉄の起源・歴史」を 本年春 まとめることが出来た「たたら源流 鉄の起源 & ユーラシア大陸東遷の道」(愛媛大東アジア古代鉄文化センター国際シンポ 聴講記録集成聴講記録)にも そんな事象がいくつも記されている。

HP 開設以来 20 年を経過した年末には「私の和鉄の道・Iron Road」を整理して 眺め直す事もできました。これからどんな姿になって、鉄がこの難局を切り開いてくれるのか それも楽しみな和鉄の道です。ポストコロナ 脱炭素社会がどんな姿で登場するのか 明日の時代の平和で穏やかな暮らしに期待して。本当にエポックメイキングな一年 和鉄の道・Iron Road 2021 でした。

◎ 鉄とともに鉄のない縄文の世界にも惹かれ、ずっとHPへの掲載取組をしてきた「日本の縄文」。

心優しき縄文人たちが約 1 万年の長きにわたる永続社会をつくってきた日本の縄文 コロナ禍の中で、長年の夢がかなって、ユネスコ世界文化遺産に登録されたのも嬉しいニュースでした。

◎ CO2 排出ストップの厳しい操業携帯移行を迫られる鉄鋼

過酷化する地球環境に歯止めをかけるには待たなし。CO2 排出量の多い大型高炉操業への依存度の高い日本の鉄鋼業は脱炭素社会構築の中で今一番厳しい立場に置かれている。

退場を願うと言う人達も数多く、長く鉄鋼の中で育ててもらった私にとっても、一番気になっている。今数々の新しい高炉操業変革に取り組んでいる。それがこれから目に見えてくる。

必ずや日本の鉄鋼の歴史が新しい道を切り開いてくれると期待一杯。鉄鋼ガンバレ!!と。

◎ 私ごとですか、本年6月末 足踵骨折で約20年ぶりに入院生活。

足を地面につけられぬ厳しい正つの苦しさや入院高齢者が多いリハビリ病院の現実も知り、元気で健康でいるありがたさもつくづく。

入院・神戸籠りの中で、アルバム整理を兼ねた断舍離。今までの道を振り返る良い機会に。忘れかけていた数々の人たちや事柄との交流がありありと。

長くかかった整理ですが、自分の生き方を振り返りいい整理ができました。

◎ みんなに感謝です。

多くの知人や仲間にも助けてもらいながらも、孫たちも元気に成長。

本当に早く出あいたいなあの思いも強いです。

気がかりは 今年も多くの仲間・先輩・知人の訃報に接し、秋送りをしました。

もうそんな歳になつたんやと今の健康に感謝しつつ、から元気の毎日。

毎日 前向いて元気にと本当に一年ありがとうございました。

引き続きよろしくおねがいします。

まだまだ 好奇心もある。

お互い 気力をふりしぼって、この厳しいポストコロナの時代を前向いて。

引き続きよろしくおねがいします。

いつも勝手な神戸からの便り

お許してください。

みなさまにとっても 来る年が穏やかで

平和な年でありますよう

God be with You!!

また 元気に出会える日を楽しみにしています。

2021.12.17.夕

From Kobe Mutsu Nakanishi



◎ 今月の掲載ピックス

和鉄の道 home page 開設 20 年余「和鉄の道・Iron Road Review」を作成

本年 11 月・12 月ニインターネットで集めた「低炭素カーボンイープン 50」資料も合わせて収集

<p>私蔵版「和鉄の道・Iron Road」【Review1】 2000・2001日本の源流・たたらとの出会い</p> 	<p>私蔵版「和鉄の道・Iron Road」【Review2】 たたら探訪通史（たたら歴史）</p> 	<p>インターネット採録 11・12月 「低炭素カーボンイープン50」取組</p> 
<p>VIDEO 動画 Photo Book PDF Web Book</p>	<p>VIDEO 動画 Photo Book PDF Web Book</p>	<p>PDF Web Book</p>

約20年続けてきた home page の総括「和鉄の道・Iron Road Review」作成しました
毎年が変わるごとに年次ファイルを作ってきましたが、あまりにも数多く、断片的な掲載記事ばかり。
掲載ファイルの整理を兼ねて、ずっと気になっていた時代を超えて流れる鉄の歴史を
HPの記事を抜き出して 和鉄の道総括の資料として集成しました。

鉄とはこんなもの 鉄の歴史や日頃眺める鉄とは違う側面を少しでも知ってもらえたら。。。と。

大きなファイル資料ですが、下記「和鉄の道 2021 12 月のHP」にリンク付きで掲載していますので
資料閲覧は下記資料のリンクリストからご覧ください、

<https://www.infokkna.com/ironroad/2021htm/RO312htm>

また、長年聴講参加させていただいた愛媛大学村上恭通先生たちの 10 数年に渡る「鉄の起源・鉄のユーラシア大陸東遷の道」探求プロジェクトの国際シンポ・成果報告会に毎年聴講参加させていただき、「愛媛大東アジア古代鉄文化センター国際シンポ聴講記録集聴講記録 鉄の起源 & ユーラシア大陸東遷の道」として
昨年末にまとめることが出来たことも契機になりました

かつてよく参考・引用転記させていただいた穴澤義功先生の「古代たたら遺跡の歴史」講演スライド集をインターネットで見つけ、ばらばらの資料整理の根幹に。主要資料として採録転記収録させていただきました。。

素人 誠に勝手な資料ですが、参考になればと。

また、本年 11 月・12 月ニインターネットで集めた「低炭素カーボンイープン 50」資料も合わせて掲載。
ポストコロナ 低炭素社会の構築の入口にいる今 令和の産業革命と言える大変革の時代がどんなふうに展開していくのか 社会・産業変革の中で、日本の鉄鋼がどうなってゆくのかもじっくり眺めたいと。

大きな時代の変革点にある今 これからどんなふうに「鉄」の姿が変わって現れてくるのか興味津々です。

コロナ禍の厳しい師走ですが、新しい年に夢膨らませ、来年もよろしくお祈りします



🌈 困難の中に居られる方々にエール!!
日々新た 今できることを 精一杯 無理せずゆっくりと
いつも 思いをはせています。
「忘れまい 忘れないで 仲間がいる
暖かい希望の輪が繋がっていることを」

神共に居まして
変えられるものを 変える「勇気」
変えられないものを
受け容れる「心の静けさ」
両者を見分ける「叡智」を
ニパーの折り より .



God be With you !!
from Kobe Mutsu Nakanishi

■ 神戸で 思いつくまま From Kobe 2020

fkobeR03

【神戸で 思いつくまま From Kobe 2021】

社会・暮らしの大変革 ポストコロナの新時代の入口に
令和の産業革命といわれる過酷な大変革の始まり 暮らしはどうなるのか
コロナ禍の中での厳しい時代 スクラム組んでこの危機をのりこえよう!!
また、神戸籠りの中 四季折々 周りの景色の変化が心を慰めてくれました



ポストコロナの時代 脱炭素社会についての新聞やインターネット記事も
読込み多く掲載されるようになり、数冊の 製本プロセスも大きく転換することを求められ
稼働が滞っています。
一方 長年培ってきた数冊の製本が、脱炭素社会形成に役割を演じようとしているのも事実
なにか脱炭素社会形成に日本の新聞が果たす役割についてもフォローしていきたい。
このような技術サイドから眺めると 欧州・アメリカ・日本での取組の温度差等も見えてくる。
そこにも目を移さない。ポストコロナ・脱炭素社会への移行時代
日本の新聞 がんばりま とエールを送る
2021.11.20 From Kobe Mutsu Nakanishi



脱炭素社会へ向け、企業が一斉に水素燃料・脱CO2排出に舵を切る
その危機感が垣間見える ポストコロナへ 輝きを取り戻せ日本
具体的分野毎のロードマップ・イノベーション投資取組が順増で打ち上げ花火か?
数値マイルストーンによるチェックの得ぬぬお題目・ねばならぬ論ではどうにもならず。
いやというほどコロナ禍で露呈したではないか——
日本人の賃金は韓国よりも低いという尙らざる現実
この10年全く平均賃金が上がっていないのは日本のみ
数字で知ってびっくり。 めるまほ日本につけ?

- ◆ コロナ禍で寸断された日常生活・雇用 経済の再建 みんながみんな 命の危機に直面したコロナ禍
- ◆ 巨大自然災害・地球暴走の歯止め 世界がごぞつて舵を切る カーボン ニュートラル 50 実現は切実な願い



「持続可能な開発目標 (SDGs・「カーボン イーブン50」) の達成が今世界の最大課題
気候変動による激甚災害に歯止めをかけて 持続可能な低炭素社会の実現へ
最近では産業界の命運を駆けて、業界具体的な取組展開現況発表が相次いでいる

日本の鉄鋼業は 世界の尖き進む脱炭素社会に生き残れるのか
日本の鉄鋼業が世界に先駆けて脱炭素カーボンニュートラル戦略を掲げ
2021年 11月20日 インターネット掲載で既になつた資料を再編集
by Mutsu Nakanishi



By Mutsu Nakanishi

社会・暮らしの大変革 ポストコロナの新時代 令和の産業革命といわれる過酷な大変革の始まり 暮らしはどうなるのか

ポストコロナの時代 脱炭素社会についての新聞やインターネット記事も
 非常に多く掲載されるようになり、鉄鋼の 製鉄プロセスも大きく転換することを求められ、
 製鉄が迫っています。
 一方 長年培ってきた鉄鋼の技術力の蓄積が脱炭素社会の転換を阻むようになっているのも事実。
 なにが脱炭素社会形成に日本の鉄鋼が果たす役割についてもフォローしてきたい。
 このような技術サイドから眺めると 欧州・アメリカ・日本での脱炭素の温度差も見えてくる。
 そこにも目を向けたら、ポストコロナ・脱炭素社会への向かう新時代
 日本の鉄鋼 がんばれとエールを送る
 2021.11.20 From Kobe Mutsu Nakarishi

脱炭素社会へ向け、企業が一斉に水素燃料・脱CO2排出に舵を切る
 その危機感が垣間見える ポストコロナへ 襁褓を取り戻せ日本

具体的分野取組のロードマップ・イノベーション技術取組が明確でない打ち上げ花火か？
 数値マイルストーンによるチェックの確かな目標・ねばならぬ論議はどうか？
 いやというほどコロナ禍で露呈したではないか……
 日本人の賃金は韓国よりも低いという偽らざる現実
 この10年全く平均賃金が上がっていないのは日本のみ
 数字で知ってびっくり。 めるま湯日本のつけ？

- ◆ コロナ禍で寸断された日常生活・雇用 経済の再建 みんながみんな 命の危機に直面したコロナ禍
- ◆ 巨大自然災害・地球暴走の歯止め 世界がこぞって舵を切る カーボン ニュートラル50 実現は切実な願い



「持続可能な開発目標 (SDGs・「カーボン イープン50」) の達成が今世界の最大課題
 気候変動による激甚災害に歯止めをかけて 持続可能な低炭素社会の実現へ
 最近では産業界の命運を駆けて、業界具体的な取組展開現況発表が相次いでいる



◎ 日本の鉄鋼業は 世界が突き進む脱炭素社会に生き残れるのか
 日本の鉄鋼生態系をかけた脱炭素カーボンニュートラル取組現況
 2021年 11月・12月 インターネット閲覧で気になった資料・ニュース 採録
 by Mutsu Nakarishi

新型コロナ蔓延 新型コロナ・オプシロン株の大流行へ

みんながみんなわが身の危険を身近に感じ、かつ行動自己節制・ワクチン接種も進んだが、いまだに収束が見えず。
 感染者・医療従事者のみならず、日々の暮らし・経済・雇用・人と人とのつながり・格差の増大等々社会はずたずた。
 日本が疲弊しきった状態に。

でも 外から見ると日本は「心地よいぬるま湯のヒキガエル」。みんな置かれている状況に全く気が付いていないという。
 情報過多とも言える掛け声とは裏腹 日本だけが世界から取り残されている状況がここかしこに垣間見える。

ワクチンの接種に危機的状況からの希望が見始めた状況ですが、語られ始めたポストコロナの時代の中身を考えると、
 本当に厳しい状況。垣間見えるのは令和の大産業革命の入口。不安いっぱい時代へ
 断片的な刹那の情報しか入らぬ日本 コロナ禍の先行き不安の厳しい状況が次々とわが身に。
 出口が見通せぬそんなコロナの状況を記す四季折々・ From Kobe 掲載記事の数々。

高齢で迎える我々の行く先は……。 新しい状況に立ち向かわねばと右往左往の姿がありあり。
 さあ 日本はどこへ向かうのでしょうか…。

ポストコロナで迎える新時代 激変過酷な厳しい時代だと皆が言う。

「コロナ対策と経済・雇用の回復への暮らし・雇用・経済の復興」に並行して

もう待たなし「人類の危機地球温暖化の歯止め止め 低炭素社会への大転換」

「令和の産業大革命 社会・経済の激烈な再編」誰もが避けられぬ経験したことのない時代へのターニングポイント

評論ばかりしていても仕方なし。しっかり立ち位置を見出し、前向いて 頑張らねば……と。

四季折々・ From Kobe の記事を見直しながら、「びつびつ」戸惑いの中にいるわが身が見える。

「感染は軽いから、自分で守れ」と感染者は自宅待機という。

コロナ医療から切り捨てられた人の多さ 明日は我が身か……

そして、もう労働人口の30%近い多数の非正規労働やシングル家族・フリーランス・そしてアルバイトの学生たち等々
数多くの国の平均所得が大きく伸びるこの10年、日本のみが所得が伸びず、韓国・盗難アジアにも抜かれるありさま。
大阪難波の外国日本訪問者のすごい人の群れに うすうす感じていたことの現実 ショックでした。
現実にはあまりにも厳しすぎる あまりスポットが当たらぬ人たちの現実にも目を向けよう

勝手な愚痴かもしれませんが、政治・
掲載を引っ張る老獪リーダーたちの
だらしなさ。
コロナ禍がもたらした個々の対応の
厳しさ。人任せにはできぬ現実には
と気が付き、いい勉強になり、身
の引き締まる思いです。

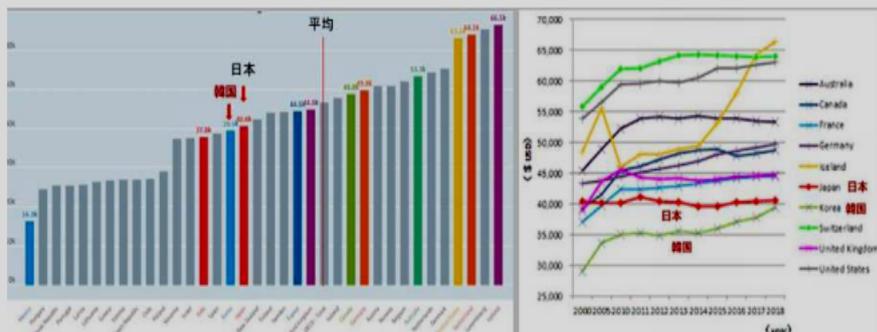
情報過多の中で 何一つ現実直視を
せぬ年寄りリーダーたち 相互寄り
かかり志向ではどうにもならぬ。
もう「干上がってしまう」 そんな
日が迫っていると。
でも 幾多の困難を乗り越えてきた
日本の底力 これからの新時代をリ
ードする若い力に期待一杯です。

厳しい時代を生き抜くすべを みんなで出し合って。
おりしもそんな力で乗り切ってきた2つの大地震 1.17. 3.11.の記念日が迫っている
もう後ろから寿命を考える年になっていますが、がんばらねばと、
神戸の片隅から.....

ぬるま湯日本のつけ?すでに日本は富んだ国ではない 日本人の賃金は韓国よりも低い

日本の現状は極めて厳しく、この課題取組によるイノベーションがなければ、
先進国から最貧国に落ちぶれる危機に瀕しているのが今の日本の国情。
それを示すデータがある。

2018年 世界各国年収比較図(左)と各国のここ10年平均賃金推移比較(右)



主要先進国の中で、この10年全く平均賃金が上がっていないのは日本のみ。
韓国にも平均賃金で追い抜かれているとの事実がある。
好景気 好景気と言われながら、全く実感はなく、なにか国際競争力維持のためと思い込まされてきたらいいがある。

まだまだ 好奇心もある。
お互い 気力をふりしぼって、
この厳しいポストコロナの時代を前向いて。
よろしくおねがいます。
いつも勝手な神戸からの便り お許ください。
God be with You!!
元気に出会える日を楽しみにしています。
From Kobe Mutsu Nakanishi



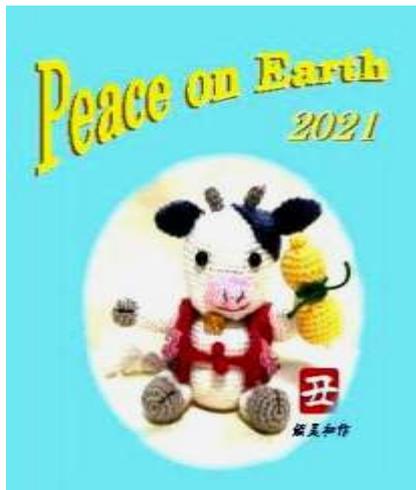
仲間の元気は みんなの応援歌!! 頑張りすぎず、時には声をあげて!!
お互いスクラム組んで 助け合ってこの難局を乗り越えましょう
ワクチン接種も済ませましたが、まだまだ収束は道半ば
まだまだ厳しい自己節制の日々が続きますが、どうか 無理せず、
元気に前向いてお過ごしください
また連絡ください God Be With You!!



2021年の From Kobe を読み返しつつ。
From Kobe Mutsu Nakanishi

- 1 【From Kobe 1月 年賀】 2021年 迎春 年の初め 2021.1.1.
 まだ見通せぬコロナ禍の中で 新しい年に思いをはせて 笑顔が取り戻せるよう
 明日への思いを託して みんなでスクラム組んでがんばろう!
 ◎和鉄の故郷 Iron Road 鉄の惑星地球 2020年を振り返りつつ 新しい年に思いをはせて
2. 【From Kobe 2月 春の足音】 春の足音春迎え 春はもうすぐそこに 2021.2.5.
 収録 2050年カーボンニュートラル またそろ外国頼みの周回遅れをたどるのか…
3. 【From Kobe 弥生3月】 須磨の春 春の訪れ うまい空気を胸一杯
 収録 ■ポストコロナへ 輝きを取り戻せ日本 ぬるま湯日本のつけ?
 ■最近の新聞記事より これでいいのか?日本
- 4 【From Kobe 4月春爛漫】 神戸の春 桜便り
 収録 コロナ禍の中で 久し振りに野球とバスケの話題
 神戸新聞正平調に田辺聖子さんのトラキチファンの話が取り上げられ、懐かしく
- 5 【From Kobe 新緑の5月】 新緑の神戸の春便り 新型コロナ蔓延 神戸籠りの中で とにかく元気です
 収録 コロナ禍の中で どうなる日本
 1. 大音響約800mの五輪PR隊 聖火ランナーは脇役か?
 2. ポストコロナの日本 元京大総長 山際寿一氏のオピニオン
 3. 胸に輝く“カラフルなドーナツ型バッジ”の正体
- 6 【From Kobe 6月梅雨】 6月梅雨時の神戸便り コロナ禍の中で迎えた梅雨の絶景 2021.6.5.
 神戸籠りの中 風来坊 勝手な梅雨時のPhoto 記録ですが 心やすめになれば
 収録 大坂なおみさんの会見拒否に縄文の世界遺産登録を重ねて 最近の気になった新聞記事より
 今人が人として一番大事なことを思い起させてくれた コロナ禍の中で
 参考 1. 【2014.6月From Kobe】「利他的精神」について 朝日新聞天声人語より
 競争社会から成熟社会へ 日本に必要なのは「心の優しさ」では
 参考 2. <NHK 取材班「Human」 視聴・購読メモ> 「なぜヒトは人間になれたのか」
 1. 視聴・購読メモ 「ヒューマン なぜヒトは人間になれたのか」
 2. 補足メモ 人間を人間たらしめているもの「分かち合う心・通わせる心
7. 【From Kobe 深まりゆく秋】 10月 新型コロナも収束の兆し
 HP3ヶ月ぶりの更新 神戸の秋便り 2021 秋迎え 稔りの里を飾る秋の草花 2021.10.5.
 収録 コロナ禍の中で 追悼経済評論家 内橋克人さんご逝去
 行き過ぎた市場経済主義に警鐘 プレすることなく人重視を貫く
 参考 ■【2021年10月 From Kobe】
 内橋克人さん逝去に想いをつのらせて 想いだすままに by Mutsu Nakanishi
 添付「和鉄の道-from Kobe」に掲載紹介してきた 内橋克人氏の記事リスト
8. 【From Kobe 11月 & 師走へ】 深まり行く秋から冬へ神戸の便り 2021.11.1.-11.20.
 ま真っ赤に色づいた街 コロナ禍の中 やっと収束の兆し ポストコロナの新時代
 ポストコロナを見据えて いろんな事がありました
 「何も変わらぬこの閉塞感と不安感。心地よい、ゆでガエル状態」
 今一度2019年3月に掲載した小林喜光氏の指摘に耳を傾けよう
 収録 ポストコロナの時代の模索が始まっています
 我々一人一人 今何をすべきなのか……
9. 【From Kobe 師走 2021年本年の締め】 Merry Christmas!! 一年ありがとうございました
 ポストコロナ 低炭素社会構築へ 大変革とコロナからの復興へ 激変の時代を前向いて

【 From Kobe : 令和3年1月 年の初めに】



新しい年を迎え、コロナ終息へ向けて もうひと頑張り
みんながみんな笑顔で暮らせる日が取り戻せますよう願っています。
また一年 よろしくお祈りします

2021.1.1. from Kobe by Mutsu Nakanishi

2021年和鉄の故郷 Iron Road 未だ収束が見通せぬ コロナ禍の中で



和鉄の故郷 Iron Road
時光と歴史
黒根 日力保たたら
山口 白濁たたら



鉄のまばゆい輝きに希望を託す
後継高齢で迎える新時代 日々新たな
願いは一つ 平和で穏やかな暮らし

地球46億年 「鉄」が幾多の困難を切り開き、今の時代へと続いている。

鉄の惑星地球の上で 幾多の生物とともに生命をつないできた我々

必ずや「鉄」が窮地を乗り越える道を示してくれるだろうと。

「鉄鋼は剛柔にして、時に応じて態を変える。先人の知恵に学べ」「歴史・時代の流れをみよ」と

鉄屋の負け惜しみかもしれませんが、教えられました。。

鉄の黒光りとまばゆい輝き 「鉄の肌光と閃光」

炒鋼の美しい輝きにも魅せられ、俺たちも頑張ろうと

私がなにを思ってきたか それがいまの私をつくっている

あなたがなにを考えてきたか それがいまのあなたそのもの

世界はみんなのところで決まる 世界はみんなのところで変わる

谷川俊太郎 「こころの色」より

コロナの災禍 終息はまだ道半ば 新春の気分も吹っ飛んで
人類の危機「私だけは・・・」は通用せぬ「明日は我が身」の厳しい現実

みんなでスクラム組んで がんばろう!

笑顔が取り戻せるよう 明日への思いを託して

■ 和鉄の故郷 Iron Road

未だ終息が見通せぬコロナ禍の中で 新しい年に思いをはせて

2020年 home page 和鉄の道・Iron Road を振り返りつつ



大晦日の早朝 一面銀世界 東の高取山の頂上には 光輝く太陽
一日早いのですが、新しい年を迎える贈り物かと

鉄の惑星「地球」36億年 絶滅を繰り返してきた多くの生物の中で 幾多の困難を乗り越えて人類が生き延びてきた道は「鉄」と共に人類だけが唯一持ち合わせた「相手を思う心」「ヒューマン」にあった。過酷な今の時代に人々が忘れ、捨てようとしていることが唯一人類が生き延びてきた道。コロナ禍で壊れた社会の再建にそんな視点が無視されぬよう今声を上げねば……と感じています。

「鉄の惑星地球」産業の側面ばかりが強調されますが、時代時代の中で人の営む社会に欠かせなかった「鉄」そんな視点で見れば、新しい時代感がみえるかもとコロナ禍の中で、そんな思いを広く伝えたいと。また、重厚長大から情報・通信への時代変化と共に産業・社会を支えた鉄の影が随分薄くなっている。でも、華やかな重厚長大高度成長時代の中で生きた我々にとって、今の閉そく感 いきぐるしさ 先が見えぬ不安な社会現状。一体何が違ってしまったのだろうか…

最近では高度成長期の社会の負の側面ばかりが強調されるが、ほんとうにそうだろうか？

厳しい社会の中で「仲間がいた」「見たり 聞いたり 試したり」「まず やってみなはれという先輩たち」

そして、その後の阪神大震災の真っ暗な広場に何とはなしに集まってきて焚火を囲んだ一体感 厳しい人減らし競争の情報社会の始まりが、みんな置き去り壊してしまったのではないか…

最近こんな話を耳にした。

強欲資本主義と呼ばれる今の高度情報化社会が価値として追及してきたものは本当に「価値」と言えるのか？ 追及したものはただの「タイム短縮」。新しい価値と言えないものではないか？

人が社会が生き延びてゆくのに必要なのは「新しい価値」ではないか？

今もてはやされているIT・AI も人が生き延びる道具・補助手段 それをいくら追及しても億年のスパンから見れば一瞬だと。新しい価値 今追及すべきは何か？

また、新しい価値は 常に平等と不平等の両方を伴う。それをうまく分配することで新しい価値として生きる。今のIT・AI・情報・通信が金融と同様に新しい価値になりえないのは強欲で分配を成しえないからだ。

投資を物作りからマネーゲームに変更集中して今に至る強欲資本主義 高度情報化社会の現状だという。

はっと気が付く確かにそうだと。

今のGAFAsが国を越え独り勝ち。世界を支配下に。日本もみな小GAFAsが顔を出し、それがまたGAFAsに牛耳られている。新しい価値にはならず、価値の再配分もないただ時間短縮のために……。

本当に人類が生き延びてゆくのにGAFAsは必要なのか…

こんな視点が生まれている。

逆にいま効率の悪い循環型経済や分散化の波が唯一人類にとって新しい価値を生む芽？と。

コロナ禍でめっちゃめっちゃになった社会を建て直す旗手は誰か？ その方向・視点原理はなにか？

いずれにせよ コロナ終息を待ち望む一方 必ずやってくる新しい社会の担い手に期待と注目。
いまこそ どの方向に時代が向かって、老獪リーダーたちは退場し「出でよ!! 若者たち!!」
高度成長期の始まりに若者たちが経験させてもらったごとくに。
そんな時代到来を期待し、また見守りたい。

また、このポストコロナの新しい時代に 必ずや「鉄」は新しい顔を見せ、
新しい社会・産業を生む原動力になるに違いないと期待している。
そんな鉄の姿も追ってみたいが、老化が日に日にひしひしと迫り、頭も何もかも回らぬ身。
home page 「Iron Road・和鉄の道」に終止を打つことも視野に入れながらの色々考えたコロナ禍の中での一年でした。でもまだ好奇心だけは健在。
何はともあれ、近々の課題 早く収束の出口を見たい。
ワクチン開発が今一つ希望の出口。これもみんなに行き渡るようにと期待しています。

勝手なことをぶつぶつ 他意なく好奇心のままにつづっています。お許しください。
もともと我慢が苦手。ますますわがままに。心せねば……とは思っていますが……。

「変えよう 変わろう でも変えてはならぬこともしっかりと」
健康でいることに感謝しつつ、知恵と判断力と行動力そして好奇心 この思いを失わぬようと。
本当に有難うございました。本年も引き続き、ご指導のほどお願いします。
とりとめもないことばかりですが、気持ちだけは前向いて。
また、困難の中にある仲間思いを馳せつつ エールを送ります
仲間がいる 仲間の元気はみんなの応援歌
みんなでスクラム組んで 元気に今を

新しい年に思いをはせて God Be With You!!
2021.1.1. From Kobe Mutsu Nakanishi

新型コロナウイルス終息の道はみんなの願い でも 巷でいうほど楽観的ではない厳しい現実にも目を向けよう
「自分だけは・・・」は通用せぬ「明日は我が身」の現実。
今一度「第一波」の時の緊張感と対応を思い返して人類の危機に 共に寄り添いあって頑張ろう
医療従事者の皆さんの寝食をいとわぬ対応に感謝いっぱいです。
医療現場の皆さんへ ありがとう 御身も大切に!! がんばろう!!
コロナ収束はまだ道半ば 高齢者の劇症化 命の危機が我が身に迫る
密閉・密接・密集の「3つの密を意識した自制的実践」
「うつらない うつさない」 マスク・手洗い・三密空間に近づかない
出会えぬ仲間に 思いを馳せています



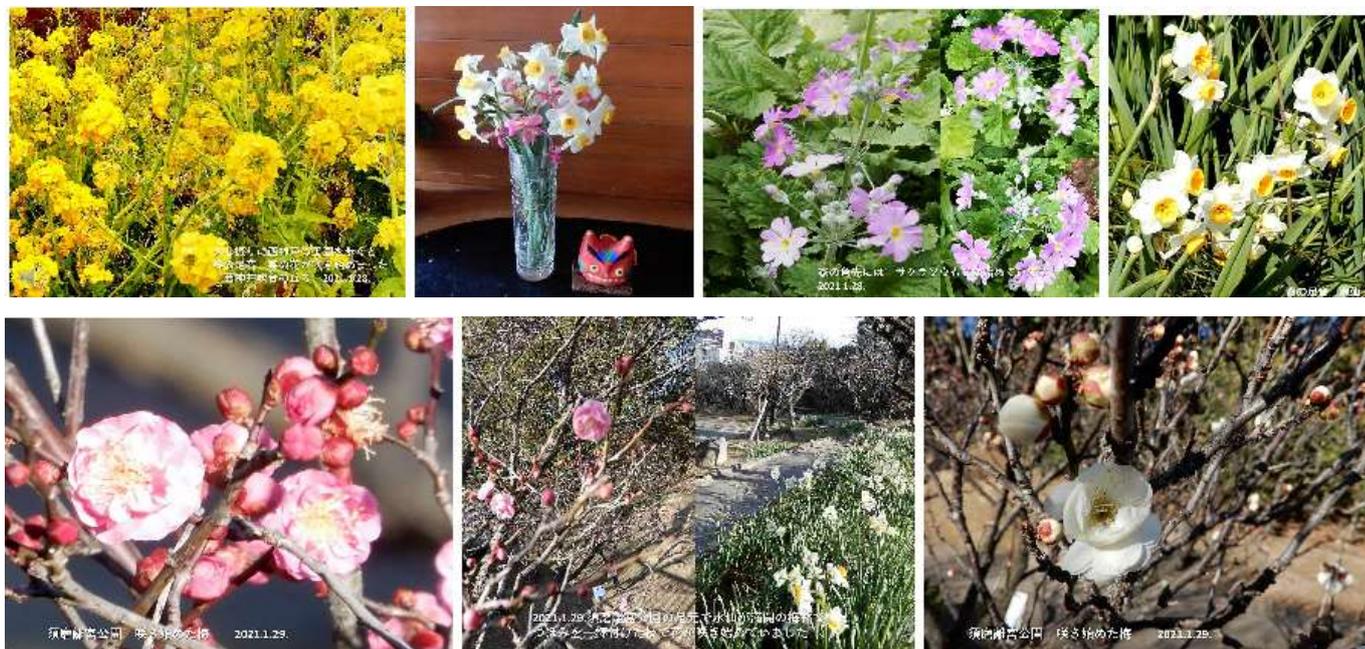
【From Kobe 2月】 2月 春の足音 春迎え

2021.2.1.

■収録 2050年カーボンニュートラル 政府 脱炭素社会を目指す 14重点項目策定



2021 早春2月 春迎え
春の足音 もうすぐ春八〜ルですねえ
梅の花・菜の花 そして サクラソウ
春の草花が咲き始めました



毎日 walk 梅の花が咲き始めた須磨離宮公園梅林で 2020.1.29.

澄み渡る須磨の空 神戸の街・大阪湾がくっきりと
庭先には春の草花 そして梅の花も咲きだし待ち焦がれた春がもうすぐそこまで。
でも街には いまだコロナ禍の猛威が終息せず、緊急自体宣言発令中。

「3密」自己行動規制の神戸籠りが続く。
感染のスピードは収まりつつあるものの予断許さず
希望の光 ワクチン投与の準備も始まりましたが 高齢者感染・医療崩壊の切迫した状態は継続中。
なにはともあれ、頑張りぬいて収束の出口へ
高齢者には厳しい状況ですが 体調変化に留意して、我が身を守りましょう
また今は我慢せず 声を上げよう!! ホットー息したいのですが、もう少し
お互いスクラム組んで 前向いて
コロナ終息はみんなの願い もうすぐ春 神戸の春の足音を届けます

from Kobe by Mutsu Nakanishi



奈良元興寺の厄除籠「がこぼ」 「鬼は内 福は内」

**節分の鬼に思いを馳せて
福は内 鬼も内**

春迎え「福は内 鬼も内」
神戸の鬼・仲間の鬼
みんなが明るく平和に暮らすことができますように
また数多くの災いが早く収束し、
災いの中にある人達に、
手が差し伸べられますように、



神戸の鬼 2021.2.24 13時



2021.2.24 13時 節分の鬼



神戸の鬼 東灘宮宿寺 野寺高野寺の鬼自式

コロナ・コロナの掲載はみんなを暗くする。 もうやめ…と思いつつですが・・・
 コロナ緊急宣言発令中で毎年のラグビー観戦もだめ 節分のイベント行事もみんな中止。
 「同窓会から春が来る」と心待ちする同窓会も昨年に続いて中止に。仲間と会えぬのは本当につらい。
 でも もう少し頑張って、コロナ感染の恐怖からだっしたいと。
 毎日の楽しみは周辺を好奇心いっぱい歩くこと。
 。今まで以上にいろんな発見があって、面白い。
 でも やっぱり愛すべき鬼の話が2月できないのは寂しい。
 ふと頭に浮かんだのは清酒「鬼ころし」。
 いろんな全国のメーカーが出していて、「鬼も酔いつぶれるほどうまいこだわりの酒」とお客さんに訴える酒だそうだ。
 これも日本の各地で「愛される鬼」なんだ。



Concept: www.charmountain.com

そんな「鬼ころし」の酒蔵の郷を巡るともっと面白い鬼に出あえるかも。愛すべき鬼に今年も出会えて満足。
 コロナ禍のなかで 日本の社会・経済・政治が良くも悪くもコロナ終息後大きく変わると感じた一年。
 若い人たちの手で新しい時代が始まり、この令和の新しい時代感が構築されてゆくことへの期待を大きく
 ふくらませた一年。 若者の応援団 どんな時代に変わってゆくのか・・・
 老いも若きも みんながみんな明るく平和な社会になってほしいなあ。
 ともあれ、コロナ終息がみんなの一番の願い
 どうか 今までと同様に「3密」行動自己節制をしつつ、我が身をお守りください。
 ありがとう ございます。 God be with You !!



福寿草 パッと明るく 春風
2021.2.3.



この2月を元気に!!
我慢せず 声出して!!

福寿草2021
再会を楽しみに!!

2021.2.28



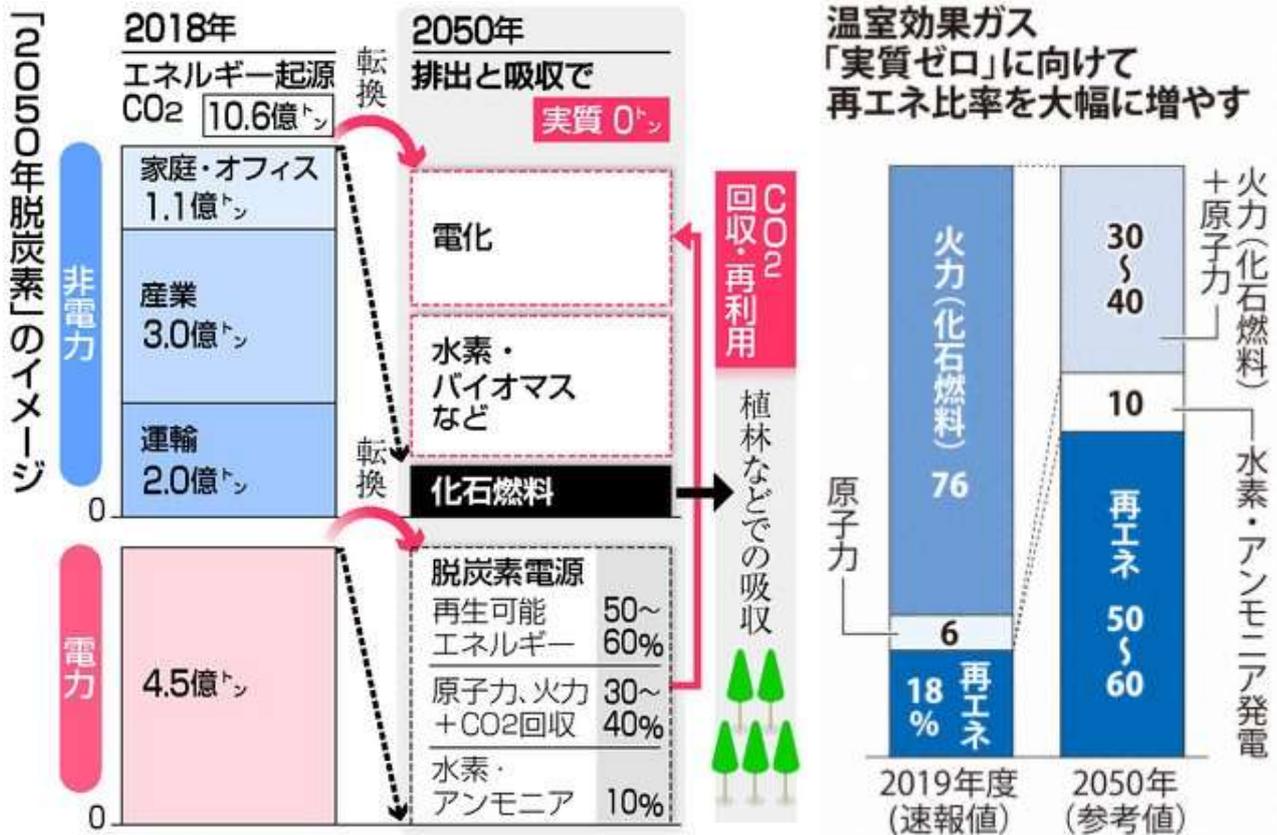
**老化・病気・介護などの困難とみんながむきあう新時代
いつも困難の中にある仲間にも思いをはせています
仲間の笑顔を活かす!! スクラム組んで 今を元気に!!.**

「2050年カーボンニュートラル 政府脱炭素社会を目指す14重点項目策定」

年の初めから炭酸ガスを出さぬ水素エネルギー・水素 水素の大大合唱

でも スローガン倒れ 腰の据わらぬ日本 またそろ外国頼みの周回遅れをたどるのか…

2021.2.5. by Mutsu Nakanishi



グリーン成長戦略の骨子

- 2050年の脱炭素社会に向け、実行計画で14の重点分野を設けて目標年限や支援策を明記
- 成長戦略による経済効果を30年に年約90兆円、50年に年約190兆円に上ると試算
- 乗用車は30年代半ばまでに、新車販売の全てを電気自動車（EV）やハイブリッド車（HV）など電動車に
- 50年の電源構成は、参考値として再生可能エネルギーを5～6割に設定。水素や原発も活用
- 洋上風力発電を再生エネの要とし、40年の発電能力の目標を最大4500万キロワットに

グリーン成長戦略の主な目標

洋上風力	2040年までに最大4500万キロワットを導入。部品などの国内調達率を40年に60%に
燃料アンモニア	30年に向けて、火力発電の燃料として実用化
水素	導入量を50年に2000万トン程度に
原子力	着実な原発再稼働。海外で新型小型炉の開発と量産体制確立
自動車・蓄電池	30年代半ばに乗用車の新車販売を電動車100%、ガソリン車ゼロ。10年間は電気自動車（EV）導入を強力に進め、車載用電池の大幅なコスト低減を図る
半導体・情報通信	電力を効率よく動力に変換する「パワー半導体」の開発推進
航空機	電動化の推進と、水素を燃料とした航空機の開発促進
カーボンリサイクル	高効率な二酸化炭素（CO ₂ ）分離回収技術の開発

2050年カーボンニュートラル 脱炭素社会を目指す 14重点項目策定の目的 洋上風力・電動車に本腰、政府50年脱炭素社会へ重点14分野。

インターネットから拾った報道記事より取りまとめ

グリーン成長戦略では温暖化への対応を制約やコストではなく、経済成長の機会と捉え、成長が期待される住宅・建築物産業、ライフスタイル関連産業など14の重要分野ごとに課題や行動計画を示した。

国として可能な限り具体的な見通しを示し、高い目標を掲げて、民間企業が挑戦しやすい環境を作ることで大胆な投資を行い、イノベーションを起こすといった民間企業の前向きな挑戦を全力で支援する。

「2050年カーボンニュートラル」への挑戦を、「経済と環境の好循環」につなげることで、2030年で年額90兆円、2050年で年額190兆円程度の経済効果を見込む。

■ 2050年、電力需要の5~6割を再生エネに

グリーン成長戦略では2050年のカーボンニュートラル達成に向け、電力部門の脱炭素化を大前提とした。

この為 再生可能エネルギーを最大限導入する。

システムを整備し、コストを低減しながら、周辺環境との調和を図りつつ、変動する出力を調整するために蓄電池を活用していくことを踏まえて、洋上風力産業と蓄電池産業を成長戦略として育成していく。

2050年の電力需要は、産業・運輸・家庭部門の電化によって、現状の30~50%増加すると見込むが、すべての需要を再生可能エネルギーで賄うのは困難とし、発電量に占める再生可能エネルギーの割合を50年に50~60%とすることとし、今後の議論を深めていくための参考値として設定した。

化石燃料による火力発電については、脱炭素化を実現するため、発電所からCO₂を大気に放散する前に回収して地中などで貯留するCCUS/カーボンリサイクルなどを活用することで、オフセットにすることが求められる。

ただ、化石燃料+CCUSは、既存の火力発電がそのまま使える一方、適地や用途拡大の課題が存在する。

CCUS/カーボンリサイクル実装に向け、技術や適地の開発、用途拡大、コスト低減などに取り組み、2050年に確立した脱炭素電源として、安全性を大前提に一定規模の活用を目指す原子力と併せて、発電電力量の約3~4割を賄う案を提示した。

新しい年が始まったのっけから「クリーンエネルギー水素」「自動車はガソリンエンジンから水素発電・燃料電池車へ」と「水素・水素」のオンパレード。昨春秋 政府が発表した2050年新規炭素排出量ゼロの社会を目指す14重点項目を発表して世の中は一機にクリーンエネルギー社会実現の大合唱キャンペーン。

でもちょっとまって。掛け声ばかりで、またいつもの通り。

実行部隊企業の話のない解説ばかりで、ほとんどクリーンエネルギーを利用を進める企業の話だけ。

特に今の発電・クリーンエネルギー供給側に位置する企業の生の声 実行アプローチは見えない。

本当にこれから30年で炭酸ガスの新規増加をゼロにまで食い止めるのか? …

それでなくても 原発事故から発電は火力発電に頼りの日本。

自然エネルギー・再生可能エネルギーによる発電は少し進んできたもののその速度は遅く、ストップしている施設も多い。規模そのものが今の電力業界に対抗できる位置にない。

こんな今までを考えるとインパクトのある推進がなければとん挫する。

また、発電・エネルギー業界とともに石炭燃料による高炉操業が主の鉄鋼業界

鉄鋼にいた私には鉄鋼の事情は少し位分かる。

忘れ去られたのか無理やと置き去りにされたのか、ほとんど記述がない。

もっとも早くから いろんな取り組みが行われてきたが、進んでいるとみるのか?

でも大量の炭酸ガス排出処理を この30年でゼロ達成? 無理やなあ・・・と悲観的。

製造プロセス転換? それとも巨大量の炭酸ガス封じ込め? 鉄鋼の業態転換・企業存続の危機だ。

このカーボンニュートラルの取組こそ コロナ後の大技術革新・イノベーションがもたらす新社会????

鉄鋼ばかりでなく今の日本の屋台骨自動車産業につながるサプライチェーンもみな大変革。

日本の産業構造 日本社会を根本から揺るがす大革新を展開せねばならぬ。

コロナ禍終息後の大社会変革・日本の暮らしを根本から揺るがす新モノづくり革命の時代へ。

でも 政府にも民間業界にもそんな大イノベーション時代の熱気はない。

みんな 今の業態から緩やかな変化で時代が変わりゆくとみているのか…・

それこそ「なんでやねん」 絵にかいた餅に。

鉄鋼業にとって炭酸ガス排出量ゼロは悲願の目標。業態を揺るがす大課題

数々の取組があり、今も続く。

炭酸ガスを大量に放出する熱源 コークス(石炭)のクリーン熱源への転換 天然ガスそして水素等々。

また高炉操業から大型電気炉操業への転換も一部実証が始まっているが、一億トンに近い鉄鋼生産を一機に変換するプロセス展開である。電力がクリーンでなければ意味がなく、自前のクリーン発電所群も頭に。

炭酸ガスの地中封じ込め、再利用の可能性

パイプラインに通じた鉄鋼では海外の大油田で原油増産の炭酸ガスインジェクションとして よく知られた技術の先にある。すでに実証実験が日本で行われているが、大量封じ込めの適地をすぐに見つけることは容易でない。 80万キロワット級発電所で1億トンの炭酸ガスを貯蔵する規模がいるという

大量の水素燃料の確保

今騒いでいる水素にしても、大量の水素製造技術として確立されているのは水素と同時に炭酸ガスを発生する褐炭・石炭のガス化処理プロセス。海外立地に頼らざるを得ない。

また、天然ガス・原油等の分留・分解の副産物として水素を作る技術はあっても、水の電気分解で、低コストに水素を大量量産する技術はまだない。日本ではバイオマスや自然エネルギーが頼りである。

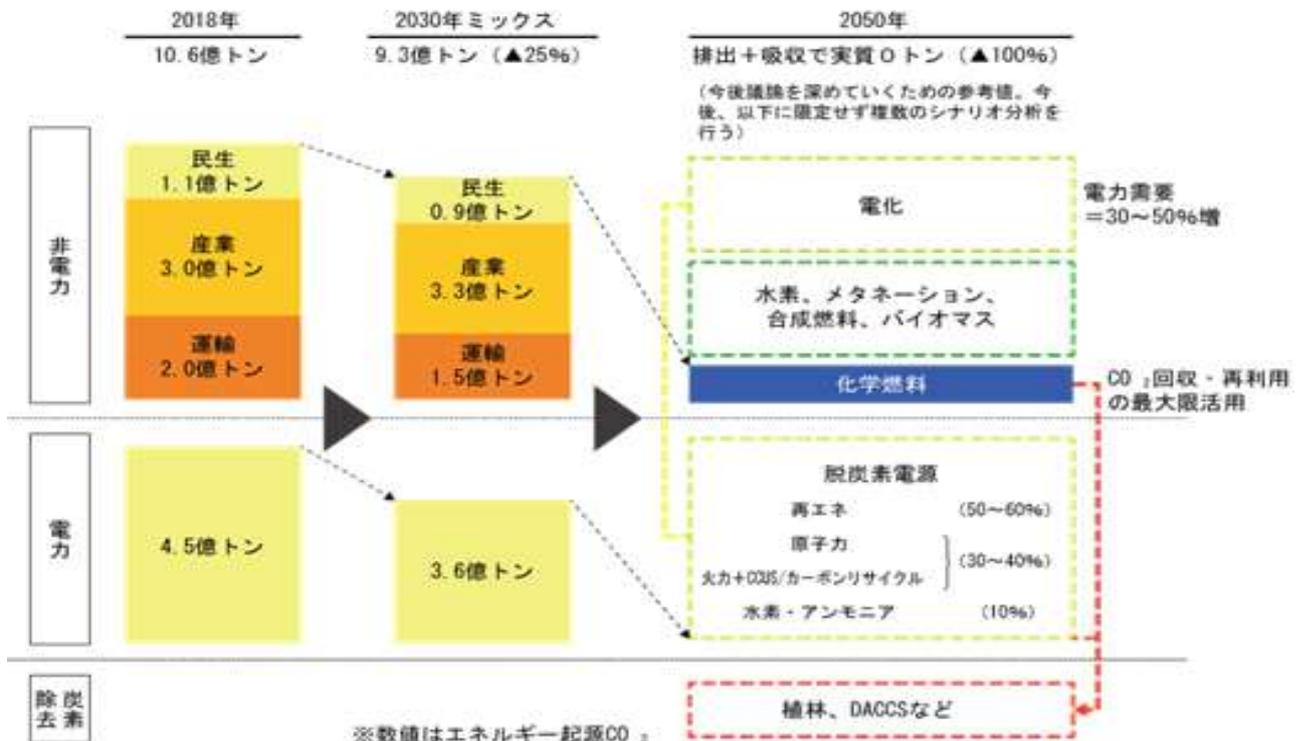
みんなが「水素」「水素」と騒いでも、社会変革をもたらすイノベーション規模の水素製造技術はいまだはっきり見えてこない。それこそ今の天然ガスと同様海外輸入に頼らざるを得ないのが現状。

今日本・オーストラリア共同で大量の水分を含む褐炭からの水素取り出しプロジェクトが始まる端緒。水素エネルギー供給のサプライチェーン構築もまた端緒についたばかり。

そんなことを頭に思い浮かべながら、政府が打ち出したカーボンニュートラル 14 項目の資料を眺める。

またぞろ 藪にらみの目 日本の政治・官僚の弱点が丸見えに。

見えた思いのままを書き綴りました。



政府自らが強かに推し進める根幹の行動理念がまったくない。行動がすべて丸投げするようだ。

1. クローズアップする水素エネルギーの製造・供給のサプライチェーン構築の理念が見えない
2. 原子力依存が色濃く 自然エネルギー再生エネルギー推進の理念が見えない
うまく廻らなかったら原子力増強へ舵を切るとの意図に見える
原子力維持のための隠れ蓑に 政府によってこの脱炭素社会構築が持ち出されたとも見える。
欧米が目指す脱炭素社会の理念と全く違うようだ。
欧米が舵を切り、強かに実績を積むカーボンニュートラル
3. 既存の技術展開 この30年でなんとしても新たに獲得すべき技術が見えない
一方 産業界はこの重点14項目をどう見ているか? NHKの面白い調査がある。

産業界は ほとんどが「政府の援助があれば カーボンニュートラルは可能」としている。

誰も 積極的に実現の方向に動くとはしていない。

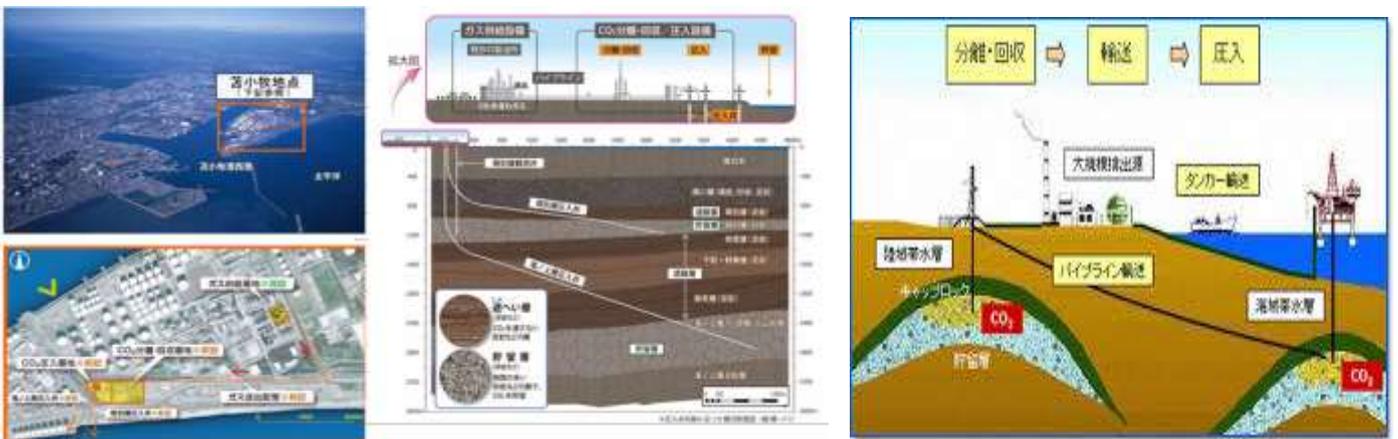
政府も民間もどちらももたれあいの日本の弱点が見て取れる。

それこそ この30年 海外技術依存 海外から押し寄せる技術イノベーションに飲み込まれてゆくのかと心配になる。



2050年 脱炭素「達成できる」7割以上 企業100社アンケート | NHK ニュース

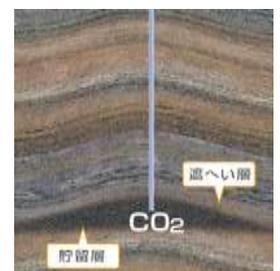
■ 苫小牧におけるCCS大規模実証試



苫小牧では、日本初となる CCS の大規模実証試験 (CO₂ の分離・回収、圧入、貯留、モニタリング) が国家プロジェクトとして実施されています。

2012年度から2015年度は、実証試験設備の設計・建設・試運転等が行われ、2016年度から地中へのCO₂圧入が開始されました。2019年11月22日には、目標である累計30万トンのCO₂圧入が達成され、現在は圧入を停止しモニタリングが行われています。

また、国等において、本実証試験設備を活用したカーボンリサイクル事業の実施に向けた検討が行われており、2020年度は実現可能性調査が実施されています。



一点だけ、私が理解していなかった日本の先端性を保有する原子力技術がある。

原子力「高温ガス炉」自己安定性を有し、水の熱分解での水素製造が可能な900℃以上の高温ガス
Ocean Green <http://oceangreen.jp/Arikata/140723-KouonGasRo-RitenMondaiten.html>

いま 日本が最も進んだ技術を有し、実用炉に一番近い位置にあるという。

大型には厳しいと聞かすが、炉心構造材に黒鉛を使い2000℃以上の高温に耐えるので、冷却システムが機能しなくなっても自己安定性を有し、また核分裂物質の封じ込めも可能で暴走しないとされる。

また、水の熱分解での水素製造が可能な900℃以上の高温ガスがえられるので、水やメタンを原料としてクリーンな水素製造が可能となる。

弱点は大型化できないことと空気突入で火災事故になることという。

インターネットで得た知識で、専門家たちが今どんな評価をしているか不明ですが、原子炉の暴走を食い止められ、実用性があるとすれば魅力である。

先の14項目の中にある原子力がこのガス炉を意味するのであれば、一つの有望選択子の一つ。鉄鋼の熱源として水素を復活できるかもしれぬと…。

■黒鉛減速ヘリウム冷却型の実験用原子炉

HTTR (High Temperature engineering Test Reactor)

900℃超の高温ヘリウムガスを発生することを目的として設計され、茨城県大洗町の日本原子力研究開発機構に建設された。建設は1991年に建設が始まり、1998年に初臨界を達成した。2004年に原子炉出口におけるヘリウム温度950℃を達成した。現在は高温ガス炉の固有安全性に関する開発研究等が行われている。



図1a HTTRの建屋鳥瞰図
HTTRの画像検索結果より転載

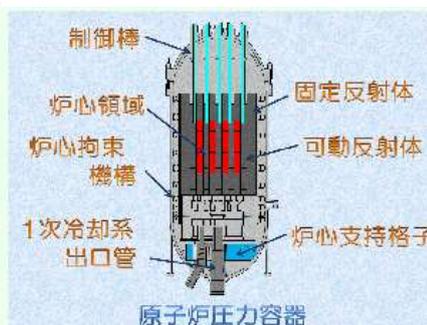


図1b HTTRの原子炉圧力容器
HTTRの画像検索結果より転載

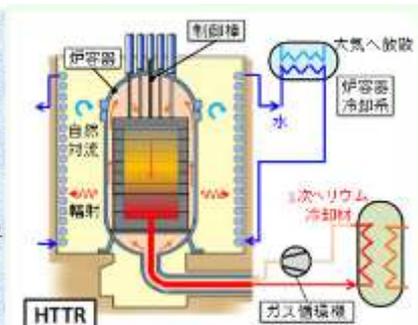


図2 HTTRのシステム模式図
日本原子力研究開発機構のプレス発表から抜粋

原子炉格納容器の中央に原子炉容器が置かれ、その中に核燃料や黒鉛の中性子反射体が納められている。原子炉容器の中はヘリウムガスで満たされ、ヘリウムガスは炉心と熱交換器の間を循環する。炉心で発生した熱の一部は原子炉容器の壁から格納容器に向かって対流と輻射によって流れる。格納容器の壁は水冷され、冷却水の熱は大気に放散される。

以上 あまりにもバラ色の水素・水素とさわぎまわる TV や新聞等の報道に何か通信・IT 業界とおなじく、政府の企業誘導の匂いを感じ、またかつて身を置いた鉄鋼業界に思いをはせながら、インターネットの掲載記事を拾って今自分の感じていることをまとめました。

まだまだ知識不足の点もありますが、コロナ禍後の大変革 技術イノベーションにつながる道だと取りまとめました。

知識不足 理解不足など論点もおかしいのかもしれませんが許しを

【弥生3月 春の訪れ From Kobe】3月 須磨の春 春の訪れのしあわせ

収録1. その輝きを取り戻せ日本ポストコロナへ 危機感が垣間見える

収録2. 最近の新聞より コロナ禍の中で露呈した硬直化した日本が見えてきた これでよいのか？



春の訪れ 陽光にキラキラ光る須磨の海 2021.2.16.



2021 弥生3月 春の訪れ きらきら光る須磨の海 心配されたいかなご新子漁も始まった
梅の花・菜の花 そして サクラソウ 野鳥たちも訪れ、華やぐ春に
マスクをはずして戸外へとびだした～い
丘一面を黄色に染める菜の花は一遍にみんなを明るくする 春の幸せ



なんとなくほっとして 気持ちを明るくしてくれる 春到来のぬくもりです



コロナ禍が始まって一年余りやっと終息の兆し みんながよく頑張った証 でも もう少しがんばらねば・・・
青い空にキラキラ光る海 丘一面を黄色に染める菜の花の運動公園では開幕を告げる
ラグビー子供たちや歓声が風に乗って聞こえてくる]

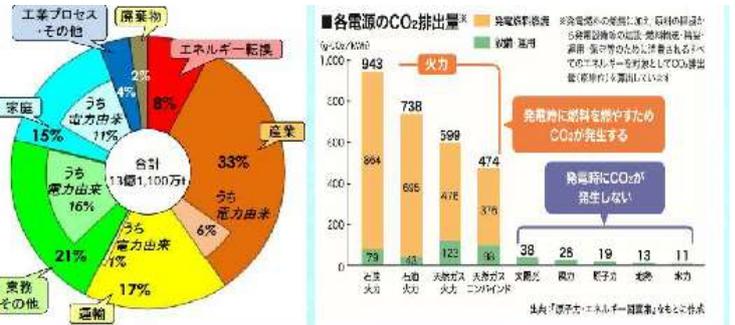
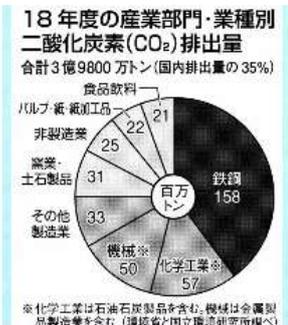
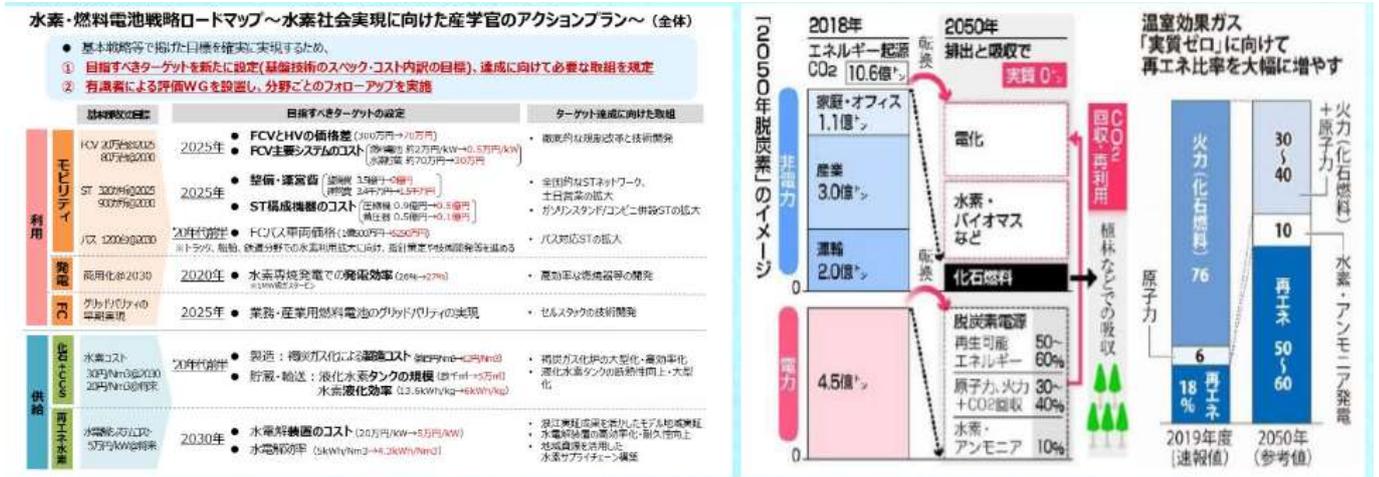
不漁と言われた今年のいかなご新子漁も無事始まって西神戸に春
浮かれてはいられないが、西神戸にうれしい春の到来

もうお雛さん済んで、梅・菜の花からサクラへ 気は焦れども頭廻らず 遅れに遅れた春便りです
コロナ終息 新しい時代への希望・期待 みんな笑顔がとりもどせますよう 今一度スクラム組んで

God be with You !! 2021.3.10. From Kobe Mutsu Nakanishi

収録 1. その輝きを取り戻せ日本ポストコロナへ 危機感が垣間見える
 脱炭素社会へ向けて、企業が一斉に水素燃料・脱CO2 排出に舵を切る
 日本人の賃金は韓国よりも低いという侮らざる現実
 この10年全く平均賃金が上がっていないのは日本のみ
 数字で知ってびっくり。ぬるま湯日本のつけか？

2050年脱炭素カーボンニュートラル 全体のアクションロードマップ



2050年脱炭素カーボンニュートラルを宣言した政府。一機に日本も脱炭素社会に向けての動きが活発になった。コロナ禍の中で、日本の弱体化が嫌というほど見えて、その立て直しには新しい産業の創生が待たなしの事情もある。でも またそろ政治家の人気取り丸投げ政策の花火に終わるかもしれぬと。

カーボンニュートラル宣言目標の2050年。
 初めて2050年カーボンニュートラルへ向けての数値目標付きロードマップがある取り組みが提示されてはいるが、それを達成する技術イノベーションのロードマップはどうなのだろうか…。
 個々の分野技術イノベーションの積み上げロードマップと全体とが有機的に結びついているのだろうか…。
 またそろそこのところが有識者会議だの専門家会議など一番の推進力の頂点 統率力を発揮すべき政府の関与の仕方があまいに。官僚たちがキャストリングボートを確保する知恵なのでしょか…。
 それが一番日本の政治をダメにしているに見えるのですが……。

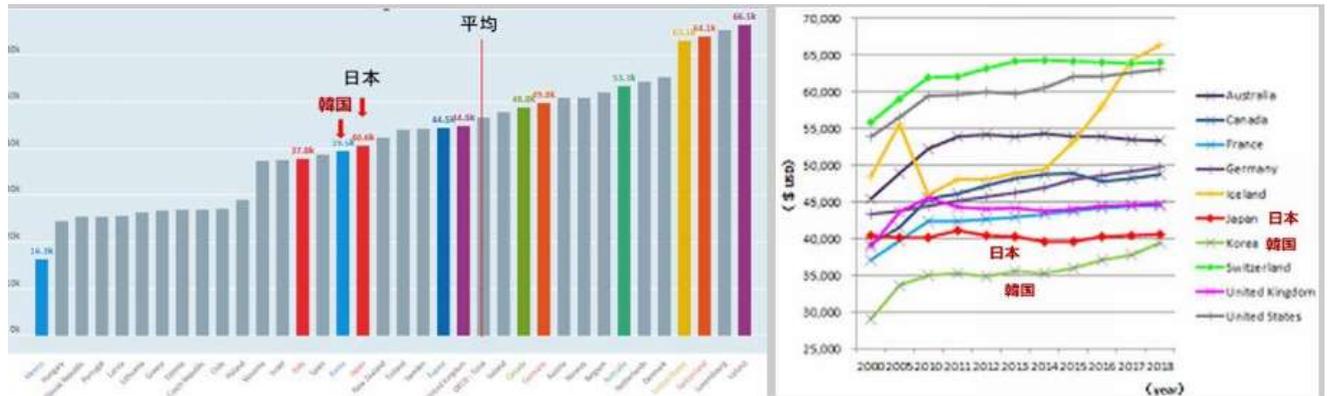
新しい技術イノベーションを明確にし、目標達成へ大きな展開過程へステップアップしてゆく記述がよく見えない。いつものごとく、仲間内ではあるのかもしれませんが…絵に描いた餅になりかねない。

カーボンニュートラル達成のための主要技術14項目各ロードマップの実行指揮官も明確でない。
 実行推進指揮官が政治家ではどうにもならぬ。政治家と対等に立ち回る実行部隊
 モノづくりイノベーションを武器にあの「はやぶさ」プロジェクトに見られた流れにいつステップアップできるのだろうか…。
 楽しみでもあり、開発プロジェクトのだいで味
 応援したいと切に思う。

ぬるま湯日本のつけ？ すでに日本は富んだ国ではない 日本人の賃金は韓国よりも低い

日本の現状は極めて厳しく、この課題取組によるイノベーションがなければ、先進国から最貧国に落ちぶれる危機に瀕しているのが今の日本の国情。それを示すデータがある。

2018年 世界各国年収比較図(左)と各国のここ10年平均賃金推移比較(右)



主要先進国の中で、この10年全く平均賃金が上がっていないのは日本のみ。

韓国にも平均賃金で追い抜かれているとの事実がある。

好景気 好景気と言われながら、全く実感はなく、なにか国際競争力維持のためと思込まされてきたきらいがある。

2018年の年収データ図では、日本は発展途上国も含め世界的にみると給料の高い国ですが、先進国の中では給料の少ない国だと言える。

この図ではまだ韓国の平均賃金より日本が少し上回っている図になっていますが、平均賃金ではすでに韓国以下。2019年における日本人の平均賃金(年収)は3万8617ドル、米国は6万5836ドル、ドイツは5万3638ドルと大きな差。

それだけではない。かつては途上国というイメージの強かった韓国ですら、4万2285ドルとすでに日本を追い抜いている。日本人の賃金は米国の6割程度しかなく、韓国よりも低いというのが偽らざる現実である。

大阪の難波周辺を歩くアジアの観光客の群れを見て、日本の方が富んでるとはとても思えず、不思議がっていたのですが、これが今の現実。

またこの10年の平均賃金推移をみると先進主要国の中で、唯一日本だけが全く平均賃金が上がっていない。好景気 好景気が持続と言いながら…である。

これも思い当たる節がある。この10年働き方改革等ともてはやしながら、モノづくり投資をせず、非正規雇用の拡大がこの図の裏にあるとみる。

正規労働者の約1/3に迫る勢いで、非正規労働者が増え、このコロナ禍の中で雇い度目の目にあっている。こんな国は日本だけたという現実。

日本は裕福な国というのはもうはるか昔の現実なのだ。

コロナ禍で垣間見える疑問がこの数字に端的に表れている。

もうかつての富んだ国は幻想。韓国にも抜かれている現実。

コロナ禍の経済立て直しと掛け声ばかりの日本。

現実新しい成長産業を自らの手で編み出さないとますます日本は最貧国に落ちぶれる危機にある。

TVやマスコミがあおる裕福な国でない。

国民みんなが考えること行動することを忘れ、頂点同調に追従してきた結果がこれである。

「まさにぬるま湯 日本」である。若者型の新しいリーダーが必要な理由もここにある。

お題目を並べ、ねばならぬ・べきである論を振りかざしてもどうにもならない。

きちりとした組立てと着実な実践履行を進める指導者が出ない限り、ますます世界と日本の差は広がるだろう。

世界はしっかりとした未来のロードマップをえがき、その中に達成チェックの数値目標マイルストーンを置いて、推進を図ってきた。どんぶり勘定 頂点同調の日本が一番苦手なことである。

このコロナ禍の中で、経済がメチャメチャな今こそ、日本再生するチャンス。
低炭素社会到達・カーボンニュートラルの達成はそんな日本再生の取組ととらえたい。

モノづくり企業やその周辺ではすでに、その存続の危機感とともにそれを感じ動き始めた。
でも 日本を中心たる政治家・政治 それを取り巻く官僚機構にはその覇気が見えない。
いくら大きな声で宣言・べき論を打っても世界には響かない。
きっちりとした立案 そしてロードマップを持て自ら実践成果に裏付けられた推進が図られなければ絵にかいた餅。
2050年カーボンニュートラル宣言と政府脱炭素社会を目指す 14重点項目策定だけが
お題目として民間任せではそれこそ絵に描いた餅。

それにはなんとしても若い発想を持ったニューリーダーの指導性が必要ではないだろうか・・・
高度成長期 多くのリーダーが「やってみなはれ みたり 聞いたり ためしたり」と
若いリーダーを育て、技術イノベーションの連鎖により、
モノづくり革命が進行して日本の繁栄がもたらされたように。
いまこそ 頂点同調・ぬるま湯日本からの脱皮が必要か・・・ 頑張れ日本。
2021.3月 コロナ禍後の経済再生・脱炭素社会の構築に向けて

2021.3.10. Mutsu Nakanishi

■ 参考【From Kobe 2月】

「2050年カーボンニュートラル 政府脱炭素社会を目指す 14重点項目策定」2021.2.5.

<https://www.infokkna.com/ironroad/2021htm/iron17/R0302carbonnewtral.pdf>



カと力がぶつかりあう 声は出せぬが、こぶしをカいっぱい握りしめ 2021.2.28.
コロナ禍が始まって一年余りやっと終息の兆し みんながよく頑張った証 でももう少し がんばらねば・・・
でも 青い空にキラキラ光る海 山は芽吹いて 梅の香り 丘一面を黄色に染める菜の花の運動公園では開幕を告げる
ラグビー子供たちや歓声が風に乗って聞こえてくる
不漁と言われた今年のいかなご新子漁も無事始まって西神戸に春
浮かれてはられないが、西神戸にうれしい春の到来

マスクをはずして おいしい空気を胸一杯 戸外へとびだした〜い でも もう少し
もうお雛さん済んで、梅・菜の花からサクラへ 気は焦れども頭回らず 遅れに遅れた春便りです
コロナ終息 新しい時代への希望・期待
みんな笑顔がとりもどせますよう 今一度スクラム組んで

God be with You !! 2021.3.10. From Kobe Mutsu Nakanishi

コロナ禍の中で露呈した硬直化した日本が見えてきた これてよいのか?

自分で考え行動することを放棄した島国日本の村社会にみえる
頂点同調を振りかざすリーダーとそれに同調するインターネット・
マスコミそして若者たち。私だけが感じているのかと思っていたら、
仲間からもそんなことを聞く機会が ふえました。



もう頭も回らなくなり、なかなかまとめる今期も続かずだし、ぶつぶついうのも何の助けにならず。
最近の新聞やニュースから 気にかかった記事を拾い、掲載することでお許しを。
でも好奇心は健在 手足は動かし仲間もいる 元気出して出して前向いて
God Be with You!! とわか道を行く 2021.弥生3月 Mutsu Nakanishi

◆ 保坂正康氏「消えてしまった風刺の精神」神戸新聞2021.3.2. 弥生の随想より

弥生の随想

文化

日本社会から風刺や抵抗の精神が失われてきたのではないかと。風刺や抵抗を何も批判という意味で用いるのではない。現実のゆがんだ姿を一步引いて客観的に見るのである。風刺や抵抗は一般の清潔剤になるとも言えようか。

もともと日本人は風刺の精神にあふれていた。「いろいろかるた」は江戸物にしても、上方物にしても庶民の側からの風刺と抵抗の内容である。

「ぬかにくぎ」「早土の好きな赤烏帽子」「論より証拠」などは、現実を巧みに皮肉っている。こうしたかるたは、子供の遊びにも取り入れられて、風刺の意味をかきとっていったように思う。「泣く子と地頭には勝てぬ」といったことわざも含め、風刺は生きる知恵にもなったのである。

江戸時代の川柳には「役人の子はにぎにぎをよく覚え」がある。にぎにぎは、賄賂をもちつことを指すのだが、幼年期からその準備をしているという意味だ。「やぶ医者の子は遠方より来る」というのもある。人の評判は遠くまで及んでいないから、真実はなかなか伝わらないという皮肉になるか。川柳はまさに庶民の憂き晴らしでもあったというところであろう。

消えてしまった風刺の精神

保坂正康



ほさか・まさひろ 1933年札幌市生まれ。編纂者を経て作家。『昭和史を語り継ぐ会』を主宰し、延べ4十人の肉声を記録。2004年に『連の昭和史研究』(勁池賞)、『隠蔽の日本近現代史』(岩波賞)を受賞。



絵・王塔

友は遠方より来る」というのもある。人の評判は遠くまで及んでいないから、真実はなかなか伝わらないという皮肉になるか。川柳はまさに庶民の憂き晴らしでもあったというところであろう。

像が、的確に描かれている。例えば「官員唱」というのはやり唄には「攘夷攘夷と騒いで置いて、今ぢや異人と雑魚寝する」「髻をはやして官員ならば、猫や鼠は皆官員」と変わり身の早さや新政府の役人が威張ることへの皮肉を歌っている(岩波文庫の倉田喜弘編『近代はやり唄集』)。「書生節」というのもあるが「書生書生と軽蔑するなフランスナポレオンも元書生」という歌詞である。

こうした史実を俯瞰してみると、日本人は役人を皮肉ったり、要領の良い生き方に鋭い反感を持ちたりしていることがわかってくる。野にあって社会の変化や人間の処世を的確に見ている人たちの風刺の精神は、きわめてレベルが高かったと言えるのではないだろうか。つまりそれぞれの時代で、日本社会には風刺の精神が健全に働いていたことになるのではないかと、私は思える。

それなのに、といふべきだろうが、この何年かこうした風刺の精神が泡沫のように消えてしまった。この精神がどの分野でも衰弱してしまっただ。政治家、官僚が現在ほどルールを踏み外している時代はないと思うのに、風刺、抵抗の言論は消えてしまった。自戒を含めての言になるが「どうした日本人! 先達に恥ずかしいぞ」と私もつぶやいているのである。(ノンフィクション作家)

2021.3.2.神戸新聞朝刊 文化面
「弥生の随想」より
保坂正康氏「消えてしまった風刺の精神」

識者評論 森氏発言から見える課題

日本オリンピック委員会理事 山口 香氏



闊達な議論、問答ためらうな

例えば、日本の会議は本当に機能しているのだろうか。

んだ後は、組織の流れにのみ

会が学ぶべき点だろう。

声がある。柔道の創始者である

「話が長い」「わかまえていない問題が起こると「なぜ、誰

も気が付かなかったのか」と

ない。議論はボールを打ち合

一つを「問答」としている。

徴されるように、会議であるにもかかわらず、出席者は自由闊達な議論そのものを否定

んだ結果に違いない。

はより精度の高い返球が来て

の成長につながる。偉くなって裸の王様になりがちなのは、「なぜ」と問われなくな

まう。私は、特に提案に異を唱えるときは一瞬迷う。多くの人も、疑問を感じたとしてもあ

は、決勝を戦った選手をた

議論は嫌いだが、邪魔され

るからだ。不評だった森さんの謝罪会見にも、問答がなかった。

え、疑問を感じたとしてもあ

は、競い合うことは敵ではな

く話している時に失言があ

る。多くの場合、指摘される

と手を引っ込めた経験はない

という。競い合う相手があるから、自分が成長できる。

まで失言とは全く気付かず、「笑いもあり、上々だった」と良い話をしてやったぐ

らいに感じている。

やまくち・かおり 1964年東京都生まれ。筑波大大学院修了。柔道女子の元世界王者。2011年からJOC理事。18年筑波大教授。

これからは、長くありがた

五輪開催に向けては、積極的な国民との「問答」に期待したい。



春の幸せ

2021.3.4. 神戸総合運動公園 コスモスの丘で



2021.3.4. 神戸総合運動公園コスモスの丘で



春の幸せ 2021.3.4. 神戸総合運動公園 コスモスの丘で



2021菜の花畑 2021.3.4. 神戸総合公園コスモスの丘で



2021.3.4. 神戸総合運動公園コスモスの丘で



2021.3.4. 神戸総合運動公園コスモスの丘で



2021.3.4. 神戸総合運動公園コスモスの丘で



2021.3.4. 神戸総合運動公園コスモスの丘で

【From Kobe 4月 春爛漫】 コロナ禍の中で迎えた春爛漫 2021.4.7.

神戸の桜便り 元気出してゆこう!!

収録 新聞のコラムより コロナ禍の中で 久し振りに野球とバスケの話題



みんなの「3密」行動節制と医療関係者の献身的努力で
収束するかに見えたコロナ禍ですが、一向に収束せぬコロナ禍 第4波が始まった
もう飽き飽きですが、コロナに「かからない・うつさない」
マスクと手洗い & 「三密」の行動節制 今少し 頑張りましょう



4月になって春爛漫 いかがでしょうか
周りの山は芽吹 里では桜満開 新生の息吹き
気分も新たにコロナ克服へ 元気出していきましょう



マスクをはずして おいしい空気を胸一杯 戸外へとびだした〜い
でも 周りをながめれば、神戸の春がここかしこ
コロナ終息 新しい時代への希望・期待に胸膨らませ 気分も新た
みんな笑顔がとりもどせますよう 今一度スクラム組んで
God be with You !! 2021.4.7. From Kobe Mutsu Nakanishi

神戸の春 桜便り 2021.4.7.



我が街 妙法寺 若草の丘



周囲の山腹は芽吹き芽吹き 桜も満開



うれしい我が町の春景色です

今年も例年より1週間以上早い桜便り画家基地から届く。

4月の始まり、入学式にはもうどこも桜は散ってないだろうが、やっぱり桜満開で4月のページを飾りたいと。

3月初め コロナ禍収束にぱっと明るくなった街。待ちゆく人たちもマスク姿ながらもなんとなく明るく、待ちゆく学生たちの列にも微笑みが漏れる。これでコロナ終息かとほっと一息。

4月の便り神戸の桜便りで明るく伝えたいと。野球根ラグビーも町での会食も。仲間と顔を合わせて話せるのもうれしいと期待一杯。でも3月下旬からまた再流行 コロナ第4波が始まり、一機に新しい令和3年度の始まりの期待がしぼんでしまいました。4月春爛漫 新しい出会いと出発の令和3年新年度の始まり。

明るく桜便りを送って、みんなと元気に前向いて頑張りたいと4月4日イースターのカードとともに神戸の桜便りを送ります。

3月末一機に街の桜が咲きだし、散歩道の街角には明るい春の草花 そしてモクレン・こぶしの花の香りがほのかに漂い、

ずっと探していた土筆も田圃のあぜでみつけた。

春 新生の息吹き 芽吹いて若草色になった若草山 2021.4.5.

心と山腹に眼をやるというの間にモノトーンから変わったのか芽吹いて明るい春色に。そして春爛漫へ。

今年の春はラッキーなことにマスクのおかげか花粉症も軽い。街での会食はまだまならぬが、ワクチン接種もはじまり、ポストコロナ新時代への出発を伝えるニュースも数多く聞かれるようになりました。

高齢者には4月新たな出会いと出発といってももうピンとこない年になりましたが、元気に前向いて、この春を乗り越えましょう。

みんなお互い連絡取り合って元気に前向いて 笑顔で今を。

また、困難の中にある仲間へ 思いをさせています。

どうか 一人で頑張らず、無理せず 今はみんなに 声あげて!!

仲間がいる。仲間の元気はみんなの応援歌 God be with You!!

2021.4.7. From Kobe Mutsu Nakanishi



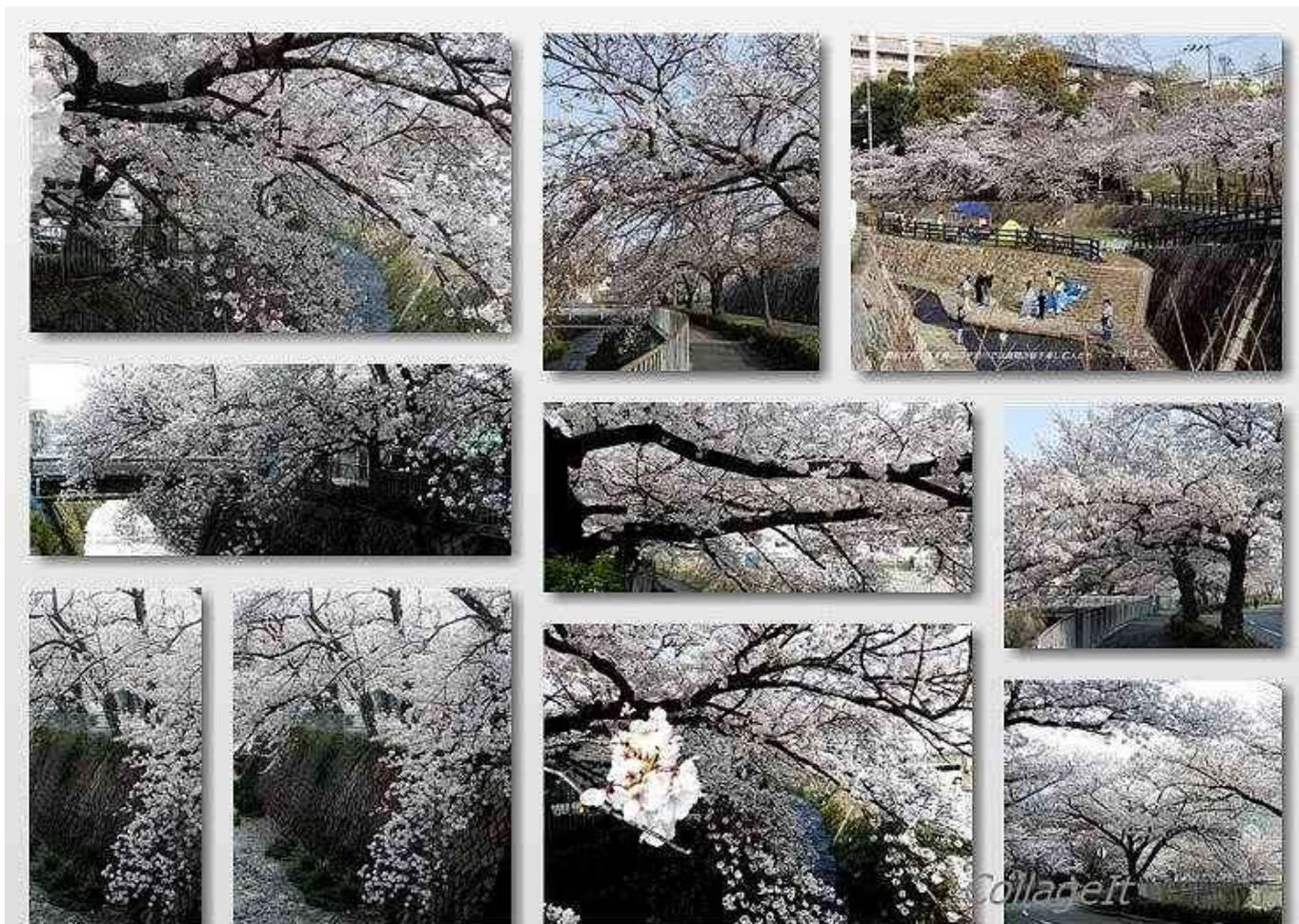
■ 宇治川が流れ下る丘の上 水の科学館 奥平野の舞桜 2021.3.27.

神戸の街の中心部を見下ろす丘の「水の科学館」の南端の崖に立つ一本桜「奥平野の舞桜」
 本年水の科学館の老朽化のため本閉館になって館内からは眺められなくなっているのは知っていたのですが、崖下まで優美に伸びていた枝も含め、きれいに切りそろえられていて、驚きました。その優美な舞姿を崖の下から見上げるのが好き。毎年必ず会いに行き、仲間にも自慢していた一本桜「奥平野の舞桜」。崖の端に立つ老木で無理がたたって勢いをなくしていたのでしょうか？この丘の東端から南へ 街中の楠谷を宇治川が流れ出し、その土手にも市民に親しまれる桜並木が続いている。その崖の下まで精一杯枝を伸ばした舞姿が本当に優美で好きだったので、今は見上げる丘の上にもまっすぐ堂々と立つ姿。老木の痛々しさはまったくない、どっしりとした立ち姿。これもよし。

ポストコロナの新時代の元気な象徴になって、神戸の街を見おろしてほしいなあ。おもわず、がんばれよ！ また来年！ また、奥平野の舞桜の舞姿を本年のイースターカードに収めました。



■ 桜並木 水の科学博物館下 楠谷 宇治川の堤 2021.3.27.



再度山楠谷を流れ下る宇治川の桜2021 2021.3.28.

収録 ちょっと気楽に コロナ禍の中で 久し振りに野球とバスケの話題

2021.3.27.神戸新聞 「正平調」コラムに田辺聖子さんがタイガースファンについて書かれた文章が引用され記事が掲載されていた。

「阪神ファンは時としてとんでもない猛者がいる。タイガースの負けっぷりに腹をたて、販年の間にテレビ2台。ラジオ3台 叩き壊した人がいる。交友のに限って ごひいき球団はというと、へへ 一応阪神、などどつつましい。」と。

そしてこの正平調氏は「モノは壊さないまでもごみ箱ぐらいは蹴飛ばす。阪神ファンならばいよう。じちょうされたし」と。そして 今春の阪神の戦いにみんなごきげんうるわしいと。

また、「田辺さんはいくつかある好きな言葉の筆頭に「惚れた弱み」を挙げていた。「シアない。アレには弱い、というのがある人はまことに好ましい」と。この後も続くのですが・・・

久しぶりの田辺聖子さんの名言。

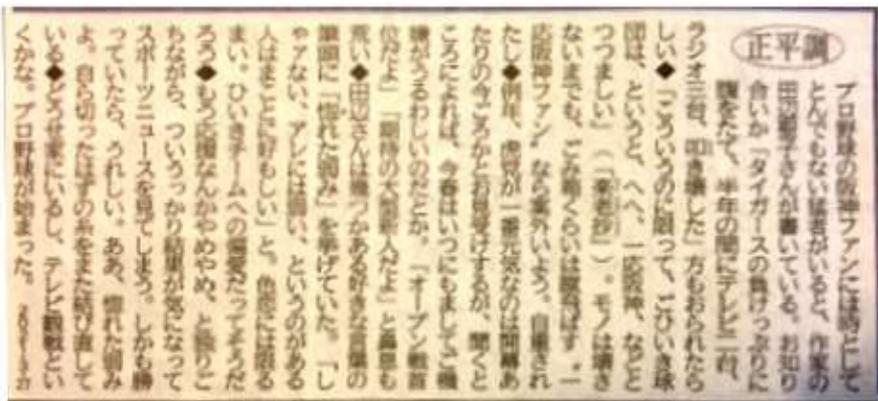
阪神が負けた時の電車 シュンとして みんながみんな黙りこくっている車両。一方怒りまくって盛り上がっている人たちの車両もあり、おっかなびっくりで車両をかえたことも。。。。

今はコロナの中 みんな自重しているのだろうなあ・・・と。でも時代が変わっても気質は変わらず。。

田辺さんには 私の故郷尼崎の南の市場界隈の庶民を題材にした作品が幾つもあり、故郷の昔に触れることが多く、「いるいる こんな人一杯いた 会社にも」と思うのですが、今はどうでしょうか・・・

でも 尼崎の商店街は熱烈阪神ファンの商店街として今も有名。時折、そんな空気を吸いに行く。

田辺さんの話 きくのもひさしぶり この空気 懐かしいなあ・・・と。



左 練習 ボールが5つ見える



試合 とにかくスピード 飛び込んでゆく 3点シュートがすごい



また久し振りに近くで開かれたバスケット B-2 リーク西宮ストークス対奈良の試合を見た。昔バスケをした時代もあり、また日本リーグの試合を大阪まで見に行っていた時代もある。でも もう30年以上体育館に足をかけたことがない。

こんなこと披露するのも、今のバスケットは昔の試合と全く会場の雰囲気も選手も何もかも違っている。

で会場に入ると何かラップの乗り。こりゃジャズライブの雰囲気。一緒に乗らな…とうれしくなる。

試合の流れも、雰囲気も随分違うが、一番びっくりしたのが試合前の練習。観客を前にコートに入った選手が開始前約1時間半動きばなし。動きが止まらぬようにいつも5つ以上ボールが投げ入れられ、止まっている選手が一人もない。これが試合前1.5時間。アップと体慣らしとは全く別物。びっくりでした。こ

れで 試合に入るのか…と。全く運動量が違うのにびっくり。試合も本当に目まぐるしく変化。それこそ休む暇なし。この体力・運動量に試合前の練習理解。見てる方もすごいなあ・・・声出されないが、休むことなし。チエアーガールも休む間がない。もうついて行けんが、面白い。大きく時代が変わっていることを身近に感じました。

きっちり整理・まとめできておらず、すみません。 とにかく元気にやっています。

コロナにかからぬよう 御身お守りください。 2021.4.7. From Kobe Mitsu Nakanishi

【From Kobe 2021 新緑の5月】

2021 新緑 5月の風 うまい空気を胸いっぱい 厳しい春を前向いて
神戸籠りの春 風来坊のPhoto Album 心やすめになれば

- 収録 1 コロナ禍の中で 大音響の五輪PR隊 約800m 聖火ランナーは脇役か?
- 2. どうなるポストコロナの日本 元京大総長 山際寿一氏のオピニオンです
- 3. ポストコロナの社会構築理解のために 胸に輝く“カラフルなドーナツ型バッジ”の正体



新緑に包まれて 山は山は芽吹いて 今一番の春景色 吹き来る風も心地よし 2021.4.21, 但馬養父市 氷ノ山山麓で



菊水山から眺める西六甲縦走路の山々から明石海峡・淡路島へ
左から高取山・須磨アルプス・鉄塊山・鉢伏・旗振山



但馬 朝来市竹田域下 田山川沿いに広がるレンゲ畑 2021.4.21



走る！明日へ向かって 例年春の兵庫リレーカーニバル。無観客ながら総合運動公園競技場で開催。いつもの海外特等席での観戦。歓声はないものの若い人父の元気な姿には癒いでも自由が長く、母校の後輩も元気に駆け回った



兵庫リレーカーニバル 2021.4.24.&25.
 神戸総合運動公園 ユニバー競技場で
 コロナ禍の中でどうなるかと思いましたが、
 毎年春を呼び込むリレーカーニバル
 いつもの歓声はないが、新緑に包まれ、
 ツツジが美しい気鋭競技場で 若者たちが快走。
 私はいつもの海外特等席 母校の後輩たちも元気に走っていました
 ワクチン接種のめども立たし、コロナ収束 みんなの願い。
 仲間に出たいなあと思いは募りますが、まだ自制がつく
 新緑の神戸須磨 神戸籠りが続きますが、
 相変わらずの風来坊 春のアルバム届けます
 どうか まだまだ 高齢の身には厳しい我日々 でも仲間もいる
 無理せず体調変化に気を付けて スクラム組んで 前向いて
 God Be With Ypu!!
 2021.5.5. From Kobe Mutsu Nakanishi





マスクをはずして おいしい空気を胸一杯 戸外へとびだした～い
 期待のワクチン接種も見通しが立ち始めた5月
 コロナ終息 新しい時代への希望・期待に胸膨らませ 気分も新た
 みんな笑顔がとりもどせますよう 今一度スクラム組んで

God be with You !! 2021.5.5. From Kobe Mutsu Nakanishi



満開の桜が散ると野山は芽吹きから新緑へ 山腹の濃淡をだんだん増してゆく。
 その中に山桜の薄ピンクそして、常緑の杉林がアクセントとなって、一日一日その化粧を変えてゆく。
 山に入るともう三つ葉ツツジが満開。また 山から眺める景色も風によって千変万化 いつ見ても飽きない。
 今年はコロナで 春の妖精カタクリに出会いに行けず、またシャクナゲの花も見に行けなかったのですが、毎日の散歩で楽しむ街歩き・里山歩き。楽しんでいます。孫に教えてもらった山スタンプ歩きもうれしいし目的に。



庭では春の草花 門前では4月の末から背の高い薄ピンクのアグロステンマの花も咲きだして、うれしい満開。庭も我が家もパッと明るく華やかに。風来坊とはいえ、一日一日 やることがあって、前向きにとらえられるのがいい。また、仲間に会えないのはつらいですが、古いアルバム整理や断捨離などしていると思わぬ掘り出し物や発見も。



自分の記憶がおぼろげになってゆく中で、歩いてきた道を見直す機会にも。また、先に逝った仲間との思わぬ再開も。独りよがりですが、記録しておくことは自分を正す良い機会に。
 どうせ 整理しても誰に残さねばならぬわけでもなしですが、多くの出会いなど思い浮かべながらの整理も重要な生活の一部に。
 コロナのワクチン接種の申し込みもぶつぶつありますが、何とか申し込み完了できてやれやれ。
 今 また緊急事態宣言で子供たちや学生たちの姿が消え、街はまた火の消えたよう。
 でも もう少しとがんばらねば・・・・・・・・。
 そんな 神戸ごもり 今日この頃です。

ついぞ見かけなくなったレンゲ畑。近くで田を見かけるたびに探すのですが、見つけれず。でも生野峠を越えて但馬にはいた円山川沿い竹田城下の田園で見つけました。今年も蓮華畑に出会えて幸せ。

今月は何をとまあれ、4月積み残した京都の桜見物。そして、4・5月の春の明るい息吹が伝えられたらと。

新緑の5月 コロナ禍の中 神戸の籠りの合間の風来坊 写真アルバムのかたちで、詳細は掲載記事で見てください。

コロナのこともいろいろあるが、愚痴は言うまい。何はともあれ、コロナに負けぬよう。前向いて新しい時代へ 一歩 踏み出しましょう。いつもありがとうございます。



■ 新型コロナ感染蔓延の神戸籠りの合間に この春出かけた近隣のマスクwalk
 Photo Album とスライド動画にして楽しむ
 <桜満開の京都 と東山不思議の狸谷不動院・瓜生山> 21.3.30. & 3.31.



老化・病気・介護などの困難とみんながむきあう新時代
 いつも困難の中にある仲間にも 思いをはせています
 周りの山は芽吹いて 新生の息吹 5月の風
 うまい空気を胸いっぱい
 気分も新た 元気出していきましょう

高齢者にはまだまだ厳しいコロナ収束
 仲間がいる 仲間の笑顔を活力に!!
 無理せず、体調変化に留意して毎日を!!
 がまんせず 時には声上げて スクラム組んで 今を元気に!!

2021.5.5 From Kobe Mutsu Nakanishi



収録 1. ■ コロナ禍の中で 大音響の五輪 PR 隊 約 800m 聖火ランナーは脇役か？

下記にインターネットに掲載された写真と五輪聖火リレーに関する記事を示す。

垣間見える商業五輪の醜さ スポンサーで成り立つ聖火リレー

2021年5月3日 06時00分 東京新聞



聖火ランナーを先導するスポンサー企業の車列＝三重県伊賀市で

47都道府県で人口が最も少なく、県内総生産も最小の鳥取県。

平井伸治知事（59）が、首都東京の五輪の聖火リレーを「アメリカナイズされた大騒ぎ」と評している

◆派手な車列に大音量の音楽 東京基準は非合理的

聖火リレーは、約30台の車列が約800メートル続く。ランナーを先導するのは、大会スポンサーとなった企業の大型宣伝車。大音量で曲を流し、車上のDJ（ディスクジョッキー）が興奮を盛り上げる。

新型コロナウイルスの感染拡大のさなか、有名人ランナー目当てに集まる人々に企業がグッズを配り、群集の「密」も生じた。

4月、本紙のインタビューに応じた平井知事の口調は穏やかだが辛口だった。

東京・秋葉原で生まれ育ち「東京の感覚は分かる」とした上で、「全国のリレーを東京基準で作るとするのは合理的ではないのではないか」「地域になじむやり方がある」「商業主義と五輪の理想の調和を保つべきだ」と説いた。

でもこんな風に五輪聖火リレーが行われているなどテレビにも大新聞には全くでていない。

特にNHKは 毎日聖火リレーの様子を報道するが、こんなどんちゃん騒ぎの隊列が延々800mも続くという。

まったくのホウカムリ。コメントもなにもなし。 何ででしょうか……………

聖火ランナーが聖火を粛々と800mも後でまるでトカゲのしっぽが如くに走ってゆく。

オリンピックの理念も当初東京五輪の目的「復興五輪をテーマに日本を世界に示す」とした内容もまったく示されぬまま、大音響の隊列はお祭りもりあげ隊 自己宣伝隊。まるでカーニバルの隊列としか考えぬ大隊列が進んでゆく。

オリンピックの精神などそっちりけの隊列だという。いわゆるお上に逆らわぬ昔の大名行列のお通りだ。

これが令和の日本の現状だ。しかもコロナ感染が拡大するさなかである。

スローガンと行動が全くかけ離れた商業主義の隊列が行く。もう口あんぐり。こりゃ 誰もついてゆかんわと。

収録2 収まらぬコロナ禍の中で どうなるポストコロナの日本

地球環境問題がいろいろ論議されている中で あまりにも利己的な近視眼的視点が中心ではないか 現代人が忘れ去り、無視してきた豊かな自然都人との絆 元京大総長 山際寿一氏のオピニオンです
2021.4.28. 神戸新聞 朝刊 13面【オピニオン】言論より

豊かな自然と人との絆、故郷を選ぶ基準に

現論

総合地球環境学研究所長

山際寿一



やまぎわ・じゅいち 1919年東京生まれ。京都大学大学院博士課程修了。アフリカ各地でゴリラの野外研究や保護活動に取り組む。国際連合人類学委員会、京都大学長、日本学術会議会長などを務め、4月から現職。著書に『家畜進化論』、『ゴリラからの警告』など。

地球環境問題はますます深刻度を強めている。干ばつと異常な豪雨、山火事など、とりわけ日本は自然災害に見舞われやすい。その原因が地球の平均気温の上昇にあることは明らかで、日本もようやく重い腰を上げて、2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることを宣言した。

向へ人々を導いてきた。その結果、個人はバラバラになつて頼るべき人々の輪を失い、保険や社会保障制度などに頼るしか自分や家族を守れなくなつていく。さらに、戦後ずっと人々の労働と暮らしを支えてきた企業が壊れ、生涯にわたつて身を預ける組織ではなくなつてきた。

この正月、久しぶりに山屋三善といふ詩人の「アミニスム」という希望という書を読み返してみた。1970年代に私が鹿児島県の屋久島でニホザルの調査を始めたころ、インド放浪の旅を終え、家族を屋久島の山中に居を構え、畑を耕しながら詩作に励んだ人である。屋久島の自然を文化を未来へ残そうと、一緒に勉強を始めた。

夫と書つ。土は地球そのものであり、生物が地球といつしよに作つてきた共同の財産でもある。そこに森羅万象が宿る。そのなかに自分の好きなものができるとき、それがカミである。美しいもの、真実を与えてくれるもの、安心を与えてくれるもの、懇めを与えてくれるもの、畏敬の念を起させるもの、そういうものは何でもカミであり、現代においてもそれはいさゝかも変わらない。

屋久島は三善さんの志を継いで暮らしている人たちがいるし、スナイダーもロサンゼルス郊外の河川流域に活動の輪を広げている。それは、これからの時代にこそ適した生き方かもしれない。

しかし、再生可能エネルギーへの転換や電力システム改革など、実現への道は険しい。プラスチックの利用規制や食品廃棄物の減少などの課題もある。これらを法や制度の規制だけで乗り切れるとはとても思えない。

明治以来、立身出世を目指して都舎に出た若者たちを引き寄せ、血縁も地縁も薄くなつた人々をつなぎとめてきた村までも崩壊しようとしているのである。根無し草のままになつた人々が自分の利益や安全しか考えず、互いに非難し合つて生きていくようになった。日本全体で環境倫理を推進していくような事業は不可能になる。いつか私たちがどこに自分のアイデンティティを求め、何を指標に未来を構想したいのだから

当時、三善さんは、部族という団体を立ち上げ、自ら共生する新たな暮らしを構築していた。この本は彼が亡くなる2年前の99年に、琉球大学で5日間わたつて行った講義の記録である。読んでみて、今の時代にひびつたことが書かれているのに驚いた。

それらのカミと自らが調和して一つに融合した時に、まじどの自分が現れる。それを見つけていくのが万物に魂が宿ると考へるアミニスムの新しい時代の形だと言つたのである。

三善さんとかつて日本で活動をともにした米国の詩人ケリー・スナイダーは、その後、カリフォルニア州のシエラネバダ山中に住み、バイオリジオナリズム（生命地域主義）を實踐し始めた。三善さんと同じように、好きな土地を決め、その土地を構成するすべての生き物と共に生きる「コミュニティ」をつくり上げようとする活動だ。

唯一の解決策は、現代の大量生産・大量消費の傾向を変えることである。現代の自由主義経済や科学技術は個人の欲望を発揮させ、その能力を拡大する方

消費と生産を変える

故郷となる場所

三善さんは、士とともに生き

環境倫理はこれ

◇敬称略。原則毎週木曜日に掲載します。

収録3. ポストコロナの社会構築理解のために 胸に輝く“カラフルなドーナツ型バッジ”の正体 よく知りませんでした。



テレビを見ていて、国会議員や財界の偉い人などが胸につけているカラフルなドーナツ状のバッジに目が留まり、なんだろうと。街でも見かけたことがある。

多分 東京五輪・パラリンピック関係か、ライオンズクラブやロータリークラブみたいな団体のバッジだろうと。それにしてもカラフルだ。こんなセンスなかなかないと思うのですが、それをつけている人物・・・と。ところが、Amazon で売っているのをみつけ、また、ほかでも・・・。
これはいったいなんと。



みんな知ってる「SDGsのバッジ」だそうだ。また英語か・・・と。でも誰でも知っているという。
2015年9月に国際連合加盟国が採択した「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」を指す「SDGs」のバッジだと知りました。

そんなふるくからあるのか？
最近コロナが流行しだし、政府が低酸素社会・持続可能型社会を目指すと言い出してから、急によく見かけるようになった。

小学生の孫たちがやってきて、「SDGs」のバッジやと呪文のように目的を唱える。学校でみんな習っているのだそうだ。私だけがしらなかったのかもしりませんが・・・・・・・・。
でも胸につけているえらい人たちはみんなバッジ17色の色の意味を理解してるのだろうか・・・・・・・・
「カラフルでええなあ」だけでははいかんのですが・・・・・・・・
これ知らなかった私の 負け惜しみです。
コロナ禍の中で、いろいろほころびが見えてきた日本。Post ポストコロナの新時代、日本の社会や働く現場を活力あるものにするに、誰もが目を向けるべきヒントが持続可能な開発目標 (SDGs) の中に数多く含まれていると。

国連広報センターや外務省のホームページには下記概要記述がありました。 ご参考まで

- 「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」 2015年9月に国際連合加盟国が決議採択
- 持続可能な開発目標 (SDGs) について
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/index.html>
- 持続可能な開発目標 (SDGs) 達成に 向けて日本が果たす役割
SDGsを通じて、豊かで活力ある未来を創る
https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/sdgs_gaiyou_202103.pdf

インターネットの検索より



2015年9月に国際連合加盟国が採択した
持続可能な開発目標 17項目
(Sustainable Development Goals)

【From Kobe 2021 6月 梅雨】



コロナ禍の中で迎えた神戸の梅雨 近況便り 2021.6.5.

コロナ禍の中で迎えた梅雨の絶景

神戸籠りの中 風来坊 勝手なPhoto 記録ですが 心やすめになれば

収録 最近の気になった新聞記事より

大坂ナオミさんの会見拒否に日本の縄文世界遺産登録を重ねて

今 人が人として 一番大事なことを思い起させてくれた

梅雨の田植え時 田に水が入った北神戸の田園の里でみられる絶景です 2021.6.1. 北神戸の里で



新型コロナが猛威を振るう関西 医療機関が崩壊してパンでミックス。本当に心配しましたが、やっと小康状態に。自分の身の安全と共に家族・仲間のこと他にもいろんなこと頭の中を駆け巡る6月の始まりです。おまけに早い梅雨入り。いろんなことがもうスピードで駆けてゆく6月の始まりです。皆様のところはいかがでしょうか.....

やっと6月1日第一回目のワクチン接種完了。2回目の日も決まってなんとか安心。ほっとしています。でも 今の日本の状況 コロナ収束 ワクチン接種 経済そして大問題のオリンピック等々 何一つ筋の通った具体的な行動論と見通し評価の話が聞こえてこない大変な状況。みんな目をきよろきよろ。でも 何一つ先が見えない。

私たちにできることはないのか?、せめて頂点迎合はやめ、我が道を見つめなおす力と知恵をつけねば.....。初と気が付けば取り残されてしまう。 今日本がそんな状況ではないでしょうか.....。さしずめ、次の選挙には思いのたけをと.....。相変わらずTV相手にブツブツ。でも「しっかりコロナにはまけるな!」と気力・体力維持に励む今日この頃です。





梅雨のいっときまるで「浮島」畔では野草が花を咲かせ、蝶も舞っていました 2021.6.2 北神戸淡河の里で



2021.5.22. パラ満開の須磨離宮公園
梅雨の晴れ間 多くの人がバラの香りに誘われて、ほっと一息



また、真紅のばらは気持ちを前向きにしてくれる 愚痴っていても始まらぬ 頑張りましょう



先が見えぬ厳しいコロナ禍 困難の中にある仲間へ 思いをはせています。
どうか 一人で頑張らず、無理せず 今はみんなに声かけて!!
仲間がいる。仲間の元気はみんなの応援歌
みんな互いに連絡取り合って 元気に前向いて 笑顔で今を。

God be with You!!
2021.6.5 From Kobe Mutsu Nakanishi



春のバラの挿木を飾る深紅のバラ
「一人で頑張る仲間いるよ」
おだだ 好奇心いっぱい 前向いて」と



紫陽花は雨どきに
そっと寄り添って咲く花
花言葉は花の色で変わるといいますが、
雨粒を葉に乗せて
静かで心優しき癒しの花

最近の気になった新聞記事より

収録 大坂なおみさんの会見拒否に日本の縄文世界遺産登録を重ねて

今 人が人として一番大事なことを思い起させてくれた

2021.6.5. by Mutsu Nakanishi

祝 北海道・北東北の縄文遺跡群がユネスコ世界文化遺産へ 諮問機関が登録勧告

5月28日(金曜日) 神戸新聞朝刊「正平調」はこんなコラムで世界遺産決定を祝った

神戸新聞
2021年5月28日 金曜日

正平調
人類は進歩なんかしていないーと芸術家、岡本太郎さんの語録にある。「縄文土器の凄さを見ろ。ラスコーの壁画だって、ツタンカーメンだって、いまの人類にあんなもの作れるか」◆言われてみれば、縄文土器には不可思議な形のものが多いし、確かに前衛的である。岡本さんはそこに狩猟民ならではの躍動する感性を見たのだろう。その人が手がけ、大阪万博のシンボルとなった「太陽の塔」もどこか縄文芸術の香りをまどっている◆いま再びの「縄文ブーム」を予感させるうれしいニュースが届いた。青森市の三内丸山遺跡などの「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産に登録されるという◆遺跡には、定住の痕跡があった。土器や土偶、アクセサリーも多く出土している。縄文人は獲物を追ってさすらっていたというこれまでの定説を覆し、世界の先史でもまれにみる豊かな文化を育んでいたらしい◆三内丸山遺跡から発見されたという樹皮で編まれた「ボシエット」の写真を、きのうの本紙で見た。腰にぶらさげ、クルミヤクリを拾っていたのか、おしゃれな縄文人の暮らしが目に浮かんでくるように心躍る◆縄文文化に衝撃を受けて語った岡本さんの言葉を、まねしてつぶやいてみる。「こんな日本があったのか」 2021.5.28

■ 大坂なおみさんに先頭を走る者たちの孤独を感じて

God be with You!! 健康を取り戻して またトップを走ってほしいなあ・・・

神戸新聞
2021年6月2日 水曜日

正平調
大坂なおみさんが豊かな表現力や強い意志を持ったテニス選手であることは、時にユーモアを、時に反差別の思いを発するその語り口からも知られるところだろう。それだけに全仏オープンでの会見拒否はやや唐突な印象だった◆深い理由を、できれば本人も公にはしたくなかったのではないかと今にして思う。3年前に全米オープンで初優勝し、一躍時の人となった頃から心の不調に悩んで来たことを、大坂さんがツイッターで告白した◆会見拒否は自分を守るためだったと述べている。批判の音が聞かれても翻意できぬほど23歳の心は疲弊していたのか、騒動が広がると初戦突破していた全仏の棄権を決めた。しばらくコートを離れる意向という◆トップアスリートだって鋼の精神を持っているわけでない。重い問題提起にテニス界が揺れるなか、ある海外選手のメッセージが目にとまった。「あなたの傷つきやすさを尊敬する」。繊細でいいじゃないかと◆心すり減らした仲間をそっといたわる言葉に触れ、小龍秀雄の詩が浮かぶ。「人間は心を洗う手はもたないが/心を洗う心はおたがいにもついている苦だ」(「乾杯」)◆告白の最後に、みんなが元気でありますようにとつぶやいた大坂さんである。儼しき人の回復を祈っている。 2021.6.2

2021年6月2日神戸新聞「正平調」より

6月の更新時に神戸新聞に掲載された2つの記事のコラムに目が留まりました。

「大坂なおみさんの会見拒否と縄文の世界遺産登録」

全く異質な話題のようですが、「今 人が人として一番大事なことを思い起させてくれる」のではないかと。。。。

大坂なおみさんの語録「スポーツ選手である前に 一人の人間として大事なことがある」が今回の行動の根に日本の縄文も同じことを教えてくれた。人が人である所以「他人を思いやる心」

いま日本が一番忘れ去ろうとしていることにゆっくり考えねば・・・と。

思い起こすと広く一般の人達の心をとらえた20年近くにわたる縄文遺跡の世界遺産登録運動

私もよく言う「心優しき縄文人のやさしさ 他人を思う心/他利・分かち合いの精神」。

素晴らしい多様な文化を育み、世界に類のない1万年の長きにわたる永続社会を築き上げた日本の縄文。

「日本人が狩猟採取の原始の生活『縄文』を学んでどうするねん。私たちの祖先は朝鮮半島から文化を持って渡ってきた渡来の弥生人」と言われ、教科書からも消えてしまった時代もありました。

でも遺跡発掘とともに、粘り強く縄文を学ぶ一般の人たちや学者たちの輪が広がる中で、縄文の素晴らしい文化が次々と解き明かされ、世界文明にも匹敵する世界に類のない森の文明であることも明らかになった縄文の社会。

狩猟採取の定住社会を解き明かした各地の縄文の居住跡やストーンサークルなどの遺跡遺構・遺物の数々。青森三内丸山遺跡の出土も大きかった。また、大ブームを巻き起こしたヨーロッパや国立博物館等での縄文展もありました。

人類が幾多の困難を克服し、今に至るまで生き延びてきた道の根底にある精神文化を示してくれる遺物・遺構が今も数多く残っていて、現代の人々に問いかける日本の心の故郷が「縄文」である。

原点回帰 おりしも今 コロナ禍の大苦難の中で、それぞれに生きる道を問いかける貴重な遺産であろう。

一方 大坂なおみさんが全仏オープンの試合後の記者会見を拒否したことの是非が大きな話題になっている

「大坂なおみさんのテニス全仏オープンの会見拒否」

また、TV 他マスコミが勝手なつくり込みで騒ぐだろうなあ。そして目をキョロキョロ「風を読む」世論の論調に日和って、さも正論がごときに言うことをかえるだろうなあと。

こんな構図を何度みたことか・・・

ことの是非はそれぞれの立場としての論があるだろう。

でも 大坂なおみさんにトップの孤独を見る。

みんな仲間と思っているのに後ろにだれ一人いない。ただひとりで大きな権威に立ち向かわねばならぬ聞こえてくる声は「みんなそうゆううてるよ 右も左も目をきよろきよろ 空気をよまねば」との付和雷同派のいかに多いことか…。

トップが感じる孤独 トップの象徴的な姿に映る。負けるなよ!!

健康取り戻してまた、頑張ってもらいたい。

かつて大坂なおみさんが示した「選手である前に ひとりの人間である」との姿勢の延長。譲れないのだ。

一方 すぐ頭に浮かぶのは「マイク片手に公器・正義や みんなついている」とばかり、なんの思慮も頭も働かさず、どかどかと土足で踏み込むやからたち。「芸能人と報道の境がなくなってしまった日本。世界もそうなのか…」

産業界・政治家・スポーツ界・産業界等々 一個人ではひとたまりもなし。

こんな構図 日本も世界も最近はますます多く、歯止めが利かぬ。

なんでもかんでも、根拠は「みんな 言うてるやん」と仲間に振り、その代表を標榜する。

一握りの権力者に握られ、なんの思慮もない取り巻きが上記のふるまい。

こんな古い体質には 本当におさらばして、若者たちにバトンを渡せ!!と。

いま、ちょうど日本の縄文が世界遺産になる。忘れてはならぬ人間のもつ本性「他人を思いやる心の優しさ」

思わずなおみさんへ God be with you !!

我が道を大切に。また、日本の縄文 世界遺産登録も今後、一大産業として牛耳られぬようにと祈る。

でも まだまだ縄文を知らない人も多い。世界の人に縄文をもっとしてほしいと

- 参考 1. 【2014. 6月 From Kobe】[「利他的精神」について 朝日新聞天声人語より](https://www.infokkna.com/ironroad/2014htm/2014mutsu/fkobe1406B.pdf)
競争社会から成熟社会へ 日本に必要なのは「心の優しさ」では
<https://www.infokkna.com/ironroad/2014htm/2014mutsu/fkobe1406B.pdf>
- 参考 2. <NHK取材班「Human」 視聴・購読メモ [「なぜヒトは人間になれたのか」](https://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/12iron03.pdf)>
1. 視聴・購読メモ 「ヒューマン なぜヒトは人間になれたのか」
2. 補足メモ 人間を人間たらしめているもの「分かち合う心・通わせる心」
<https://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/12iron03.pdf>
- 参考 3. 北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録をめざして
公式ページ [北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録をめざして](http://jomon-japan.jp/)
<http://jomon-japan.jp/>

【From Kobe 7月】 7月の便り by Mutsu Nakanishi 2021.7.18

恥ずかしいのですが、6月21日 踏み台外して、左足踵骨折で緊急入院加療中の毎日。
 やっと一ヶ月が過ぎ、踵・足首固定していた包帯も外せ、リハビリに専心しています

コロナ禍の中
 ちょっと一服



やっと梅雨があげ、清しい朝を迎えています、いかがでしょうか
 新型コロナ蔓延急拡大の中で開かれるオリンピック 何か素直に喜べぬ大会に。
 政府は何もかもええ加減で、コロナからわが身を守るのも もう慣れ、疲れ果ててあきれはてる毎日
 田中均氏によれば「説明しない 説得しない 責任取らない 3S 政治」というそうですが、
 オリンピック後のポストコロナの日本がどうなるのか、心配な毎日です。
 これから高齢者には厳しい夏を迎えますが、お互いスクラム組んで助け合いながら、
 前向いて乗り越えましょう。

恥ずかしいのですが、6月21日 踏み台外して、左足踵骨折で緊急入院加療中の毎日。
 やっと一ヶ月が過ぎ、踵・足首固定していた包帯も外せ、リハビリに専心していますが、地面に踵を付けられず車椅子での生活 まだあと1ヶ月程度かかる見込みと医者やリハビリの理学療法士さんから言われています。
 片足が地面につけられぬのが、こんなに不便とは思いません。
 またコロナ禍の中なので、病院内面会もシャットアウトで完全な雪隠詰めの生活です。
 もっとも加療といっても骨折箇所の自然治癒を待つ「日にち薬」。歩けず動かさない下肢全体の関節・筋力のトレーニングと歩くためのリハビリの毎日で、もっぱら病室・病院内観察の日々。
 快適とは言えず、もう飽き飽きですが、いたって元気に過ごしています。
 この7月の便りも暇に任せて持ち込んだ Book-PC で発信しています。
 整形外科のリハビリ病棟 若く明るい看護師さんや理学療法士さんにかこまれています、患者はほぼみな後期高齢者大変です。ベットから眺める病院観察も手に取るよう。入院経験のない私には結構面白い。
 緊急入院で隣に寝た人が翌日昼過ぎ、服に着替えて退院すると出て行って大騒動。そのあと警察も来て、どうもコソ泥の類のようだ。また さっきまで元気に気炎を上げていた爺さん 夜中胸が痛いと言い出し、心筋梗塞。救急隊もやってきて、専門病院へ移送。こんなこともありました。
 ワクチン摂取も完了 PCR 検査も陰性 血液検査も OK 足首骨折部のレントゲン・超音波・MRC検査での回復具合も順調。しいて言うなら食事 めちゃめちゃまずい。持ち込み差し入れももシャットアウトです。
 まだまだ 色々目を白黒したことがあります、とりあえず、そんな中で元気に加療中です。
 時間もたっぷりあり、暇に任せて「和鉄の道・Iron Road」HP を見返しながら手入れをしています。
 添付は病院の中で整理した中から 7月の見聞録です
 なお、こんな事情で今和鉄の道ホームページの更新ストップしていますが、お許してください。
 これからオリンピック騒ぎの中でのコロナ禍 酷暑の夏を迎えますが、
 どうか無理せず御身大切にお過ごしください。
 8月末までには退院でき、また 和鉄の道・Iron Road HP の発信できると思いますので
 それまでお許してください。

God Be With You!!

2021.7.18. From Kobe Mutsu Nakanishi

リハビリ加療の合間に 病室で暇に任せて整理した6・7月 From Kobe 見聞録の資料
特に何もなく私的なものばかりですが、お暇なときにどうぞ。

◎ 和鉄の道Home Page Top 6月更新のままで 現在ストップしています お許ください

<https://www.asahi-net.or.jp/~zp4m-nkns/>

【交信記録資料】ダイレクト配信資料 インターネットファイルとして記録保存しています

1. 和鉄の道・Iron Road 「鉄の惑星地球」 鉄はどんな金属・・・どうして作るの? 2021.7.10
永田和宏著「人はどのように鉄を作ってきたか 4000年の歴史と製鉄の原理」2章 抜き書き
<https://www.infokkna.com/ironroad/tatara/Tetsu-donnakinzoku.pdf>
鉄について わかりやすい解説をされていた永田和宏先生のBook を見つけ、その中の鉄の歴史の
部分を抜き書き掲載させていただきました
2. 新型コロナ蔓延の梅雨時 From Kobe Mutsu Nakanishi 踵骨折加療中日記 より
インターネットで見つけた6・7月新聞インターネットの記事より
<https://www.infokkna.com/ironroad/2021htm/2021mutsu/fkobeR0307-Toubyouki.pdf>

2.1. コロナ禍に 心に響く金子みすゞの詩 ひさしぶりの山口県長門山崎の街と金子みすゞの詩

NHK ウィークエンド関西 2021.6.26朝放送より

2.2. 夏の京都を襲う「丹波」「山城」「比叡」の3兄弟とは?

2021.7.11. 辻 智也 京都新聞 & まいどなニュース より

2.3. コロナ禍の話題 桂文珍 落語見聞録【1】【2】

神戸新聞 文化面 2021.6.10. & 2021.7.2021.7.14 より

2.4. コロナ禍の中で「阪急と阪神」定期券客の減少率を調べて分かった!

2021.7.4. まいどなにゅース 新田浩之 より

2.5. 【現代ビジネス】日本にはコピペで盗めぬ Only ONE 技術がある

日本の「お家芸 製造業」実はここへきて「圧倒的な世界1位」になっていた

大原博(国際投資アナリスト) 2021.7. 11 インターネット配信

2.6. 崩れだした日本の民主主義統治 選挙が最後の砦!

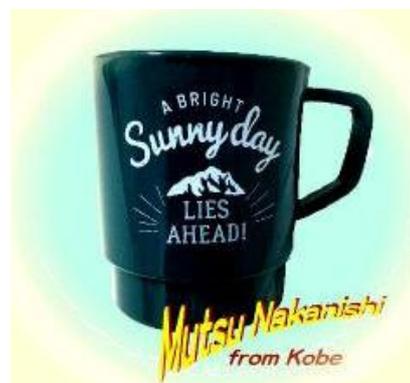
田中均 毎日新聞「政治プレミアム」2021.7.14. より

やっと梅雨があけ、清々しい朝を迎えています、いかがでしょうか
新型コロナ・酷暑・厳しい日々の生活 高齢者には厳しい夏を迎えます
仲間の元気はみんなの応援歌!! 頑張りすぎず、時には声を上げて!!
お互いスクラム組んで助け合いながら、前向いて乗り越えましょう。
また 笑顔で会えるのを楽しみにしています
God Be With YOU!!

2021. 7. 18. Mutsu Nakanishi

返信・連絡は右記メールアドレスにお願いします

zp4m-nkns@asahi-net.or.jp





久しぶりに見る山口県長門市仙崎の町の映像と
金子みすゞの優しいまなざしの詩が映像で

2021.6.26. 07:45 NHK ウィークエンド関西で
コロナ禍のアメリカで 大きな反響を呼んでいる
金子みすゞの詩「積もった雪」 2021.6.26.

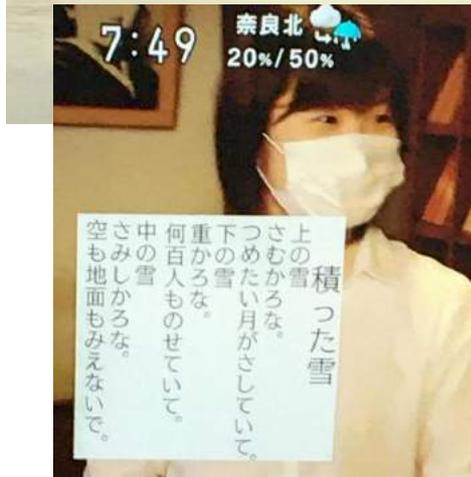


積もった雪 金子みすゞ

上の雪
さむかるな。
つめたい月がさしていて。

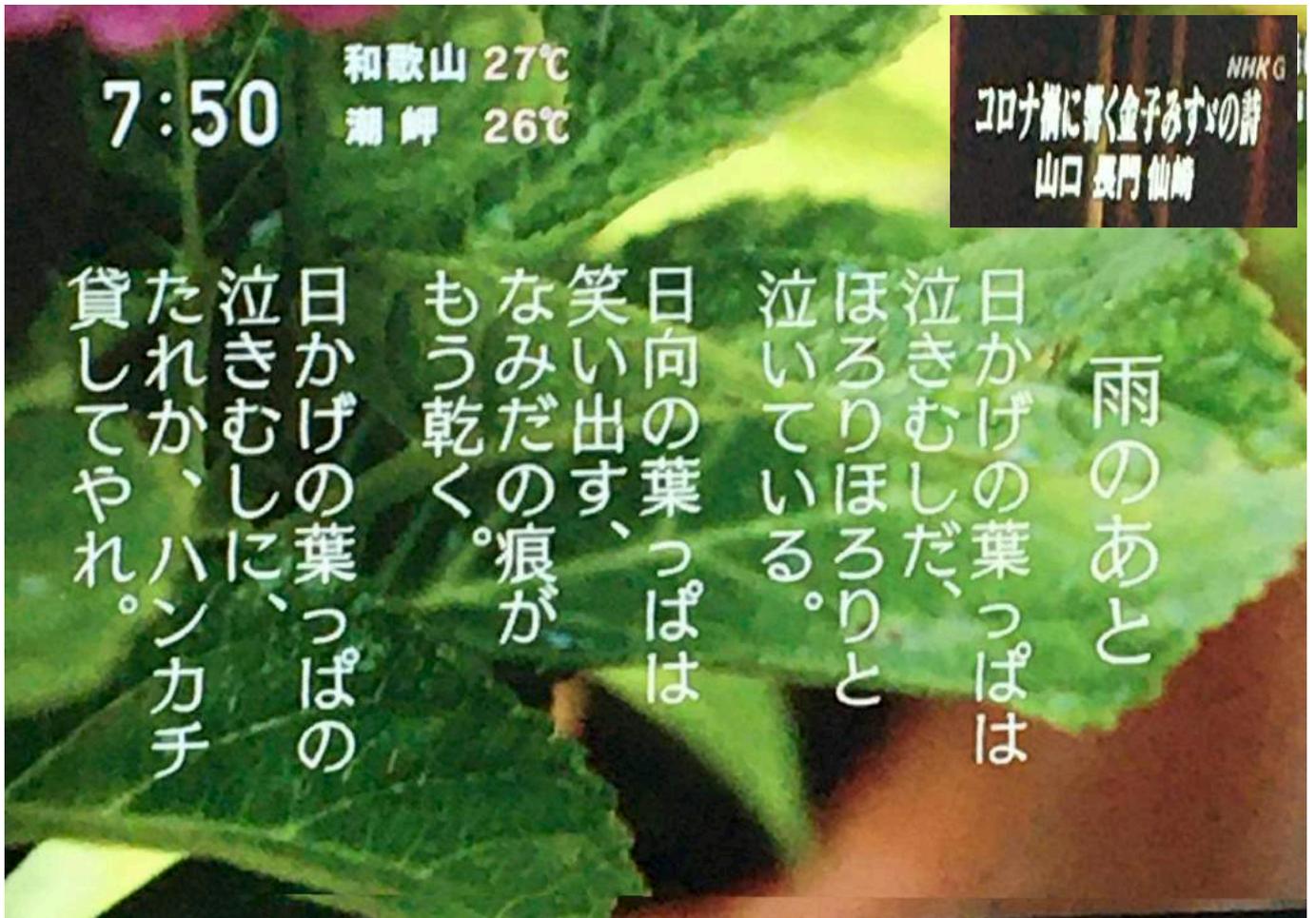
下の雪
重かるな。
何百人ものせていて。

中の雪
さみしかろな。
空も地面もみえないで。



7:49 奈良北 20%/50%

積もった雪
上の雪
さむかるな。
つめたい月がさしていて。
下の雪
重かるな。
何百人ものせていて。
中の雪
さみしかろな。
空も地面もみえないで。



コロナ禍の中で、金子みすゞのこんな詩も紹介されていました



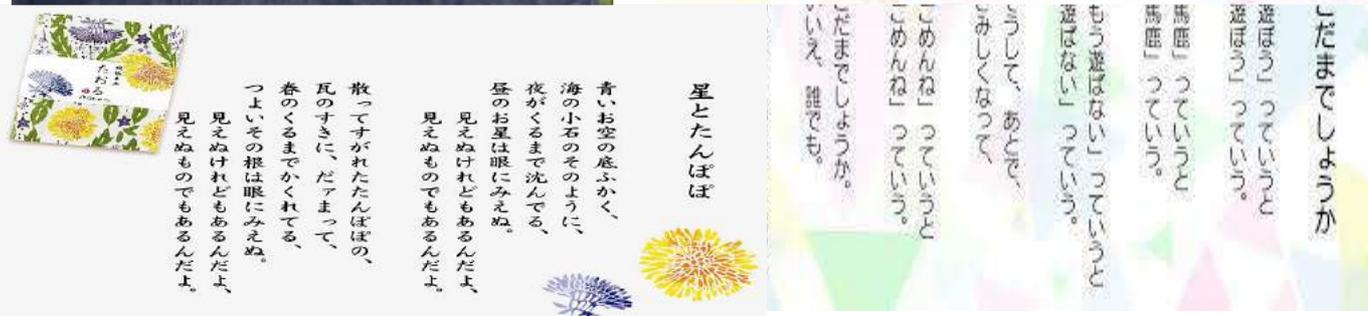
詩の中に見る金子みすゞのまなざし

積った雪
 上の雪
 さむからな。
 つめたい月がさしていて。
 下の雪
 重からな。
 何百人ものせていて。
 中の雪
 さみしからな。
 空も地面もみえないで。

こんな詩もあるんです。

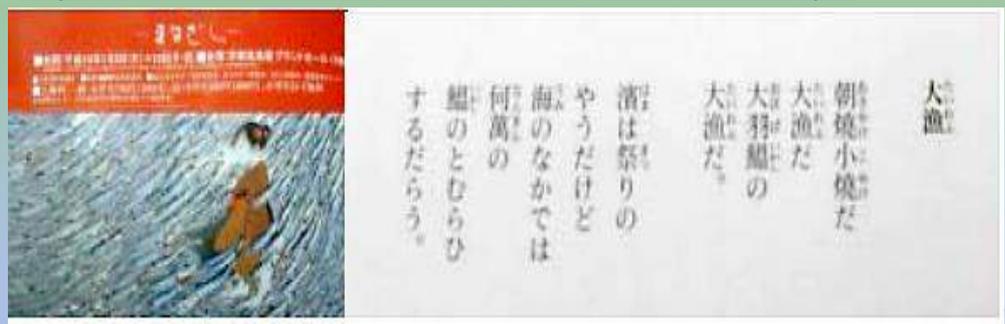
『ふしぎ』

わたしはふしぎでたまらない、
 黒い雲からふる雨が、銀にひかっていることが。
 わたしはふしぎでたまらない、
 青いくわの葉たべている、かいこが白くなることが。
 わたしはふしぎでたまらない、
 たれもいじらぬ夕顔が、ひとりでばらりと開くのが。
 わたしはふしぎでたまらない、
 たれにきいてもわらって、あたりまえだ、ということが



参考まで 「風来坊 Country walk」 【山口・美祢・長門の四季】
 長門市仙崎 金子みすゞの街 掲載記事記録
 by Mutsu Nakanishi 2021.6.26.

1. 久しぶりに童謡詩人「金子みすゞ」の街 長門市仙崎を訪ねました 2007.6.
<https://www.infokkna.com/ironroad/dock/walk/5mine02.pdf>
2. 【写真アルバム】久しぶりに京都のお寺の中をゆっくりと 2012. 2.21. & 2.22.
 清水寺奉納 46枚襖絵 風の画家 中島潔が描く「生命の無常と輝き」展
<https://www.infokkna.com/ironroad/2012htm/2012walk/12walk02.pdf>
3. 2003. 2月 From M. Nakanishi 2003.2.1.
 2.3. 中島潔 童画展「金子みすゞ -まなざし-」を見る
 山口県長門 仙崎 不遇の詩人 金子みすゞ 2003.1.4. 京都にて
<https://www.infokkna.com/ironroad/book/bookmutsu2003.pdf> P7



4. from kobe 2010. 9月 なにか 日本がおかしい P2.金子みすゞの詩
<https://www.infokkna.com/ironroad/2010htm/2010mutsu/fkobe1009.pdf> P2

夏の京都を襲う「丹波」「山城」「比叡」の3兄弟とは 近年は都市化でさらに弟が2人増!?

2021.07.11 (Sun) 辻 智也 京都新聞



積乱雲による局地的な豪雨に見舞われる京都市街。この日は、比叡山付近で積乱雲が発達し、左京区北部で大雨となった（2021年6月23日、京都市中京区の京都新聞社屋上から北東方向を撮影）



京都をめがけてやってくる積乱雲の5兄弟。近年は都市化で「四郎」「五郎」が登場しているとい

京都市は、全国的に見ても夏の雷が多い。古くから「丹波太郎」「山城次郎」「比叡三郎」と呼んで、突然の雷雨に注意を促している。

「積乱雲3兄弟」はそれぞれ、名前の方角から京都をめがけて来襲し、激しいゲリラ豪雨をもたらす。丹波太郎たちは、真夏の日差しと上空の寒気によって生まれる。まず、強い日射で地面近くの空気が暖められ、上昇気流が発生する。このとき上空に寒気があると、「軽い暖気」と「重い冷氣」が激しく対流を起こし、積乱雲の卵ができる。複雑な地形の方が対流は起こりやすいため、丹波太郎の故郷は兵庫県北部の山地、山城次郎は奈良県北部の山地が多い。

なぜ、それぞれ京都市をめがけてくるのか。]

京都の積乱雲を長年調べている気象予報士で光泉カトリック高（草津市）講師の村山保さんは「上空の風向きが行き先を左右している」と説明する。

夏の太平洋高気圧が西日本に強く張り出すと、京都府の上空5千メートル付近は西～北西の風になる。丹波太郎はこの風に乗れ、発達しながら福知山市や南丹市などを経て京都市に向かう。標高が低い亀岡盆地で一時衰えるが、愛宕山（924メートル）を越えるときに再上昇して勢いを取り戻し、京都市街は激しい雷雨になる。一番高い山を越えてくる長男の丹波太郎が威力も一番激しい。京都盆地で衰えず、大津市まで進んで豪雨をもたらすこともある。一方、山城次郎と比叡三郎は、夏の高気圧が張り出し、かつ東シナ海付近に低気圧がある時にやってくる。このとき、上空5千メートル付近は南～南東の風が吹き、奈良県北部や滋賀県南部で発生した積乱雲が流れてくるという。

近年、3兄弟に弟2人が誕生している。

「四男」の「桃山四郎」は、2年前まで村山さんが顧問を務めた桃山高（京都市伏見区）グローバルサイエンス部の生徒たちが存在を確認した。丹波方面から来た積乱雲の卵が、京都市街の都市熱によって徐々に発達し、伏見区桃山付近で積乱雲となり雨を降らせ始める。

3兄弟に比べて出現頻度は低い。しかし、いったん現れると次々に同じ場所で発生する特徴があり、兄たちより長く雨を降らせ、京都市南部や宇治市で浸水害の恐れが高まる。

また、大阪から淀川沿いに京都へ向かう「田辺五郎」という「五男」も気象関係者の間で認識されている。む大阪市や近郊の都市熱で発達しているとみられる。「現代っ子」の積乱雲も、夏の新たな脅威となっている。

コロナ禍の話題 2021.6.10. 桂文珍 落語的見聞録【1】
 ワクチンも ”毒見” “してから



文化
 ワクチンも 毒味してから？
 神戸新聞 2021.6.10朝刊より
 文珍さんのこんなコラムにニコリ
 今週から新開地「喜楽館」での昼席
 も再開されました。
 新型コロナの収束はみんなの願
 い ちょっと一服 頑張りましょ



文化
 緊急事態宣言がまた延長された。記者会見でも国会の答弁でも「専門家の意見を聞きながら対処して参りたい」と思いますが、聞かされる方はウンザリ。政府のリーダーシップはどないなつとんねん！と思ってるのは私だけではないと思う。
 いよいよオリンピックが近づいた。五輪は開催して小学校の運動会は中止とは理由が分からない。子どもに説明するのが難しい。そんな中、政府の分科会の尾身会長は「パンデミックの中等での開催は普通はない」と強調された。いやいや、この流れの中で発言は勇気が要る。さすが専門家、感心した。
 オリピックを自さして頑張っているアスリートの皆さんの気持ちもよく分かる。毎日のように検査をし、もちろん、ワクチンも打って外出もせず、いい結果を求められるのだから、どれ

文化
 ほとん大変かと思う。選手全員の金メダルをあげてほしいくらいだ。
 そのワクチン、ついに私のところにも接種の案内が来た。高齢者にはインターネットでの申し込みが難しい。どうするかと思つたら、接種申し込みのお手紙を書くこともないのか。時代を感じた。

文化
 近づく。素晴らしい！て食べられない。捨てるのは惜しいので、出入りの男に毒味をさせよと、フグだと隠して与える。様子を伺いに行くと、男はフグを食べ終えたらしく、腹いっぱい居眠りしている。これなら大丈夫と旦那、フグを食べると...これがうまい！鍋が空になるまで食べた時、出入りの男がやって来た。「旦那は先ほどのナベ食べましたか？」「食べました」「何ともなかったか？」「うまかった」「じゃあ私も帰って食べよう」
 やっぱり芸名、文珍やめてワクチンに変えようかなあ...
 (かつら・ぶんちゃん)落語家 次回回は7月8日

文化
落語的見聞録
 桂文珍

神戸新聞 2021.6.10.朝刊より
 文珍さんのこんなコラムにニコリ
 今週から新開地「喜楽館」での昼席も再開されました。
 新型コロナの収束はみんなの願い
 ちょっと一服 頑張りましょ

From kobe 7月 インターネットを眺めていて コロナ禍の中で

〈まいどなニュース〉より 「阪急と阪神」定期券客の減少率を調べて分かった！

テレワークの影響が出やすい路線・出にくい路線 2021.7.4. 新田 浩之

コロナ禍 山手を走る阪急と海岸近く古い下町の中を走る阪神電車の特徴が出ています

<https://maidonanews.jp/article/14383417>



阪急神戸本線沿線には住宅地が広がる

工業地帯と古い街並みの中を縫って走る阪神電車

コロナ禍になり「テレワーク」や「ステイホーム」が日常語として定着し、様々な影響を与えています。特に鉄道会社はテレワークの普及により、定期券客の減少に頭を悩ませています。定期客の減少率を見ると鉄道会社の間で差があることもわかります。なぜ差が生まれるのか、その原因を並行して大阪―神戸間を走る阪急神戸本線、阪神本線の沿線環境から考えたいと思います

阪急電鉄も阪神電気鉄道もコロナ禍により、定期客は大幅に減少しています。2020年度の阪急の定期客は27万7068人となり、前年比-19.6%です。一方、阪神の定期客は10万7336人となり、前年比-15.9%。大手私鉄16社の中では「マシ」といえます。

定期券客の減少率が少ない方を上位とすると、何と阪神は1位、阪急は6位です。

参考までに最も減少率が大きかったのは東急電鉄となり、前年比-33.7%でした。

定期客の2020年の減少前年比 阪神 -15.9% 阪急 -19.6% 東京都心を走る東急 -33.7%
一方、定期券外客を比べると話しは変わります。

阪急は前年比-33.0%、阪神は前年比-35.7%となり、定期券客よりも減少率が大きいことがわかります

バラツキが見られる業種別テレワーク普及率

ところでテレワークはどのような業種で進んでいるのでしょうか。

総務省が6月18日に発表した「令和2年通信動向利用調査」による産業別のテレワーク導入状況(2020年8月末時点)は 情報通信業 92.7%、不動産業 68.1%、金融・保険業 67.6%、製造業 56.1%、運輸・郵便業 30.4%となっています。

総務省「令和2年通信動向利用調査」産業別のテレワーク導入状況(2020年8月末時点)

情報通信業 92.7%、不動産業 68.1%、金融・保険業 67.6%、製造業 56.1%、運輸・郵便業 30.4%

やはり現場の仕事が多い製造業や運輸・郵便業は情報通信業や不動産業と比べると遅れをとっていることがわかります。

また資本金規模別に見ると50億円以上が83.7%に対し、1000万円未満は19.1%にとどまっています。

この記事の筆者は阪急・阪神の通勤定期券乗客の増減をこの時期のコロナ禍対策として取られたテレワークの実施と関連ずけて、下町を走る阪神 山手を走る阪急の性格が出ていとみる。

また、モノづくりや運輸産業や中小企業ではテレワークの実用が難しいことも見えてくる。

鬼の首を取ったようにテレワーク テレワーク 働き方改革という政府・官僚たち。
彼らには日本を支えるモノづくり企業や運輸など日本そして企業を支える現場 そして大企業にしか
見えないようだ。

今その日本の大企業群の没落がだれの目にも見える時代に。
ポストコロナの時代を支える日本の産業群をどう考えるか・・・・
そんなものも見え隠れしているように思える。
野球ではないが、阪神も阪急もそしてその沿線に暮らす人と街。
何がポストコロナの時代を支えてゆくのか みんな頑張ろう。

2021.7.15. From Kobe Mutsu nakanishi

〈まいどなニュース〉より

つり革を持っていないと、加速でこけてしまいそう!?

40年選手…まだまだがんばる昭和版「ジェットカー」

阪神電車の地元密着 オンリーワンの技術 阪神の普通電車通称「ジェットカー」

<https://maidonanews.jp/article/14127516>

大阪と神戸を結ぶ阪神電気鉄道には加速にすぐれる普通電車があります。
地元では「ジェットカー」という名称で知られ、現在も元気に活躍しています。
40年選手、昭和版「ジェットカー」5001形の魅力に迫ります。

体が横から押されてしまう普通電車？

5001形は1977年にデビューし、阪神本線（大阪梅田駅～元町駅）の普通電車を中心に活躍してきた通称「ジェットカー」。2021年1月時点においても新型車両に交じり、阪神本線で元気に活躍しています。

5001形は「普通の電車」に見えますが、実は加速・減速にすぐれたすごい電車で、「ジェットカー」と呼ばれてきました。5001形の加速度は4.5km/h/s、つまり1秒間に速度が4.5km/h上がります。一般の通勤電車の加速度は約3.0km/h/sなので、5001形は1.5倍も加速力が高いです。

始発駅の高速神戸駅から5001形に乗ってみました。加速すると体が横に押されるような感覚に。つり革を持っていない状態で立っていると、バランスを崩してこけてしまうかもしれません。5001形の加速の良さは実際に乗車するとすぐにわかるので、ぜひお試しください。なお新型「ジェットカー」は乗り心地が改善されているため、体が横に押される感じはあまりありません。



1977年にデビューした「ジェットカー」5001形

なぜ阪神電車は「ジェットカー」を走らせているのでしょうか？

大阪～神戸間にはJR神戸線と阪急神戸線が走っていますが、答えは駅が多いことにあります。

JR神戸線は大阪～三ノ宮駅間約30キロに15駅、阪急神戸線は大阪梅田～神戸三宮駅間約32キロに16駅一方、阪神本線（大阪梅田駅～神戸三宮駅間約31キロ）には倍の32駅
駅間の平均距離は約1キロしかありません。しかも阪神本線には特急や快速急行などの速い電車が走っているため、普通電車がノロノロ走ることはできません。

普通電車は少しでも速く走り、主要駅で特急や快速急行に道を譲る必要があります。

そのため阪神の普通電車には「ジェットカー」と呼ばれる加速・減速性能がすぐれた電車が投入されているのです。

昭和な阪神電車を感じられる5001形

5001形の魅力は単に加速・減速がすぐれているだけではありません。今となっては懐かしい「昭和な阪神電車」を感じられる電車です

まずはクリーム色と青色の塗装に注目しましょう。かつての阪神電車は特急などに使われる急行系車両は赤色とクリーム色、普通系車両は青色とクリーム色となっており、それぞれ「赤胴車」「青胴車」と呼ばれていました。

しかしリニューアル工事や新型車両の登場により次々とモダンな新塗装に。気がつけば昭和時代から続く「青胴車」は5001形のみとなりました。

首都圏ではなかなか見かけなくなった方向幕も健在です。2019年10月に「梅田駅」から「大阪梅田駅」になりましたが、方向幕は「梅田」のままです。

車内は座席の色は変わったものの、基本的にデビュー当時の姿です。若草色の壁がかつての阪神電車の標準仕様。新型車両とは異なる落ち着いた雰囲気醸し出しています。

車端には日章旗を入れる金具、アナログ気温計、「禁煙」プレートの3点が昭和ムードを高めます。阪神電車は現在でも祝日になると車端部に日章旗を掲げます。窓も開くので換気もばっちり！これだけしっかりと窓が開いていると、混雑した車内でも少しは不安が取り除かれるのではないのでしょうか。



青色とクリーム色の塗装も5001形のみ



関西私鉄でも方向幕は少なくなりつつある



若草色が車内を落ち着いた雰囲気に



車端部は昭和レトロなアイテムが目につく

引退が迫る5001形

阪神電車の資料によると、5001形は2023年度までに新型車両に置き換わる予定になっています。2021年1月現在、何本かやり過すと5001形に出会えるので、車内で横に押される体験をしたければぜひお試し乗車してくださいね。

昔、TVに出演して、道路と線路が並走するセンタープール前駅周辺で100m走の覇者カールルイスの人形「おカール君」とジェットカーが競争して走ったのも懐かしい。

2021.7.14. Mutsu Nakanishi



窓も開くので換気もばっちりだ

【現代ビジネス】 日本には コピペで盗めぬ only one 技術がある

日本の「お家芸」製造業、じつはここへきて「圧倒的な世界1位」になっていた！

大原 浩（国際投資アナリスト） 7/11日8:02配信

<https://news.yahoo.co.jp/articles/64b8a4f4c258baa37616b57095ce15fe9010dca?page=1>

日本の製造業「悲観論」を信じていいのか…？

「日本の製造業が衰退している」ということが、ここ最近言われている。

確かに、4月28日の「東芝、マクドナルド、日産…日本企業をぶっ壊す『プロ経営者』たちのヤバい実態」、2019年8月6日の「従業員の不信を引きずったパナソニックに復活はあるのか？」で触れた、東芝、日産、パナソニックを始め、2012年に破たんしたエルピーダメモリ、シャープなどを見ると、高度成長・バブル時代に日本経済をけん引していた製造業は「いったいどうしたんだ？」と感じても不思議ではない。

大企業の主流を占める最終製品を製造する「組み立て業」組

写真：現代ビジネス

において、日本企業のカが衰えているのは否定できない事実だと思う。しかし、先端技術を駆使した製造業において最も大事なものは「組み立て」ではない。「材料」、「部品」、さらには「組み立て」を行ったり部品を製造したりするのに必要な「製造装置」である。この分野では、日本が世界を席巻していると言っても過言ではない。

だから、実のところ世界の製造業を牛耳っているのは日本だと言えるのだ。

分かりやすいのが、ひところ大量に流れた「インテル入っている」というCMだ。

当時は、現在よりもさらに多くのパソコン（組み立て）メーカーが雨後の竹の子のようにあふれていたが、殆どが過当競争と低収益に悩んでいた。それも当然だ。最近では少なくなったが、黎明期には秋葉原にパーツを買いに行き「パソコンを自作」することは、少々の知識があればだれでもできた。

つまり、個人のパソコンメーカーを立ち上げることさえ簡単なのである。

それに対して、CPUなどの部品を自作するなどという話は聞いたことがない（天才技術者なら可能かもしれないが……）。つまりパソコンの技術の核心は部品であるCPUにあるのだ。

「インテル入っている」という言葉も、「俺たちのCPUのおかげでこのパソコンは動いているんだぜ！」と聞こえなくもない……

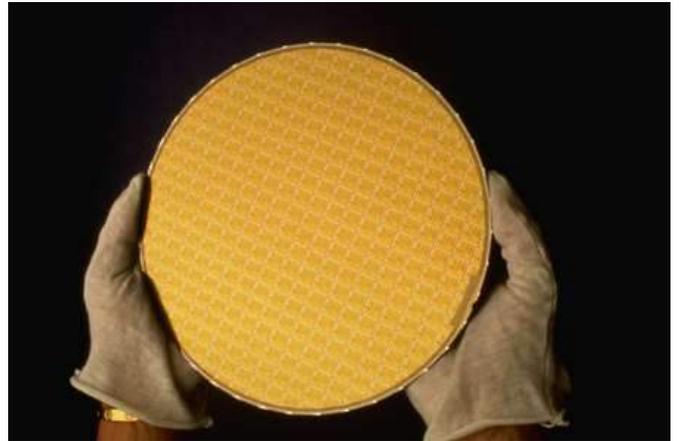
日本企業は奥ゆかしいから、そのような大々的な宣伝はしないが、「日本がそっぽを向いたら」世界のどの国の製造業も成り立たないであろうことは、我々も良く理解するべきだと思う。

韓国への輸出管理規制の衝撃

2019年に、フッ化ポリイミド、レジスト、フッ化水素の3品目の韓国向け輸出管理規制が強化されたこと（参考：経済産業省「大韓民国向け輸出管理の運用の見直しについて」）に対して、韓国では「報復だあ！」と天地がひっくり返るほどの大騒ぎとなった。

もちろん、日本政府が韓国に対して輸出管理厳格化の措置を取ったのは「安全保障上の懸念」が存在したためで、それ以上の「報復」などの意味はない。左翼・文政権が、「共産主義中国の言いなりで、韓国に輸出した『高度製品』が、結果的に横流しされている」という疑念を、日本さらには米国政府が抱いたのは当然と言えよう。

重要なのは、「指でつく程度」の輸出管理強化で、韓国があれほど大騒ぎしたことである。2020年第4四半期のスマートフォン出荷台数の首位は数年ぶりに返り咲いたアップル。2位はサムスン、その後にXiaomi、OPPOと続き、5位は米国から厳しい制裁を受け大幅にシェアを減らしたファーウェイだ。アップルを除けば、中韓勢が圧倒的で日本勢の姿は無い。しかし、彼らがスマホを製造（組み立て）するために必要な、前記、輸出管理規制強化3品目の世界



シェアは、日本勢が70~90%程度と圧倒的だ。中韓勢の「組み立てたスマホ」のシェアをはるかに凌駕する。確かに「スマホの組み立て」では日本勢は中韓の後塵を拝しているかもしれないが、それらの製品は「ニッポン入ってる」であり、やろうと思えば(そのようなことをしないのが日本の奥ゆかしさだが……)中韓「スマホ組み立てメーカー」の息の根を止めることなど簡単なのである。

製造装置もシリコンウエハーも……

もちろん、日本の圧倒的なシェアは前記3品目だけではない。半導体製造に欠かせないシリコンウエハーメーカーの世界1位は信越化学工業、2位がSUMCO(旧・三菱住友シリコン)であり、この2社だけで世界シェアの半分程度を占めていると見積もられる。ちなみに、3位は台湾のグローバルウエハーズ、4位はシルトロニック(ドイツの化学メーカーのワッカー・ケミーの子会社)、5位にようやく韓国のSKシルترونが入る。

また、半導体製造装置メーカートップ10のうち、日本企業は東京エレクトロン、アドバンテスト、SCREENホールディングス、日立ハイテクの4社。トップ15社のうち日本企業は、この4社に加えてKokusai Electric(日立国債電気から2018年に独立、KKRファンド傘下)、ニコン、ダイフクの計7社である。

半導体を製造するメーカーの主要企業15社のおおよそ半分を日本勢が占めているわけだが、その他もほとんどが欧米系であり、中韓勢はほとんど見かけない。

さらにミライアルは、先端のプロセッサやメモリーに使う直径300ミリの大口径ウエハー向けにシェア4割を握る。同社の出荷容器はポリカーポネート製で、特殊な音楽用CDケースに見えなくもないのだが、ナノレベルの水準で製造を行っている半導体にとっては、ごくわずかの埃(微粒子)でも大きな問題になる。

そのため、流通に使用されるシリコンウエハーのケースでさえ高い品質が要求されるのである。

高度なソフトは高性能なハードの上でしか動かない

我々が、普段パソコンやスマホなどを操作するときには接するのはソフトウェアである。

ソフトウェアのアイコンをクリックしたり、アルファベットや数字を入力したりするわけだ。また、その時に目にしているのは、パソコンやスマホなどの「箱」であり、それらを構成する部品ではない。ましてや部品の材料や製造技術でもない。

だから、我々がIT産業をイメージするときにはソフトウェアの比重が大きく、ハードと言っても「組み立てられた完成品=箱」程度しか思い浮かばないのはある意味自然だ。

ただし、それは「事実とは違う」ということをよく理解すべきだと考える。

インテル創業者の1人であるゴードン・ムーアが、1965年に自らの論文上で唱えた「半導体の集積率は18か月で2倍になる」という半導体業界の経緯=「ムーアの法則」に従って「ハード」が劇的に進化したからこそ、現在のIT産業全盛の時代がやってきたのである。いくら高性能なソフトウェアが生まれても、そのソフトに対応する演算処理能力を持つハードがなければ、そのソフトは無用の長物にしか過ぎない。

ソフトウェアのようにコピペできないハードウェア

デジタルデータは簡単にコピペできる。誰もが簡単にマネができるからこそ、世界中に急速な勢いで広がった。しかし、「ハードを製造する技術」は全く異なる。以前、富士重工からJAXA(宇宙航空研究開発機構)に出向していたことがある知人が、「製造業は、理屈通りにいかないから、試行錯誤の繰り返しだ」と言っていた。

デジタルは、組まれたプログラムのおりに動くのが当たり前だが、製造業においては「理屈通りに製造しようとしても大概うまくいかない」からその数限りない失敗をフィードバックしながら完成に近づける「アナログ的」な手法が重要だということだ。

真空中であっても、厳密に言えば物質が生まれたり消えたりしているし、宇宙線は我々の体を常に通り返している。ましてや工場の中、純粋な物理学や化学の理論通りに物事が運ぶわけではない。だから、工場の中ですべて「理論を実現できるか」が勝負なのである。

現在の製造業は、ステラケミファなどのフッ化水素の12N(99.999999999%)以上の高純度精製化や、

「ナノスケール」の半導体製造に代表されるように「高純度化・微細化」が大きな流れだ。

ちなみに、原子や分子のサイズがおおむね「ナノスケール」である。つまり、ナノレベルの製造技術というのは、分子・原子1個を扱うことに匹敵する精度なのだ。このような微細な技術は日本のお家芸である。

なおかつこの「アナログ技術」をコピペで盗むことはできない。

世界は追いつけない

ソフトウェアであれば、1人の技術者にデータを持ち出されてしまえば一貫の終わりだ。

しかし、アナログの製造技術は、製造工程そのものという大きなアナログの枠の中に存在するので、技術者を1人2人引き抜いても簡単には追いつけない。

5月5日公開の「菅政権が『邪魔』ばかりするから『トヨタが日本を捨てる日』がやってくる…って本当か？」で述べた「ガソリンエンジン」で諸外国が日本にいつけないのもアナログ技術だからである。

また「水素エンジン」がにわかに脚光(同じ水素を使用する燃料電池車=「FCV」とは原理がまったく異なる)を浴びている。ガソリンエンジンの技術を応用できるので、いわゆる環境車でも日本勢が席巻する可能性がある。

このような実情を見ると、世界の製造業を仕切っているのが実は日本であることが分かる。

共産主義中国が繰り返すレアアースの輸出規制によって、かえって日本企業が代替方法を見つけ出すことを後押しした。

同じように、日本が韓国に対して行ったような輸出管理強化を乱発すれば(安全保障上の懸念があれば致し方ないが…)、諸外国が日本製品の使用に警戒感を持ってしまうから、あくまで黒子に徹してシェアを広げるのは賢い戦略だ。

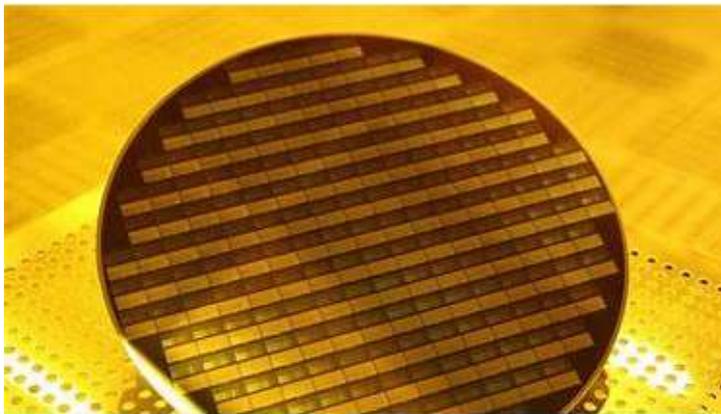
結局、日本はいつでも抜ける「伝家の宝刀」を持っているから、日本の製造業全体の将来について悲観的になる必要はないと考える。

大原 浩 (国際投資アナリスト)

2021.7.12 インターネットより採録 by Mutsu Nakanishi

【参考】世界に誇る only one ^

半導体用の直径 300 ミリメートルシリコンウエハーの生産



信越化学工業は、2023年以降に半導体用の直径300ミリメートルシリコンウエハーの生産能力拡大を検討していることを明らかにした。顧客各社と中長期の販売量について交渉しており、需要を精査した上で場所や生産量などを決定する。

信越化学が300mmウエハー増産へ、新工場も視野 (ニュース ...

【関連記事】

[SUMCO が直径 300 ミリメートルウエハーの生産能力増強を決めた！](#)

[韓国部品で iPhone 不良発生、やっぱりフッ化水素の国産化は困難](#)

[自動車部品世界最大手のポッシュがシリコンウエハーの製造開始のワケ](#)

[ウエハー切断幅 5 分の 1 に、パナソニックと東京精密の連携技術がすごい！](#)

[5G で半導体材料好調、需要拡大で化学各社が設備投資](#)

崩れだした日本の民主主義統治 選挙が最後の砦 ||

日本総合研究所国際戦略研究所理事長 田中均 | 毎日新聞「政治プレミア」 2021.7.14.

<https://mainichi.jp/premier/politics/articles/20210713/pol/00m/010/002000c>

今日の政治の特色は3Sだ。

3Sとは「説明しない」「説得しない」「責任をとらない」という三つのSで始まる言葉で、今日の政治の問題点を表してみた（YouTubeチャンネル「田中均の国際政治塾」より「長期政権で露呈した後手後手の“3S政治”」）。

権力者が説明し、説得し、結果責任をとるとするのは民主主義的統治の大原則だ。

安倍晋三前首相は、森友問題や加計問題、そして桜を見る会などで疑惑を持たれ、国会質疑で虚偽答弁をし、説明責任を果たすことなく辞任したが、その後、体調を回復し本格的に政治の表舞台に復帰したと伝えられる。しかし、説明責任を果たす考えはないようだ。



田中均氏＝根岸基弘撮影

今日まで森友・加計・桜を見る会に加え、吉川貴盛元農相の収賄事件、河井克行元法相・河井案里元参院議員・菅原一秀前経済産業相の選挙違反事件など、政治の信頼を損ねる事件が頻発した。

しかし、再発防止に取り組む動きも見られず、河井夫妻選挙違反事件に関連して選挙費用として党から配分された1.5億円にも上る多額の資金の問題も闇の中のままだ。自民党の中から批判の声が上がることもなく、自民党の自浄能力はないに等しいという事か。

強力な政権がもたらした弊害なぜこうなったのか。

答えは簡単である。自民党は国会で圧倒的多数の議席を持ち、政権は党内で多数の支持を得ていた。

田中均

日本総合研究所国際戦略研究所理事長

1947年生まれ。69年京都大学法学部卒業後、外務省入省。オックスフォード大学修士課程修了。北米局審議官、在サンフランシスコ日本国総領事、経済局長、アジア大洋州局長を経て、2002年より政務担当外務審議官を務め、05年8月退官。

同年9月より（公財）日本国際交流センターシニア・フェロー、10年10月に

（株）日本総合研究所国際戦略研究所理事長に就任。06年4月より18年3月まで東大公共政策大学院客員教授。著書に『見えない戦争』（中公新書ラクレ、19年）、『日本外交の挑戦』（角川新書、15年）、『プロフェッショナルの交渉力』（講談社、09年）、『外交の力』（日本経済新聞出版社、09年）など。2021年3月よりTwitter開始(@TanakaDiplomat)。毎日リアルタイムで発信中。YouTubeチャンネル(@田中均の国際政治塾)。

崩れだした日本の民主主義統治 選挙が最後の砦 ||

日本総合研究所国際戦略研究所理事長 田中均 | 毎日新聞「政治プレミア」 2021.7.14.

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8b5e7aa52a7ac952b3108ca52de6767aa6f11c82>

<https://mainichi.jp/premier/politics/articles/20210713/pol/00m/010/002000c>

今日の政治の特色は3Sだ。

3Sとは「説明しない」「説得しない」「責任をとらない」という三つのSで始まる言葉で今日の政治の問題点を表してみた

(YouTubeチャンネル「田中均の国際政治塾」より「長期政権で露呈した後手後手の“3S政治”」)。

権力者が説明し、説得し、結果責任をとるとするのは民主主義的統治の大原則だ。

安倍晋三前首相は、森友問題や加計問題、そして桜を見る会などで疑惑を持たれ、国会質疑で虚偽答弁をし、説明責任を果たすことなく辞任したが、その後、体調を回復し本格的に政治の表舞台に復帰したと伝えられる。しかし、説明責任を果たす気はないようだ。

今日まで森友・加計・桜を見る会に加え、吉川貴盛元農相の収賄事件、河井克行元法相・河井案里元参院議員・菅原一秀前経済産業相の選挙違反事件など、政治の信頼を損ねる事件が頻発した。

しかし、再発防止に取り組む動きも見られず、河井夫妻選挙違反事件に関連して選挙費用として党から配分された1.5億円にも上る多額の資金の問題も間の中のまま。自民党の中から批判の声が上がることもなく、自民党の自浄能力はないに等しいという事か。

強力な政権がもたらした弊害なぜこうなったのか。答えは簡単である。自民党は国会で圧倒的多数の議席を持ち、政権は党内で多数の支持を得ていた。

.....

元外務審議官の田中均氏は毎日新聞政治プレミアに寄稿

「権力者が説明し、説得し、結果責任をとるとするのは民主主義的統治の大原則だ」とし、今の政治は「説明しない、説得しない、責任をとらない」と批判した。

田中氏は「国民に大きな犠牲を強いる緊急事態宣言を何度も発出するにあたっては、首相は国民に対して多くの疑問について真摯に説明し、国民に負担を強いるを得ないと説得する態度を示すことを国民は期待している」としたうえで、「しかし、菅政権は、コロナ対処や五輪を巡る国会質疑、記者会見においても、疑問に対して真正面から答えようとせず、緊急事態宣言の実効性を確保することについて国民を必死で説得するという気配は見えない」と指摘する。

また、自民党についても、「菅政権のコロナ対策や五輪強硬姿勢の是非という観点からの真剣な党内議論が起こっているようには見えず、政権維持のため一蓮托生(たくしょう)的な雰囲気すら感じられる」と語った。



田中均氏＝根岸基弘撮影

田中均

日本総合研究所国際戦略研究所理事長

1947年生まれ。69年京都大学法学部卒業後、外務省入省。オックスフォード大学修士課程修了。北米局審議官、在サンフランシスコ日本国総領事、経済局長、アジア大洋州局長を経て、2002年より政務担当外務審議官を務め、05年8月退官。同年9月より(公財)日本国際交流センターシニア・フェロー、10年10月に(株)日本総合研究所国際戦略研究所理事長に就任。06年4月より18年3月まで東大公共政策大学院客員教授。著書に『見えない戦争』(中公新書ラクレ、19年)、『日本外交の挑戦』(角川新書、15年)、『プロフェッショナルの交渉力』(講談社、09年)、『外交の力』(日本経済新聞出版社、09年)など。2021年3月よりTwitter開始(@TanakaDiplomat)。毎日リアルタイムで発信中。YouTubeチャンネル(田中均の国際政治塾)。

(Yahoo ニュースの配信記事より)

【2021.年 8月 酷暑の夏 From Kobe】

8月 酷暑の夏 神戸便り 2021.8.3. From Kobe by Mutsu Nakanishi



暑中お見舞い申し上げます 神戸中西 この厳しい酷暑 コロナ禍を元気で

コロナ蔓延に厳しい酷暑が追い打ちをかける今年の夏
いかがでしょうか
高齢者には過酷な先の見えぬ自製の毎日 厳しいですが、
声かけあって この夏を乗り切りましょう

仲間の元気はみんなの応援歌
God be with You!! も口癖に
どうか お互い無理せず、我が身大切に
また お会いするのを楽しみにしています



2021.8.3. From Kobe Mutsu Nakanishi





【2021年9月 From Kobe】 9月夏から初秋へ季節の便り

2021.9.1. From Kobe by Mutsu Nakanishi

コロナ禍で雪隠詰めの車いす・リハビリ生活で全く身動き取れず、ご心配をかけました。
 今年の梅雨時から盛夏をそっくり約2ヶ月の入院生活 8月16日やっと退院することができました。
 8月30日の経過検診で「順調な回復状況で全快」と診断され、ほっと一息です。
 9月になって 一機に夏から秋へ 青空が戻りましたが、新型コロナ禍の厳しい毎日
 いかがでしょうか 厳しい自己節制の日々が続きますが、御身大切にお守りください。

青空が戻りましたが、厳しい暑さと新型コロナ禍の中
 夏から秋へ ピンクの朝顔と千日紅の花が 朝の門先を飾っています
 高齢者には まだまだ厳しい初秋9月の始まり
 いかがでしょうか……

仲間の元気は みんなの応援歌!!
 頑張りすぎず、時には声をあげて!!
 お互い スクラム組んで 助け合って
 乗り越えましょう

また 笑顔で逢えるのを楽しみにしています
 God Be With You!! 2021.9.1.
 from Kobe Mutsu Nakanishi

千日紅 (センニチコウ)
 花言葉は「色あせぬ愛」



百日紅(さるすべり)の花



千日紅の花そして朝顔

約2ヶ月 無事退院できました
 ご心配かけ、ありがとうございます

初秋を告げる百日紅(さるすべり)と千日紅
 (せん二ちこう)そして朝顔

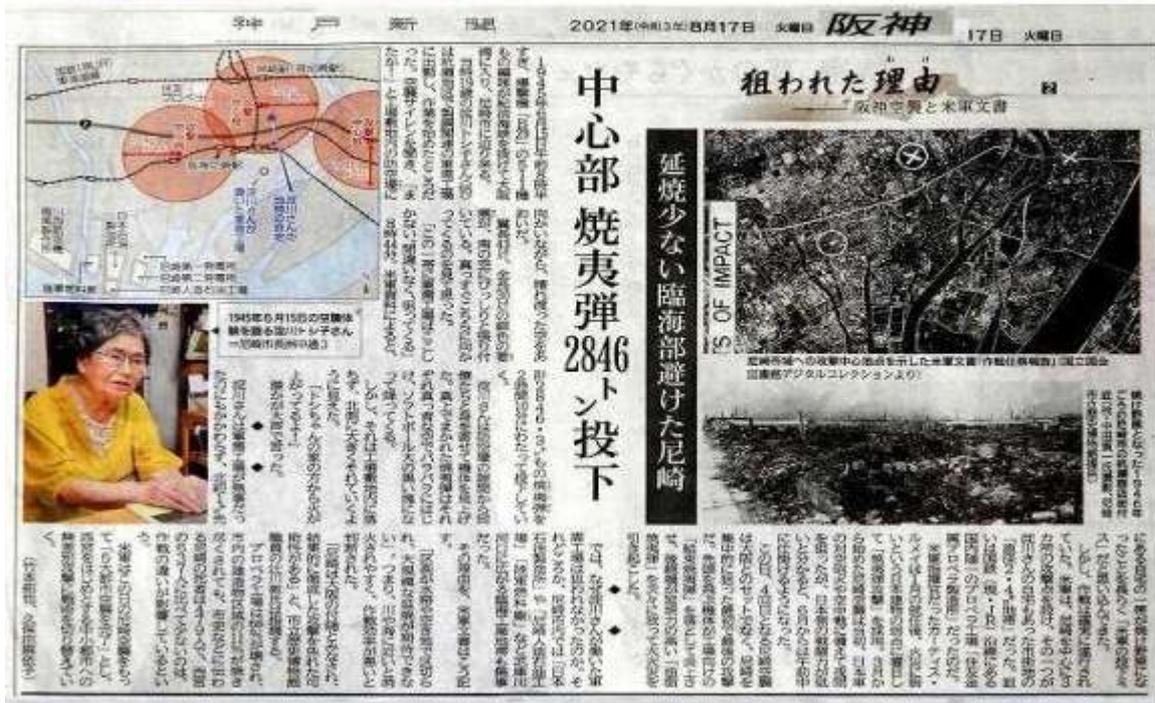
足の踵骨折で約2ヶ月入院、8月16日に退院。
 ようやく帰った門先でお帰り!!と
 百日紅や千日紅の花そして朝顔が出迎えてくれた。
 入院した梅雨時には、どれも咲いていませ
 んでしたが 嬉しいお出迎え。もう夏から初
 秋へ 長かった。

8月30日退院10日後のレントゲン検診で、オー
 ルOK 全快に。
 さあ がんばるぞと気分も新た
 いろいろ ご心配いただき、ありがとうございます
 ました。
 まだ 足はぎこちない歩行ですが、
 まあ なんとかかなると。
 また元気な笑顔の再会も期待。やれやれです。
 片足が地に付けられぬことがどんなに大変かと
 高齢者になると何が起こるかわかりません。
 どうか十分ご注意ください。

2021.9.1. From Kobe Mutsu Nakanishi

■ 和鉄の道 今月のHP 掲載記事 リスト 2021.9.1.

1. PDF Photo Album 夏から初秋へ 9月 季節の便り(私信)
「百日紅・千日紅そして朝顔 やっと退院できました」
今真っ盛りの百日紅と千日紅そして夏の朝を爽やかにしてくれた朝顔を Photo Album に
2. 8月神戸新聞に掲載された阪神大空襲・尼崎空襲の特集記事のPDF 切り抜き整理
8月神戸新聞に掲載された阪神大空襲・尼崎空襲の特集記事 幼い頃の断片的な記憶がふつと、記事添付しましたので、ご興味あれば…



3. 絵文字で描いた兵庫県全図 今インターネットで絵文字の場所探しが人気に
一番の人気はお城の絵文字で描かれた尼崎だと…ほかにもいろいろ場所探しにはまっています。
小森文美さんがデザイン「絵文字で描いた兵庫県全図」
<https://maidonanews.jp/article/14428775>
4. PDF File from Kobe 9月 平和ってなんだろう コロナ禍の中で



今 青空を背にピンクの百日紅(さるすべり)と千日紅(せんいちこう)の花が素晴らしい。
夏の朝を爽やかにしてくれた朝顔 毎日の朝顔便りが楽しみに また、夜は真っ暗の中に虫の声
仲間の元気は みんなの応援歌!! 頑張りすぎず、時には声をあげて!!
お互い スクラム組んで 助け合ってこの難局を乗り越えましょう
笑顔で逢えるのを 楽しみにしています
まだまだ厳しい自己規制の日々が続きますが、どうか 無理せず、元気に前向きにお過ごしください
また連絡ください

God Be With You!! 2021.9.1. From Kobe Mutsu Nakanishi

青空が戻りましたが、厳しい暑さと新型コロナ禍の中
夏から秋へ ピンクの朝顔と千日紅の花が 朝の門先を飾っています
高齢者には まだまだ厳しい初秋9月の始まり
いかがでしょうか……

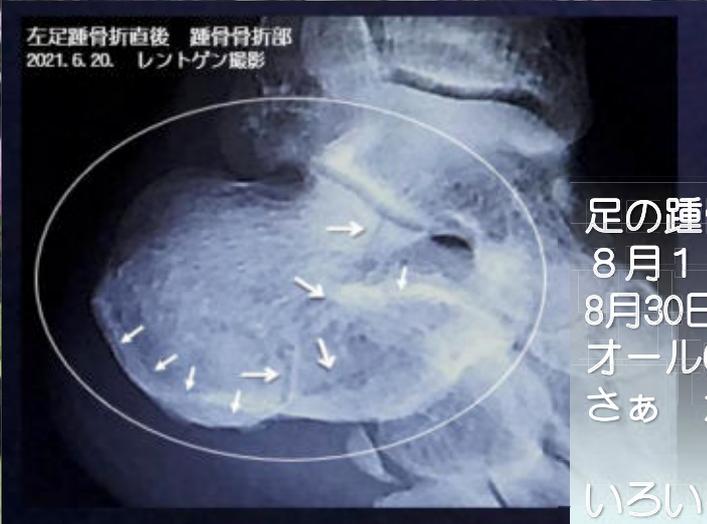
仲間の元気は みんなの応援歌!!
頑張りすぎず、時には声をあげて!!
お互い スクラム組んで 助け合って
乗り越えましょう

また 笑顔で逢えるのを楽しみにしています
God Be With You!! 2021.9.1.
from Kobe Mutsu Nakanishi

千日紅 (センニチコウ)
花言葉は「色あせぬ愛」



左足踵骨折直後 踵骨骨折部
2021.6.20. レントゲン撮影



足の踵骨折で約2ヶ月入院、
8月16日に退院
8月30日退院10日後のレントゲン検診で
オールOK 全快に。
さあ がんばるぞと気分も新た

いろいろ ご心配いただき、感謝です
ありがとうございました。

2021.9.1. Mutsu Nakanishi



百日紅(さるすべり)の花



千日紅の花そして朝顔

約2ヶ月 無事退院できました
ご心配かけ、ありがとうございます

初秋を告げる百日紅(さるすべり)と千日紅
(せんいちこう)そして朝顔

足の踵骨折で約2ヶ月入院、8月16日に退院。
ようやく帰った門先でお帰り!!と
百日紅や千日紅の花そして朝顔が出迎えてくれ
た。入院した梅雨時には、どれも咲いていませ
んでしたが 嬉しいお出迎え。もう夏から初
秋へ 長かった。

8月30日退院10日後のレントゲン検診で、オー
ルOK 全快に。

さあ がんばるぞと気分も新た
いろいろ ご心配いただき、ありがとうございます
ました。

まだ 足はぎこちない歩行ですが、
まあ なんとかなんとかなると。

また元気な笑顔の再会も期待。やれやれです。
片足が地に付けられぬことがどんなに大変かと
高齢者になると何が起こるかわかりません。
どうか十分ご注意ください。

2021.9.1.From Kobe Mutsu Nakanishi



百日紅

「幹がすべすべで人肌のように、だから人の生気を吸いとる」
「滑り」から「運気が落ちる」とか連想されて
縁起が悪く庭木には向かない人も、またその逆に取るひともそれぞれ。
真っ青な初秋の空をバックにピンクの花 やっと帰ってきたとの一瞬
今年は本当に鮮やかでひとしお

千日紅

色あせず長く咲き続ける可愛らしい花で、仏花やドライフラワーに。
どちらも長く咲き続ける心地よい花
合わせて夏の朝を毎日彩ってくれた朝顔も。
我が家の庭先の花たちにも ありがとう



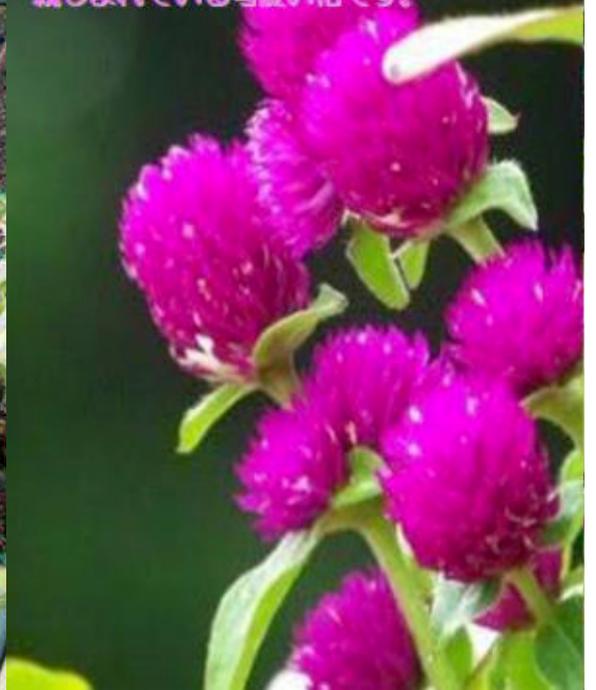
夏から秋へ我が家の門先で 2021.9.1.

(センニチコウ)

千日紅

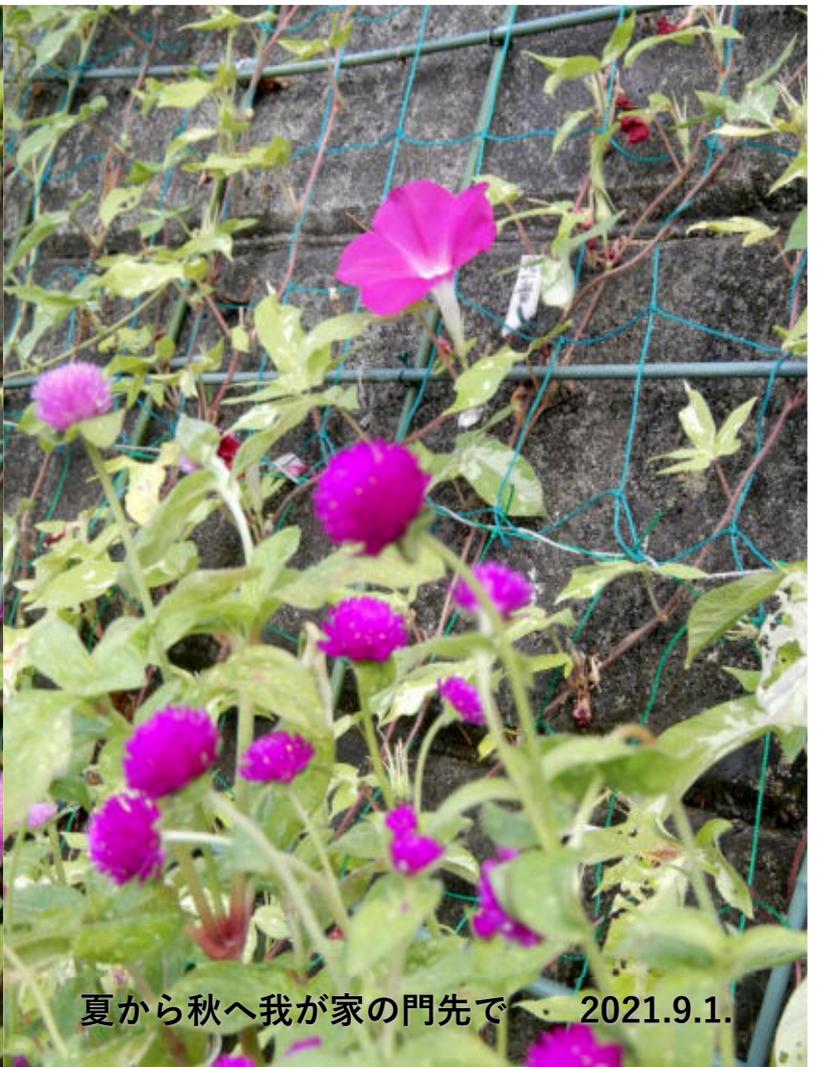
花言葉は “色あせぬ愛”

花色があせる事なく長く続き続けるので
千日紅の名前が付けられました！
仏花やドライフラワーなど
生活の中に取り入れられ
親しまれている可愛い花です。

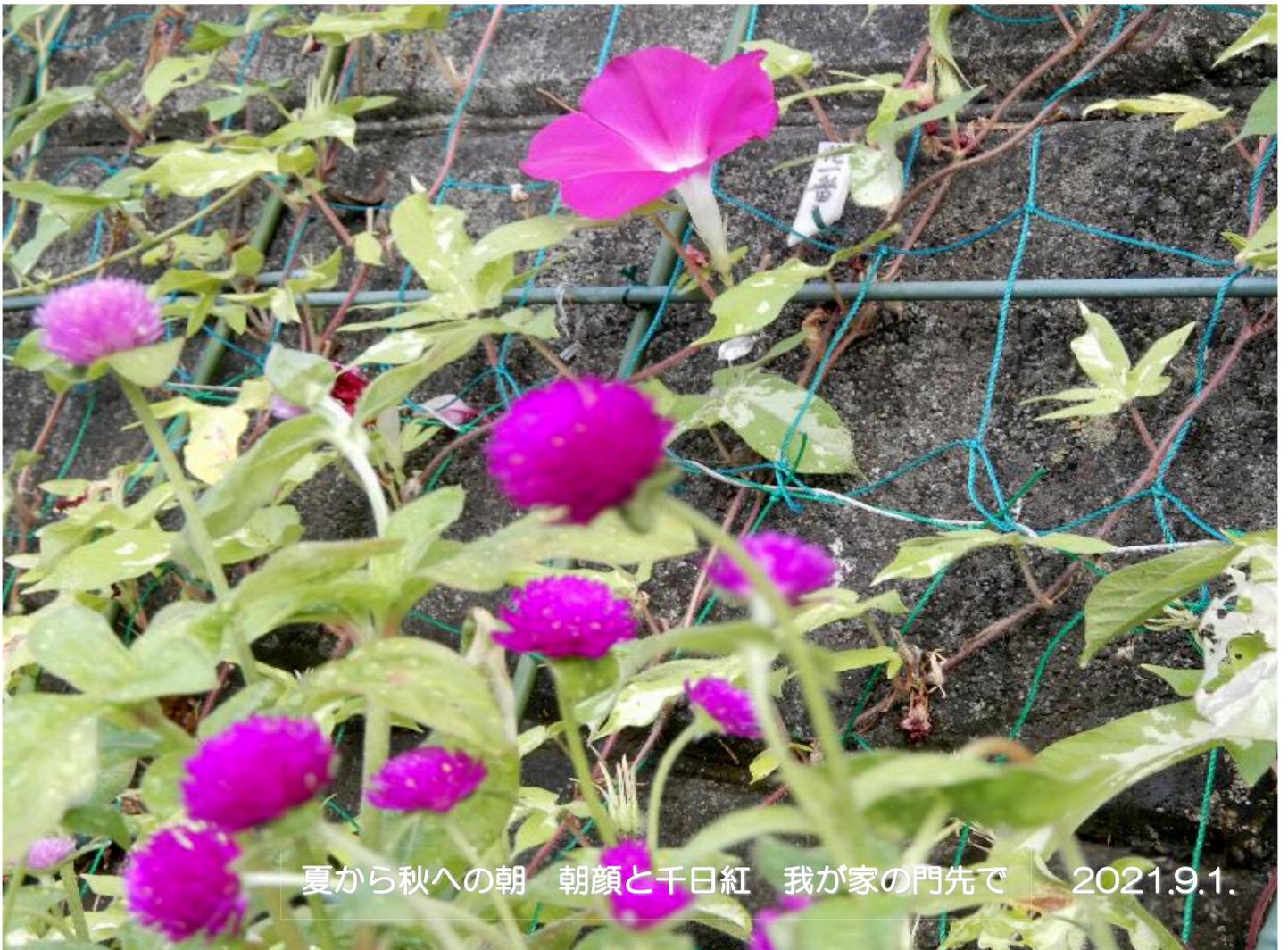


毎朝届く朝顔便り 毎日が楽しみで ありがとう

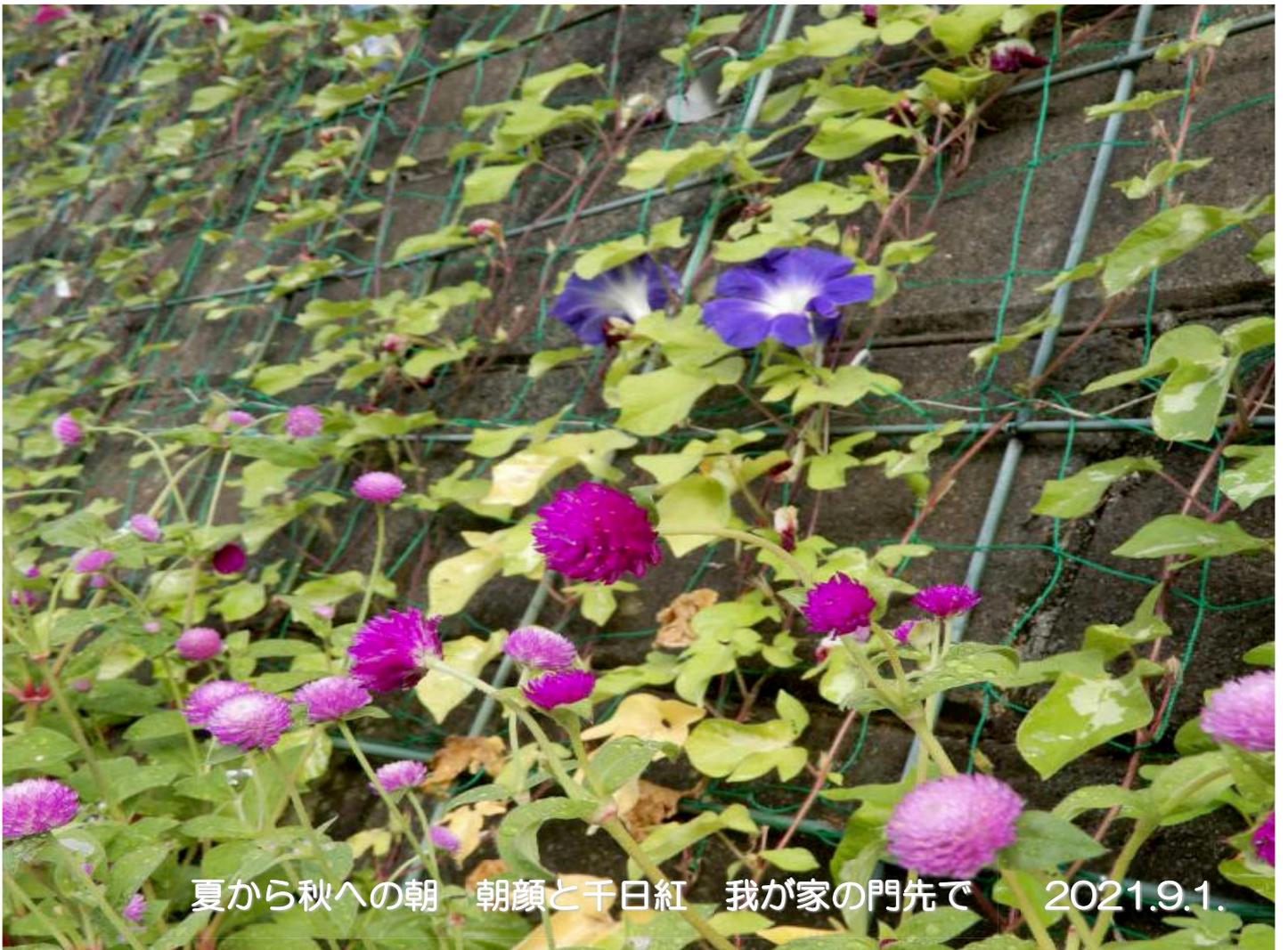
今日も 夏の終わりを飾っています 我が家の門先で 2021.9.1.



夏から秋へ我が家の門先で 2021.9.1.



夏から秋への朝 朝顔と千日紅 我が家の門先で 2021.9.1.



夏から秋への朝 朝顔と千日紅 我が家の門先で 2021.9.1.



夏から秋への朝 朝顔と千日紅 我が家の門先で 2021.9.1.



2021.9.1.

2021朝顔帳 夏の朝を爽やかに

今年も夏の朝を爽やかにしてくれた朝顔の便り・朝顔帳







毎朝届く朝顔便り 毎日が楽しみで ありがとうございます
今日も 夏の終わりを飾っています 我が家の門先で 2021.9.1.



左足踵骨折直後 整形外科部
2021.8.20. レントゲン撮影

足の踵骨折で約2ヶ月入院、
8月1-6日に退院
8月30日退院10日後のレントゲン検診で
オールOK 全快に。
さあ がんばるぞと気分も新た

いろいろ ご心配いただき、感謝です
ありがとうございました。

2021.9.1. (Makoto Nakahashi)

夏から秋への朝 朝顔と千日紅 我が家の門先で

狙われた理由(2) 阪神空襲と米軍文書 臨海部避けた焼夷弾「投下のミス」は思い込みより

1945年6月午前8時半すぎ、爆撃機「B29」の511機もの編隊が紀淡海峡を抜けて大阪湾に入り、兵庫県尼崎市に迫り来る。

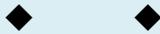
当時19歳の淀川トシ子さん(95)は杭瀬地区で製鋼関連の軍需工場に出勤し、作業を始めたところだった。空襲サイレンを聞き、「またか…」と工場敷地内の防空壕(ごう)に向かいながら、晴れ渡った空をあおいだ。翼長43メートル、全長30メートルの銀色の要塞(ようさい)が、南の空にびっしりと張り付いている。真っすぐこちらに向かってくるのを見て思った。

「この一帯に軍需工場はここしかない。間違いなく、狙ってくる」

8時44分。米軍資料によると、計2846・3トンもの焼夷弾を2時間10分にわたって投下していく。淀川さんは防空壕の隙間から同僚たちと身を寄せて機体を見上げた。真上でまかれた焼夷弾はそれぞれ真っ青な空でバラバラにはじけ、ソフトボール大の黒い塊になって降ってくる。

しかし、それは工場敷地内に落ちず、北側に大きくそれていくように見えた。

「トシちゃんの家の方から火が上がってるよ！」誰かが大声で言った。



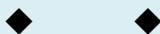
淀川さんは軍需工場が無事だったのにもかかわらず、北約1キロ先にある自宅の一角が焼け野原になったことを長らく「米軍の投下ミス」だと思い込んできた。しかし、作戦は確実に遂行されていた。

米軍は、尼崎を中心に3カ所の攻撃点を設け、その一つが淀川さんの自宅もあった市街地の「直径2・4キロ地帯」だった。狙いは国鉄(現・JR)沿線にある国内随一のプロペラ工場「住友金属プロペラ製造所」だったのだ。

米軍指揮官だったカーティス・ルメイは1月の就任後、火災に弱いという日本建物の弱点に着目して「焼夷弾攻撃」を採用。3月から始めた尼崎空襲は当初、日本軍の対空砲火や空中戦に備えて夜間を狙ったが、日本側の戦闘力が低いと分かると、6月からは午前中に仕掛けるようになった。

この日、4回目となる尼崎空襲は大阪とのセットでなく、尼崎を集中的に狙った最初で最後の攻撃だ。

先頭を飛ばす機体が工場向けの「結束焼夷弾」を落として炎上させ、後続機が延焼力の高い「油脂焼夷弾」を次々に放って大火災を引き起こした。



では、なぜ淀川さんが働いた軍需工場は狙われなかったのか。それどころか、尼崎市内では「日本石油製油所」や「尼崎人造石油工場」「陸軍燃料廠(しょう)」など武庫川河口に広がる臨海工業地帯も無事だった。

その理由を、米軍文書はこう記す。

「区画が水路や空き地で区切られ、大規模な延焼が期待できない」。

つまり、川や海に近いと消火されやすく、作戦効率が悪いと判断された。

「尼崎は大阪の付随とみなされ、結果的に徹底した攻撃を免れた可能性がある」と、

市立歴史博物館職員の上川敦氏は指摘する。

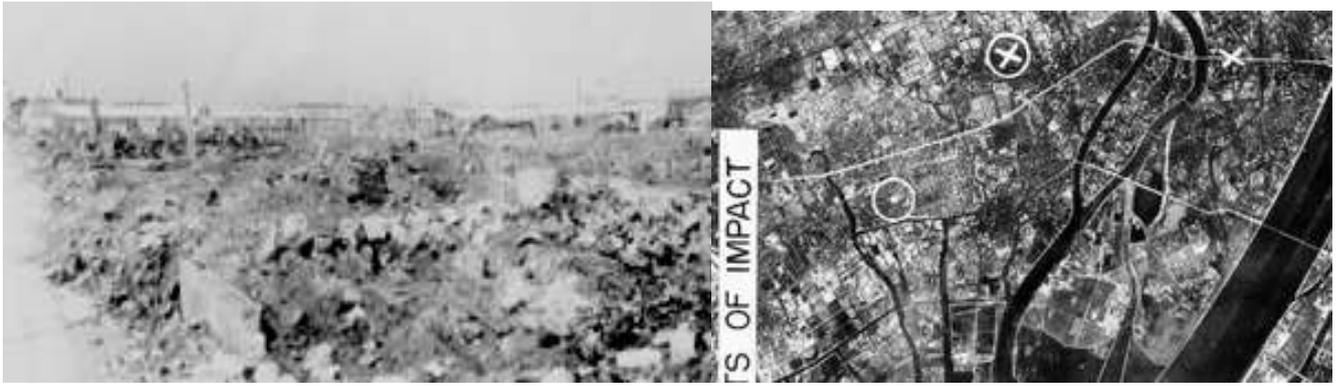
プロペラ工場は66%が壊され、市内の建造物区域の11%が焼き尽くされても、市史などに伝わる尼崎の死者は

479人で、同県西宮市の637人に比べて少ないのは、作戦の違いが影響しているという。

米軍はこの日の尼崎空襲をもって「5大都市空襲を完了」とし、

西宮をはじめとする中小都市への無差別攻撃に戦術を切り替えていく。

(竹本拓也、久保田麻依子)



尼崎空襲を示す概略図には現在の JR 尼崎から南の港・大阪湾沿岸の工場地帯へ真っ直ぐ伸びる尼崎港線が伸びる尼崎市街地が空襲を受けた。

戦争の記憶はないのですが、私の生まれた東難波・梅の里周辺では、阪神尼崎から真っすぐ北に伸びる通称十間道路（五合橋線）が伸び、その両側には、空襲の痕跡を残す未使用地が点々と残る光景が、幼い遠いが一番古いき昔の記憶として頭にある。また、記憶は本当に断片的ですが、この十間道路を通して、米軍に接收された旧住友プロペラ工場への道が整備され、米軍キャンプから甲子園へ軍用専用バス、また 当時十間道路を真っ直ぐ北に走る五合橋線を走る木炭バスにも記憶がある。今の尼崎では想像もつかない姿。もう接收された米軍キャンプを知る人もほとんどいなくなった。

そんな尼崎の下町で育って、大学を卒業して就職したのが米軍に接收された旧プロペラ工場跡に建設された鉄鋼の住友金属中研。

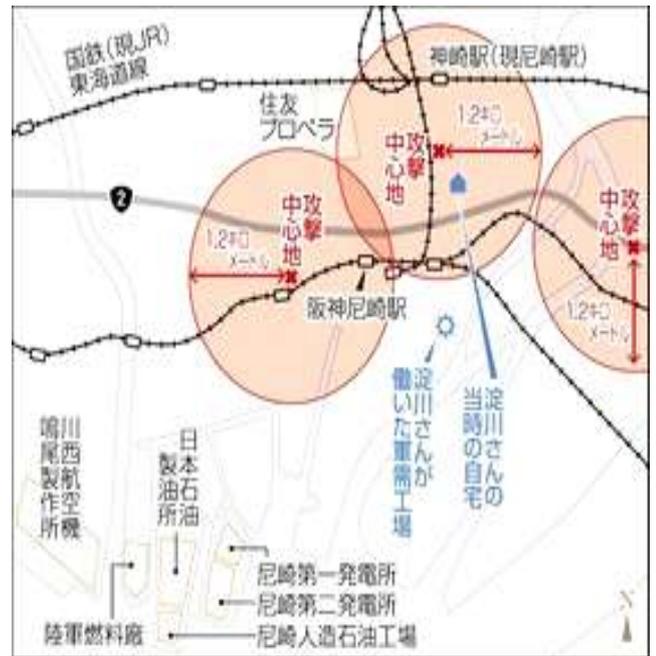
研究所の門をくぐると正面に昔よく遊んだ広場と建物がそっくりそのまま残っていて、びっくり。

また配属された溶接の職場はピンクハウスと呼ばれていたかつてのプロペラ工場の頑丈なコンクリート造りの建物。

今は住金が日本製鐵に合併視され、近代的なモダンな低モノ軍に変わって、すっかり昔のおもかげもなくなってしまいました。が。。。。。

故郷尼崎の空襲時の姿

本当に思い出深い記憶を呼び起こしてくれた神戸新聞の記事。幼い頃の記録や写真がほとんど泣く、しっかり記録にとどめておこうと切り抜き再録しました。



2021. 8. 25.

by Mutsu Nakanishi

神戸新聞 2021年夏の特集記事 阪神空襲

[阪神空襲と米軍文書 - Bing](#)

- 2021年8月15日 狙われた理由(1)阪神空襲と米軍文書 尼崎と西宮で異なる作戦
- 2021年8月17日 狙われた理由(2)阪神空襲と米軍文書 臨海部避けた焼夷弾「投下のミス」は
- 2021年8月19日 狙われた理由(3)阪神空襲と米軍文書 同時攻撃で迎撃を分散
- 2021年8月21日 狙われた理由(4)阪神空襲と米軍文書 西宮-御影業火に包む

神戸新聞 2021年8月15日 阪神空襲

■1. 狙われた理由(1)阪神空襲と米軍文書 尼崎と西宮で異なる作戦



爆撃日	昼夜	作戦	目標	出撃機数	爆弾の投下量(米ト)		
					焼夷弾	高燃焼爆弾	その他
3月13~14日	夜	大都市焼夷弾攻撃	大阪市街地	295	1732.6		
3月16~17日	夜	大都市焼夷弾攻撃	神戸市街地	331	2308.7		19.4
6月1日	昼	大都市焼夷弾攻撃	大阪市街地	509	2706.9		81.6
6月5日	昼	大都市焼夷弾攻撃	神戸市街地	523	3006.3		72.8
6月9日	昼	精密爆撃エンバイヤ計画	川西航空機工場製作所	46		263.5	
6月15日	昼	大都市焼夷弾攻撃	大阪-尼崎市街地	511	3157.3		
7月19日	夜	精密爆撃石油施設爆撃	日本石油関西製油所など	84		701.8	
7月24日	昼	精密爆撃エンバイヤ計画	川西航空機生体製作所	348		1154.5	
8月5~6日	夜	中小都市空襲	西宮-御影市街地	261	1922.8	33.5	47.6

上左: 尼崎市域が攻撃対象となった1945年6月15日の空襲に関する米軍の「作戦任務報告」の写し

上中: 1945年6月5日朝、B29爆撃機の攻撃を受けて炎上する神戸の街 (米軍撮影) 上右:

上右: 1945年8月6日の空襲で燃える西宮市街 (多田克さん提供)

下左: B29爆撃機

下右: B29爆撃機による阪神間の主な空襲

びっしりと英語で書き連ねられた資料の束がある。太平洋戦争で少なくとも1354人が亡くなったとされる阪神間の空襲で、米軍が攻撃目標や航空機の編隊を細かく記した公文書だ。表題は「作戦任務報告」と訳され、兵庫県に関する分だけで2千ページに上る。なぜ、人々は空から狙われたのか。市民の証言と共に、地域ごとに異なる作戦の意図を読み解きたい。(竹本拓也)

尼崎市 479人	西宮市 637人	芦屋市 139人	伊丹市 6人
宝塚市 83人	川西市 少なくとも5人	三田市 5人	

これは市史などにある阪神間の空襲死者数だ。国の調査はなく、戦後76年を経ても被害の全容は分からない。一方で米軍は人を除く破壊については戦略と成果を詳細に記録していた。

1944年8月、サイパン、テニアン、グアムなどマリアナ諸島を攻略した米軍はここを拠点として、ついに日本本土のほぼすべてを爆撃可能圏内に収めた。

45年1月に就任した指揮官は、陸軍少将のカーティス・ルメイ。「皆殺しのルメイ」の通称で日本人に恐れられ、後に起こるキューバ危機（62年）で米空軍参謀総長として旧ソ連への先制核攻撃を大統領に進言し、広島型原爆46万個分の爆弾投下を計画する人物だ。就任2カ月後の3月13日、米軍は尼崎を最初に阪神間の攻撃を始める。人々が見上げた空には、あの大型爆撃機「B29」があった。



「阪神間はあらゆるタイプの攻撃を受けており、いわゆる『空襲の縮図』と言えるまちなんです」

膨大な米軍資料を読み込んだ尼崎市立歴史博物館の職員辻川敦氏はそう話し、ルメイが主に計画した四つの破壊目標を挙げる。一つは、西宮、宝塚市域にあった航空機工場。二つ目は尼崎市の武庫川河口に立ち並ぶ石油工場群だ。

そして、都市としての尼崎が三つ目、西宮が四つ目に当たると指摘する。実は隣り合うまちで、作戦の色合いは全く違っていったというのだ。米軍はターゲットにする都市を綿密に決めていた。

人口約33万人だった尼崎は「5大都市」の一つ、大阪の付随とみなされた。

地続きに阪神工業地帯を形成するとして、米軍は戦略上の重要性をこう記す。

「神戸と大阪に電力を供給する大火力発電所群がある。工業の中心地であり、鉄鋼、電気製品、機械を生産し、南西には巨大な製油所がある」一方で当時人口約13万人の西宮は「中小都市」と位置づけられた。

大都市破壊の後、工業地があるかどうかを問わずに全国137都市の市街地と住民を標的としたのだ。

作戦はドイツ空軍がスペイン内戦（37年）で掲げた思想になっていた。「一般市民を総力戦を担う敵とみなして攻撃することで継戦意思を奪う」



戦前から尼崎市に暮らす関山光司さん（85）は6月の空襲直後、疎開先から急いで自宅に戻った時の衝撃を今も忘れない。一部の神社や寺の門だけを残し、自宅を含めてすべての建物が焼き尽くされたまちに、丸焦げになった同級生の遺体を見た。「なんでここだったのか…」と思わずにいられなかった。

地上にいた市民の目線と共に、空からの攻撃を再現する。

神戸新聞 2021年8月17日 阪神空襲

2. 狙われた理由（2）阪神空襲と米軍文書 臨海部避けた焼夷弾「投下のミス」は思い込み



左：1945年6月15日の空襲体験を語る淀川トシ子さん＝尼崎市

中上：尼崎市域への攻撃中心地点を示した米軍文書「作戦任務報告」（国立国会図書館デジタルコレクションより）

中下：焼け野原となった1946年ごろの尼崎市の杭瀬商店街付近（故・中田寅一氏撮影、尼崎市立歴史博物館提供）

右：尼崎市域への攻撃中心地点を示した米軍文書「作戦任務報告」尼崎空襲概略図

145年6月午前8時半すぎ、爆撃機「B29」の511機もの編隊が紀淡海峡を抜けて大阪湾に入り、兵庫県尼崎市に迫り来る。

当時19歳の淀川トシ子さん（95）は杭瀬地区で製鋼関連の軍需工場に出勤し、作業を始めたところだった。空襲サイレンを聞き、「またか…」と工場敷地内の防空壕（ごう）に向かいながら、晴れ渡った空をあおいだ。翼長43メートル、全長30メートルの銀色の要塞（ようさい）が、南の空にびっしりと張り付いている。真っすぐこちらに向かってくるのを見て思った。

「この一帯に軍需工場はここしかない。間違いなく、狙ってくる」

8時44分。米軍資料によると、計2846・3トンもの焼夷弾を2時間10分にわたって投下していく。

淀川さんは防空壕の隙間から同僚たちと身を寄せて機体を見上げた。

真上でまかれた焼夷弾はそれぞれ真っ青な空でバラバラにはじけ、ソフトボール大の黒い塊になって降ってくる。

しかし、それは工場敷地内に落ちず、北側に大きくそれていくように見えた。

「トシちゃんの家の方から火が上がってるよ！」誰かが大声で言った。



淀川さんは軍需工場が無事だったのにもかかわらず、北約1キロ先にある自宅の一角が焼け野原になったことを長らく「米軍の投下ミス」だと思い込んできた。

しかし、作戦は確実に遂行されていた。

米軍は、尼崎を中心に3カ所の攻撃点を設け、その一つが淀川さんの自宅もあった市街地の「直径2・4キロ地帯」だった。狙いは国鉄（現・JR）沿線にある国内随一のプロペラ工場「住友金属プロペラ製造所」だったのだ。

米軍指揮官だったカーティス・ルメイは1月の就任後、火災に弱いという日本建物の弱点に着目して「焼夷弾攻撃」を採用。3月から始めた尼崎空襲は当初、日本軍の対空砲火や空中戦に備えて夜間を狙ったが、日本側の戦闘力が低いと分かったと、6月からは午前中に仕掛けるようになった。

この日、4回目となる尼崎空襲は大阪とのセットでなく、尼崎を集中的に狙った最初で最後の攻撃だ。

先頭を飛ぶ機体が工場向けの「結束焼夷弾」を落として炎上させ、後続機が延焼力の高い「油脂焼夷弾」を次々に放って大火災を引き起こした。



では、なぜ淀川さんが働いた軍需工場は狙われなかったのか。それどころか、尼崎市内では「日本石油製油所」や「尼崎人造石油工場」「陸軍燃料廠（しょう）」など武庫川河口に広がる臨海工業地帯も無事だった。

その理由を、米軍文書はこう記す。

「区画が水路や空き地で区切られ、大規模な延焼が期待できない」。

つまり、川や海に近いと消火されやすく、作戦効率が悪いと判断された。

「尼崎は大阪の付随とみなされ、結果的に徹底した攻撃を免れた可能性がある」と、

市立歴史博物館職員の辻川敦氏は指摘する。

プロペラ工場は66%が壊され、市内の建造物区域の11%が焼き尽くされても、市史などに伝わる尼崎の死者は479人で、同県西宮市の637人に比べて少ないのは、作戦の違いが影響しているという。

米軍はこの日の尼崎空襲をもって「5大都市空襲を完了」とし、

西宮をはじめとする中小都市への無差別攻撃に戦術を切り替えていく。

（竹本拓也、久保田麻依子）

■3. 2021年8月19日

狙われた理由(3)阪神空襲と米軍文書 同時攻撃で迎撃を分散



上左: 川西航空機鳴尾製作所への爆撃後、米軍が撮影した写真 (米国国立公文書館所蔵)

上右: 1942年の鳴尾村を再現した鳥瞰 (ちょうかん) 図。競馬場の場所が鳴尾飛行場になる (『鳴尾村誌』より)
1942年の鳴尾村を再現した鳥瞰 (ちょうかん) 図。競馬場の場所が鳴尾飛行場になる (『鳴尾村誌』より)

下左: 米軍が撮影した川西航空機宝塚製作所への爆撃。右上は武庫川 (米国国立公文書館所蔵)

下中: 鳴尾飛行場一帯。右は鳴尾川=1959年

下右: 米軍が記録した川西航空機宝塚製作所の損害状況米軍が記録した川西航空機宝塚製作所の損害状況

激しい地響きと共に、少年少女らが暮らす50棟の寮施設が次々と崩れ落ちた。

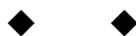
1945年7月24日午前10時半すぎ、兵庫県宝塚市域にあった航空機生産工場「川西航空機宝塚製作所」に、77機のB29が1千ポンド爆弾901発を集中投下した。

「ストライク」。そんな説明付きの写真を米軍兵が撮った真下で、製作所職員だった当時39歳の男性Sさんは寮内の防空壕 (ごう) にいて、がれきに埋もれた。動員された少年ら200人の世話を寮でしていた。

病気の2人を両脇に抱いて壕からはい出ると、続く爆撃で吹き飛ばされた。その頃、どこからか対空砲火が放たれ、B29の1機が墜落する。しかし、日本軍の戦闘機はほとんど現れず、空からの攻撃はやむことがなかった。

米軍の作戦は通称「エンパイア計画」。宝塚と大阪、名古屋市などの主要な重工業施設6カ所を同時に襲撃する。狙いの一つは、日本側の迎撃態勢を分散させることにあったのだ。倒壊した女子寮でSさんは少女の頭を見たが、木材に挟まれて救えない。その奥で、少女8人が寮母に抱かれるように折り重なって息絶えているのが見えた。

「何故 (なぜ) この様な子供まで犠牲にしなければならなかったのか」。Sさんは戦後、そう問い続け、惨状を手記に残して亡くなった。

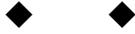


3月16~17日 神戸空襲 約280機 6月5日 神戸空襲約150機

6月9日 川西航空機の鳴尾製作所・川崎航空機の明石製作所への爆撃 計約50機

7月24日 川西航空機の宝塚製作所への爆撃 (エンパイア計画) 県外含めて25~30機

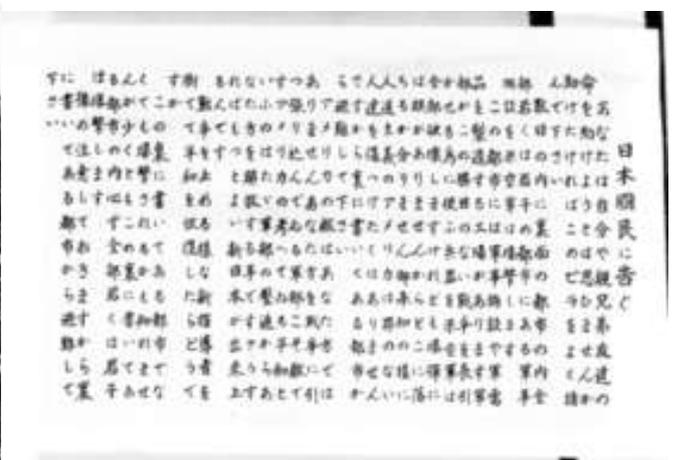
これは米軍文書に残る日本軍戦闘機の迎撃機数だ。6月の神戸空襲を米軍は「大阪一名古屋地域で最も激しい抗戦」と記録。日本軍は戦闘機150機と高射砲で迎え撃ち、B29は474機のうち11機を失い、170機以上が損傷した。しかし、これを機に日本軍の戦闘機出動は激減する。そこで米軍は航空機の生産拠点を徹底的にたたいて戦闘力を弱める戦術を進めた。反撃されやすくとも命中率が高い昼に狙い、同時多発攻撃で迎撃リスクを避けたのがエンパイア計画だった。市史などによると鳴尾製作所では工場の6割以上が破壊・焼失され、付近住民を合わせ48人が死亡。宝塚製作所は8割を焼き壊され、計106人が死亡したとされる。



「日本の本土防衛には、わずかの戦闘機しか残っていないと考えられる」。計画遂行後、米軍文書はそう考察を記す。宝塚では日本の数機が飛来してきても、攻撃さえしてこなかった。旧防衛庁資料によると、京阪神には伊丹、大正飛行場（現・伊丹、八尾空港）という二つの防空拠点がしたが、部隊は43年から外地に駆り出されて全滅を重ね、戦力を消耗していた。それでも、尼崎市立歴史博物館職員の辻川敦氏はこう指摘する。「迎撃自体の効果が期待できず、残った戦闘機はできるだけ温存して避難させていたんです」日本軍は本土決戦に向けて、体当たり攻撃などの奇襲に備えていた。米軍は交戦することなく空からの攻撃で終わらせようとしていた。標的は施設ではなく、人そのものへと移っていく。（竹本拓也）

2021年 8月21日。

■4. 狙われた理由(4) 阪神空襲と米軍文書 西宮一御影業火に包む



左上：阪神大空襲で家屋などが焼き壊された西宮神社付近

右上：1945年7月27、31日に米軍が西宮市上空からまいたビラ。

「爆弾には眼がありませんからどこに落ちるか分かりません」などと記す

左下：「全国主要都市戦災概況図」にある西宮市の被災状況（国立公文書館デジタルアーカイブから）

右下：「空襲にも人の死にも慣れてしまっていたことが恐ろしい」と語る宮内宏さん＝西宮市

真っ暗な空から火の雨が降ろうとしていた。

1945年8月6日午前0時半ごろ、「ブーン、ブーン」と兵庫県西宮市松下町の住宅街に空襲警報が響きわたる。当時7歳だった宮内宏さん(82)は、夜空一面に小さくきらめく無数の火の玉を見て「きれいな星々だな」と思った。

家族10人と庭の防空壕(ごう)へと駆け込もうとした瞬間、焼夷(しょうい)弾が家々の壁や屋根に突き刺さり、あちこちで火柱が上がる。メキメキと焼けていく音を壕の中で聞いた。

「近くに軍需工場があるから狙われたんじゃないか、と幼心に思った」

その直後、西宮市域の南東部にあった鳴尾村(当時)でも住宅街に炎が広がる。

村には川西航空機鳴尾飛行場があり、住民たちは「戦闘機を松林に隠したから標的にされたんじゃないか」とうわさした。西宮市―神戸市東灘区を業火に包んだ「阪神大空襲」。

米軍文書によると、255機のB29が西宮市域の南西から飛来し、1時間36分にわたり、北東へと波状的に1922・8トンもの焼夷弾を落とした。当時の西宮市域の約2割が焦土と化し、485人が命を落とした。

鳴尾村でも188人、芦屋市でも89人が犠牲となったとされる。



これまでの連載で、6月の尼崎空襲はプロペラ工場などが狙われ、7月には航空機工場が標的にされたことを書いてきた。ならば、阪神大空襲は何を目標としたのか。

米軍資料を調査する神戸大学地域連携センターの学術研究員佐々木和子氏は「それは単純かつ合理的なもの」としてこう解説する。

「住宅密集地。特定の軍事目標をたたくのではなく、狙ったエリアのすべてを無差別に攻撃する『じゅうたん爆撃(カーペット・ボミング)』です」

6月5日に「神戸」、6月15日に尼崎を含む「大阪」を狙った「5大都市空襲」を完了させた米軍は、それ以外の中小都市を壊滅させる作戦に移る。

米軍資料によると、通常は一つの中小都市に一つの航空連隊140機程度で臨むところ、西宮―御影間を1都市とする「阪神」には倍の2隊を向けていた。神戸、大阪の大都市に挟まれた「産業の後背地」としてとどめを刺したのだ。

実は1週間前、米軍は2度にわたり、西宮の空から大量のビラをまいていた。

「罪のない人達を傷つけたくはありませんですから裏に書いてある都市から避難して下さい」

無差別空襲の予告だった。米軍はこれを「フェアな警告戦法」とし、市民の戦意を喪失させつつ、米軍への信任を深めさせる狙いを込めていた。

しかし、「阪神大空襲は、市民の防火レベルを完全に超えている」と佐々木氏は話してこう指摘した。

「人々は結局、イライラ、じたばたしながら、待つしかなかったんです」

空襲を終えて6時間後、B29は人類初の原子爆弾を広島から投下した。



阪神間へのB29による空襲は尼崎市で8回、西宮市で5回、芦屋市で4回を数えた。7月下旬からは中小都市に当たらないまちにも戦闘機で機銃掃射を加え、川西市で少なくとも5人、三田市でも児童ら5人の命を奪った。

8月15日。戦争は終わった。(竹本拓也、村上貴浩)

4. 平和って なんだろう 8月いつも思い起こす「命は宝」

コロナ禍の中で生活が脅かされる政治主導が全く方向を見失ってしまった日本の社会
神戸新聞に掲載された評論に惹かれました

針路21

平和主義の実践

客員論説委員

直野 章子



へいせいって、なんだろう。しかし、相手は強からず、
 豊が広島県の保育園に通う。6歳までの幼児である。いっ
 ていた頃、よく口にしてた。たいさちって「平和」を教
 えた。聞かずに「さうだね、ええ、のな先生に聞いてみ
 なんだろうね」と心の中で、と、みんなと仲良く暮らして
 ぶちってた。
 悔心地近の園だけあって、とが「平和」なのだ話して
 か、折り鶴を折ったり、原爆、いらいりした。
 や戦争の絵本を読み聞かせた。保育園では、「穏やかにや
 ります平和宣言が行われて、わがこと戦争がない状態」
 だ。

子どもにどう教えれば

と云う「平和」の
 味を共に学んでいるが、どち
 らかといふと前者に重きを置
 いている。「平和な」や「平
 和を願う」であれば、幼く
 ても「かむ」となでまわら
 だろ。そのうえで、戦争で
 命や家族を奪われた子どもの
 話をすると、「戦争」や「原
 爆」は「平和」を壊すものだ
 と、子どもたちにも伝わる。
 ころして、それが何である
 かは理解できなげとも、戦争
 や原爆は嫌だという気持ち
 が、子どもの心に芽生えるの
 だ。

2面に続く

へいせいって、なんだろう
 豊が広島県の保育園に通っ
 ていた頃、よく口にしてた
 えた。聞かずに「さうだね
 なんだろうね」と心の中
 ぶちってた。

1面から続く

戦後日本の平和教育や「戦争体験の継承」では、戦争がいかに悲惨な体験だったかを伝えることで、戦争を否定し、平和を尊ぶ心を育もうとしてきた。しかし、戦争体験を知るとして、平和の大切さが理解できたとしても、それが反戦や非武装といった平和主義の理念につながるとは限らない。

近代日本の戦争が「東洋の平和」を掲げて遂行されたように、「戦争」と「平和」は、必ずしも対立するわけではない。「平和な暮らし」を守るためにこそ、武装する必要があると考えることもできるからだ。実際に、戦後日本の世論は、非武装主義を掲げた憲法を擁護する一方で、「力による平和」を暗に支えてきた。

敗戦から間もない時期、「戦争はもうこりこり」という感情が広く生じていたのは確かだろう。しかし、戦争や再軍備に反対する意

針路2

暮らし脅かす権力にあらがう

鬼が主流であったかという点、それをかきつけたと評価するとはほどではない。1950年代の世論調査を見ると、条件付きで戦争を肯定する人が絶対反対という人より多かったし、54年の自衛隊発足までは、再軍備に賛成する人が反対の人より多かった。また、戦争に絶対反対、再軍備反対の意見が多数派になった60年代になっても、国防のための軍備は必要と

思っていた。白衛隊を肯定する意見も増え多数派になった。敗戦後、侵略戦争と軍国主義は否定されたが、国を守るためには武装して有事に備える必要があると考える国家安全保障論は、自衛隊肯定という形で、世論に支持されてきたといえるのだ。

いう人は、不要という人を世に上回っていったし、白衛隊を肯定する意見も増え多数派になった。敗戦後、侵略戦争と軍国主義は否定されたが、国を守るためには武装して有事に備える必要があると考える国家安全保障論は、自衛隊肯定という形で、世論に支持されてきたといえるのだ。

らなく、じっくりと向き合う必然性を感じることはないからだ。若い世代が、我が事として捉えるには、戦争の被害体験だけでなく、被害者や加害被害者が戦後をどう生きたのかを伝えることが重要なのではないだろうか。戦争で傷を負われただけでなく、戦後において、被害を耐え忍ぶよう強いられた人々は、被害を

◆このシリーズは、随時掲載します。◆(なおの・あき)「京都大学文学部准教授・歴史社会学」

【From Kobe 2021 年10月】 10月 October 深まりゆく秋 神戸便り

厳しい新型コロナ蔓延もようやく収束の兆しも見えはじめましたが、油断は禁物
でも 秋の到来にほっと一息 気分も新た 頑張りましょう

収録 常に現場に立ち、自分の眼で確かめ、権威におもねず、
攻められる側に身を置く視点 「現場・人間主義」を貫いた巨星
「経済評論家 内橋克人氏 逝去」の訃報に接して 懐い出すままに

2021.9.5. Mutsu Nakanishi



2021.9.18. 久しぶりに歩いた横尾道 なんとかロンク° 歩行OK 秋の草花をみなからの散歩道 気分も随分楽になりました。



2021年10月 3ヶ月ぶりのHP「和鉄の道・Iron Road」の更新

2021年10月 神戸便り 初秋から深まりゆく秋へ

6月末足の踵骨折治療で入院 折しも新型コロナ蔓延で外部の人との接触アウトの雪隠詰めの足を地につけられぬ車椅子生活。今年の酷暑の夏を丸々病院で過ごし、退院した時はもう初秋。色々ご心配かけましたが、今は元気に活動をはじめています。ありがとうございました。

空白の3ヶ月の間 ひしひしと時代が変わると感じた日々。色々暇に任せて、メールやLINEで病院から発信してきたことなどを含め、10月のホームページ更新として発信させていただきます。

もう 自分の時代ではないと感じる昨今ですが、まだまだ好奇心旺盛 気力もあり、足も復活。ときれときれになりそうですが、元気に前向いて発信をと。

後期高齢者だからとは言えなくなった新型コロナへの戦い そしてポストコロナの時代へ みんなの一番の願いは穏やかな日常の社会生活を取り戻せること。

前向いてがんばりましょう

仲間の元気は みんなの応援歌!! 頑張りすぎず、時には声をあげて!!

お互いスクラム組んで 助け合ってこの難局を乗り越えましょう

笑顔で逢えるのを 楽しみにしています

ワクチン接種も済ませましたが、まだまだ収束は道半ば

まだまだ厳しい自己節制の日々が続きますが、どうか 無理せず、元気に前向いてお過ごしください

God Be With You!!

2021.10.5. From Kobe Mutsu Nakanishi



2021. 10. 1. From Kobe Mutsu Nakanishi



足の踵骨折から約3ヶ月 やっと足をかばうことなく歩けるように。でもまだまだ 坂道やロングで歩くと足が痛くなる。今回、ちょっと山道も歩いたので、少しづつ伸ばせば山も登れそう。長期戦 でも自信つきました。街中であれば、もう普通に。コロナもこのまま収まって、早く普段の生活取り戻したいですね。
2021.9.18. 久しぶりに秋の横尾道を歩いて Mutsu Nakanishi



妙法寺 車の里で 車大歳神社の社殿崩落を守った車大歳神社の巨樹大楠 鎮守の森の大楠にもありがとう

踵骨折から約2ヶ月9月始めに退院 街中での歩行練習の許可が出て、9月始めから街中での歩行練習に精を出す毎日。まだまだ 坂道やロングで歩くと足が痛くなるのですが、やっと足をかばうことなく歩けるように。

私の住む西神戸山麓バイパス妙法寺・名谷の住宅地は幾つもの丘が連なるので、坂道はなかなか手ごわいのですが、毎日の歩行練習の中で、ちょっとずつ足を伸ばし、おかげで 平坦な街中では、普通に歩ける時期に。気がつくともうすっかり初秋。

毎年初秋に西神戸、加古川東岸などの田園地帯に咲く秋の草花をめぐる稔りの里 walk。私の秋の草花を訪ねる秋迎え。なんとか歩行練習しながら近場の田園を巡りができました。



妙法寺車の集積の田園地帯から眺める車大歳神社社殿を支えたクスノキの巨樹 2021.9.28
2021年9月28日、車大歳神社の社殿が崩壊し、車大歳神社の社殿を支えたクスノキの巨樹が、崩壊した社殿の瓦礫の下に倒れ、巨樹の根が露出した。巨樹の根が露出したのは、巨樹の根が腐敗したためと見られる。巨樹の根が腐敗した原因は、巨樹の根が腐敗したためと見られる。巨樹の根が腐敗した原因は、巨樹の根が腐敗したためと見られる。

一番嬉しかったのは私の住むすぐ下の妙法市車集落の鎮守 車大歳神社のがけ崩れと社殿復興工事がほぼ完成して、社殿倒壊を守った崖の巨樹大クスノキがもらえるようになった。

崖にガッチリ根を張り上げ崩れを最小限に食い止め、社殿全壊を守ったクスノキ。修復工事が始まって約2年 巨樹の根本を触っては「気」をもらうのですが、やっと工事がほぼ完成し、周辺整備も進み、崖下の妙法寺川辺からその巨樹全体が見られる。以前は巨樹全体を眺めるポイントがなかったのですが、崖にしっかり立って仁神社社殿を守った堂々とした姿が見取れる。本当にすごい 村の鎮守の守り神 時を同じくしての退院。本当にありがとう。

すごいなあ・・・ 巨樹を眺める眼がまた一つ増えました。

また、なんとか今年も近くの田園地帯の秋の草花を巡る秋迎え。

例年にもまして美しく、秋の草花にもありがとう。少しづつ伸ばせば山も登れそう。長期戦 でも自信つきました。

街中であれば、もう普通に。 コロナもこのまま収まって、 早く普段の生活取り戻したいですね。

みんなに支えてもらって ありがとう。

2021. 9. 18. Mutsu Nakanishi

◎ Photo Album 真っ青な空 秋の草花が稔りの里を彩る里の秋巡り

毎年恒例 私の秋迎え 西神戸・東播磨の田園を彩る秋の風物詩

HPでも短いスライド動画を掲載して みのりの里を飾る秋の草花を紹介しています

秋の草花 花言葉のキーワードは「思い出・思い出」でもその思いはひとそれぞれ

秋の夜長 ゆったりと BGMを聞きながら 思いにふけるのも 激動の今心休めになるかも



私の秋迎え 今年もスライド動画にもして、秋の夜長を楽しんでいます



須磨 横尾道の秋の七草藤袴

西神戸の伊川谷の彼岸花

加古川西岸 来住野・野尻の里のそば畑



台風一過 秋晴れになった横尾道
ロング歩行を兼ねて 藤袴の花咲く秋を訪ねる 2021.9.18

アサギマダラ【キク科】(蝶)
中国東部の山岳地帯、喜望峯から南の七瀬に、2000mの標高にアサギマダラの幼虫が産卵。山形県から兵庫県まで約100kmの距離を飛行し、神戸には10月頃到着し、藤袴のそば畑から産卵し集まっています。

2021.9.18 淡い薄ピンクの小花沢山つけ、飛来する蝶 アサギマダラを待つ 須磨アルプスの山裾 横尾道の藤袴の群生地



絵りの田の畦を真っ赤に彩る西神戸 広い田園地帯伊川谷の郷の彼岸花



加古川東岸小野アルプス山裾の田園を真っ白にする小野市来住野 & 加古川市志方野尻の里

<フジバカマ>



藤袴の花言葉
「ためらい」「躊躇」「遅れ」、「あの日を思い出す」
藤袴の咲き方から、花言葉が生まれたという

<ヒガンバナ>



彼岸花の花言葉「情熱」「独立」
「想いはあなた一人、また会う日を楽しみに」
「悲しい思い出」「再会」「あきらめ」

<ソバ>



蕎麦の花の花言葉気
「懐かしい思い出」

それぞれの花言葉にも思い入れいっぱい 人それぞれ

◎ 今後の和鉄の道・Iron Road 更新維持について

今回の HP の更新も含め、最近では神戸を中心とした私の風来坊 walk が主に。私にとってはその年ごとの行動記録の財産なのですが、ライフワーク目的が随分変わっていますが、続ける中で価値も生まれるだろうと。勝手な解釈しています。

HP 当初の取り組み目標だった製鉄遺跡探訪を中心とした たたら製鉄 和鉄の道 鉄のルーツ探訪。約 10 年にわたる愛媛大村上恭通教授らのユーラシア大陸鉄の電波の道探求の研究成果シンポに聴講参加させていただき、教えてもらった人工鉄の起源から日本への伝播の道 (Iron Road) を自分なりにまとめをして一段落に。また、鉄のない時代「日本の縄文」の世界遺産登録が決定され、こちらも一区切り。

私の HP もほぼ幕を閉じてもいいかなあ……と漠然と。

和鉄の道・Iron Road 今一番の興味は、このポストコロナの時代 地球温暖化の課題解決が急務になる中で、炭酸ガスを大量に放出する近代製鉄業が突きつけられた大逆風。

日本の鉄鋼は新しい時代へ道を切り開けるのか……

鉄の惑星地球の上で 幾多の苦難を乗り越え人類繁栄の道を切り開くパートナーであった「鉄」
ポストコロナの時代と鉄

自分ではもう 何も提供できませんが、鉄の底力を信じて、大きな興味を持ってこの和鉄の道・Iron Road から眺めてゆきたいと。ご了解ください。また、歳老いて 毎月更新する力なく、不定期随時更新でこのホームページを進めてゆくつもりです。頭 気力は衰えつつありますが、興味・好奇心はまだまだ旺盛 勝手気ままな風来坊 そんな気分でもうすこし、この HP を進めてゆきたいと考えています。今後ともよろしくお祈りします。

なんといっても まずは コロナが収束し、一日も早く 安定した穏やかな生活 生活基盤が確立できますようお互い頑張りましょう。

◎経済評論家 内橋克人さんご逝去

今の行き過ぎた市場中心主義経済に古くから警鐘を鳴らし続け、人重視の経済への転換を主張し続けた経済評論家内橋勝人さんがこの 9 月に逝去され、残念でなりません。

私の HP の道にも何度もご紹介させていただいた内橋克人さん。行き過ぎた市場経済主義に警鐘を鳴らし、人間重視の視点を貫かれた。

おりしも季節は夏から秋へ。近くの西神戸や加古川西岸の田園では秋の草花が咲き乱れ、素晴らしい郷景色。薄ピンクの小花をいっぱいつけて群生するショウジョウバカマ 実りの里の田の畔を真っ赤に縁取るヒガンバナそして 岡に挟まれた狭い傾斜地前面を真っ白に染めるソバの花

西神戸 秋迎えの花 花言葉をしらべるとみんな「思い出 思い出」につながっている。

ことしはいつになく美しい秋景色

思えば内橋克人さんも神戸の人 内橋克人さん手向けの秋景色とも。

また秋迎えごと 花を見ると内橋さんを思い出さるう

God be with You!! ほんとうにありがとう いまはやすらかにと

2021.10.5. HP 10 月更新を終えて ページを眺めつつ Mutsu Nakanishi

前記の文を書きながら、私のホームページ「和鉄の道・Iron Road -神戸便り from Kobe」に掲載紹介してきた内橋克人氏の記事をもう一度読み返しました。
 今も変わらぬ輝きのある内橋克人氏の評論・言葉。
 バラバラに掲載していましたので、主要記事をリストアップ。
 このコロナ禍の中 時代が大きく変わろうとしている日本の社会・経済
 みなさまにとっても参考になればとリストアップしました。

和鉄の道・Iron Road - 2012年の初めにより 内橋克人氏「100年後へのメッセージ」
<https://www.infokkna.com/ironroad/2012htm/walk9/2012nengakobe.pdf>

《内橋克人氏の提案する自立自給経済の創生》

【from Kobe 2012. 1. 1. <http://www.infokkna.com/ironroad/2012htm/walk9/2012nengakobe.pdf> より】

被災地だけでなく 日本の疲弊がますます露わに 人間復興・社会基盤の復興の両立を
「日本人気質の奥にある頂点同調・熱狂的な等質化から脱して 新しい日本作りに踏み出そう
 もう 気がつこう マスコミが騒ぎ立てる働かせる側の論理から働く人の論理へ
 国際マネー主義から脱して 市場主語から人間主語へ

2011年12月18日 NHK BS 内橋克人 100年インタビューより

賢さをともなった勇気を持って 頂点同調主義から脱出 市場主義から人間主語へ
 矛盾を解決することで成長を生む「マネー資本主義」に対抗する自立自給経済の創生

2011年12月 NHK BS 「内橋克人 100年インタビュー」

1. 1900年代後半以降 国際競争・市場主義と規制緩和 が「働く」をどう変えたか
 国際マネー資本主義経済に翻弄される日本が浮き彫りに
 激的な競争の導入と格差の増大 企業・金融は国家を超えてゆく
 富強と強民衆の争奪



戦後 日本が歩んだ道 NHK BS 2011.12.18 「内橋克人 100年インタビュー」より

- 戦中時代の反省 戦中・戦後 そして 今も続く社会構成の原点 日本人気質
 - 頂点同調主義
 - 熱狂的な等質化現象 リーダーにゆだねる・真を捨てる
- 1960年代 高速経済成長 頂点同調主義・等質化の中で図説した高速成長
 - 技術革新・技術力による生産量と質の著しい向上
 - 公害ほかの矛盾に重なる成長
 - ・ 生産効率・物づくりに特化した改善技術の開発 独創性のなさが弱点
 - ・ 基礎技術・革新技術開発の遅れ

世界一の技術立国日本の傑出 中 真を奪えられぬ日本の社会
- 1970年代後半 石油ショックによる原油価格の急騰 「狂乱相場」とインフレ・構造不況へ突入
 - 1974 第一次石油ショック・中東戦争 ・成長産業が素材産業から加工組立て産業へシフト
 - 1979 第二次石油ショック・イラン革命 ・厳しい国際競争にさらされる
- 1985年～2000年 バブル経済とその終焉 下位劣等のための規制緩和と大企業金融主義の時代
 - 1980～ バブル暴走 マネー資本主義の時代へ
 - アメリカ型資本主義 株屋至上主義
 - 1991 バブルの崩壊
- 1990年代～ 不況克服へ 規制緩和と企業国際化の急速展開
 - 2001 エンロンの破たん
 - 2000～ 雇用不安など社会問題急拡大 企業の国際化急展開
- 2011年 東日本大震災・原発事故 そして年金問題と超額寸前の国家財政 急激な円高 政治の腐敗
 日本経済の疲弊と格差拡大 企業の海外移転の急拡大
 取り残りのなき日本に先行きが見えず 社会全体に広がる閉塞感・不安感

グローバル化 市場原理主義経済
 効率化・国際競争力
 劣勢のビッグバン後原資本主義へ
 グローバル化の名のもとアメリカ中心
 の特権に日本が飲み込まれてゆく

現代の日本人に切々と訴えかけた 内橋 克人氏の「100年後へのメッセージ」

NHK BSプレミアム 2011年12月18日(日) 放送 ↓

[日本人は賢さを伴った勇気を持って行動しよう! - るいネット \(ruijp\) 2011/12/19](http://www.ruijp/ruinet.html?F=200&c=400&m=259697)
<http://www.ruijp/ruinet.html?F=200&c=400&m=259697> より採取採録

- 「日本人は一人一人が考え、しっかりと自分の足で立つことが出来なければ100年後も変わらない」
- 「戦前、戦後、お上に寄って立つ考えは変わっていない」 ↓
- 「人間が紙くすのよう捨てられる今の社会を変えなければいけない」 ↓
- 「市場原理至上主義経済から人間が主語である経済社会に変えなければいけない」 ↓
- 「日本人には賢さを伴った勇気が必要」 ↓

◎和鉄の道・Iron Road - 2012年の初めにより

内橋克人氏「100年後へのメッセージ」

<https://www.infokkna.com/ironroad/2012htm/walk9/2012nengakobe.pdf>

◎和鉄の道・Iron Road From Kobe 2012年1月

厳しさを力に 経済評論家 内橋克人氏100年インタビューに共感して by Mutsu Nakanishi

<https://www.infokkna.com/ironroad/2012htm/2012mutsu/fkobe1201.pdf>

参考添付 内橋克人 NHK BS 2011.12.18. 放送「内橋克人 100年インタビュー」視聴メモ

◎和鉄の道・Iron Road From Kobe 2013年8月より

あまりに多い「想定外・経験したことがない」の風潮

NHK 朝一番 ビジネス展望 内橋克人氏の解説を紹介

創造性の欠如した今の時代に異常気象にだまし絵をダブらせ今一番自分 にずっと入る

<https://www.infokkna.com/ironroad/2013htm/2013mutsu/fkobe1308.pdf>

◎和鉄の道・Iron Road From Kobe 2013年9月より

新書 藻谷浩介・NHK広島取材班「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-」の紹介

今 日本で一番求められている地域を元気にする

日本再生への道「里山資本主義 & 内橋克人氏の提案する地域自立自給経済圏」創設の実践

<https://www.infokkna.com/ironroad/2013htm/2013mutsu/fkobe1309.pdf>

◎和鉄の道・Iron Road From Kobe 2018年12月より

日本の行く先がおもいやられる師走 数が頼りの薄っぺらな社会からの脱出へ 若者たちへの思いが募る

こんな思いを代弁して、神戸新聞 内橋克人氏ほかの評論にも

<https://www.infokkna.com/ironroad/2018htm/2018mutsu/fkobe1812uchihashi.pdf>

闘う主張 現場の声支えに

経済評論家・内橋克人さんを悼む 寄稿 金子勝 (立教大学大学院特任教授)



内橋克人(うちし・かつと)さん。1日死主、55歳→2014年撮影

新自由主義の流れに警鐘

議論が正しくて、現実が間違っていることではない。内橋克人の仕事を思い出している。神代と、私は思う。1990年代、バブルが崩壊し、日本経済が行き詰まり出した時、大胆な規制緩和と政策が声高に叫ばれた。規制緩和で市場競争を激かせれば、物価が下がって消費者の実質所得が上昇し、新しい産業が生まれるとわたりやすく説明された。この「新自由主義」のドグマはメディアも当然なこととして受け入れていった。

これに対し、内橋は断然に「規制緩和という悪夢」でアメリカの航空業界の実情を見ながら、安全性能をも軽視する規制緩和の問題点を鋭く告発した。そして、規制緩和を主張した経済学者たちに激突を立ち向かった。その後の結果は大を合せて、結果は内橋の主張通りになった。当時、私はその見ながら、セーフティーネット論を組み立てていった。

いつの間にか、人々はできあがったドグマに縛られがちになる。研究者も例外ではない。それを正す役割を果たすが、ジャーナリストが突きつける事実の積み重ねである。

しかし、ジャーナリストのこうした作業も、時代の流れに抗うようにしなくては立派なことになる。時代に逆行するのは簡単だが、それに抗うことはとても難しい。孤立してでもトップダウンで内橋の姿勢をまっすぐ貫いたのは、一は何だったのか。

議論と現実の差額が遠んでいる状況の下では、私がそうしてきたように、これからは、現実と格闘してきた人々の心を揺さぶる内橋の仕事の追いかける者たちが生きつづけるに違いない。

現代の日本人に切々と訴えかけた 内橋 克人氏の「100年後へのメッセージ」

NHK.BSプレミアム 2011年12月18日(日) 放送

[日本人は賢さを伴った勇気を持って行動しよう! - るいネット \(rui.jp\)](http://www.rui.jp/ruinet.html?i=200&c=400&m=259697) 2011/12/19 より

<http://www.rui.jp/ruinet.html?i=200&c=400&m=259697> より採取採録

番組のエンディングでは、お一人で視聴者に切々と語り掛け、心のそこからの訴えでした

- 「日本人は一人一人が考え、しっかりと自分の足で立つことが出来なければ100年後も変わらない」
- 「戦前、戦後、お上に寄って立つ考えは変わっていない」
- 「人間が紙くすのように捨てられる今の社会を変えなければいけない」
- 「市場原理至上主義経済から人間が主語である経済社会に変えなければいけない」
- 「日本人には賢さを伴った勇気が必要」

内橋克人氏が出版されている著書〈1〉 出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』より抜粋

『原発への警鐘 (講談社文庫)』は1986年

『「会社本位主義」をどう超える新しい企業社会のパラダイム』は1992年

『隗より始めよ(カッパ・ホームス) 日本企業の生存条件』は1992年

『破綻か再生か日本経済への緊急提言』は1994年

『共生の大地 (岩波新書) 新しい経済がはじまる』は1995年

『経済学は誰のためにあるのか市場原理至上主義批判』は1997年

『規制緩和という悪夢』は2001年

『「人間復興」の経済を目指して』は2002年

『「共生経済」が始まる (NHK 人間講座) 競争原理を超えて』は2005年

『共生経済が始まる 世界恐慌を生き抜く道』は2009年

いち早く新しい時代への提言を書かれています。

参考 著書一部抜粋〈2〉 上記1)のリストと一部重複しています

『共生経済が始まる 世界恐慌を生き抜く道』内橋克人 朝日新聞出版 2009/3

『〈節度の経済学〉の時代 (朝日文庫) 階層化社会に抗して』内橋克人 朝日新聞 2006/05

『「共生経済」が始まる (NHK 人間講座) 競争原理を超えて』内橋克人 日本放送出版協会 2005/02

『「人間復興」の経済を目指して (朝日文庫)』城山三郎/内橋克人 朝日新聞 (城山三郎と対談) 2004/10

『〈節度の経済学〉の時代市場競争至上主義を超えて』内橋克人 朝日新聞 2003/12 |

『「人間復興」の経済を目指して』城山三郎/内橋克人 朝日新聞 2002/05 |

『規制緩和という悪夢 (文春文庫)』内橋克人/グループ2001 文藝春秋 2002/01

『破綻か再生か (講談社文庫) 日本経済への緊急提言』内橋克人 講談社 2001/11

『経済学は誰のためにあるのか市場原理至上主義批判』内橋克人 岩波書店 1997/07

『規制緩和という悪夢』内橋克人/グループ2001 文藝春秋

『共生の大地 (岩波新書) 新しい経済がはじまる』内橋克人 岩波書店 1995/03

『破綻か再生か日本経済への緊急提言』内橋克人 文藝春秋 1994/02

『隗より始めよ(カッパ・ホームス) 日本企業の生存条件』内橋克人 光文社 1993/11

『「会社本位主義」をどう超える新しい企業社会のパラダイム』内橋克人 東洋経済新報社 1992/06

『原発への警鐘 (講談社文庫)』内橋克人 講談社 1986/09

『新・匠の時代 (インターフェロンから核融合まで) 2』内橋克人 サンケイ 1982/02

『新・匠の時代 (「生命の海」を拓く) 1』内橋克人 サンケイ 1980/09

【 From Kobe 2012年1月 】

2012 年のはじめに 厳しさを力に

by Mutsu Nakanishi

2012 年が平和で穏やかな年であるように願っています



被災地だけでなく 日本の疲弊がますます露わに 人間復興・社会基盤の復興の両立を
「日本人気質の奥にある頂点同調・熱狂的な等質化から脱して 新しい日本作りに踏み出そう

もう 気がつこう マスコミが騒ぎ立てる働かせる側の論理から働く人の論理へ

国際マネー主義から脱して 市場主語から人間主語へ

2011年12月18日 NHK BS 内橋克人 100年インタビューより

急激な高齢化社会が進む中 米国を中心とした体制の中で 国際マネーと市場経済に翻弄され続けた一年。

地方は疲弊し、政府は膨大な財政赤字に手を打てないまま、雇用不安と年金問題も深刻さを増す。

そんな閉塞感漂う日本に、東日本大震災と原発事故が追い討ちをかけ、後半には超円高がさらに不況と雇用不安を増す。

また、行き着くところまで来た破綻状態の財政赤字が先行き経済に大きいのしかかり、社会全体を揺さぶり続けている。

稚拙な政治は相変わらず、財界・金融と中央中心 人よりも市場・企業相手では難局克服の道が見えない。

「日本だけでなく 世界はどこも同じ????」と信じていたが、ふと気がつくと 景気のよい新興アジア諸国ばかりでなく
ヨーロッパのドイツ・北欧諸国の好景気 そしてアメリカも景気回復基調にある。

「政府やマスコミは一般世論 われわれの感じている社会を代弁している」とはとても思えぬ中にある。

何のことはない一番おりを食っているのは日本。 さらに次は「円」が国際マネーの標的になる可能性があるという。

他人事のように思っていた非現実の厳しい現実が自分の目の前にひろがり、呆然と立ちすくんで、

ふと気がつけば、弱者の群れの中にいる自分。 そんな格差社会が猛烈な勢いの中でひろがっている。

そんな現実が被災地に浮き彫りされている。 社会の荒波の中にただ流されてゆくのみか・・・・・・。

考えて見れば、日ごろ見るテレビの中に広がる世界の薄っぺらなこと 何の理念も持たず、考える道筋すら放棄。

経済評論家内橋克人氏が警鐘を鳴らす「**頂点同調主義・熱狂的な等質化**」をあおっているだけではないのか・・と。

今年は この現実をなんとしても みんなで乗り越えてゆかねばならぬ厳しい一年である。

一番活力のあった「高度成長の時代」の中核を担い、今度は急速に進行する高齢化社会の中心にいる私たち団塊の世代には、

「本当に今の社会が腑に落ちない」「どこで どうボタンを掛け間違えたのか」

「でも なんとか 方策はないのか・・」と考えるのですが、「マスコミや政治の説く対応に対抗できる知恵を持ち合わせていない」のが悔しい。

昨年12月18日NHK BSで「匠の時代」の著者 経済評論家 内橋克人氏の「100年インタビュー」放送があった。

常々朝のNHK ラジオ 朝一番「ビジネス展望」の番組で 常に社会弱者に眼を向けつつ、現在の経済・社会矛盾をわかりやすく解説し、一番自分の考えにあっていると感じている人である。

約1時間半 戦後から現在まで 国際化の波に現れながら成長してきた日本経済・社会の光と影を時代を追って、本当にわかりやすく丁寧に解説指摘し、今これから われわれは何をすべきか・・・日本の未来に何が必要か・・・を提言。

テレビにかじりついて1時間 画面に移される図にデジカメを向け、メモを取りながら見入っていました。

決して高ぶらず、穏やかな語り口ながら、今の社会への強い怒りと悲しみが渦巻き、声を詰まらせ、日本や世界の現実への警鐘や将来のあり方を視聴者に切々と語り掛けた。

私には「我々 団塊の世代が抱いてきた『生き方への疑問』に丁寧に答えてもらった」という気がいっぱいでした。

最近 一番感激したインタビュー 経済番組でした。

放送前 何度か「100年インタビュー」の宣伝を見ましたので、通常のNHK番組のごとく 再放送があるかと思ったのですが、いまだに 再放送のスケジュールなし。意図的な何かがあるのかも・・・

内橋克人氏 NHK.BSプレミアム「100年インタビュー」2011年12月18日(日)

現代の日本人に切々と訴えかけた100年後へのメッセージ

- 「日本人は一人一人が考え、しっかりと自分の足で立つことが出来なければ100年後も変わらない」
- 「戦前、戦後、お上に寄って立つ考えは変わっていない・頂点同調主義・熱狂的な等質化」
- 「人間が紙くずのように捨てられる今の社会を変えなければいけない」
- 「市場原理至上主義経済から人間が主語である経済社会に変えなければいけない」
- 「日本人には賢さを伴った勇気が必要」

るいネット 勝寛舟氏(徳島)のまとめ 日本人は賢さを伴った勇気を持って行動しよう!

<http://www.rui.jp/ruinet.html?i=200&c=400&m=259697>

番組を見てもらうのが筋なのですが、再放送がないので、内橋克人氏の思いを収めた私のデジカメ画像とメモをそのまま掲載させていただき、本年 年始め 一年を送るいましめとしたいと思っています。

皆様にはいかが映るでしょうか・・・

下記は 1. 規制緩和と市場主義がもたらした企業収益の分配構造の変化 と 2. 今後の日本がとるべき道 一番私が知りたかった事の図面で、日本全国を本当にギスギスした本当に厳しい社会に変質させてしまった。

当時 財界・金融に迎合した政権の責任は思い。

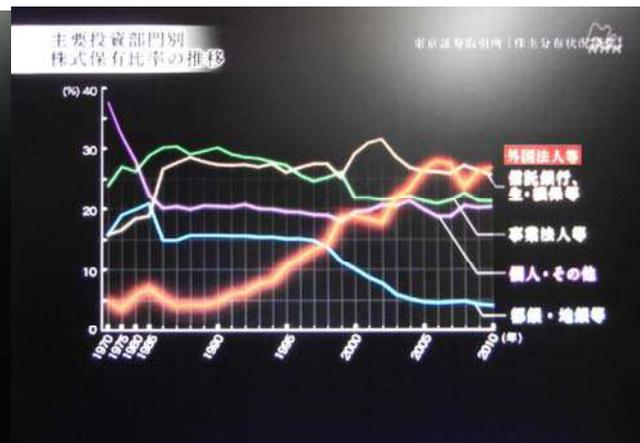
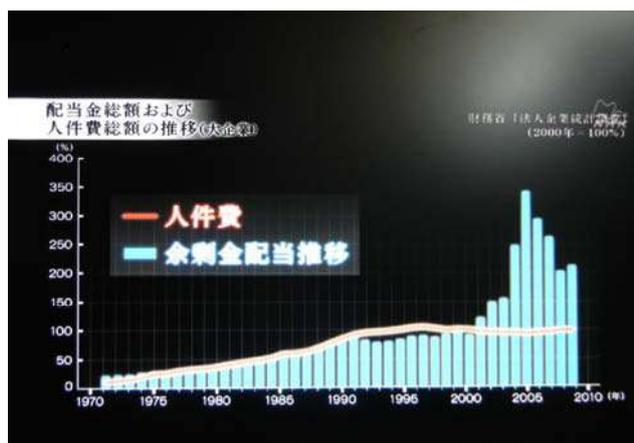
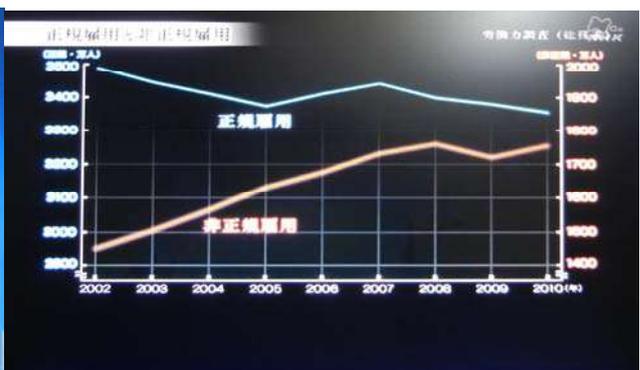
以下 私の 2011年12月 NHK BS 「内橋克人 100年インタビュー」の受け止めのまとめです。

1. 1900年代後半以降 国際競争・市場主義と規制緩和 が「働く」をどう変えたか

国際マネー資本主義経済に翻弄される日本が浮き彫りに

激烈な競争の導入と格差の増大 企業・金融は国家を超えてゆく

国益と国民益の乖離



経済成長期からずっと日本経済を支えてきた「富める者が富めば、貧しい者にも自然に富が浸透（トリクルダウン）する」とする「トリクルダウン効果」の枠組みは1990年後半から完全に崩れ去っている。2000年以降企業収益は国民に還元されず、海外へ流出している。国際企業の原理からは至極当然である。

したがって、国際競争力・市場主義を楯に企業・金融優遇の政策では日本国民の生活は安定化しないし、国・国民の復興はなしえない。企業は国境を超え成長 収益は株主・外国人投資家に。国益と国民益の乖離がいちじるしい。

努力しても報われない社会 一人の勝者のために99人が敗者の社会が進行しつつあることに強い怒り。

今 頂点同調では生活は守れない 自らの声を挙げよう

2. もうひとつの経済学「理念型経済学 -市場主語から国民主語の経済-」の提唱

矛盾を解決することで、成長を生むことで「マネー資本主義に対抗する経済

これらの自立・自給がないと 国際マネーの餌食となる

国際企業・金融依存から脱し、日本の社会の自己矛盾の源 食糧・エネルギー・高齢化[介護・医療]の分野で

FEC 自立・自給圏経済 を構築してゆく以外に、新しい日本の道はない。



- 自給自立型農業の構築 「ゆず」栽培から加工で30億円規模に成長した高知県馬路村
- 自然・再生エネルギーでエネルギーの自立
自給率数パーセントが市民共同発電など自然・再生可能エネルギーで自給率200パーセントを達成したデンマーク
- 地域住民による自給・自立の介護の機構 介護・医療は今やビジネス構築の必要な先端産業
被災した釜石には自給圏構築が芽生えている



- 頂点同調から脱して声をあげよう
- 賢さを伴った勇気を
市場主語から国民主語の自給圏経済構築へ

この内橋克人さんの話 震災を受けた東北の復興には町の核となる 神社と寺 そして文化(祭り?)の整備が欠かせないという「東北学」の赤坂憲雄氏の話 そして私のよく使う「縄文帰り-縄文人の知恵-」の話と根は一緒だと感じています。

戦後 日本が歩んだ道 NHK BS 2011.12.18. 「内橋克人100年インタビュー」より

- 戦争時代の反省 戦中・戦後 そして 今も続く社会構成の原点 日本人気質
 - 頂点同調主義
 - 熱狂的な等質化現象 リーダーにゆだねる・異を排する
- 1960年代 高度経済成長 頂点同調主義・等質化の中で謳歌した高度成長
 - 技術革新・技術力による生産量と質の著しい向上
 - 公害ほかの矛盾に蓋をした成長
 - ・ 生産効率・物づくりに特化した改善技術の開発 独創性のなさが弱点
 - ・ 基礎技術・革新技術開発の遅れ

世界一の技術立国日本の謳歌 ⇔ 異を唱えられぬ日本の社会
- 1970年代後半 石油ショックによる原油価格の急騰 「狂乱物価」とインフレ・構造不況へ突入 >
 - 1974 第一次石油ショック・中東戦争 ・成長産業が素材産業から加工組立て産業へシフト
 - 1979 第二次石油ショック・イラン革命 ・厳しい国際競争にさらされる
- 1985年～2008年 バブル経済とその終焉 不況克服のための規制緩和と大型金融改革の時代
 - 1986～ バブル景気 マネー資本主義の時代へ
アメリカ型資本主義 株価至上主義
 - 1991 バブルの崩壊
- 1990年代～ 不況克服へ 規制緩和と企業国際化の急速展開
 - 2001 エンロンの破たん
 - 2000～ 雇用不安など社会問題急拡大 企業の国際化急展開

非正規雇用 外国人投資の急上昇
- 2011年 東日本大震災・原発事故 そして年金問題と破綻寸前の国家財政 急激な円高 政治の貧困
日本経済の疲弊と格差拡大 企業の海外移転の急拡大
舵取りのなき日本に先行きが見えず 社会全体に広がる閉塞感・不安感

グローバル化 市場原理主義経済
効率化・国際競争力
金融のビッグバン強欲資本主義へ
グローバル化の名のもとアメリカ中心
の枠組に日本が飲み込まれてゆく

[新しい日本 新しい経済学の構築]

賢さをともなった勇気を持って 頂点同調主義から脱出 市場主義から人間主語へ
矛盾を解決することで成長を生む「マネー資本主義」に対抗する自立自給経済の創生



理念型自給経済
その芽はすでにある
FEC 自給圏の創生

- 高知 馬路村 ゆずの生産・加工で30億円/年
- デンマーク 自然再生エネルギーで電力自給率数% →200%へ
- デンマーク 高齢者社会の拡大の中 介護・医療の市民・地域ビジネスの構築

参考 内橋克人 NHK BS 2011.12.18. 放送

「内橋克人 100年インタビュー」 視聴メモ by Mutsu Nakanishi

経済評論家 内橋克人 NHK 100年インタビュー-2011.12.18. の内容受け止め by Mutsu Nakanishi



日本が高度成長を達成し、
技術立国日本を謳歌した時代から、
技術立国にかげりが出始める時代・
国際市場競争・金融の
マネー資本主義の時代へ
エンジンは頂点同調主義・熱狂的等質化現象
戦中からの日本人像がそのまま引き継がれ、
日本の経済成長の原動力になってゆく。
幅の広い中産階級が形成され、国民は小市民意識に沸く
国民益と国力が一致との幻想に浸る時代



国際化の波の中 経済立国日本に酔いしれ、その矛盾や実像に目を向けることなく輝く明日の日本を信じきっていた時代である
日本人の特質 頂点同調主義・熱狂的等質化現象のもとで、高度成長を遂げ、それぞれが益を実感できた時代である
1980年代 オイルショックとマネー資本主義の台頭・企業の厳しい国際競争激化の中で
日本繁栄の時代はもろくも崩れ去り、厳しい現実にとらされる時代がやってきた。



国際競争・市場主義と規制緩和
マネー資本主義経済に
翻弄される日本が浮き彫りに
激しい競争の導入と格差の増大
企業・金融は国家を超えてゆく
国益と国民益の乖離



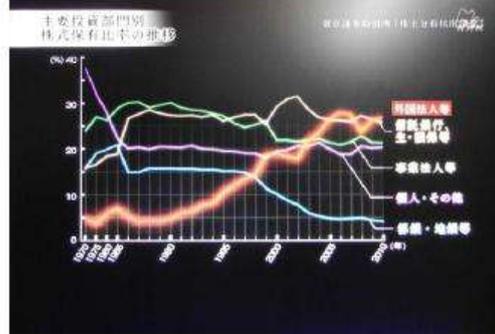
言葉の本質を明確にしないまま規制緩和が進み
社会・労働の変質が起こる。
勝者は誰か・・・





マネー資本主義 と ビッグバン・アプローチ
強欲資本主義の席卷
市場経済への移行は全面的かつ短期間のうちに実現されなければならないとする考え方
頂点同調の日本、なすすべもなくIMFを中心とするアメリカの支配体制の中に組み込まれてしまった。
[ボックス アメリカーナ]

トリプルダウン効果
「富める者が富めば、貧しい者にも自然に富が浸透(トリクルダウン)する」とする政治思想「金持ちを儲けさせれば貧乏人もおこぼれに与れる」と主張することから、「おこぼれ経済」とも通称される。
この流れが閉ざされていることを法化無理したまま 規制緩和が進行し、社会不安・労働の変質が急速に進む



経済成長期からずっと日本経済を支えてきたトリクルダウン効果の枠組み今完全に崩れ去っている。
2000年以降企業収益は国民に還元されず、海外へ流出している
国際企業の原理からは至極当然であり、これに頼っても日本国民の生活は安定化しない
今 頂点同調では生活は守れない 自らの声を挙げよう

トリクルダウン効果の枠組み今完全に崩れ去っており、現在の国際競争力・市場主義を楯に企業・金融優遇の政策では国・国民の復興はなしえない。

震災 & 原発事故から見た日本



頂点同調にまかせると 震災復興の名を借りた 惨事便乗型資本主義の復興が進む危険
淡路阪神地震でも見られた人不在の復興の推進 箱もの〔建物ほか〕・筋もの〔道路ほか〕

もうひとつの経済学 「理念型経済学 -市場主語から国民主語の経済-」の提唱

矛盾を解決することで、成長を生むことで「マネー資本主義に対抗する経済 これらの自立・自給がないと 国際マネーの餌食となる



トリクルダウン効果の枠組み今完全に崩れ去っており、国際競争力・市場主義を楯に企業・金融優遇の政策の中で 国民の閉塞感と不安感はぬぐえない。
国際企業・金融依存から脱し、特に 現日本の社会の自己矛盾を生んできた源 食糧・エネルギー・高齢化〔介護・医療〕の分野で自立してゆく以外に、新しい日本構築の道はない。

- 自給自立型農業の構築
「ゆず」栽培から加工で30億円規模に成長した高知県馬路村
- 自給率数パーセントが市民共同発電など自然・再生可能エネルギーで自給率200パーセントを達成したデンマーク
- 介護・医療は今やビジネス構築の必要な先端産業



「理念型経済学 -市場主語から国民主語の経済-」の構築の実現は可能

矛盾を解決することで、成長を生むことで「マネー資本主義に対抗する経済 これらの自立・自給がないと 国際マネーの餌食となる



- 頂点同調から脱して声をあげよう
- 賢さを伴った勇気を 市場主語から国民主語の経済構築へ

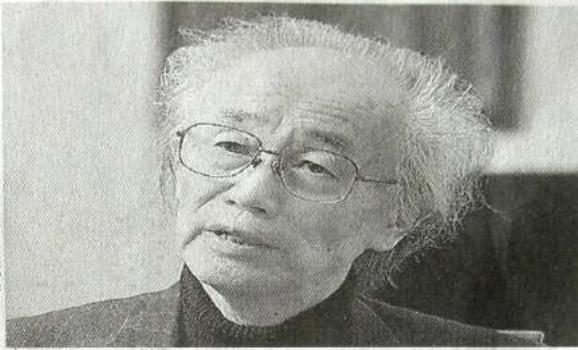
貧困の多数派 歯止めを

経済評論家 内橋 克人さん



—現代日本の問題点はどこにありますか。

「日本社会でも新たな階層が生まれてきている。国民皆年金など基礎的な社会保障からさえも排除された人たちが多数派となる『貧困マジョリティー』だ。グローバル化やマネー資本主義が進み、非正規雇用が増えて中間層が崩壊する社会の到来は、危険な時代への予兆ではないか」
—貧困マジョリティー



うちはし・かつと 1932年生まれ。神戸新聞記者を経て経済評論家。90年代から一貫して市場原理至上主義、新自由主義的改革に警鐘を鳴らしてきた。主な著書に「悪夢のサイクル——ネオリベリズム循環」「共生経済が始まる」など。（相場郁朗撮影）

的に、極めて反射的に、表面的に評価して、選挙権を行使する。大阪市の橋下徹市長の『ハズム現象』も貧困マジョリティーの心情の瞬発力に支えられている面が大きい。『地方公務員は特別待遇を受けている』とバッシングし、閉塞状況下の欲求不満に添えていくやり方だ

「政治に対する閉塞感が国民の方向性を誤らせるということがあります。」

「『政治のリーダーシップ不足』と言われるが、民主政治を基盤とする国でのヒーロー待望論ほど異常なものはない。日本古来の『頂点同調主義』に加え、異議を唱える者を排除する『熱狂的等質化現象』が

「いまの政党政治は一挙に崩れる瀬戸際にある。今年には多くの国で政権交代が起き、政治的に極めて流動化する。グローバル化の流れは変わらぬ、市場原理主義のもとで、貧困マジョリティーを生み出す『貧困の装置化』が進んでいる。消費税増税によって、零細企業や地域経済を支えてきた地場産業は、価格転嫁できず

にコスト引き下げを迫られる。所得税なら稼いだ人がたくさん納めるが、日本型消費税は貧困マジョリティーを増幅させる『貧困の装置化』の手段になる」

「私は新たな基幹産業と『FEC自給圏』を提

定(TPP)についてはどうですか。

「これも同じ。米国の政権が代わっても、米シンクタンクは一貫して『投資の絶対的自由の保障』を求めてきた。日本がTPPに入れば、外資は日本政府を米国の経済法廷に訴えることができる。米企業はオーストラリアでの医薬品への公的補助をさえ『自由市場に反する』と問題視している。日本の国民皆保険制度も目の敵にしているが、これは豊かな人も貧しい人も、ひとたび体を害せば医師にかかることができず、国民的財産、社会的共通資本だ。それが毀損され、一部企業のビジネスチャンスになる。弱いところ社会的変動の影響が収斂する」

「日本の政治は何を目指せばいいですか。」

「『うつつん晴らし政治』ではなく、世界のモデルに目を向け、食糧、介護、エネルギーの自給圏を志向すべきだ。地味でもいいから、グローバル化の中で、それに対抗できる『新たな経済』を作ることが本

当の政治の役割だと思つ

（聞き手・園田耕司）

体となる。『うつつん晴らし政治』の渴望を満たさずとすれば、1930年代の政治が繰り返される。グローバル化が生み出した『貧困ファシズム』の培地となりかねない」

「政治課題は山積しています。」

「政治課題は山積して

「唱えてきた。FはFood s(食糧)。日本の穀物自給率は世界で124番目だが、食糧自給は国の自立条件で新たな産業も形成する。EはEnergy(エネルギー)。再生可能エネルギーとしてデンマークでは風力発電、太陽熱発電を推進し、エネルギー自給率が今では200%近い。日本は国策として原発に集中し、ほかの選択肢を排除した。CはCare(介護)。市場に任せるのではなく、社会による介護自給圏を形成すれば北欧諸国のように強力な産業になる」

「『うつつん晴らし政治』ではなく、世界のモデルに目を向け、食糧、介護、エネルギーの自給圏を志向すべきだ。地味でもいいから、グローバル化の中で、それに対抗できる『新たな経済』を作ることが本

（聞き手・園田耕司）

【From Kobe 2013年 8月】

ひまわりの夏の便り



あまりに多い「想定外・経験したことがない」の風潮

「NHK 朝一番 ビジネス展望 内橋克人氏の『働き方の多様化とは何か』解説」を紹介
日本社会全体に言葉とはうらはら 創造性のない時代 異常気象にだまし絵をダブらせて

2013. 8. 1. by Mutsu Nakanishi from Kobe

一枚の絵が眺める人の心理状態によって 幾通りかの絵に見える絵を「だまし絵」といい、何回がこのだまし絵について触れたことがある。「即物的に見た」といっても その見た人の心理状態によって、見えているものの危うさによく注意せねばならぬと。

先日 高校時代の仲間が自分の研究中の「哲学」についての著書を送ってくれたのですが、そんな難しい本など歯がたためだろうなあ・・・と気楽に読みはじめたのですが、面白い。

「哲学」「心」というのは、「本能」といった一面的なものでなく 人が生きてきた過程の中で
それぞれが作り上げたもの。したがって、「日本人の心」・「日本人の哲学」といっても 複層的なものとして捕らえるべきものだ。欧米の人の考え方も同じだ。

このことを頭に入れて思考することが大切と繰り返し数多くの事例を引いて述べられていた。

難しい内容は別にしてあれあれ・・・と。

「哲学って 揺るぎのない真理というか 確固たるひとつのもの」と思っていたのですが、そんなものか。

難しいものと思っていたのですが、案外私たちの身近な考えの中にあると気楽に思えたのは収穫。

また、「だまし絵」の見方と一緒になあ・・・と。

だまし絵をちらつかせての参議院選挙が終わって、自民党の圧勝。 また、政治の向かう価値観の急転が心配になる。小泉内閣の規制緩和・国際競争・グローバル化で一般庶民を窮地に追いやった人たちが、ブレーンとして復権し、 声高にアベノミックスを叫んでいるのにはもう沢山だと。

「だまし絵」を知っていて「見抜けなかった」と価値観を転換させた言い訳 言い逃れの隠れ蓑として、あまりにも多い「想定外」「経験したことがない」との勝手な納得。

これで物事を済ませてしまう風潮を作り出した人たちでないか……。

言葉の遊びで切り抜けてしまう創造力の欠如が、数を頼み、「スピードだ グローバルだ」と押し進んでゆく。

そんな累々とした失敗が、ここ数十年続き、ものづくり日本の遺産も働きもので勤勉な日本人の特質も見失い、格差の小さい社会もはや過去のものになってしまっ、そこには理念も信念もないセツナに縛られた弱肉強食の競争社会まっしぐらである。だまし討ちに会わぬ創造的な社会形成が今ほど必要なときはない。

「想定外や経験したことがないのは異常気象だけでない」

社会みんなが、そんな言葉で思考を停止していると思える最近の社会状況。

親方日の丸・グローバルな大企業や銀行・金融がわれわれの生活を守ってくれるのだろうか……。

きっちりとしたプログラムを打ちたてて創造的な展開を進めない日本は益々おかしくなるのではないか……

もう楽観的には見ておれぬところでのアベノミックス。「明日はわが身」が迫り来る。

「だまし絵」発想を打ち破らねば……。 さしずめ、それを見抜かねば……と。

そんなおり、7月16日早朝 NHKラジオ 朝一番 ビジネス展望 『働き方の多様化とは何か』

内橋克人さんのビジネス解説 実に明快分かりやすい解説に 私には一番すっと入ってくる話であるになるほどと。

◎ 多様な働き方・雇用・労働の多様化 「働き方の多様化」と「働かせ方の多様化」は違う

◎ 正社員として働くのは「権利」であって、様々な働き方は働く個人それぞれの都合の「選択」だ。

「日本ではこれが、ごっちゃにされて 都合よく使われて、今の厳しい社会状況を生んでいる。

同じように働いても、正社員と非正社員では、単に賃金格差にとどまらず、雇用保険や福利厚生の手厚さの違いなど全般的な格差は極めて大きい。正社員以外の働き方が増える事をもって『働き方の多様化』とするような考え方が、いかに働く人の現実から遠い議論かが、改めて分かるであろう。」と。

内橋克人氏は「『職無くば人間の尊厳もない』働くとはすなわち、人間がどう生きるのかという問題である」と説き、

「 国際競争力をつけるようなグローバル スタンドアードが 非正規雇用を増やすことだとの錯覚を

日本では植えつけられているが、けっしてそんなことはない 」と欧米の具体的な事例をひいて言う。

◎ 例えば、『オランダモデル』の例示

同一労働同一賃金を前提にし、労働時間の長短による差別をなくして、賃金は均等割り。

均等待遇の上に立った長時間労働を正社員と、短時間労働制社員の2種類しか労働は存在しない。

まさにだまし絵のなぞ解き いつもながら 私には一番納得できる筋道である。

今や 技術力・ものづくりが群を抜いているなど幻想に過ぎなくなっている日本。

創造力のない目先だけの金融中心の効率・大量生産・使い捨て経営が日本の物づくり現場を打ち壊してきたのはもう否定できない事実である。もっとほかにやる道はなかったかと自答するのですが……

アベノミックスもまたぞろ そんな反省もないグループの復権に見えて仕方がないのは私だけか??。

皆さんにはどう見えているでしょうか……いずれにせよ、東京中心主義を脱却して 落ち着いた世に早くなってほしいものです。

参考1 昨年10月に全国を対象に実施された『今、日本人はどのような環境で働いているのか』調査ではパート・派遣などの非正規で働く人の数が、2043万人と、初めて2000万人を突破し、雇用全体に占める割合も38.2%、つまりほぼ4割程度に達していると聴く。

◎ 20年前に比べると、非正規で働く人の数は、ほぼ2倍にまで増えている。

◎ 正社員だった人が転職するとその内40%以上が非正規で働かざるを得なくなっている。

◎ 25歳～34歳の若者層では、3人に1人以上の人が非正社員である。

高校や大学を卒業する時の厳しい就職環境を引きずったまま、働き続けざるを得ない。

こんな状況で雇用不安を感じない人たちが……どんなグループだろうか……

政党公約だった非正規雇用をなくす方向は今やどこかで消えてしまっている。これもだまし絵だったのか……

心の病におびえて働く

「職場にばれたらクビかも」

サラリーマンの心の病が増えているのは、長時間労働やリストラへの不安が、働き手をメンタルヘルス（心の健康）の不調に追い込んでいたため。本人によるケアはもちろんで、上司や同僚が周囲の不調のサインを見逃さないことが大事だ。 ▼1面参照

介護施設で働く東京都内の40代男性は2年前、うつ病と診断された。前の職場で、上司から毎日「辞めてくれ」と言われ、同僚のミスも自分のせいとされた。疲れているのに眠れず、毎晩酒をあおった。合所で包丁を握って首にあてているのを、妻が泣きながら止めた。1年間の休職をへて今年3月、会社をやめた。4月に介護スタッフとして再就職したが、いままも精神科に月1回通院し、抗うつ薬を飲んでいる。前の職場で上司から吐かれた場面を思い出し、1日に数回、気分が悪くなる。だが、職場では薬は飲めない。「うつ病の薬を飲んでいることが職場にばれたら、クビになるかもしれない。いつもビクビクして働いて」と語る。

サラリーマンの心の病が増えているのは、バブル経

あなたのストレス度は？

- 非常にたくさん仕事をしなくてはならない
- 時間内に仕事を処理しきれない
- 一生懸命働かなければならない
- かなり注意を集中する必要がある
- 自分の部署内で意見のくい違いがある
- 自分の部署とほかの部署とはうまく合わない



東京医科大「職業性ストレス簡易調査票」から抜粋。中央労働災害防止協会のホームページで自己チェックできる
http://www.jisha.or.jp/web_chk/strs/index.html

済順後の1990年代から指摘する声もある。過去30年ほどの医療保険の利用状況を調べた神戸大学院の山岡順太郎研究員は「心の病の受診は90年代後半から増え、最近10年間で倍増した」と語る。

「自分の心と体との対話を、毎日心がけています」うつ病を抱えながら、NPO法人で働く千葉県の50代男性は語る。発症したのは、出版社で働いていた13年前。担当する雑誌や単行本の数が急に増え、毎日3時間ほど残業していた。帰宅後も仕事のイライラがおさまらず、不眠に悩まされた。病院で「抑うつ状態」と診断され、出版社を辞めた。3年間の自宅療養をほざ

心身の病が増えていることについて、山本晴義・横浜労災病院勤務者メンタルヘルスセンター長は「心の病への理解が広がり、受診の心理的ハードルが低くなった面もある」と分析する。山本センター長によれば、ストレスゼロを目指す、運動や余暇の時間をとくり、ストレスを解消する習慣づくりが大切という。本人が不調に気づかない場合は、上司や同僚が不調のサインを見逃さないことが求められる。（牧昇昇）

7月16日早朝 NHKラジオ朝一番 ビジネス展望

『働き方の多様化とは何か』内橋克人 2013.7.16.

内橋克人さんのビジネス解説 実に明快分かりやすい解説に私には一番すっと入ってくる話になるほどと。

- ◎ 多様な働き方・雇用・労働の多様化「働き方の多様化」と「働かせ方の多様化」は違う
- ◎ 正社員として働くのは「権利」であって、様々な働き方は働く個人それぞれの都合の「選択」だ。「日本ではこれが、ごっちゃにされて 都合よく使われて、今の厳しい社会状況を生んでいる。同じように働いても、正社員と非正社員では、単に賃金格差にとどまらず、雇用保険や福利厚生の手厚さの違いなど全般的な格差は極めて大きい。正社員以外の働き方が増える事をもって『働き方の多様化』とするような考え方が、いかに働く人の現実から遠い議論かが、改めて分かるであろう。」と。

内橋克人氏は「『職無くば人間の尊厳もない』働くとはすなわち、人間がどう生きるのかという問題である」と説き、

「国際競争力をつけるようなグローバルスタンダードが非正規雇用を増やすことだとの錯覚を日本では植えつけられているが、けっしてそんなことはない」と

と欧米の具体的な事例をひいて言う。

- ◎ 例えば、『オランダモデル』の例示

同一労働同一賃金を前提にし、労働時間の長短による差別をなくして、賃金は均等割り。均等待遇の上立った長時間労働を正社員と、短時間労働制社員の2種類しか労働は存在しない。

新書 藻谷浩介・NHK 広島取材班

「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-」の紹介

今 日本で一番求められている地域を元気にする

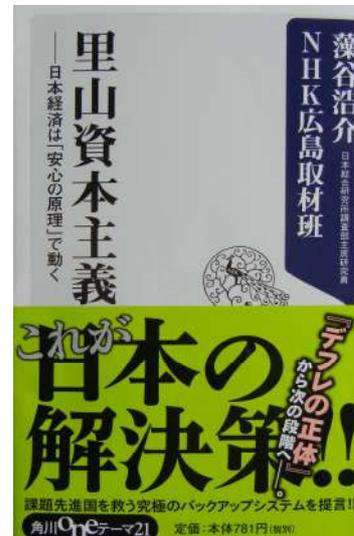
日本再生への道「里山資本主義 & 内橋克人氏の提案する地域自立自給経済圏」創設の実践

2013. 8. 25. By Mutsu Nakanishi

「今 一番素直に自分の頭に入る」社会・経済論として何度か紹介した経済評論家内橋克人氏の論。内橋克人氏の提案する「地域自立自給経済圏」と趣旨をほぼ同じくする「里山資本主義」の具体的な構築論ならびに着々と推進が進む地域実践例が、この文庫本「**里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-**」に記されていたので、ご紹介。

この本では「里山資本主義」の考え方や具体的な実践を「マネー資本主義」と対峙するのでなく、そのサブシステムとして構築推進することで、疲弊・過疎化から地方を再生し、日本経済変革の道が提案されています。

私の一番知りたかった具体的な地域自立自給経済圏の実践例をこの新書 藻谷浩介・NHK 広島取材班「**里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-**」から、整理して紹介。



《内橋克人氏の提案する「地域自立自給経済圏」》

「グローバル化」「国際競争力」錦の御旗に大企業・大都市圏を中心とした中央集権的な「市場原理主義・金融マネー資本主義」「強欲資本主義」に警鐘を鳴らし続け、「市場主義から人間主語へ」の転換を求める内橋克人氏。

日本経済が大量生産・大量消費を前提とした量産効果に依存しているという弱点をいち早く指摘すると共に、「改革」が剥き出しの市場原理主義が社会的費用を弱者に転嫁しかねないと、アメリカ流の聖域なき構造改革に厳しく警鐘を鳴らし、「マネー資本主義」に対抗する自立自給経済圏の創設を提唱する。

この自立自給経済圏とは F (フード) E (エネルギー) C (ケア) をそれぞれの地域で自給する。

食糧・エネルギー・介護を含めた人間関係の自給圏を作り、これらを地域における新しい「基幹産業」にまで発展させて、地域の活性化を実現しようという考え方である。

《内橋克人氏の提案する自立自給経済の創生》

【from Kobe 2012. 1. 1. <http://www.infokkna.com/ironroad/2012htm/walk9/2012nengakobe.pdf> より】

被災地だけでなく 日本の疲弊がますます露わに 人間復興・社会基盤の復興の両立を
「**日本人気質の奥にある頂点同調・熱狂的な等質化から脱して 新しい日本作りに踏み出そう**
もう 気がつこう マスコミが騒ぎ立てる働かせる側の論理から働く人の論理へ
国際マネー主義から脱して 市場主語から人間主語へ

2011年12月18日 NHK BS 内橋克人 100年インタビューより

賢さをともなった勇気を持って 頂点同調主義から脱出 市場主義から人間主語へ
矛盾を解決することで成長を生む「マネー資本主義」に対抗する自立自給経済の創生

日本では新政権が発足しても、「アベノミックス」・「TPP」・「原発の推進」など経済対策・東日本大震災復興事業ひとつをとっても 中央集権的一辺倒の方向は相も変わらず、いまだに大企業・中央中心的なアメリカ流の「マネー資本」一辺倒。「実感のある豊かな生活を実現してくれる」との確信を持つ人がどれだけいるだろうか・・・。

これら施策の果実を取り込んだごく一部のを除き、格差は日増しに増大し、地方の疲弊はますます進み、その中身実

態が次々と垣間見えるにつれ、自衛の道を模索しつつも、無責任な楽観主義と社会不安・無力感の間をさまよっている。

一方、特に震災地域の急速な生活復興や地方疲弊の脱却には 地域内での「マネー循環」が欠かせぬと思えるが、ここでも 地域外へのマネー流出を促す中央集権システムが顔を出しているという。

口で言うのはたやすいが、自立自給経済圏の創設の推進は難しい。なんとか 未来へつながる永続的な推進根業モデルが立ち上がらないと、これも絵に描いた餅になると・・・・・・。

まだ、日本の潮流にはなっていませんが、「マネー資本主義」から脱却した日本再生への新しいアプローチ道 が地方で始まっていることを記した **新書本 藻谷浩介・NHK 広島取材班「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-**」を紹介。ご一読を。

2013. 8. 25. From Kobe by Mutsu Nakanishi

**新書 藻谷浩介・NHK 広島取材班
「 里山資本主義 -日本経済は『安心の原理』で動く- 」
内容 要約**

1. 「里山主義」 (新書「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-」表紙横帯より)

かつて人間が手を入れてきた休眠資産を再利用することで、原価0円からの経済再生、コミュニティ復活を果たす現象。安全保障と地域経済の自立をもたらし、不安・不満・不信のスパイラルを超える。危機を超え未来を生む、すり潰されない生き方の提案として登場。

2. 里山主義による地域自立自給経済圏の実践を進める街の紹介

中国山地の山深いたらの郷 岡山県真庭市と広島県庄原市 (西城)

「里山資本主義」というネーミングに惹き付けられましたが、中国山地奥深い過疎地 岡山県真庭市やすぐ隣の広島県庄原市西城での **1. バイオマス発電を中心とした持続的な地域循環システム取組の話**や **2. 里山の雑木を燃料にした燃料効率のよい「エコストーブ」**が「ストーブ」にとどまらず、原価ゼロの暮らし」のアイデアを次々と生む。電気エネルギー消費の抑制や荒れ果てた農地・農業の再利用など地域自立の道を進める話。

- **真庭市の「バイオマス集積基地化」による地域持続型経済圏の推進**
真庭市の製材企業から出る「原価ゼロの資源」木屑を燃料ペレットに変えて、バイオマス発電・家庭燃料など熱燃料としてペレットを使うことにより、「発電」「製材」「ペレットボイラー」「ペレット生産」など地場産業を興す。
現在 真庭市の消費エネルギーの11%が木のエネルギーでまかなわれ、この数値はさらに上昇中
地域の外へ金が流れ出るエネルギー収支が大幅改善し、地域活性化の源になっている。
- **庄原市西城 燃料効率95%を超える家庭用「エコストーブ」の開発による森林エネルギーによる化石エネルギーからの脱却と原価ゼロ資源利用・里山再発見発想の町づくり**

「バイオマス発電だけでは成立しないだろう」・「都会からやってきた人たちの気楽な田舎生活・スローライフの取り組みがしゃれた空気を街にふきこみはじめたのか・・・」などと懐疑的な目で読み始めたのですがさにあらず。ペレット燃料の徹底的な活用。雑木数本で燃焼するエコストーブの高性能ぶりには目を見張る。都市から供給されねばどうしようもないと思っていたエネルギーがサブシステムとして自立し増加の道をたどっている。

「原価ゼロの暮らしとして 里山を食い物にしよう」というアピール。
この地の森林・製材から大量に出てくる原価ゼロ円の木屑などの資源をエネルギー資源に変える実践取り組みや、食料資源としての里山など、次々と実践アイデアを生みつつ、それが新たな産業・雇用を生んでゆく。
地域内エネルギー自給をめざす取組を軸に地域自立への道とその仕組みが示されてゆく。
過疎を逆手にとつての豊かな暮らしへ展開して行く取組が、行政も動かし、地域を変えてゆく。
外部に頼らずとも、持続的なシステムが着実に地域の中で育ち、地域を自立経済県に変化させ、街を活性化する。
こんな持続的な地域循環のシステムが過疎地に構築でき、地域を帰られる。それも 誰もが斜陽と思っている森・里山の資源を軸に・・・・。外部からの金・産業・インフラを投入せねば地方の過疎化は食い止められぬとの思い込みが一気

に打ち壊され、懐疑的だったのが、吹っ飛んで「こんな継続的なエネルギー地域循環システムができるのだ」と……。

この本では、これらの実践は「世界経済の最先端」だといい、「この中国山地の奥深い過疎に悩む山郷での実践は突発的なものでないという。

江戸時代隆盛を極めたこの中国山地の「たたら製鉄山」では、森・里山の資源を軸とした地域循環型の経済圏が100年以上持続して成立していた」ことを指摘する。そして、自立経済圏構築の継続性には「エネルギーの化石燃料からの転換」そして、「の森・里山のエネルギー資源の活用」に着目した構築がきわめて重要であると説く。

そういえば たたらの里の森林資源ばかりでなく、砂鉄をとるために切り崩した里山の跡地が牧場・棚田となって、鉄山とともに地域経済に寄与していったことなども頭に浮かんでくる。

日本伝統の匠の技術としてしか語られることがなくなった「たたら製鉄」。その仕組みにスポットライトが当てられ、21世紀型の新しい日本再生・「地域循環型自立経済圏」の構築実践モデルとして語られているのがうれしい。

中国山地のたたら郷 真庭市や庄原市（西城） その地域自立型エネルギーシステム構築を軸とした自立経済圏成功体験の底に「たたら製鉄 鉄山」があるという。

3. 海外にもある里山主義による地域自立自給経済圏の国「オーストリア」

オーストリアは日本と同じ急峻な山岳地帯を抱える国ながら、機械化された最先端の林業とペレット燃料を徹底利用したエネルギー政策に取り組む。

中でも国境の町・ギュッシング市では1990年にエネルギーの脱化石化を宣言し、木質バイオマスによる地域冷暖房やコジェネレーション発電によりエネルギー自立を実現させている。

しかし、バイオマス発電・ペレットなどはそもそも 本体の木材利用産業があって、そこからの大量の「原価ゼロ資源の供給」があってこそ成り立つ。

真庭・庄原の例にしても、現状「原価ゼロ資源木屑の供給」には限界があり、更なる広域地域経済圏の構築には「原価ゼロ資源木屑の供給」を可能とする「本体の木材利用」の産業の展開が不可欠。

国を挙げて「バイオマスによるエネルギー自立」を進めるオーストリアでは鉄筋コンクリートの強度に匹敵する建築木材として「集成製材」の利用を推進し、積極的に木造高層建築の推進に取り組む。

直角方向に張り合わせた集成材 CLT（クロス・ラミネイティッド・ティンバー）が無類の強度を発揮し、オーストリアやイギリスでは CLT を利用した 9 階建ての木造高層建築物まで登場しているという。

日本ではセメントが容易に入手できる日本で、今後木材の高層建築物への利用解禁されたとしても 一気に進むかどうかは未知数ではあるが、鉄筋コンクリートに代替できる木材の集成材が登場する時代にもなっている。

《「木質バイオマスでエネルギー自立を実現したオーストリア」の安定な経済 2011 年》

- ・失業率 EU の中で最低の 4.2% ・一人当たりの名目 GDP 49688 ドル（世界 11 位）
- ・対国内投資額 前年比 3.2 倍の 101.6 億ユーロ 対外投資額 前年比 3.8 倍の 219.5 億ユーロ

この安定した経済をささえるのが、里山資本主義。

国を挙げて木材を徹底活用して経済自立することに取組み、その成果が上記の経済安定につながっている。

また、「脱原発」を憲法に記している国でもある。

日本では斜陽とみなされる林業・製材業には大型の先端機械設備などの先端技術が導入され、最新技術が支える先端産業となり、材木関連産業は今や国の重要な輸出産業。都市には木造の高層ビル建設が進み、街には バイオマス発電の電気も併用供給され、家庭には熱効率のよいペレットボイラーがすえつけられ、これらと共に新しい産業と雇用が次々と生まれているという。

- オーストリアの製材メーカー「マイヤーメルンホフ」社では年間 130 立方メートルの木材の供給し、製材・加工からバイオマスまで手がけ、町では熱水パイプラインが通り、年間 6 万トンというペレット工場も持ち、町では ペレットを快適に利用するオートメーションシステムが整っている。
- 「熱効率 90%を超えるペレットボイラー」今ペレットボイラーの普及が急速に進みつつあり、これを軸にバイオマス周辺産業が地場で急速に発展し、多くの雇用も生まれている。
- 森林伐採と永続的森資源の管理

「森林官と森林マイスター制度による徹底した森林保護・伐採の教育と林業実践」により、
 林業は「持続可能な豊かさ」を守る術として バランスの取れた森林の伐採と植林が進む。
 森林はオーストリア有数の外貨の稼ぎ手 木材関連産業で年間 30~40 億ユーロの貿易黒字
 となっている

内陸国オーストリアでは、まだ エネルギー・電力を他国から輸入しているが、上記した木質バイオマスへの国を挙げての取組で、その輸入量も減じる方向にすすみ、「エネルギー自給」目前だという。

4. 里山資本主義に基づく地域循環型経済取組の広がり紹介

地域の価値に気づき 地域に根ざした活動が違った価値を付け、広がってゆく

売れる秘密は「原料を高く買い 人手をかける」 そんなオンリーワン価値も生まれているという

- 山口県周防大島の地場産業の果樹農業を活かしたジャム園の経営
 自分も地域も利益をあげる街に眠るアイデア・技術の掘り起こしによるオンリーワン化のジャム作り
- 高知県大豊町の真庭モデル導入の試み
 高知県は地域収支を見ると林業は黒字なのに製材業は赤字。そしてエネルギーは圧倒的な赤。これを改善する取り組みで地域を掘り起こす。
- 島根県の耕作放棄地を活用した放牧の取組
 食料自給率 39%の日本にひろがる膨大な耕作放棄地 この方基地の活用
 ヨーロッパでは 整然と整備された草場が美しい田舎の景観を作っているのに、日本では雑草生い茂る荒地化が進む。この差はなぜか・・・不思議でしたが、牛の放牧が勝手に荒地を草原に替えてくれることを数年前に知りました。 この島根県の取組も遊休地での自然放牧が新しい価値を生む。
- 島根県邑南町の移住女性による「耕すシェフ」レストラン。
 外へ市場を求めず、地域で食す 楽しみが新しい価値を生む
- 鳥取県八頭町のホンモロコの養殖も耕作放棄地を活用した取組
 遊休地に里山にある水を引いて、商品価値のある「ホンモロコ」を育てる。

5. まとめに変えて 地域収支から見える持続自立型経済圏創設への取組

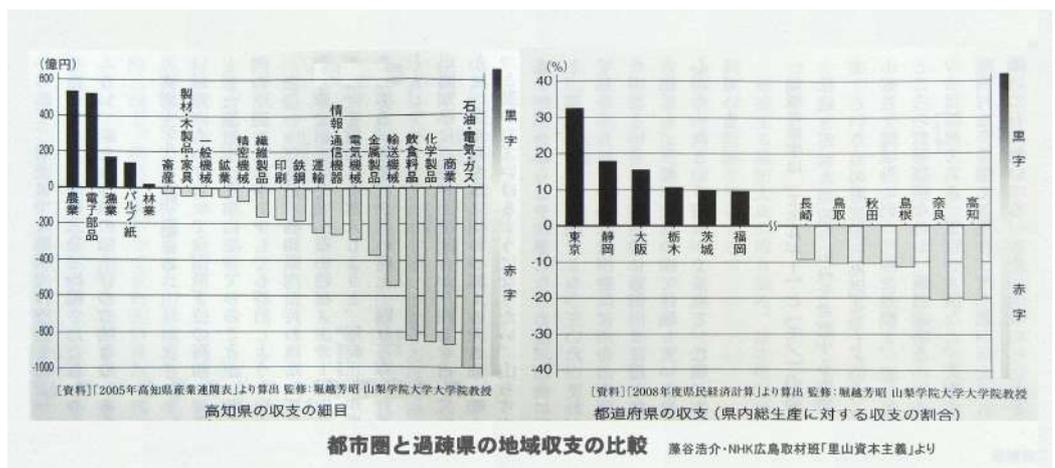
新書「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-」はこの後 下記のような項がつづいている。

- 里山資本主義の延長戦にある「無縁社会」の克服 取組み
- 「スマートシティ」のシステム構築を検討する最先端プロジェクト
 最先端の取組は里山資本主義の取組と驚くほど一致している
- 結び 里山資本主義の爽やかな風が吹き抜ける、2060 年の日本

私の一番興味があった里山資本主義の実践活動の具体的な紹介もほぼ済んだので、今回はここで私の紹介の終わりにしたい。ご興味のある方は ぜひ 「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-」の本で。

この本に書かれた内容は中央集権的「マネー資本主義」に警鐘を鳴らし続け、日本再生・地方再生の道を「自立経済圏創生」であると説く内橋克人氏の経済論と同根・共通で、力強く地方再生の道を進む地域が具体的に示されている。

右の図は「里山資本主義」の本に掲載されていた都市圏と過疎地の地域収支のグラフ。
 都市圏と地方とで、地域収支の差が大きく、しかも 地域自立にはエネルギー・食料の収支改善そして強みとして農業・漁業・林業など地場産業の地域循環型産業



としての新しい取り込み展開視点が重要なことがよく分かる。

これに 今直面している「医療」を加えれば、まさに 内橋勝人氏という食糧・エネルギー・介護を含めた人間関係の自給圏を作り、これらを地域における新しい「基幹産業」に育てる CFE 自給圏の創設そのもの。

今までなにか始めても すぐ国や大企業など中央に飲み込まれてしまいそうで、地方自立の立ち行く道に懐疑的でしたが、具体的な実践取組みが始まり、また、インターネットに書かれている自立取組例の記事を色々読むと地方の行政が、今までの取組とは別に この里山主義の実践取組に気づきはじめ、新しい取組が始まっていることも知りました。

地産・地消さらに地方へ行って 観光・食事そして物産を買う楽しみにも。

ちょっとですが、地域を眺める目が深まりました。

地方が武器を持ち始めて新しい道を展開する。日本の先が明るく見えてくるにうれしい限り。

新しい日本再生の鼓動がそれぞれの特質を生かし、地に足が着いたオープンな取組がいたるところで生まれれば、それが地方分権・地方再生そして東北再生への道へとつながってゆく。

政治家の選挙戦で見る地方分権論とは違う草の根地方分権論でもあると。

また、私の知る山深いたたらりの里の取組みが紹介され、それもこの里山主義が示す地域自立型経済圏として、たたら製鉄の遺産が紹介されていたのもうれしくなって読みました。

そんな新書 また、私の好きな内橋勝人氏の経済論に実践の道がついているのもうれしい。

ぜひ一読を。

2013. 8. 25. from Kobe by Mutsu Nakanishi



中国山地 たたら製鉄 鉄穴流しが作った棚田の景観 右の写真は牛が放牧された休耕田

【参考】

1. From Kobe 2012. 1. 1. 内橋克人氏 100年インタビュー抜粋

被災地だけでなく 日本の疲弊がますます露わに 人間復興・社会基盤の復興の両立を
「日本人气質の奥にある頂点同調・熱狂的な等質化から脱して 新しい日本作りに踏み出そう
もう 気がつこう マスコミが騒ぎ立てる働かせる側の論理から働く人の論理へ
国際マネー主義から脱して 市場主語から人間主語へ

2011年12月18日 NHK BS 内橋克人 100年インタビューより

<http://www.infokkna.com/ironroad/2012htm/walk9/2012nengakobe.pdf>

2. From Kobe 2013年8月 あまりに多い「想定外・経験したことがない」の風潮 創造性の欠如した今の時代に異常気象にだまし絵をダブらせ今一番自分にずっと入る

NHK 朝一番 ビジネス展望 内橋克人氏の解説を紹介

<http://www.infokkna.com/ironroad/2013htm/2013mutsu/fkobe1308.pdf>

【From Kobe 12月】収録

日本の行く先がおもしろい師走

数が頼りの薄っぺらな社会からの脱出へ 若者たちへの思いが募る

こんな思いを代弁して、神戸新聞 内橋克人氏ほかの評論にも

夏日まで飛び出す異常気象の中で迎える師走 なにか無力感ばかりがただよう12月のはじまり。

気象ばかりでなく、世の中の動きまでもがおかしい昨今、

日本はこれからどうなってゆくのだろうか……。

現実に蓋をして、強がりばかり言っても、相手は見向きもしてくれず、ばらまく金もいよいよ底をつく。

想定外では済まされぬ激動の地球環境に国土はぼろぼろ。産業構造は大きく変化し、技術力も技術立国も昔の幻影 国を支え、生産を担う若者の姿もまた幻影。急激に高齢化社会 そして格差社会が進行中。

でも 不平不満の現実に眼をそらし、我が身を守ることに精一杯。

「明日は我が身」におびえながらも、今を追う。付け焼刃の取り繕いの取組ではどうにもならぬ日本の現実。

数が頼りの日本 政企業も官僚も日本の実態・現実をしっかりと見定めよ。

日本はこれから、今成長期を迎える国々とどのように組して行くのだろうか……。

とはいえ ぶつぶつ言っても 所詮 こちらも 打つ手を持たぬ後期高齢者。

成功体験 仲間意識にしがみついて「想定外」「付けを自己責任」と他人に付けを回して知らぬ顔 そんな老害リーダーに興味なし。若者たちの新しい国づくりに託して、若者たちに託す。

11月29日神戸新聞 「針路21」欄に誰にも言えぬそんな思いをすかっと切りだす内橋克人氏の評論が掲載されているので、From Kobe 毎月のぶつぶつに変えて。ご紹介。

皆様には どううつるでしょうか……

来年は新しい若者の時代元年に舵を切ってほしい。

老害者たちは早くリタイアせよとひとりぶつぶつ。

2018. 11. 29. 神戸新聞(1・2面掲載)

「針路21」欄 内橋克人氏評論 整理転載

「安倍外交」の実相

針路21

議員論説委員
内橋 克人



目立つ内外の食い違い

針路21

国を危うくする言い繕い

時の政権にとって「首脳会談」は効果絶大なパフォーマンスの場である。安倍首相とトランプ大統領との会談はすでに一回、ブーナス大統領とは向い合ふ。各国トップと親しげに握手を交わすシーンは国民の目撃できなければならない。「外交の安倍」がより広まる。米国民はトランプの演説に「外交の成否は支持率に響く」との期待がある。また安倍政権で何かが合意されれば、何か合意されれば、会談後に明らかされる面談の発表に違いが生まれる。トランプは「トランプ」をめぐってトランプの会談。北方領土問題、めざすTPPの会談。いづれも直後に明らかされた合意の中身に両首脳間で隔たりがある。それにそれら外交ハフオーマンスには半土庫が用意される。9月末、国連総会後の記者会見でトランプ氏は「日本は世界で最大の防衛費を来週に買おう」と言ったと明かした。が、安倍首相自身は「まだ聞いていない」と第三に国連で重要法案審議中であつた。お構いなく足上げ海外に出向く。経済界首脳との大集會にお供する。「外交の安倍」は何を生んだのか。冷静な態度が求められる時がきている。

国会の首相室に合せて事前、事前に新しい「星」を顔がわり出される。森友・加計問題では公文書管理で捏造された。同じ手法の「裏合わせ」が、閣議録の場で解明すれば、日本という国の信用が揺るがねない。いま話題の「日本通商交渉」への「物品協定」「TAC」なのか、それとも「自由貿易協定」「TPP」を目標とするか、日本側は決まると認認協定と別別別といえる。

前夜には星野元「工業製品とモノ」の輸出入に「関税免除」の原則。いづれかの側面から「輸送、倉庫、通関、サービス」を「法外」に有利にする。通商交渉は「日本側」に有利な決りかたを決めようといふ。27日米朝の首脳会談後からその「指図」した「TPP」の「農産物」10月1日など。A P通信はその日のうちに「TPP交渉で日本側」と報じている。自動車への高関税撤廃の発動がトランプ師アツツ(會)の手裏剣だったといふ。

まずはTAC、次いでTPP。国内世論対策を重視し、とする安倍外交の一段階分断式である。日本側で「食い違いあり」とみせ、その美、ひそかに「合意」が形成されている。農産物の大幅譲歩はもはや既成事実。こうした「食い違い」はブーナス大統領の記者会見においても明らかだった。

「安倍外交」の実相 針路21

空虚な言葉が氾濫する社会 今を感じる違和感を作品に

空虚な言葉が氾濫する社会

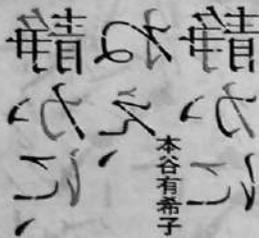
「旅の最中はキャーキャー楽しんでたので、一緒だった友人はショックを受けたみたい」と語る本谷有希子さん



きつかけは昨年、友人と行った海外旅行だった。期待した街の雰囲気と違ふ。友人ともぎくしゃくする。陰湿なムードなのに、スマートフォンで撮った写真は楽しげだ。
「写真を見返しているときに、写らない場面でもポーズとか取って楽しそう。空っぽだっけ分かってるんだけど自分の脳内に快樂物質みたいなものが出ていて楽しい」
2016年2月の芥川賞受賞後、作家の本谷有希子さんは、作家の本谷有希子さん 会員制交流サイト(SNS)
40歳目前のハネケンは友人のヤマコ、づちちゃんとマレーシアに向かう。常にスマホで自分たちを撮影してすぐさま

本谷有希子さん新著

今感じる違和感を作品に



で共有し、一緒にいるのにLINE(ライン)でも話す3人。旅でのちょっとしたトラブルや不快な要素が写真に写り込んだら削除する。深刻な危機が近づいてもラインでのんきに会話するだけ。
「見たくない現実が大きいほど、逃避する力も巨大になる。そのエネルギーを書き込んだ」
SNSに執着する3人とも仕事は不安定で貧しく、年齢も直視しない。ハネケンは「友人と楽しいことをシェアしたり、嫌なことにウケたりすることで、現実を僕ら

なりのいい感じに編集していける」と強がる。痛々しい彼らを本谷さんは執拗に描く。「どこかで自分だと思つて冷やかに罵詈雑言を見ているから、容赦なく突き放して書ける」
ニュースで報じられる、事件や災害で亡くなった人のラインのやりとりへの違和感もヒントになった。「生死に関わる文面でもあつたらかんと明るくて、ネガティブなムードを持ち込ませない。送信の音も間抜けで全てのシリアスを除外する」
それでもラインは多くの人の中心だ。陰のない、明るく空虚な言葉ばかりが氾濫する私たちの社会。誰でも思わず「静かに、ねえ、静かに」と

言いたくなるだろう。収録された3作に共通するのは「持たざる者」のイメージだ。短編「でぶのハッピーバースデー」に登場するのは職を失ったばかりの夫婦。クリスマスパティーのアレセント交換に、夫は「なんの関係があるんだよ?」「そんなことが俺達の人生に」と怒る。滑稽でもの悲しい彼らの姿は、他人の記念日をSNSでのでき見る、私たち自身のいびつさのようだ。
SNSに警鐘を鳴らしたのではなく、社会のありのままを描いたただだと本谷さん。
「私の違和感すら1年後にはまひしていく。少しでもおかしいと感じられるうちに作品にしておきたかった」

文化情報

アジア図書館協会 「あなたも留めてみませんか」ベトナム語一日入門(言葉と文化) 19日19時、大阪市東淀川区淡路5の同図書館。ベトナムからの留学生が増える中、ベトナムを理解するのが狙い。講師はベトナム出身のグエン・ティ・フエン・チャンさん。言葉や文化などを紹介する。1300円。定員20人(要電話予約)。同館 ☎06・6322・1103

ご興味くだされば、上記の記事 記サイトにもありますので 拡大してご覧ください。

Kobe 2021 11月から師走へ 深まりゆく秋 神戸便り】

深まり行く秋から冬へ 神戸の便り

2021.11.20.

収録 ポストコロナの時代の模索が始まっています

我々一人一人 今何をすべきなのか.....



コロナ禍も収束の兆しの中 神戸秋の便りをと思いながら、もう師走の足音がすぐそこに。
随分おくれていますが、遅ればせながら 深まりゆく2021神戸の秋便り



紅葉した神戸わが町須磨 若草の丘・横尾道・名谷・妙法寺周辺で 2021.11.20.

神戸の街・山も真っ赤に色づき一機に秋色に。丘を真っ白にして野路菊の花が咲いて秋送り
コロナ禍も何とか収束の兆しが見えてきました コロナ収束はみんなの願い
はやく日常の生活を取り戻したいと気分も新た
前向いて!! と自らを奮い立たせています。

新型コロナウイルスワクチンの接種を2回終えた人の割合が人口の5割を超えコロナ禍も収束の兆し
緊急事態宣言も解かれ、街には少し活気が戻ってきた 11月街路樹が色付き、街角にはほのかに金木犀の香りが
漂い、気持ちも新た。

緊急事態宣言解除と共に With コロナ・ポストコロナの時代への動きも急加速
遅れに遅れたホームページ更新 神戸秋の便りを早くと思いながらも、もう師走の足音がすぐそこに。

特にトピックスありませんが、衆議院選挙・政権も交代。

毎日聞くコロナ感染者数も急減し、医療崩壊も何とか着実に緩和の方向。

まだまだ油断はできませんが、コロナ収束への道がチラチラと。

ホッと一息ですが、日本も世界もそして 巷の空気も一変して、「with コロナ・ポストコロナ」の言葉とともに、
抜き差しならなくなっている地球温暖化の歯止め 低炭素社会実現への舵を切る。

このコロナによる命の危険とともに日常生活・経済・雇用が混乱している中で、すべて同時進行で勧めねばならぬ
激動の時代の到来。まさに転換点。

なにか時代の転換点にいるとの予感。常に頭に重苦しくのしかかっている閉塞感・不安感がこれだ。

もう自分の時代ではないと感じることも多いのですが、とにかく 生き延びてゆかねばならぬ。他人任せに出来
ない田舎で、ひとりでは何も出来ない焦り。

仲間みんなでスクラムくんで この激動の時代 前向いて、元気に生き延びねばと。
遅れに遅れたこの秋の神戸の秋便り。
皆さんにどう写っているかわかりませんが、思いつくまま 勝手な秋日よりです。



西六甲山上の縦走路から眺めた神戸の街・大阪湾の景観

平成 30 年間の時代を振り返って 平成 30 年の春 小林喜光氏の指摘

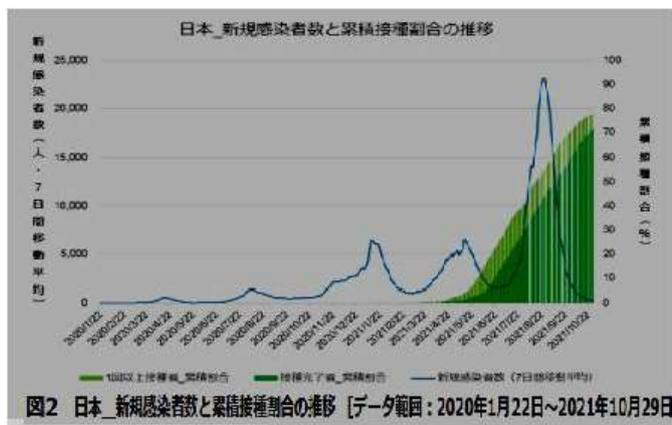
「国家の未来図が描かれないうままの政治

日本は心地よいゆでガエル状態 カエルはいずれ煮え上がる」

コロナ禍の中で見えてきた日本の状況はなにも変わっていない

今もそんな言葉が日本にも当てはまる

このコロナ禍の中で 今一度 この小林喜光氏の指摘を噛み締めよう



コロナ禍も収束の兆しの中 コロナ収束はみんなの願い はやく日常の生活を取り戻したいと

この間衆議院選挙もあり、菅内閣から岸田内閣へ政権も交代。

でも なんともしえぬこの一票の軽さ。どんどん取り残されていると感じるやり場のない無力感

緊急事態宣言解除後も状況は大幅に改善 落ち着いた推移に新感染者数そして重症患者数も激減へ

医療崩壊が叫ばれた医療現場もほっと一息 でも欧米や韓国では第6波流行の兆しも・

落油断大敵 一機に緩めるわけに行かないが、落ち着いている今だからこそ、第6波への備えも含め、やるべきことを具体的にみんなが取り組まねばならぬ時代に。

また地球規模でみんなが取り組まねばならぬ低炭素社会実現のアプローチも待たなし。

同時並行で、手を緩めるわけにゆかぬこの激動の荒波。

やること・思いはひとそれぞれ でもあなた任せではどうにもならぬ。 我が身に必ず降りかかる。

さあ どうすれば よいのか.....

with コロナとともに 保健所・医療現場の改善・日常生活・経済の再構築

言葉は判るのですか またそろ 中身が全く見えぬ状況が腹立たしい。

理由は明確ではないが、急激に新規患者数・重症患者数も激減。

医療崩壊と言われた病床逼迫の事態も大きく解消され、11月にはいっても全国的に第6波の兆しもなく、穏やかな感染推移が続いている。この急激なコロナ患者数激減の理由は色々言われるが、明確な理由はわかっていない。

一方世界を眺めるとヨーロッパ・韓国など第六波が始まっており、日本でも気を許せぬ状況が垣間見えるが、厳しい自己行動規制や度重なる緊急事態宣言規制で、ずたずたになった日々の生活・経済・雇用の再建も急務。

with コロナ コロナ対策と経済の再建が声高に叫ばれているが、

その実 全く中身が見えない政治。

なんでもかんでも ほうかむりの仲間政治から脱却しないと

それこそ日本は国際社会から見放され、最貧国へ成り下がる。

実例で言えば、いまや 日本は韓国だけでなく東南アジアの各国にも負ける所得水準に。

先進国が軒並み所得水準を 2.5 倍にのばしている中 日本のみが所得水準が伸びていない。

韓国や東南アジア諸国もまた軒並み所得水準をのばしているのに・・・・・・・・

日本人だけが未だにそれを認識していない。

ぐるりと回りを見渡し、何も変わらぬホッとするが、

最近は何にか おかしいぞと感ずることも多々垣間見える。

2019年3月掲載の小林喜光氏の指摘した「心地よい、ゆでガエル状態」の言葉が頭をよぎる

◎ 2019年3月に掲載紹介した小林喜光氏の指摘状態が今も続いている現状

経済同友会代表幹事 小林喜光氏 <インタビュー>記事 転記ご紹介

「平成の30年間、日本は敗北の時代だった 敗北日本、生き残れるか

<https://www.infokkna.com/ironroad/2019htm/2019mutsu/fkobe1903kobayashi.pdf>

小林氏はこう指摘する

心地よい、ゆでガエル状態なんですよ。

日本全体は挫折状態にあるのに、挫折と感ずない。この辺でいいやと思っているうちに

世界は激変して 米中などの後塵を拝しているのに、自覚もできない。

カエルはいずれ煮え上がるでしょう

● 国家の未来図が描かれないままの政治が与野党含めて続いてしまったためです。

今さえよければ、自分さえよければ、という本音の中で、国民も政治家も生きてきた。

周りが敵ばかりのイスラエルや、覇権を維持するためには科学を前に進めなくてはならない

米国などと違い、皆で楽しく生きていきましょうという空気を取り巻いて敗北を自覚しない。

運動会で「みんな一緒にテープを切りましょう」と競争自体を忌み嫌った時期もあった国だから

無理もない

安倍政権が残した功罪は極めて大きい。

仲間・お友達政権 国際競争・働き方改革と称した大企業偏重の非正規労働の推進が中間層をなくし、

格差助長をまねき、今の社会全体をおおう閉塞・不安社会を作り出した。

まさに「心地よいゆでガエル」状況を演出。それが管政権にひきつかれてきた、

新しい岸田内閣も with コロナ コロナ対策と経済の再建が声高に叫ぶが、旧態依然 同じ体質か???

後手後手のコロナ対策が誰の眼にもミエミエだったのに、

それを教訓とした具体的な施策が組み込まれず、

またぞろ バラマキ実効性のない丸投げ対応が続く。 バラマキは即効でなければ・・・・・・・・

脱炭素社会・新しい産業創生と地域産業育成と大企業乗っかりの口先だけではどうにもならぬ。

激動の with からポストコロナへ そしてもう抜き差しならぬ脱炭素社会で生き抜かねばならぬ日本

もう老害の政治・経済のリーダーたちや TV ニュースに期待無し。

早くリタイヤ願いたい。

若者たちは心地よいゆでガエル状態から目を覚まし、現状打破へ立ち向かえと

想いは人それぞれ でも地球時代を生きる激動の今の時代

小林喜光氏の言葉をもう一度噛み締めてみたい

高度成長をもたらした田中列島改造論・池田所得倍増論の時代・安楽に立ち向かった学生運動の時代

なにかそんな熱気溢れた時代の空気も懐かしい。

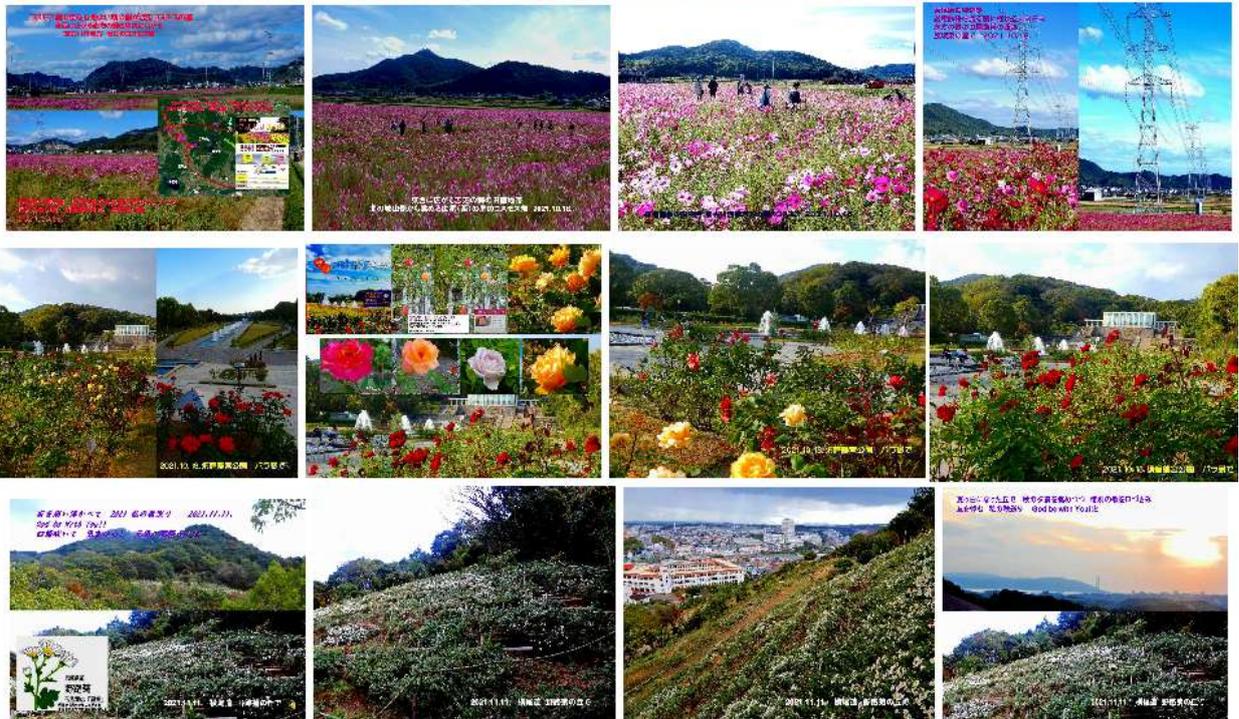
勝手な放言お許しください。でも、後期高齢者の仲間入りして 見る世間も本当に狭くなりましたが、確実に激動の時代はやって来る。

孤立せず あなた任せにせず スクラム組んで頑張らねばと

西神戸・東播磨 秋の風物詩 2021

深まりゆく秋の花だより コスモス・秋のバラ・山腹を真っ白に染める野路菊

あまり良い出来ではありませんが、毎年ずっと掲載してきた西神戸・東播磨の秋の風物詩の花だより
ずっと動けずいたので元気に動き出したことに、思いはひとしお
コロナ禍の中 ホツと骨休め 街を離れて心地よい秋の風を感じながらの神戸の秋の花巡り



足骨折で歩けなかった夏 そして思い出いっぱいのお秋 お許しください

深まりゆく秋 10月18日コスモス満開の報に加古川西岸 里山に広がる田園地帯へ
久しぶりの原チャリ駆けての加古川市志方のコスモス畑へ

西神戸から東播磨の田園秋の風物詩 心地よい秋風にそよぐコスモスに 今年も出会ってきました。

前回最低点だった免許更新の認知症検査も仲間に教えてもらった虎の巻で無事クリアー。

バイクにもまだ乗れるぞと。

忘れかけていた小林旭の歌が聞きたくなくて 小林バージョンのBGM Bも作って 愉しんでいます。

また、足踵骨折退院して約3ヶ月 近くの横尾道や山麓バイパス沿いの丘の散策路など足慣らしの walk でやっと坂道もok。日常生活には困らぬ状況に。

11.13.には 青な空キラキラ光る須磨の海 約15000歩ほどの山歩き walk。

須磨 高倉山-鉄拐山-旗振山 山上の散歩道を歩きました。

まだ長く歩くと少しアキレス腱が痛みますが、やっと山歩きができる状況に。

根っからの風来坊

まだまだ足も動くし、好奇心旺盛 仲間にも出会いたい。

また、一つ 嬉しい日常を取り戻せました。

本当に随分長かった・・・・。今後とも よろしくおねがいします。

2021.11.20. From Kobe Mutsu Nakanishi

2021 私の秋送り 友を想い浮かべて 横尾山 山腹を真っ白にして咲く野路菊 2021.11.11.

11月の半ば横尾山山腹にノジギクの花が咲きだすと丘に登り、
逝ってしまった仲間 先輩諸氏 知人を思い浮かべつつ、友を悼んでいっときを過ごす
今年はコロナ禍の中 想いはひとしお



■ 脱炭素社会についての新聞やインターネット記事もずいぶん多く掲載されるようになりました。

今回は整理掲載出来ていませんが、お許しください。

ポスト Corona の時代への始動 もうタイムリミットに来ている脱炭素社会構築の激動の時代
其中で、日本はどうなるのか 掛け声ばかりで、具体的な実践ロードマップやマイルストーンがなくて
取組現況がブラックボックスの計画など幾つぶち上げて意味がない。

「安全・安心・持続可能」と最後につければ、何でもかんでも具体的な説明責任を果たしたと人にもいる。
一昔前の「IT・AI」と同じで、あまりにも付け焼刃。 胸には「持続可能な開発目標 (SDGs)」のバッジが躍っている。
原料から製品まで流通販売までトータルとしての脱炭素社会構築はあなた任せの記事も多い。

気になるエネルギー源の根幹を担っている石炭火力発電や鉄鋼生産プロセスにおける脱炭素技術の取組。
脱炭素せねばならぬ量が多だけに、一期にとは行かず、減炭素量の取組との評価で 目に触れぬことも多い。
また 原子力の安全性も本当にどうにもならぬのか。。。。。

これらの分野で今取組んでいる地道な脱炭素・炭素排出低減の技術が成功すれば、
軽減できる炭素量が多だけに世界の脱炭素社会構築にも大きな役割を演じることができる。
今回も幾つか眼にしましたが、まとめられませんでした。

また、日本やアジアとヨーロッパ・アメリカの取組に大きな相違 温度差を感じています。

最近 それに着目した記事も出回りだした。

地域に存在する事情を直視しないで、何でもかんでも西欧ではうまくゆかぬ現実にも着目せねばと。

そんな鉄鋼・電力・原子力の取り組みにも目を向けて フォローしたいと思っています。

2021.11.20. Mutsu Nakanishi

真っ青な空 キラキラ光る須磨の海 須磨 高倉山-鉄拐山-旗振山 山上の散歩道 2021.11.13.



西六甲山上の縦走路から眺めた神戸の街・大阪湾の景観



眼下に広がる須磨浦から神戸の街 旗振山山頂より 2021.11.13.

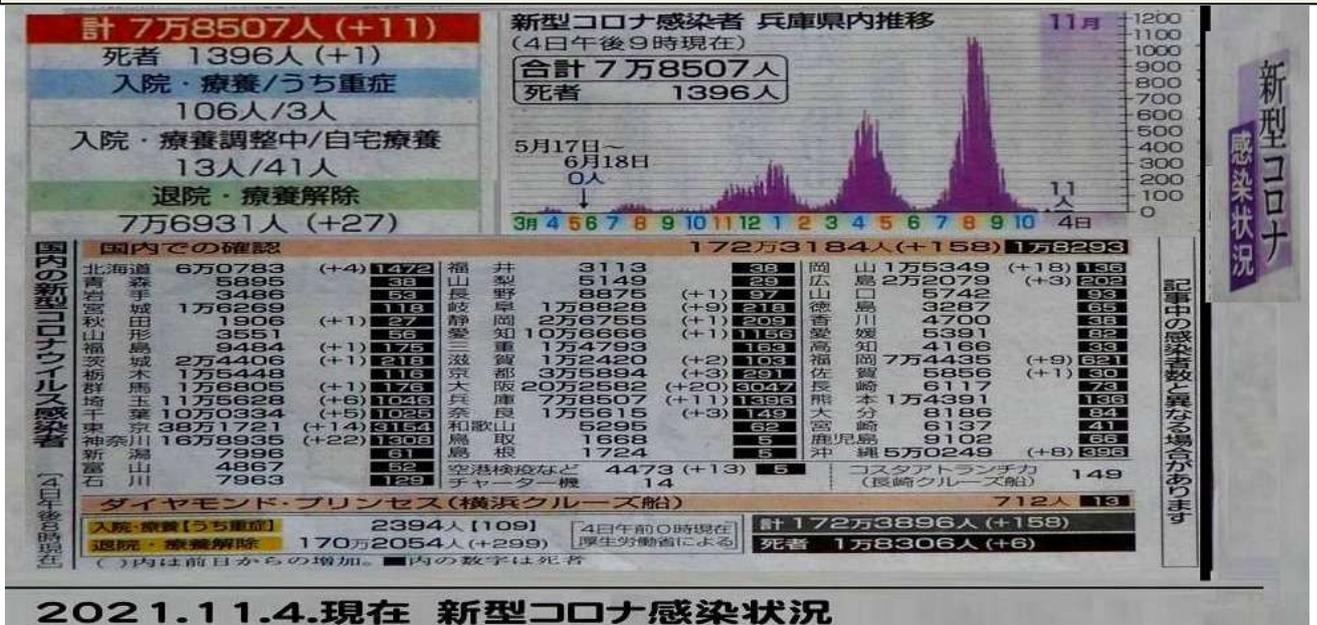


2021.11.13. 秋の夕暮れはつるべ落とし 高倉山から眺める夕日



2021.11.13. 群生するウバメガシの樹林の中の縦走路
メケ井より 出雲いかつたウバメガシの樹

From Kobe 11月・12月初旬 深まり行く秋から冬へ 神戸の便り
 収録 ポストコロナの時代の模索が始まっています 今何をすべきか
 我々一人一人は今何を・・・ 気になった11月の新聞・インターネット記事より



2021.11.4.現在 新型コロナウイルス感染状況

緊急事態宣言解除後も状況は大幅に改善 落ち着いた推移に新感染者数 そして重症患者数も激減へ
 医療崩壊が叫ばれた医療現場もほっと一息 でも欧米や韓国では第6波流行の兆しも・・・
 落油断大敵 一機に緩めるわけに行かないが、落ち着いている今、やるべきことを具体的に
 保健所・医療現場の改善・日常生活・経済の再構築へ
 日本の弱点 コロナ禍のに医療崩壊・コロナ施策で見た利発的対策の破綻の数々。
 本当に日本の指導層・社会組織は我々一人一人に寄り添ってくれせるのだろうか・・・・・・
 明日は我が身の不安がついてまわる。裏と表で済まされては困る数々。
 カッコいい言葉でその実 非正規の闇を無制限に広げてきた今の日本社会
 当事者意識と実践の弱い硬直化した社会・経済指導層の若返り展開の中で、疲弊した日本の社会を立て直す基本は
 安定した雇用を軸にした社会構築を進めねば、日本は国際社会からも置いてきぼりになるだろう。
 あまりにも現実を直視しない日本の社会。 コロナ禍で見た現実には蓋をしてはならないと思います。
 ◎ 「無症状に4人に1人が肺炎に」 和歌山県の追跡調査で極めてクリアーになった
 自宅待機・ホテル隔離の 現実

“無症状の4人に1人が肺炎に” コロナ感染者を追跡調査 和歌山

2021年10月29日 15時49分

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20211029/k10013326721000.html>

新型コロナウイルスの陽性者をすべて入院させる措置をとっている和歌山県が第5波までの県内の感染者5000人余りを追跡調査した結果、検査の時点で無症状だった人の4人に1人がその後、肺炎になっていたことがわかりました。
 県は無症状でも容体の変化に早期に対応できる態勢づくりが必要だとしています。
 和歌山県は新型コロナウイルスの陽性者に対して全国で唯一全員を入院させる措置を続けていて、第5波までに県内の病院に入院した5169人の追跡調査を行いました。
その結果、
 検査の時点で無症状だった人は1199人いましたが、このうち4人に1人に当たる331人がその後容体が悪化し、肺炎と診断されていたことがわかりました。
 さらに肺炎になった人のうち76人は酸素の投与が必要となるなど中等症以上で、20人が死亡したということです。
 県は変異ウイルスの影響などもあり当初は無症状でも容体が急速に悪化する危険性が示されたとして、容体の変化を早期に発見し対応できる態勢作りが必要だとしています。

2021年10月29日 NHK ニュースより

コロナ対策を統括する和歌山県の野尻孝子技監は「これから想定される6波に向けて診断時に無症状だからと油断せず、患者の重症化と感染拡大を防ぐため早い段階から保健所や医療が関わっていくことが重要だ」と話しています。



「症状の変化を把握できる態勢づくりなどが必要」

和歌山県は全国で唯一新型コロナウイルスの陽性者をすべて入院させる措置を続けていて、無症状や軽症者を含めたすべての患者について病状の変化を追跡したデータを感染対策に活用しています。



今回の結果について和歌山県の野尻孝子技監は「最初に無症状でもそのまま経過するわけではなく5日から1週間で肺炎を合併して急に悪くなる。そういうことがあるので安心はできないということが網羅的なデータから浮かび上がってきた」と話しています。

そのうえで検査の際に無症状で自宅療養となった場合でも症状が悪化することを想定し、感染者側からの訴えを待つのではなく保健所側からも積極的に感染者に接触して、症状の変化を把握できる態勢づくりやコロナ病床の拡充を進める必要があると指摘しました。

また第6波に向けた注意点として、

野尻技監は「ワクチンを2回接種した人が増えると無症状者や軽症の陽性者が増える可能性がある。無症状の人から医療機関や高齢者施設に持ち込まれて集団感染が起きるリスクも見据えて対応していくべきだ」と、注意を呼びかけています
インターネットより採取

◎

折しも、アメリカ バイデン政権は「インフラ整備に8年間で220兆円投入の計画発表」

ポストコロナの社会の経済の他立て直しに莫大な金をつぎ込み、全米州の基本インフラの整備を main 政策として打ち出した。

新しい産業を起こす基本インフラ整備と全米での雇用巻き起こし政策と見える。すごい規模だ。

バイデン政権は3月に新型コロナウイルスに対応した200兆円規模の経済対策を成立させていて

今回は第2弾の大規模な財政出動。

他国でも.....

一方 日本では 未だに掛け声・丸投げの脱炭素社会とバラマキの財政出動政治の構図が続いている。

あなた任せの構図が頭に浮かぶ。

コロナが落ち着いている今だからこそ、しっかりと検証し、展開せねばならぬ。

ポストコロナで見落としてはならぬ具体的な検討視点とみえるのですが.....

誰もが こそこそ言ってきたことが、オープンにされた。

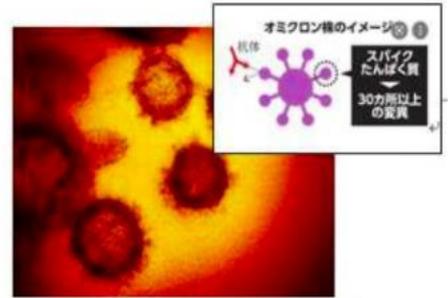
今しっかりと前向きの展開議論をせねばと思う。

2021.11.1. From Kobe Mutsu Nakanishi

正平調

所用でタクシーに乗った。運転手さんの声は心なしか弾んでいるようだ。新型コロナウイルスの感染者が激減していることに触れて「これがあと1週間続いたら、もう大丈夫やね」◆ちよつとじんときた。このまま取まるかも...そんな期待のはかなさを運転手さんだつて知らぬわけはない。恐らくは感染者の増一減に目を凝らし、日々を過ごしておられるのだろう。「大丈夫」と祈りながら◆それにしても、なんでこんなに減ったのか。ワクチン接種が進んだから。マスク着用など基本対策のおかげ。ウイルスの感染力が弱まった。謎の周期性。いろいろ理由は語られるが、本当のところは分からない◆「小春日和」。時候の言葉が浮かぶ。気象解説者、倉嶋厚さんの本によれば昔は「冬の愛想」といわれたそう。しばしの春を思わせる今ごろの穏やかな天気は、寒い冬からのささやかな贈り物でもあったらしい◆政府はきのう、「コロナ」第6波「対策をまとめた。3回目のワクチン接種のほか、重症化を抑える飲み薬をできるだけ早く、多く確保し、入院病床も増やすという。現場で働く人たちの手当ても手厚く願いたい◆小春のうちに備えを急ぎ、冬の風を抜ければきっと本当の春が見えてくる。過去の失敗は、繰り返すまい。」

2021.11.13



2021 年総括本年を振り返って



Merry Christmas!! 2021

2 みんなでスクラム組んで コロナ収束まで もうひとふんばり
みんなの 笑顔が取り戻せるよう 明日への思いを託して

和鉄の道 HP お付き合いありがとうございます。来年もよろしく
God be with You!! も口癖に ポストコロナ 激動の変革の時代へ
来年が平和で穏やかな年でありますよう 祈っています

By Mutsu Nakanishi From Kobe



新型コロナウイルスの猛威が止まらぬ師走 収束の道はみんなの願い

Merry Christmas!!

コロナ禍で 感じた命の危険 砕かれた希望・夢そして平和な暮らし
みんなでスクラム組んで がんばろう神戸! がんばろう日本!!
Lovely 笑顔を取り戻せるよう 明日への思いを託して

Merry Christmas !! God be with You!! 2021クリスマスに
2021.12. 25. Mutsu Nakanishi From Kobe

高齢化が進む中で迎える「ポストコロナ・低炭素社会構築」
大変革の新時代 幕開け

みんながみんな穏やかな暮らしが実現できるよう
みんなでスクラム組んで 新しい時代へ 第一歩 前向いて

政治家・マスコミの掛け声は心地よいが、
我が身に降りかかる過酷な産業・経済・社会の大変革時代の幕開け
令和の産業革命の新時代
どうすればよいのか 人任せではどうにもならぬ厳しい新時代 立ち位置をしっかりと

◎ 世界がこぞって舵を切る カーボン ニュートラル50 実現は切実な願い
地球暴走の歯止め CO2増加をみんなの力で止めよう

掛け声は心地よいが、我が身に降りかかる産業・経済・社会の大変革
今CO2 増加を食い止めねば地球は暴走 人類破滅の危機 生きとし生けるものみんなに
もう後戻りできぬターニング ポイントに直面している今
「持続可能な開発目標 (SDGs・「カーボン イーブン50」)の達成が今世界の最大課題
気候変動による激甚災害に 歯止めをかけて 持続可能な低炭素社会の実現へ
また CO2排出量の多い大型高炉操業を続けてきた日本の鉄鋼業は生き残れるだろうか・・・

◎ コロナ禍で寸断された日常生活・雇用 経済の再建
みんながみんな 命の危機に直面したコロナ禍

やっとみんなの自己行動節制・ワクチン接種等々でコロナ収束へ
ほっとしたのもつかの間 世界はイプシロン変異株が猛威を振るう第6波が大流行
検疫強化で遅延されてきた日本も ついに今 市中感染が見つかり、流行化の危機
までのコロナより、感染力は数倍の感染力のイプシロン変異株
高齢者には厳しい。

でも コロナ禍2年を乗り越えた経験・医療従事者の懸命なネットワーク
そしてワクチン投与もある

みんなの力で第6波を食い止め、取り戻そう 穏やかな日常を

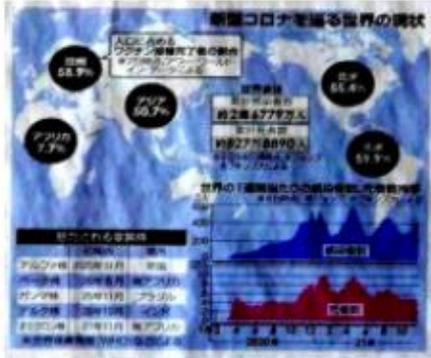
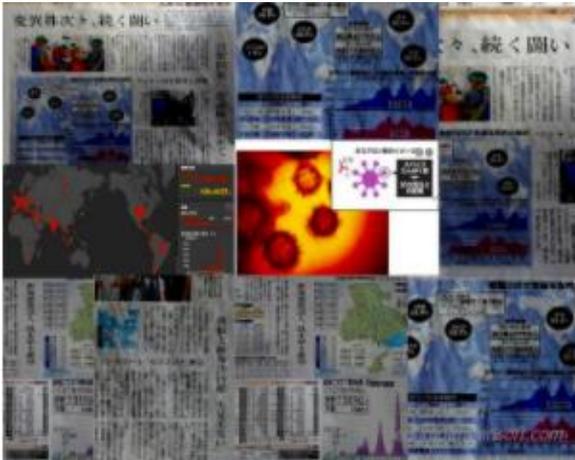
今年一年 いろんな思いが駆け巡る師走です

1. 今 みんながみんな 取り組まねばならぬ課題 2021年総括本年を振り返って

みんなの力で第6波を食い止め、取り戻そう 穏やかな日常を

やっとみんなの自己行動節制・ワクチン接種等々でコロナ収束へ ほっとしたのも つかの間

世界で猛威を振るうイプシロン変異株 ついに今日本でも市中感染が見つかり、流行化の危機



4:52 経済2021年4月号

オミクロン株

実効再生産数 **デルタ株の約4倍** (推定)

ワクチン2回接種しても 感染を防ぐ効果が著しく低下



検疫で稼いだ時間、問われる第6波 オミクロン株市中感染

22日、新型コロナウイルスの変異株「オミクロン株」の市中感染が国内で初めて確認された。従来のデルタ株などと比べ、感染力が強いとみられるオミクロン株。今後、欧米のように拡大し、感染「第6波」の到来も懸念される。その日に備え、保健所や病院は状況を注視している。◇在宅医療強化の必要性指摘

オミクロン株初の市中感染

大阪の3人、渡航歴なし

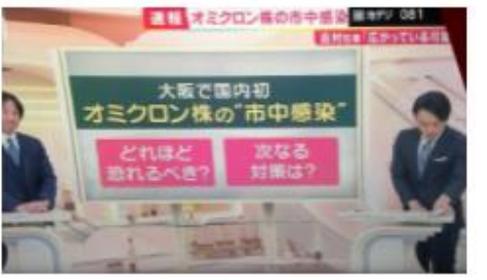
兵庫県、会食人数制限せず

大阪府、卓4人以内を延長

12月23日 本曜日

KANJU

白たまみりん



「持続可能な開発目標(SDGs)・「カーボン イープン 50」の達成が今世界の最大課題

気候変動による激甚災害に歯止めをかけて 持続可能な低炭素社会の実現へ
最近では産業界の命運を駆けて、業界具体的な取組展開現況発表化が相次いでいる

参考 1 和鉄の道 2月 政府が策定した「2050年カーボンニュートラル政府脱炭素社会を目指 14 重点項目」



参考 2 【動画】先行する欧州の化石燃料を使わぬ鉄鋼生産 インターネット Bloomberg home page より

SSAB スウェーデンスチール(株)ほか鉄鋼三社の共同プロジェクト

<https://www.bloomberg.co.jp/news/videos/2021-11-24/R32DADTOG1KW01>

This block features several key elements:

- NIPPON STEEL zero carbon initiative:** A logo and introductory text for the Japanese steelmaker's decarbonization efforts.
- Coal 2021:** A video thumbnail from IEA discussing the future of coal in the energy sector.
- Hybrid Hydrogen Tank (High Pressure + MH):** A technical diagram and video thumbnail for a hydrogen storage technology developed by Sumitomo Heavy Industries (SHI).
- GE日立がカナダで受注、「小型炉子炉」が世界から注目を集めるワケ:** A news snippet about GE Hitachi's order for a small modular reactor (SMR) in Canada.
- 鉄鋼業の脱炭素化: 2050年脱炭素化に向け、さらに加速を:** A detailed infographic and text block discussing the steel industry's path to net-zero by 2050. It mentions that Japan's steel industry aims to reduce CO2 emissions by 30% through projects like COLFES20.
- 水素還元によるCO2の削減・材料によってCO2の30%削減を目指すプロジェクトの進展高呼:** A headline about the COLFES20 project, which aims to reduce CO2 emissions by 30% using hydrogen reduction.
- 水素還元による鉄鋼製造:** A diagram showing the process of hydrogen-based steel production, highlighting the reduction of CO2 emissions compared to traditional blast furnace methods.

2. 2021年総括 コロナ禍の中で home page 和鉄の道・Iron Road を振り返って

今日は目まぐるしく変わる天候とともに 西風我吹き荒れ 師走らしい厳しい寒さの神戸です。
神戸では例年12付きの風物詩、光のルミナリエが今年も中止され、寂しい限りですが、
やっと新型コロナも収束の落ち着いた動き。コロナ変異株「オミクロン」の流行の兆しはアルもののホット一息。
街もやっと明るさが戻りつつあります。油断大敵 マスクと行動の自己規制はかかせませんが・・・
本年も勝手な風来坊「和鉄の道・Iron Road」にお付き合いいただきありがとうございました。
また 一年 相変わらずですが、コロナ禍の中 “God be with You!!” の言葉とともに
あっという間に1年が過ぎてゆく。つくづく日が経つのが早く感じる歳になったと。

新型コロナ収束に向かいホッとしていましたが、新たな変異株（オミクロン株）流行の兆し。
まだまだ 気を緩めることなく頑張らねばと。 本当に我が身命の危険を身近に感じた一年でした。
早く穏やかな暮らしを取り戻せるようにと願っています。

振り返ってみれば 本当に色々あった一年、
home Page の中味も神戸籠もりの中で、厳しいコロナ禍の中で なんとか明るく前向いて。
世は情報があふれるデジタル時代 電話も会合もネットでしかも見られる情報社会。
でも はっと気がついてみれば、みんな仮想現実・非日常。 みんな今までと変わらぬというのですが、
自分ひとりが取り残されているとの不安感。

今ほど顔を突き合わせ、お互い生の会話のできるありがたさを感じたことはなし。 仲間に出会いたいなあと。
そんな中、温暖化による地球環境の激変化が切実・身近に 我が身に降りかかるようになって、待たなし。
避けることの出来ない脱炭素社会構築へ全世界が舵を切る。

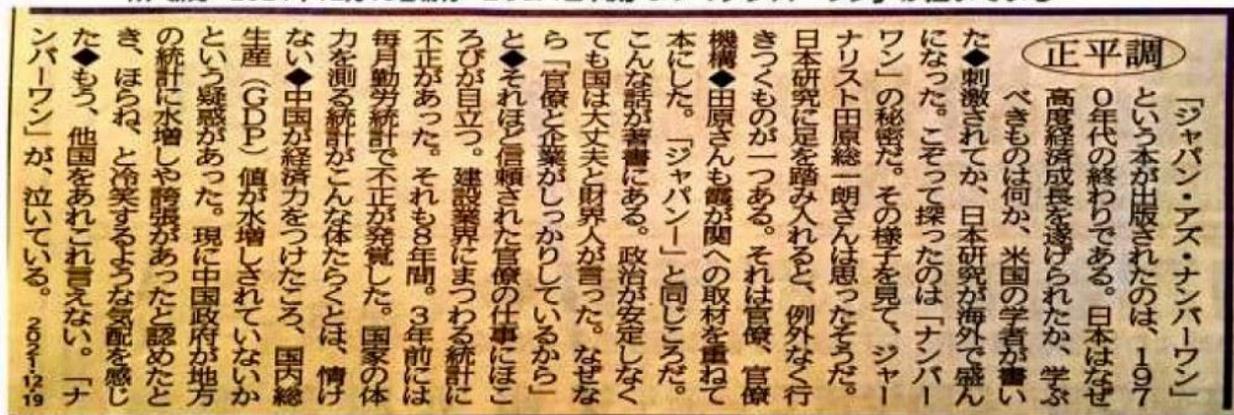
ポストコロナと脱炭素の時代 激変する時代に不安一杯。
みんながみんな穏やかな暮らしを取り戻せるのか・・・自分はどうなるのか・・・

今一番 日本が取組遅れの厳しい現実に直面してる。

姿を見せぬ本当の現実がコロナ禍の中で 垣間見え隠れしはじめ、思いもかけず、我が身に降りかかる。
突破口を見いだせぬ日本に苛立ちを感じる様子がホームページ掲載の文面の随所にもありありと。

自分では何も出来ないと感じながら、後ろから今を考える年代になったとつくづく感じてきた一年でもありました。
毎朝見ている神戸新聞のトップ紙面コラム「正平調」にも上記一年の締めくくりとして、日本の状況について手厳しい
言葉が綴られていました。

神戸新聞 2021年12月19日朝刊 コラム「正平調」より「ナンバーワン」が泣いている



まもなくこう1.17.阪神・淡路大震災記念日がやってくる。そしてあのルミナリエの灯がついた時を忘れない。
否応なしにさらされる激変の時代の幕開けに、思いも新た。希望と期待をもって 頑張らねば・・・。

鉄鋼もがんばれ!! がんばろう!!

自分の時代でないとの思いはありますが、しっかりとこの時代を前向いて・・・

◎「鉄の惑星 地球」 人類の歴史の中で 難局に出会うたびに新たなイノベーションを巻き起こし、新しい展開を切り開いてきた鉄。

長く取り組んできた「鉄の起源・歴史」を 本年春 まとめることが出来た「たたら源流 鉄の起源 & ユーラシア大陸東遷の道」(愛媛大東アジア古代鉄文化センター国際シンポ 聴講記録集成聴講記録)にも そんな事象がいくつも記されている。

HP 開設以来 20 年を経過した年末には「私の和鉄の道・Iron Road」を整理して 眺め直す事もできました。これからどんな姿になって、鉄がこの難局を切り開いてくれるのか それも楽しみな和鉄の道です。ポストコロナ 脱炭素社会がどんな姿で登場するのか 明日の時代の平和で穏やかな暮らしに期待して。本当にエポックメイキングな一年 和鉄の道・Iron Road 2021 でした。

◎ 鉄とともに鉄のない縄文の世界にも惹かれ、ずっとHPへの掲載取組をしてきた「日本の縄文」。

心優しき縄文人たちが約 1 万年の長きにわたる永続社会をつくってきた日本の縄文 コロナ禍の中で、長年の夢がかなって、ユネスコ世界文化遺産に登録されたのも嬉しいニュースでした。

◎ CO2 排出ストップの厳しい操業携帯移行を迫られる鉄鋼

過酷化する地球環境に歯止めをかけるには待たなし。CO2 排出量の多い大型高炉操業への依存度の高い日本の鉄鋼業は脱炭素社会構築の中で今一番厳しい立場に置かれている。

退場を願うと言う人達も数多く、長く鉄鋼の中で育ててもらった私にとっても、一番気になっている。今数々の新しい高炉操業変革に取り組んでいる。それがこれから目に見えてくる。

必ずや日本の鉄鋼の歴史が新しい道を切り開いてくれると期待一杯。鉄鋼ガンバレ!!と。

◎ 私ごとですか、本年6月末 足踵骨折で約20年ぶりに入院生活。

足を地面につけられぬ厳しい正つの苦しさや入院高齢者が多いリハビリ病院の現実も知り、元気で健康でいるありがたさもつくづく。

入院・神戸籠りの中で、アルバム整理を兼ねた断舍離。今までの道を振り返る良い機会に。忘れかけていた数々の人たちや事柄との交流がありありと。

長くかかった整理ですが、自分の生き方を振り返りいい整理ができました。

◎ みんなに感謝です。

多くの知人や仲間にも助けてもらいながらも、孫たちも元気に成長。

本当に早く出あいたいなあの思いも強いです。

気がかりは 今年も多くの仲間・先輩・知人の訃報に接し、秋送りをしました。

もうそんな歳になつたんやと今の健康に感謝しつつ、から元気の毎日。

毎日 前向いて元気にと本当に一年ありがとうございました。

引き続きよろしくおねがいします。

まだまだ 好奇心もある。

お互い 気力をふりしぼって、この厳しいポストコロナの時代を前向いて。

引き続きよろしくおねがいします。

いつも勝手な神戸からの便り

お許してください。

みなさまにとっても 来る年が穏やかで

平和な年でありますよう

God be with You!!

また 元気に出会える日を楽しみにしています。

2021.12.17.夕

From Kobe Mutsu Nakanishi



◎ 今月の掲載ピックアップ

和鉄の道 home page 開設 20 年余「和鉄の道・Iron Road Review」を作成

本年 11 月・12 月二インターネットで集めた「低炭素カーボンイープン 50」資料も合わせて収集

<p>私蔵版「和鉄の道・Iron Road」【Review1】 2000・2001日本の源流・たたらとの出会い</p> 	<p>私蔵版「和鉄の道・Iron Road」【Review2】 たたら探訪通史（たたら歴史）</p> 	<p>インターネット採録 11・12月 「低炭素カーボンイープン50」取組</p> 
<p>VIDEO 動画 Photo Book PDF Web Book</p>	<p>VIDEO 動画 Photo Book PDF Web Book</p>	<p>PDF Web Book</p>

約20年続けてきた home page の総括「和鉄の道・Iron Road Review」作成しました
毎年が変わるごとに年次ファイルを作ってきましたが、あまりにも数多く、断片的な掲載記事ばかり。
掲載ファイルの整理を兼ねて、ずっと気になっていた時代を超えて流れる鉄の歴史を
HPの記事を抜き出して 和鉄の道総括の資料として集成しました。

鉄とはこんなもの 鉄の歴史や日頃眺める鉄とは違う側面を少しでも知ってもらえたら。。。と。

大きなファイル資料ですが、下記「和鉄の道 2021 12 月のHP」にリンク付きで掲載していますので
資料閲覧は下記資料のリンクリストからご覧ください、

<https://www.infokkna.com/ironroad/2021htm/RO312htm>

また、長年聴講参加させていただいた愛媛大学村上恭通先生たちの 10 数年に渡る「鉄の起源・鉄のユーラシア大陸東遷の道」探求プロジェクトの国際シンポ・成果報告会に毎年聴講参加させていただき、「愛媛大東アジア古代鉄文化センター国際シンポ聴講記録集聴講記録 鉄の起源 & ユーラシア大陸東遷の道」として
昨年末にまとめることが出来たことも契機になりました

かつてよく参考・引用転記させていただいた穴澤義功先生の「古代たたら遺跡の歴史」講演スライド集をインターネットで見つけ、ばらばらの資料整理の根幹に。主要資料として採録転記収録させていただきました。

素人 誠に勝手な資料ですが、参考になればと。

また、本年 11 月・12 月二インターネットで集めた「低炭素カーボンイープン 50」資料も合わせて掲載。
ポストコロナ 低炭素社会の構築の入口にいる今 令和の産業革命と言える大変革の時代がどんなふうに展開していくのか 社会・産業変革の中で、日本の鉄鋼がどうなってゆくのかもじっくり眺めたいと。

大きな時代の変革点にある今 これからどんなふうに「鉄」の姿が変わって現れてくるのか興味津々です。

コロナ禍の厳しい師走ですが、新しい年に夢膨らませ、来年もよろしくお祈りします



🌈 困難の中に居られる方々にエール!!
日々新た 今できることを 精一杯 無理せずゆっくりと
いつも 思いをはせています。
「忘れまい 忘れないで 仲間がいる
暖かい希望の輪が繋がっていることを」

神共に居まして
変えられるものを 変える「勇気」・
変えられないものを
受け容れる「心の静けさ」
両者を見分ける「叡智」を
ニパーの祈り より .



God be With you !!
from Kobe Mutsu Nakanishi